

MITSUBISHI

三菱電機 設備用・産業用パッケージエアコン 2003年度版 スプリット形 PFHK,PFTK,PFK-F新冷媒シリーズ

設計・工事マニュアル

R407C対応

三菱電機株式会社 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66 冷熱システム製作所 (073)436-9807
お問い合わせは下記へどうぞ

冷熱電住事業部北海道統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ北海道社	〒004-8610	札幌市厚別区大谷地東2-1-11	(011) 893-1342
冷熱電住事業部東北統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ東北社	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町2-2-33	(022) 231-2785
電材住設事業部東京統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ東京社	〒110-0015	東京都台東区東上野4-10-3 (浅野ビル)	(03) 3847-4119
関東営業本部	〒330-0038	さいたま市宮原町3-297-2 (杉ビル6F)	(048) 651-3215
冷熱システム事業部首都圏冷熱営業部	〒108-0074	東京都港区高輪3-26-33 (秀和品川ビル)	(03) 5798-2161
北関東グループ	〒330-0038	さいたま市宮原町3-46-1	(048) 662-3882
神奈川グループ	〒231-0032	横浜市中区不老町3-12-5 (下山関内ビル)	(045) 222-7721
新潟グループ	〒950-2023	新潟市小新字大通3699-1 (菱電社ビル)	(025) 260-5405
冷熱電住事業部中部北陸統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ中部社	〒461-0005	名古屋市中区東横1-4-3 (大信ビル3F)	(052) 972-7257
北陸営業本部	〒920-0811	金沢市小坂町西81	(076) 252-9935
電材住設事業部関西統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ関西社	〒564-0063	吹田市江坂町2-7-8	(06) 6338-7881
冷熱システム事業部関西冷熱営業部	〒530-0005	大阪市北区中之島2-3-18 (新朝日ビル)	(06) 6221-5702
京滋事業所	〒612-0029	京都市伏見区深草西浦町8-142 (アイジーシービル)	(075) 646-0123
兵庫事業所	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1-2-3 (益田ビル)	(078) 222-3843
冷熱電住事業部中四国統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ中四国社	〒733-0833	広島市西区商工センター6-2-17	(082) 278-7001
四国営業本部	〒761-1705	香川県香川郡香川町大字川東下717-1 (新空港通り)	(087) 879-1066
冷熱電住事業部九州統括営業部/(株)三菱電機ライフファシリティーズ九州社	〒816-0088	福岡市博多区板付4-6-35	(092) 571-7014
(株)三菱電機ライフネットワーク本社	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-22-1 (五反田ANビル)	(03) 3448-6828
北海道本部	〒004-8610	札幌市厚別区大谷地東2-1-11	(011) 893-1371
東北本部	〒983-0035	仙台市宮城野区日の出町2-2-33	(022) 231-2672
関東本部	〒330-0031	さいたま市吉野町2-275 (テネメント・ニッカン3F)	(048) 651-3216
首都圏本部	〒141-0022	東京都品川区東五反田1-22-1 (五反田ANビル)	(03) 3448-6828
東京中央本部	〒110-0005	東京都台東区上野3-2-4	(03) 5818-2547
中部本部	〒461-0005	名古屋市中区東横1-4-3 (大信ビル2F)	(052) 972-7216
関西本部	〒556-0006	大阪市浪速区日本橋東3-10-6	(06) 6633-6010
西日本本部	〒733-0833	広島市西区商工センター6-2-17	(082) 278-1327
九州本部	〒816-0088	福岡市博多区板付4-6-35	(092) 571-4992
沖縄三菱電機販売(株)	〒901-2223	沖縄県宜野湾市字大山7-12-1	(098) 898-1111
冷熱システム製作所	〒640-8686	和歌山市手平6-5-66	(073) 436-9807
長崎工場	〒851-2102	長崎県西彼杵郡時津町浜田郷517-7	(095) 881-1141
静岡製作所	〒422-8528	静岡市 小島3-18-1	(054) 287-3050
中津川製作所	〒508-8666	岐阜県中津川市駒場町1-3	(0573) 66-8220

室内ユニット

標準仕様

- PFAK-P140AW(M)-A
- PFAK-P224AW(M)-A
- PFAK-P280AW(M)-A
- PFAK-P450AW(M)-A
- PFAK-P560AW(M)-A

中温仕様

- PFTK-P125AW(M)-A
- PFTK-P200AW(M)-A
- PFTK-P250AW(M)-A
- PFTK-P400AW(M)-A
- PFTK-P500AW(M)-A

オールフレッシュ仕様

- PFAK-P167AW(M)-A-F
- PFAK-P265AW(M)-A-F
- PFAK-P335AW(M)-A-F
- PFAK-P530AW(M)-A-F
- PFAK-P670AW(M)-A-F

室外ユニット

- PU(H)K-P140AW-A
- PU(H)K-P224(U)AW-A
- PU(H)K-P280(U)AW-A



設計サポートStation
三菱電機 冷熱・換気・照明設備機器の情報サービスホームページ
<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/sss/>

三菱電機冷熱相談センター
0037-80-2224 (フリーダイヤル) / 073-427-2224 (携帯電話対応)
FAX (365日・24時間受付)
0037-80-2229 (フリーダイヤル) / 073-428-2229 (通常FAX)

安全のために必ず守ること

- この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

- お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しく下さい。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に大切に保管し、移設・修理の時は、工事をされる方にお渡しください。

また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。

- ご自分で据付け工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付工事は、この据付説明書に従って確実に行ってください。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。

- 強度が不足している場合は、ユニット落下により、けがの原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用してください。

- 電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。

- 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

室外ユニットの端子カバー(パネル)を確実に取付けてください。

- 端子カバー(パネル)の取付けに不備があると、ほこり・水等により、火災・感電の原因になります。

台風等の強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。

- 据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になります。

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒(R407C)以外のものを混入させないでください。

- 空気等を混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂等の原因になります。

空気清浄機、加湿器、暖房用電気ヒータ等の別売品は必ず当社指定の製品を使用してください。

- また、取付けは専門の業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

小部屋へ据付ける場合は万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。

- 限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故の原因になります。

改修は絶対にしないでください。また、修理は、お買上げの販売店にご相談ください。

- 修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

- 据付けに不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

熱交換器のフィン表面を素手で触れないように注意してください。

- 取扱いに不備があると、切傷の原因になります。

設置工事終了後、冷媒ガスが漏れていないことを確認してください。

- 冷媒ガスが室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

作業中に冷媒ガスが漏れた場合は、換気してください。

- 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

保護装置の改造や設定変更をしないでください。

- 圧力開閉器や温度開閉器等の保護装置を短絡して強制的運転を行ったり、当社指定品以外のものを使用すると火災や爆発の原因となることがあります。

冷媒R407C使用機器としての注意点

⚠️ 注意

既設の冷媒配管を流用しないでください。

- 既設の配管内部には、従来の冷凍機油や冷媒中の塩素が大量に含まれ、これらの物質が新しい機器の冷凍機油劣化等の原因になります。

逆流防止器付真空ポンプを使用してください。

- 冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍器油劣化等の原因になります。

冷媒配管はJIS H3300「銅及び銅合金継目無管」のC1220のリン脱酸銅を使用してください。また、管の内外面は美麗であり、使用上有害なイオウ、酸化物、ゴミ、切粉、油脂、水分等（コンタミネーション）の付着がないことを確認してください。

- 冷媒配管の内部にコンタミネーションの付着があると、冷凍機油劣化等の原因になります。

従来の冷媒に使用している下記に示す工具類は使用しないでください。
(ゲージマニホールド・チャージホース・ガス洩れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・真空度計・冷媒回収装置)

- 従来の冷媒・冷凍機油が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 水分が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 冷媒中に塩素を含まないため、従来の冷媒用ガス洩れ検知器では反応しません。

据付けに使用する配管は屋内に保管し、両端ともロウ付けする直前までシールしておいてください。(エルボ等の継手はビニル袋等に包んだ状態で保管)

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分が混入しますと、油の劣化・圧縮機故障の原因となります。

チャージングシリンダを使用しないでください。

- チャージングシリンダを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

フレア・フランジ接続部に塗布する冷凍機油は、エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン（少量）を使用してください。

- 鉱油が多量に混入すると、冷凍機油劣化の原因となります。

工具類の管理は従来以上に注意してください。

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

液冷媒にて封入してください。

- ガス冷媒で封入するとポンペ内冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

R407C以外の冷媒は使用しないでください。

- R407C以外（R22等）を使用すると、塩素により冷凍機油劣化等の原因になります。

据付けをする前に

⚠注意

可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。

- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまると、発火の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。

- 食品の品質低下等の原因になります。

特殊環境には、使用しないでください。

- 油・蒸気・硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損することがあります。

病院、通信事業所などに据付される場合は、ノイズに対する備えを十分に行って施工してください。

- インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器の影響によるエアコンの誤動作や故障の原因になったり、エアコン側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になります。

濡れて困るものの上にユニットを据付しないでください。

- 湿度が80%を越える場合やドレン出口が詰まっている場合は、室内ユニットからも霧が落ちる場合もあります。また、室外ユニットからもドレンが垂れますので必要に応じ室外ユニットも集中排水工事をしてください。

据付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

アース工事を行ってください。

- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電及びノイズによる誤動作の原因になります。

電源配線は、張力がかからないように配線工事をしてください。

- 断線したり、発熱・火災の原因になります。

電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。

- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

電源配線は、電流容量、規格品の配線にて工事をしてください。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

正しい容量のブレーカやヒューズ以外は使用しないでください。

- 大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

エアコンを水洗いしないでください。

- 感電の原因になります。

長期使用で据付台等が傷んでないか注意してください。

- 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けが等の原因になります。

ドレン配管は、据付説明書に従って確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

⚠注意

製品の運搬には、十分注意してください。

- 20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- 室外ユニットの搬入を行う場合は、ユニットベースの指定位置にて吊り下げてください。また、適宜、室外ユニットが横ずれしないよう固定し、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因になります。

梱包材の処理は確実に行ってください。

- 梱包材には「クギ」等の金属あるいは、木片等を使用していますので放置状態にしますと「さし傷」などの原因になります。
- 包装用のポリフクロで子供が遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故等の原因になります。

試運転をする前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

- 故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

- 必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

- 感電の原因になります。

運転中及び運転停止直後の冷媒配管に素手で触れないでください。

- 運転中、停止直後の冷媒配管や圧縮機などの冷媒回路部品は流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると凍傷や火傷になる恐れがあります。

パネルやガードを外したまま運転しないでください。

- 機器の回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電によりケガの原因になります。

目次

安全のために必ず守ること

I. 機器概要

1. 機器構成表1
2. 運転可能温度範囲1
3. 注意事項2

II. 冷媒配管設計

1. 冷媒配管の選定3

III. 配線設計

1. 配線設計にあたって4
2. 主電源の配線太さ及び開閉器容量 ...4
 - (1) 室外ユニット
 - (2) 室内ユニット
3. 制御配線の種類と許容長さ5
4. システム接続例7
5. システム制御15
 - (1) 室内ユニットのシステム制御
 - (2) 室外ユニットのシステム制御
 - (3) システムコントローラを使用した制御
6. 外部接続回路40
 - (1) 外部接続回路パターン
 - (2) 応用配線要領と入力端子

IV. 据付スペース

1. 据付場所の選定44
 - (1) 室外ユニット
2. 据付スペース44
 - (1) 室外ユニット
単独設置の場合
集中設置・連続設置の場合
 - (2) 室内ユニット

V. 製品仕様

1. 仕様表48
2. 外形寸法図51
 - (1) 室外ユニット
 - (2) リモコン
 - (3) 室内ユニット
3. 電気配線図58
 - (1) 室外ユニット
 - (2) 室内ユニット

VI. 製品データ

1. 冷房・暖房能力特性73
 - (1) 冷房・暖房能力の求め方
 - (2) 能力・入力補正
 - (3) 冷媒配管長による冷房能力補正係数
 - (4) 冷媒配管長による暖房能力補正係数
 - (5) 霜取補正
 - (6) 風量変化による能力・入力補正係数
 - (7) バイパスファクタ線図

2. 取付可能部品表96
3. 騒音データ119
4. 送風機性能線図130
5. 耐震強度計算書134
6. 振動レベル値148
7. 別売部品149
 - (1) 別売部品外形図
PFAK-P224,280AW(M)-A
PFAK-P450,560AW(M)-A
 - (2) 別売部品組込電気配線図
 - (3) 別売性能線図

VII. 据付工事

1. 室外ユニットの据付164
 - (1) 製品吊下げ方法
 - (2) 据付け
 - (3) アンカーボルト位置
 - (4) 下配管・下配線時の注意
 - (5) 冷媒配管取出し方向
2. 雪・季節風に対する注意168
 - (1) 寒冷地域・積雪地域での防風・防雪対策
 - (2) 季節風対策
 - (3) 雪に対する注意
3. 室内ユニットの据付170
4. 冷媒配管工事173
 - (1) 注意事項
 - (2) 冷媒追加充填量の算出方法
 - (3) 配管接続・バルブ操作のご注意
 - (4) 気密試験・真空引き・冷媒充填
 - (5) 冷媒配管の断熱
5. ドレン配管工事(室内ユニット) 183
6. 電気工事184
 - (1) 制御箱及び配線接続位置
 - (2) リモコン・室外伝送線の接続
 - (3) アドレス設定
 - (4) ディップスイッチによる機能選択
 - (5) リモコン内蔵センサーによる室温検知
 - (6) 外部接続回路の配線
7. 試運転201
 - (1) 試運転時のチェックポイント
 - (2) 試運転操作
 - (3) 試運転不具合時の対応
 - (4) 次の現象は故障(異常)ではありません。
8. 関連資料208
 - (1) 施工・システムセットのチェックポイント
 - (2) 室内ユニットの分割搬入
 - (3) ファン用ベアリング一覧表
 - (4) 重心位置
 - (5) 内部構造図
 - (6) 別売部品組込み配置図
 - (7) 電磁接触器余剰接点数
 - (8) プーリボス部形状
 - (9) 恒温恒湿回路例

I. 機器概要

1. 機器構成表

●標準

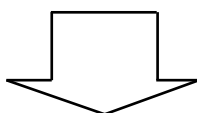
容 量		5馬力	8馬力	10馬力	16馬力	20馬力
セット形名		PF(H)K-P140AW(M)-A	PF(H)K-P224AW(M)(U)-A	PF(H)K-P280AW(M)(U)-A	PF(H)K-P450AW(M)(U)-A	PF(H)K-P560AW(M)(U)-A
室内ユニット形名		PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A
室 外 ユ ニ ッ ト	容 量	5馬力	8馬力	10馬力	8馬力	10馬力
	形 名	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A
	接続台数	1台	1台	1台	2台	2台

●中温

容 量		5馬力	8馬力	10馬力	16馬力	20馬力
セット形名		PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)(U)-A	PFTK-P250AW(M)(U)-A	PFTK-P400AW(M)(U)-A	PFTK-P500AW(M)(U)-A
室内ユニット形名		PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A
室 外 ユ ニ ッ ト	容 量	5馬力	8馬力	10馬力	8馬力	10馬力
	形 名	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A
	接続台数	1台	1台	1台	2台	2台

●オールフレッシュ

容 量		5馬力	8馬力	10馬力	16馬力	20馬力
セット形名		PFK-P167AW(M)-A-F	PFK-P265AW(M)(U)-A-F	PFK-P335AW(M)(U)-A-F	PFK-P530AW(M)(U)-A-F	PFK-P670AW(M)(U)-A-F
室内ユニット形名		PFAK-P167AW(M)-A-F	PFAK-P265AW(M)-A-F	PFAK-P335AW(M)-A-F	PFAK-P530AW(M)-A-F	PFAK-P670AW(M)-A-F
室 外 ユ ニ ッ ト	容 量	5馬力	8馬力	10馬力	8馬力	10馬力
	形 名	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A
	接続台数	1台	1台	1台	2台	2台



リモコン	ワイヤードリモコン(PAR - 20MA) ¹ ・ワイヤレスリモコン(PAR - FL39M/FA31M) ³
------	---

1. ワイヤードリモコンは本体内蔵です。
2. 室内ユニットがAWM形の場合、別売のM-NET集中管理リモコン・M-NETリモコンの接続が可能です。
(現地工事)
3. ワイヤレスリモコンは別売部品です。
受光アダプタ(PAR-FA31M)は、室内ユニット以外の受信可能な場所に設置してください。
(P190参照ください)

2. 運転可能温度範囲

	標準冷房時	標準暖房時	中 温	オールフレッシュ
室内吸込空気温度	湿球温度 15～24	乾球温度 15～28	湿球温度 10～22.5	湿球温度 15～30
室外吸込空気温度	乾球温度 -5～43	湿球温度 -15～15.5	乾球温度 -15～43	乾球温度 20～43

3.注意事項

・ノイズの影響について

注意事項	対応方法
<p>空調機はマイコンを使用しておりますので、わずかながら電源、伝送線、本体から放射ノイズを出しております。電気的に微細な信号を増幅するような機器（ワイヤレスマイク、医療機器等）の近傍に据付けた場合、これらの機器がノイズの影響を受け、誤動作を起こす場合があります。また、強いノイズを発生させる機器（放電加工機等）の近傍に空調機を据付けられた場合、これらの発生するノイズにより空調機が誤動作する場合も考えられます。これらが予め懸念される場合は、右記の対応を実施してください。</p>	<p>ノイズの影響を受けやすい機器（ワイヤレスマイクの受信器やアンテナ等）は、できる限りユニットの伝送線、電源線ならびに本体から離して設置してください。 強いノイズを発生させる機器の電源線とは空調機電源と分離し、伝送線、電源線、ユニット本体はできる限り分離して設置してください。</p>

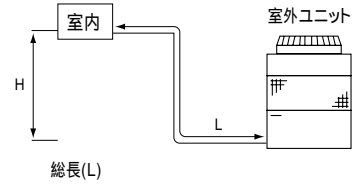
II.冷媒配管設計

1.冷媒配管の選定

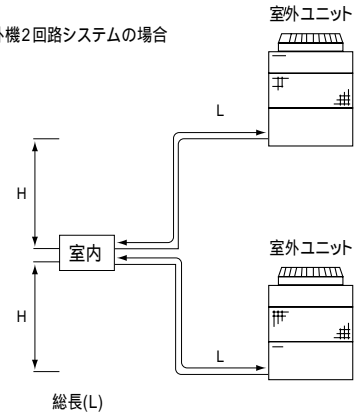
●配管の制限

室外ユニット形名	配管サイズ		配管実長 L 最遠実長 (室内~室外間)	高低差 H 室内 ~ 室外	バンド数
	ガス側 主管部	液側 主管部			
P140AW-A形	19.05	9.52	50m	40m	15力所
P224AW-A形	25.4	12.7			
P280AW-A形	28.58				
P224UAW-A形	25.4	12.7	100m	40m	30力所
P280UAW-A形	28.58				

室外機1回路システムの場合



室外機2回路システムの場合



Ⅲ.配線設計

1.配線設計にあたって

1. 「電気設備に関する技術基準を定める省令」「内線規程」及び電力会社の規定に従ってください。
2. 電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

⚠ 警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」、及び据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路に容量不足や施工不備があると、ユニットが正常運転ができなくなったり、最悪の場合、感電・発煙・火災の原因になります。

3. 電源は必ず専用の分岐回路からとり、漏電しゃ断器を取り付けます。
4. ユニットの外部では、制御回路の電線（室内外伝送線・MAリモコン線・集中管理用M-NET伝送線）と電源配線が直接接触しないように施設してください。
5. 配線の接続はネジの緩みのないよう確実に行ってください。
6. 天井裏内の配線（電源・室内外伝送線・MAリモコン線・集中管理用M-NET伝送線）はネズミ等により、かじられ切断する場合があります、できる限り鉄管等の保護管内に通してください。（制御回路の電線と電源配線を同一電線管に入れないでください。）
7. MAリモコン用・室内外伝送線用・集中管理用M-NET伝送線用端子台には200V電源を接続しないでください。（故障します。）
8. 室内ユニットとリモコン及び室外ユニットを必ず配線接続します。
9. D種接地工事は室外ユニットで行います。
10. 制御配線は以下の条件からお選びください。

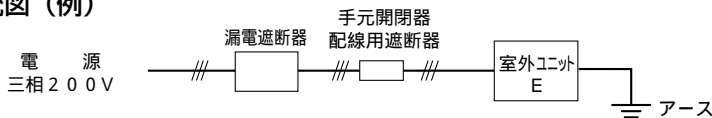
⚠ 注意

室外ユニット側で確実にアースを行なってください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電、発煙、発火及びノイズによる誤動作の原因になります。

2.主電源の配線太さ及び開閉器容量

(1)室外ユニット

●配線系統図（例）



●主電源の配線太さ及び開閉器容量

形名	最小電線太さ			漏電遮断器 *1,*2	手元開閉器		配線用遮断器 NFB (A)	
	幹線	分岐	アース		開閉器容量 (A)	過電流保護器 (A) *3		
室外ユニット	P140形	5.5mm ²	-	2.0mm ² 以上	40A 30mA 0.1s以下	60	40	40
	P224形	8mm ²	-	3.5mm ² 以上	60A	60	50	
	P280形	14mm ²	-	5.5mm ² 以上	100mA 0.1s以下	60	60	60

- (注)
 *1. 電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
 *2. 漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器又は配線用遮断器を組み合わせ使用してください。
 *3. 過電流保護器は、B種ヒューズを使用する場合について示します。

⚠ 警告

配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。

⚠ 注意

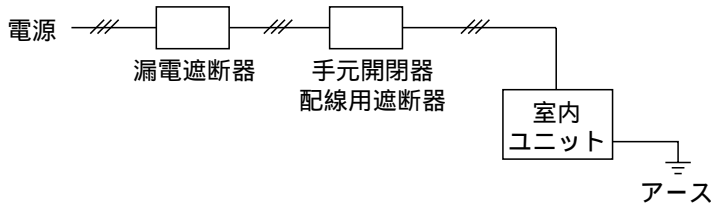
漏電遮断器の取付けが必要です。漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

⚠ 注意

正しい容量の遮断器やヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

(2)室内ユニット

●配線系統図 (例)



●主電源の配線太さ及び開閉器容量

形名	電源太さ		漏電遮断器	手元開閉器		配線用遮断器
	電源配線	アース		開閉器容量	過電流保護器	
PFAK-P140,224,280AW(M)-A PFTK-P125,200,250AW(M)-A PFAK-P167,265,335AW(M)-A-F	1.6mm	1.6mm	15A(NV30-C (当社))	15A	15A(B種ヒューズ)	15A(NF30-C (当社))
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F	1.6mm	1.6mm	30A(NV30-C (当社))	30A	20A(B種ヒューズ)	30A(NF30-C (当社))
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F	1.6mm	1.6mm	30A(NV30-C (当社))	30A	30A(B種ヒューズ)	30A(NF30-C (当社))

漏電遮断器は、感度30mA 0.1s以下を使用ください。

注1.電源には、必ず漏電遮断器を取付けてください。

2.漏電遮断器で地絡保護専用のものは、手元開閉器または配線用遮断器を組合わせて使用してください。

3.電源配線に当たっては「電気設備に関する技術基準を定める省令」及び「内線規程」に従ってください。

⚠注意

正しい容量のブレーカやヒューズ以外は使用しないでください。大きな容量のヒューズや針金・銅線を使用すると故障や火災の原因になります。

3.制御配線の種類と許容長さ

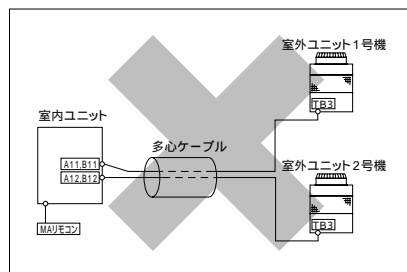
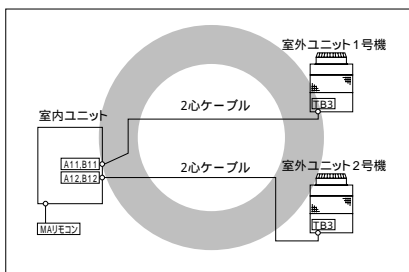
●制御配線には、「室内外伝送線」・「MAリモコン線(2リモコンの場合)」・「集中管理用M-NET伝送線」があります。

●システム構成により、配線の種類及び許容長さが異なります。配線工事の前に、必ず以下の(1)~(3)をご覧ください。

また、以下に示すように、伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近傍している場合は、ノイズ障害防止のためにユニット本体をノイズ源から離すと共に、シールド線の仕様を推奨します。

室内外伝送線用配線は、2心線をご使用ください。(下図○印)

系統の異なる室内外伝送線用配線を多心の同一ケーブルを使用して配線しますと、室内外伝送信号の送・受信が正常にできなくなり、誤動作の原因になりますので絶対に行わないでください。(下図×印)



A11,B11 : 伝送線用端子台
A12,B12 : 伝送線用端子台
TB3 : 伝送線用端子台

(1) 室内外伝送線配線

システム構成		単一冷媒系統システムの場合		複数冷媒系統システムの場合
配線の種類	伝送線の長さ	120m未満		120m以上 長さに無関係
	対象施設例 (ノイズ判定)	住宅及び独立店舗など ノイズ発生がない施設	ビル、診療所、病院、通信事業所など インバータ機器、自家発電機器、高周波医療機器、 無線通信装置などによるノイズの発生が想定される施設	全ての施設
	線種	VCTF・VCTEK・CVV・ CVS・VVR・VVF・VCT 又はシールド線 CVVS・CPEVS	シールド線 CVVS・CPEVS	
	線数	2心ケーブル		
	線径	1.25mm ² 以上		
室内外伝送線最遠長		最大120m		最大200m

(2) MAリモコン配線

		MAリモコン(注1)
配線の種類		VCTF、VCTFK、CVV、CVS、 VVR、VVF、VCT
	線数	2心ケーブル
	線径	0.3～1.25mm ² (注3) (0.75～1.25mm ²)(注4)
総延長		最大200m

(3) 集中管理用M-NET伝送線配線 (※PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-F形の場合)

① 集中管理リモコン配線

システム構成		単一冷媒系統システムの場合	複数冷媒系統システムの場合
配線の種類	伝送線の長さ	長さに無関係	
	対象施設例 (ノイズ判定)	全ての施設	
	線種	シールド線 CVVS・CPEVS	
	線数	2心ケーブル	
	線径	1.25mm ² 以上	
集中管理リモコン配線最遠長		最大200m	

② M-NETリモコン配線

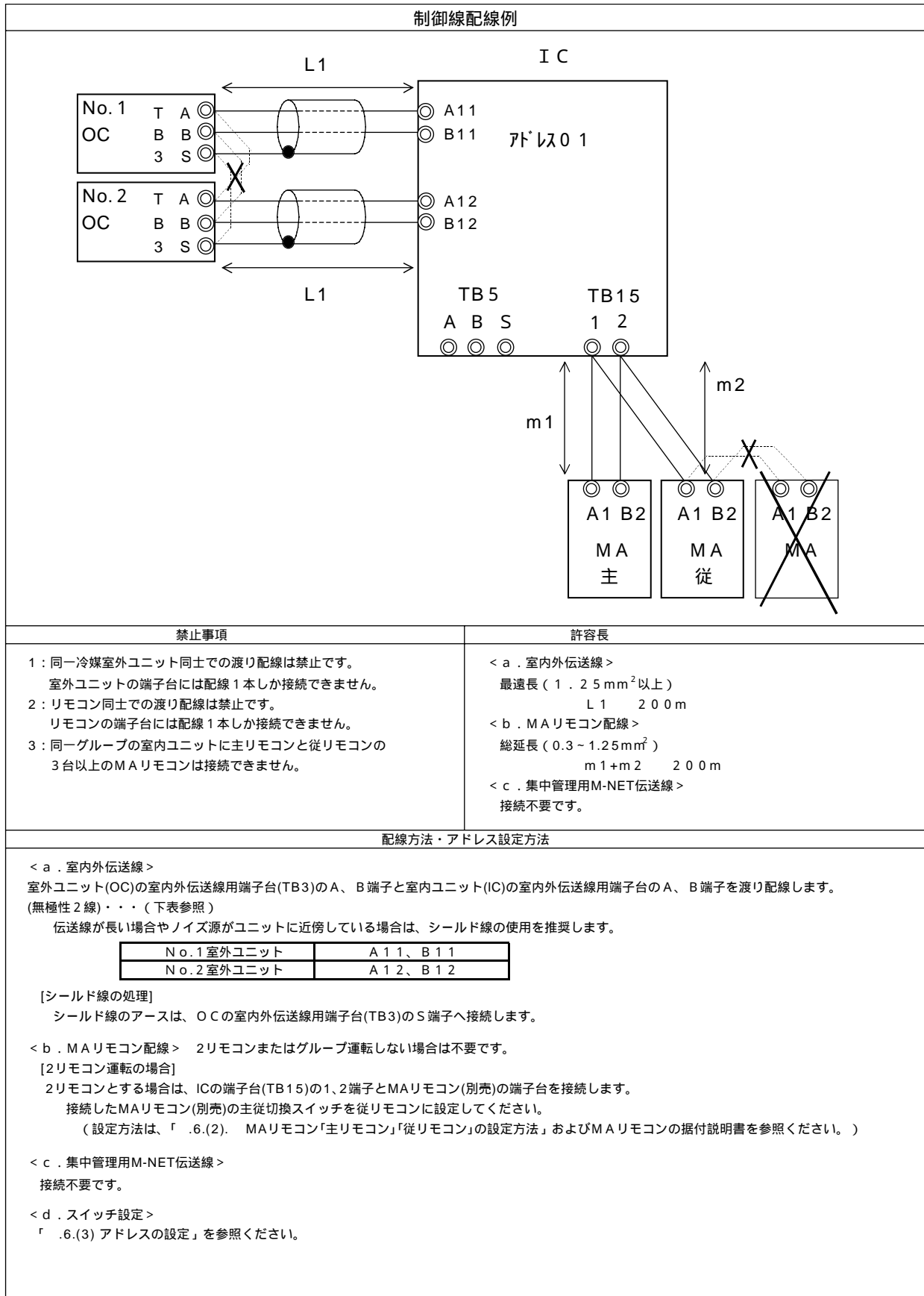
		M-NETリモコン(注2)	
配線の種類	伝送線の長さ	10m以下	10mを超える場合
	線種	VCTF、VCTEK、CVV、CVS、 VVR、VVF、VCT	(3) ①集中管理リモコン配線と同一仕様 となります
	線数	2心ケーブル	
	線径	0.5～1.25mm ² (注3) (0.75～1.25mm ²)(注4)	
M-NETリモコン配線最遠長		最大10m	10mを超える部分は、集中管理リモコン配線 最遠長の内数としてください

- 注1.MAリモコンとは、MAリモコン及びワイヤレスリモコンを示します。
 2.M-NETリモコンとは、MEリモコン及びコンパクトリモコンを示します。
 3.作業上、0.75mm²までの線径を推奨します。
 4.()内は、コンパクトリモコンの線径です。

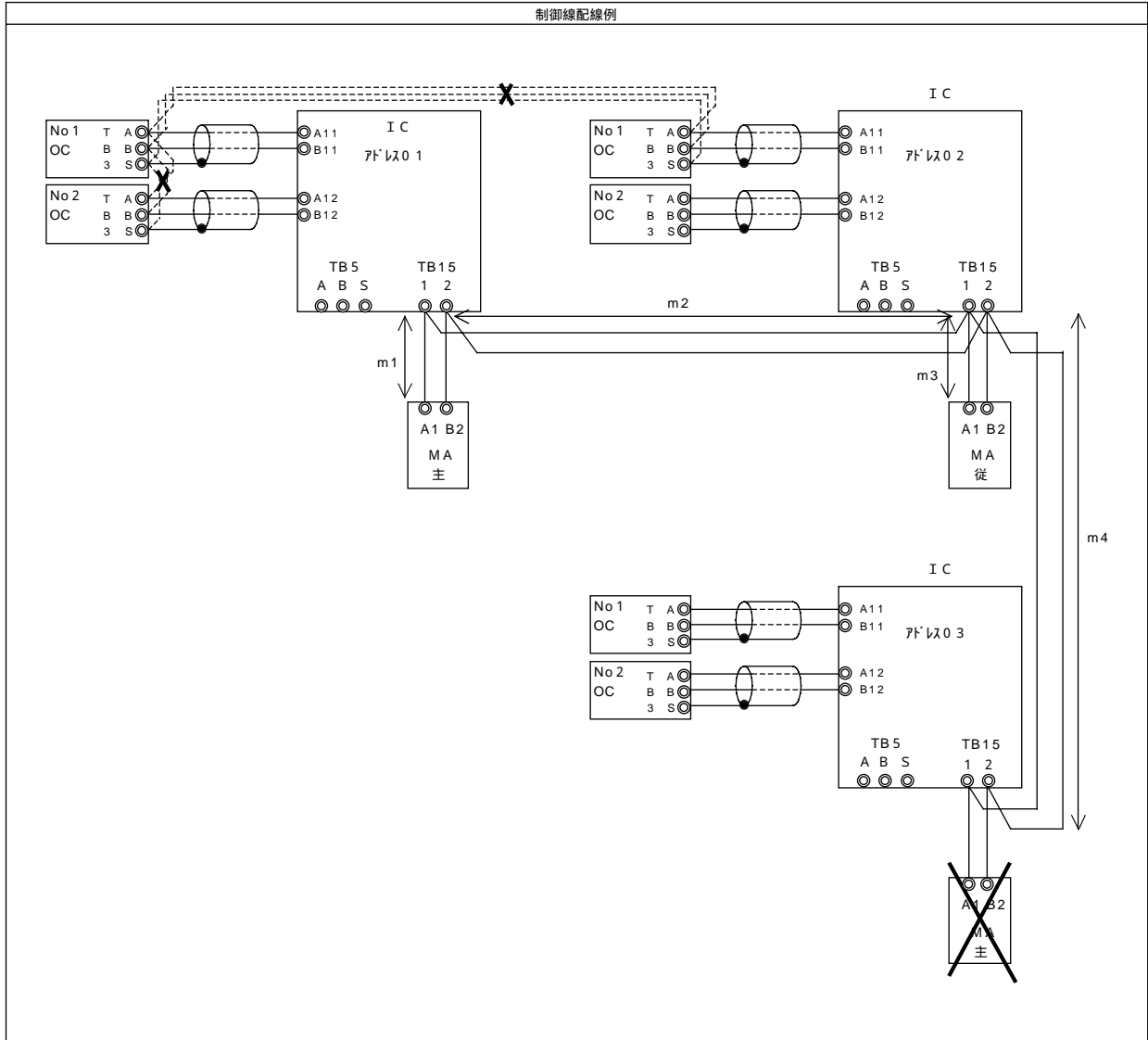
4.システム接続例

(1)MAリモコンを用いたシステム

①単一冷媒システムの場合 (PFAK-P・AW-A, PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-Fの場合)



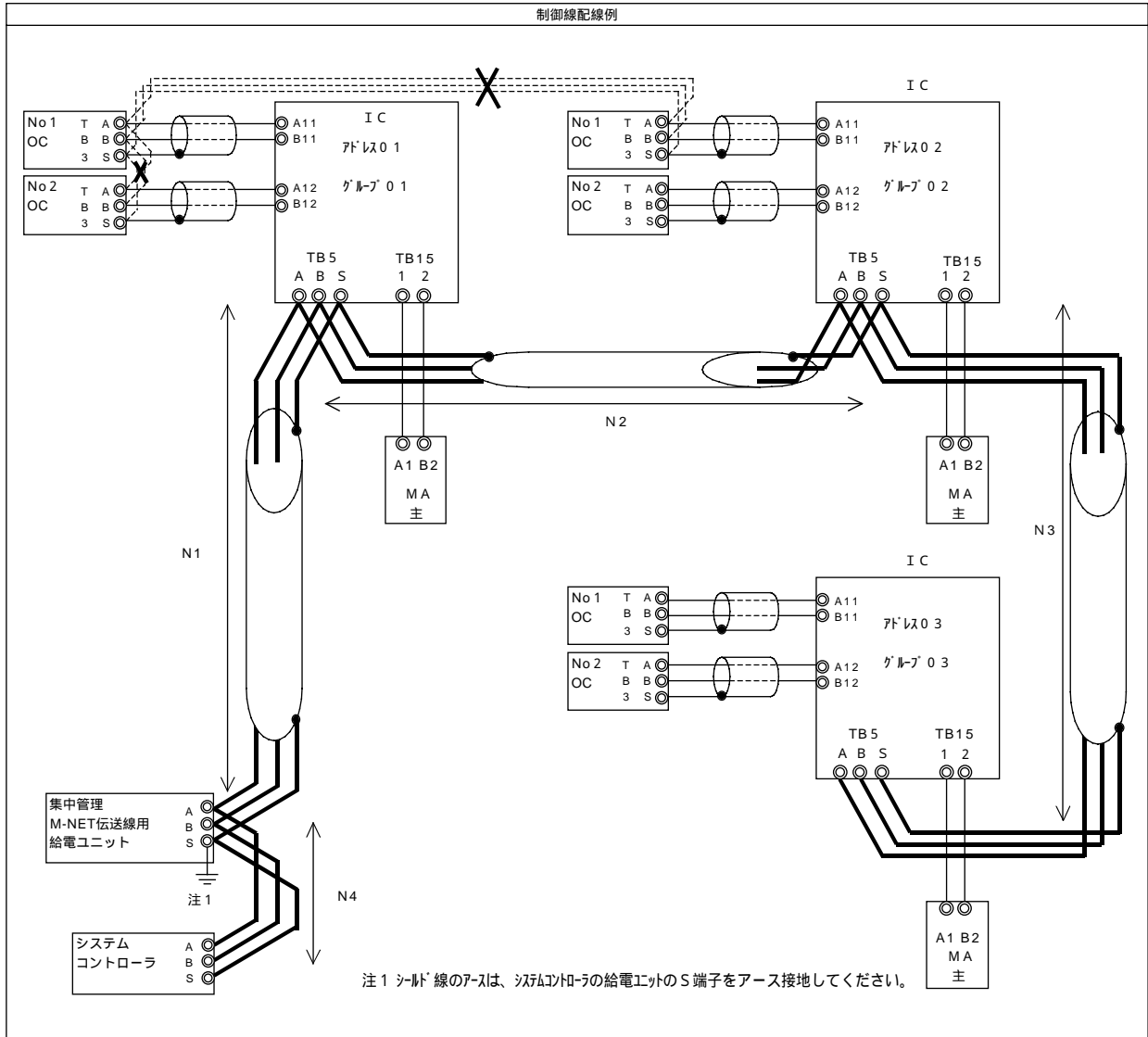
②異冷媒グルーピング運転の場合 (PFAK-P・AW-A, PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-Fの場合)



禁止事項	許容長
1: 同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2: リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3: 同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室外ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンを2台以下となるように室内ユニットに取り付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4: 異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。	< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 総延長 (0.3 ~ 1.25mm ²) $m1 + m2 + m3 + m4$ 200m < c . 集中管理用M-NET伝送線 > 接続不要です。

配線方法・アドレス設定方法
< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グルーピング運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] ICをグループ運転する場合は、両方のICの端子台(TB15)の1,2端子同士を接続します。(無極性2線) 一方の室内ユニットのリモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。 同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットのアドレスを01~50の若い番号に設定してください。 < c . 集中管理用M-NET伝送線 > 接続不要です。 < d . スイッチ設定 > 「 .6.(3) アドレスの設定」を参照ください。

③集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラを接続し、1グループ1台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)

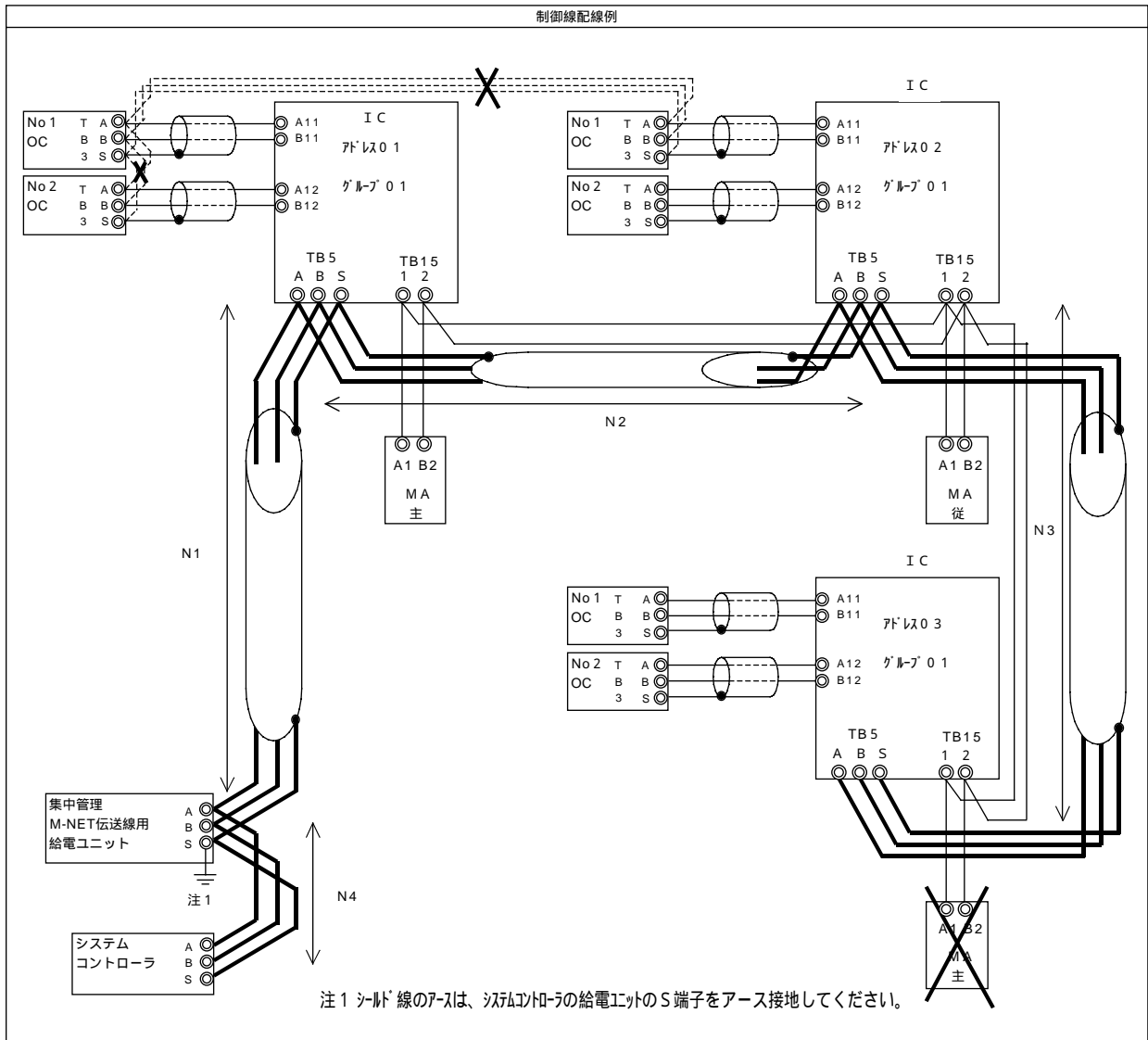


禁止事項	許容長
1:同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2:リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3:同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取り付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4:異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5:室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。	< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > (1) と同様 < c . 集中管理用M-NET伝送線 > 最遠長 (1 . 2 5 mm ² 以上) N 1 + N 2 + N 3 + N 4 2 0 0 m

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様
< b . MAリモコン配線 > 2リモコンまたはグループ運転しない場合は不要です。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様
< c . 集中管理用M-NET伝送線 > 各室内ユニット(IC)の集中管理用M-NET伝送線用端子台(TB5)のA、B端子を渡り配線します。 必ずシールド線をご使用ください。 [シールド線の処理] シールド線のアースは、各ICの端子台(TB5)のS端子を渡り配線します。システムコントローラの給電ユニットのS端子をアース接地してください。 給電ユニットからアース接地できない場合は、1台の室内ユニットの端子台(TB5)のS端子から電気品箱のアースネジ(E)に接続してください。
< d . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定 」を参照ください。

④集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラを接続し、1グループ3台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)



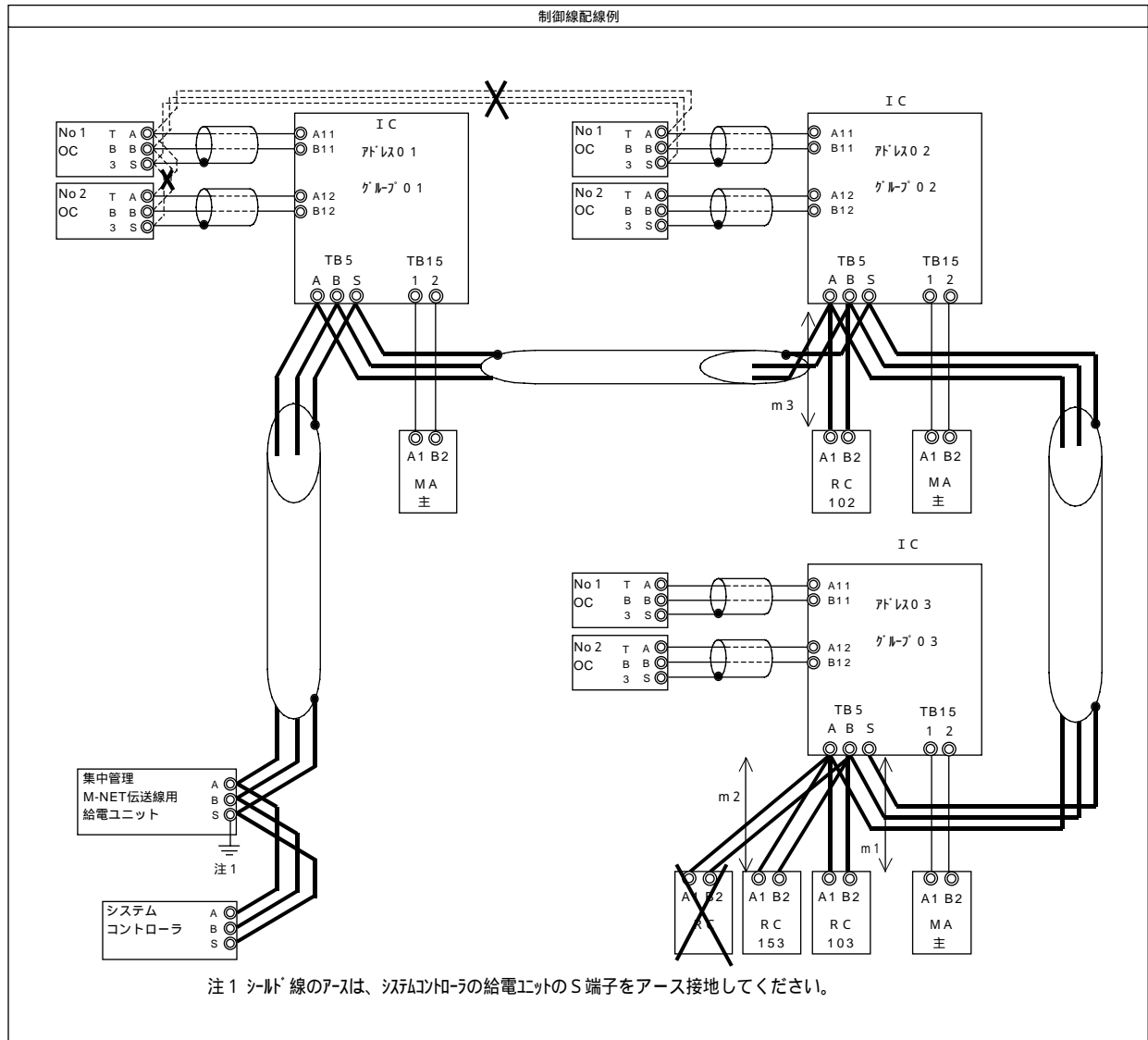
禁止事項	許容長
1:同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2:リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3:同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取り付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4:異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5:室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。	< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グループ運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] (1) と同様 システムコントローラにてグループ運転する場合でも、グループ運転する室内ユニットの端子台(TB15)の1,2端子同士を接続します。(無極性2線) < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < d . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定」を参照ください。

配線方法・アドレス設定方法

< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グループ運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] (1) と同様 システムコントローラにてグループ運転する場合でも、グループ運転する室内ユニットの端子台(TB15)の1,2端子同士を接続します。(無極性2線) < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < d . スイッチ設定 > 「 . 6.(3) アドレスの設定」を参照ください。

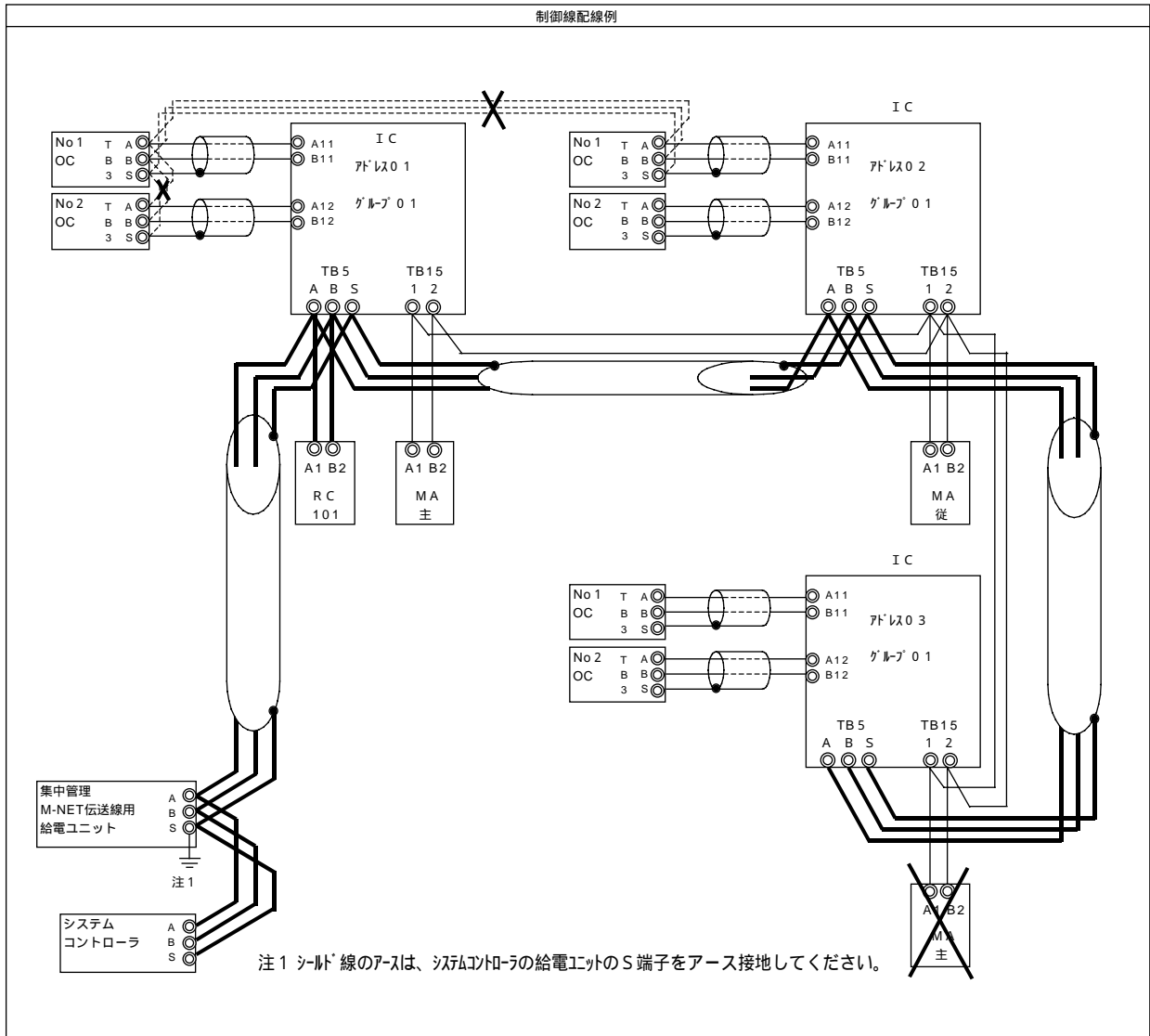
(2) MAリモコンとM-NETリモコンを混在したシステム

①集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラを接続し、1グループ1台管理した場合 (PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)



禁止事項	許容長
<ol style="list-style-type: none"> 1: 同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2: リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3: 同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取り付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4: 異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5: 室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。 6: 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。 	<p>< a . 室内外伝送線 > (1) と同様</p> <p>< b . MAリモコン配線 > (1) と同様</p> <p>< c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様</p> <p>< d . M-NETリモコン配線 > 総延長 (0.5 ~ 0.75mm²) m1+m2 10m m3 10m 注. 但し、10mを超える場合は、配線径を1.25mm²とし < c.集中管理用M-NET伝送線 >の内数としてください。</p>
配線方法・アドレス設定方法	
<p>< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様</p> <p>< b . MAリモコン配線 > 2リモコンまたはグループ運転しない場合は不要です。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様</p> <p>< c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様</p>	<p>< d . M-NETリモコン配線 > 室内ユニット(IC)の集中管理用M-NET伝送線用端子台(TB15)のA、B端子をそれぞれM-NETリモコン(RC)の端子台に接続します。(無極性2線) [2リモコン運転の場合] 2リモコンとする場合は、ICの端子台(TB5)のA、B端子と2つのRCの端子台をそれぞれ接続します。</p> <p>< e . スイッチ設定 > 「 .6.(3) アドレスの設定 」を参照ください。</p>

②集中管理用M-NET伝送線にシステムコントローラを接続し、1グループ3台管理した場合
(PFAK-P・AWM-A, PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-Fの場合)

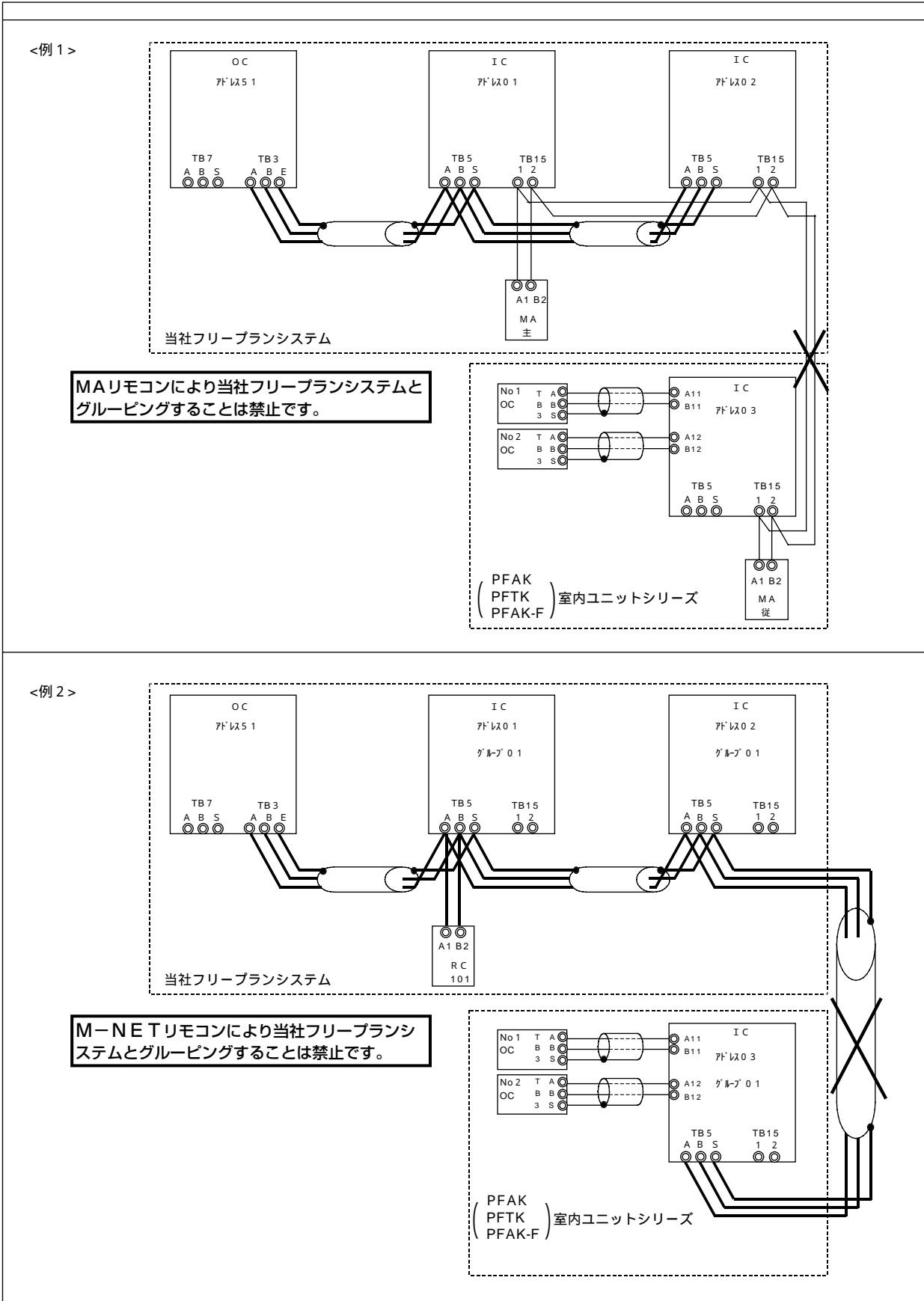


禁止事項	許容長
1：同一冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 2：リモコン同士での渡り配線は禁止です。リモコンの端子台には配線1本しか接続できません。 3：同一グループの室内ユニットに主リモコンと従リモコンの3台以上のMAリモコンは接続できません。 室内ユニットが3台以上になる場合は、MAリモコンが2台以下となるように室内ユニットに取り付けられているMAリモコン配線をTB15から外してください。 4：異冷媒室外ユニット同士での渡り配線は禁止です。室外ユニットの端子台には配線1本しか接続できません。 5：室内ユニットの集中管理用M-NET伝送端子台(TB5)のS端子のアース処理は不要です。 6：同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。	< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > (1) と同様 < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 < d . M-NETリモコン配線 > (2) と同様

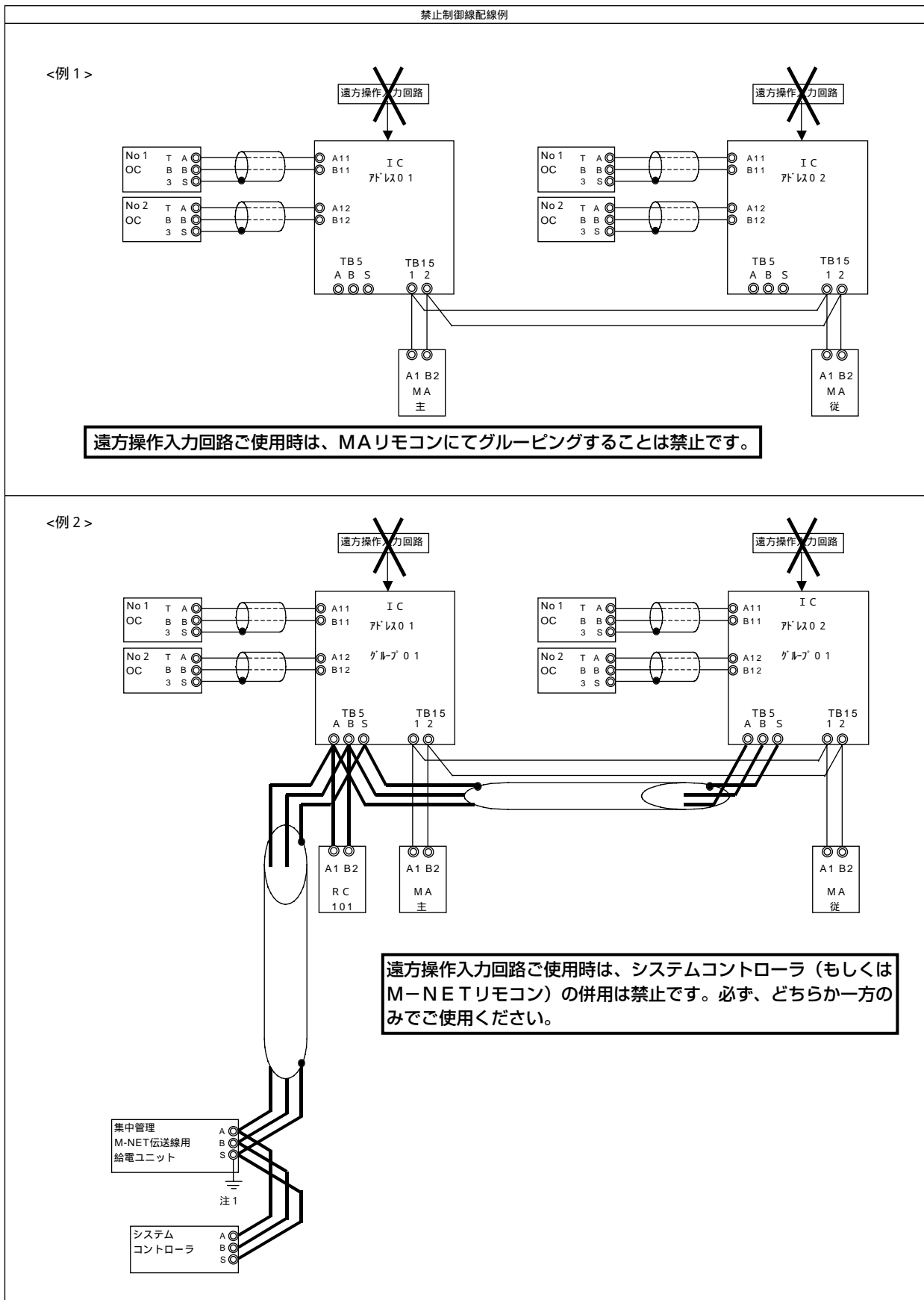
配線方法・アドレス設定方法	
< a . 室内外伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様 < b . MAリモコン配線 > 異冷媒グループリング運転の場合、必ず一方の室内ユニットのMAリモコンを「従リモコン」設定してください。 [2リモコン運転の場合] (1) と同様 [室内グループ運転の場合] (1) と同様 システムコントローラにてグループ運転する場合でも、グループ運転する室内ユニットの端子台(TB15)の1,2端子同士を接続します。(無極性2線) < c . 集中管理用M-NET伝送線 > (1) と同様 [シールド線の処理] (1) と同様	< d . M-NETリモコン配線 > (2) と同様 [2リモコン運転の場合] (2) と同様 [室内グループ運転の場合] ICをグループ運転する場合は、同一グループとするICの親機ICの端子台(TB5)のA, B端子とRCの端子台を接続します。(無極性2線) 機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットを親機としてください。 < e . スイッチ設定 > 「 .6.(3) アドレスの設定」を参照ください。

(3) システム構成における禁止事項

① 当社フリープランシステムとの混在

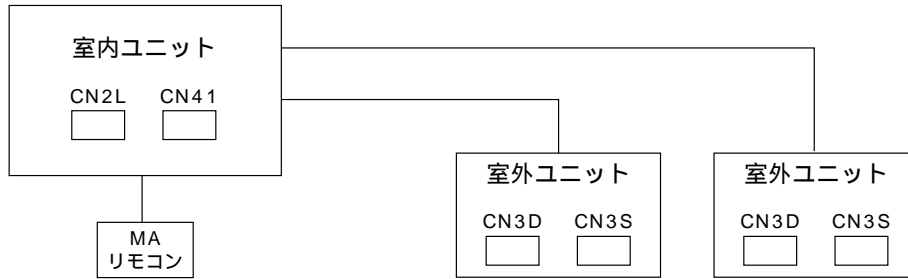


②遠方操作入力回路との混在



5.システム制御

【入出力コネクタの仕様】



P140機種：CN3D，CN3Sは存在しません。

(1) 室内ユニットのシステム制御

①各種発停制御（室内ユニット設定）

室内ユニットのDIPSW（SW4-1）により、室内ユニット毎の発停制御が可能です。

機能	室内ユニット復電時の動作	設定(SW4) (注1)
		1
停電自動復帰	電源を切る（停電する）前に運転していた場合に運転開始（約3分後）	ON
	電源を切る（停電する）前の状態にかかわらず停止のまま	OFF

(注1) 室内ユニットグループ内の全ユニットのDIPSWの設定が必要です。

②入出力信号用コネクタを使用した各種制御（各種オプションによる接続）

分類	使用用途	機能	使用端子	使用オプション
入力 (注1)	室内ユニットグループ毎にHA, JEMA規格によるHA端子で、発停制御をする方法 *本規格に合致したテレコンからの発停制御として使用可能	発停(パルス) (HA, JEMA規格) (注2)	CN41	
出力	室内ユニットグループ毎にロスナイを連動する方法(注3) *マイコンタイプのロスナイをご使用ください。	ロスナイ発停	CN2L	ロスナイ連動ケーブル (PAC-SB81VS)

(注1) 信号入力は、グループ内の親機のみ接続してください。

(注2) グループ運転で発停入力を使用する場合は、手元リモコンが必要です。(MAリモコン又はM-NETリモコン)

(注3) 室内ユニット～ロスナイ間の配線は、シールド線(CVVS, CPEVS:1.25mm²)を使用して接続ください。

また、シールド線を室内制御基板へ接続する際、別売PAC-SB81VS(ロスナイ連動ケーブル)にて中継してください。
シールド線のアースは、室内ユニットBOX内のアースネジへ固定してください。

(i) 入出力信号組合せ制限

	発停の種類		HA発停 (JEMA)	復電自動復帰
	1	2		
1	HA発停(JEMA)	CN41	/	/
2	復電自動復帰	—		

(注1) HA発停(JEMA)・復電自動復帰は、遠方/手元切換(DIPSW1-5・6)が“手元”(OFF)に設定されている場合のみ使用可能です。ご使用には十分ご注意ください。

(ii) HA発停(JEMA)入力仕様

項目	内容
入力信号	パルス信号(a接点)
パルス規格	<p style="text-align: center;">200ms以上</p>

(2) 室外ユニットのシステム制御

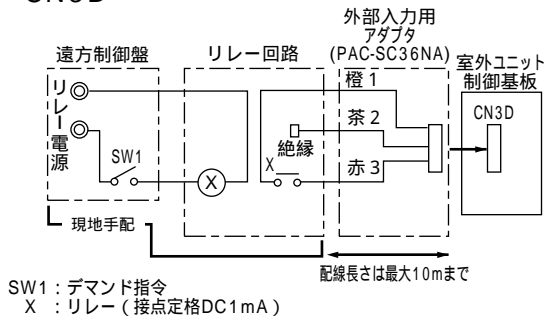
●入出力信号用コネクタを使用した各種制御（各種オプションによる接続）

分類	使用用途	機能	使用端子
入力 (注1)	室外ユニットへの外部からの入力により、冷暖房運転の禁止（サーモOFF）制御をする方法 *冷媒系統毎のデマンド制御として使用可能	デマンド(レベル)	CN3D
	スノーセンサからの降雪信号を受けて、強制的に室外ユニットを送風運転します。	スノーセンサ 信号入力(レベル)	CN3S

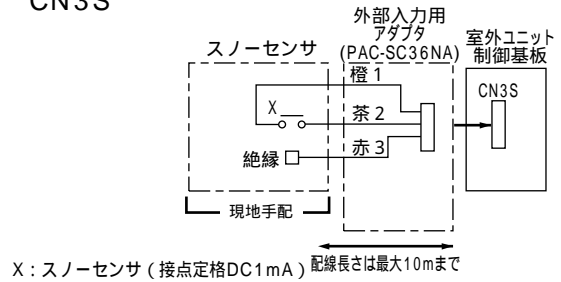
(注1) 適用機種 PUHK-P224/P280AW-A, PUK-P224/P280AW-A, PUHK-P224/P280UAW-A, PUK-P224/P280UAW-A

室外ユニット 入出力コネクタ

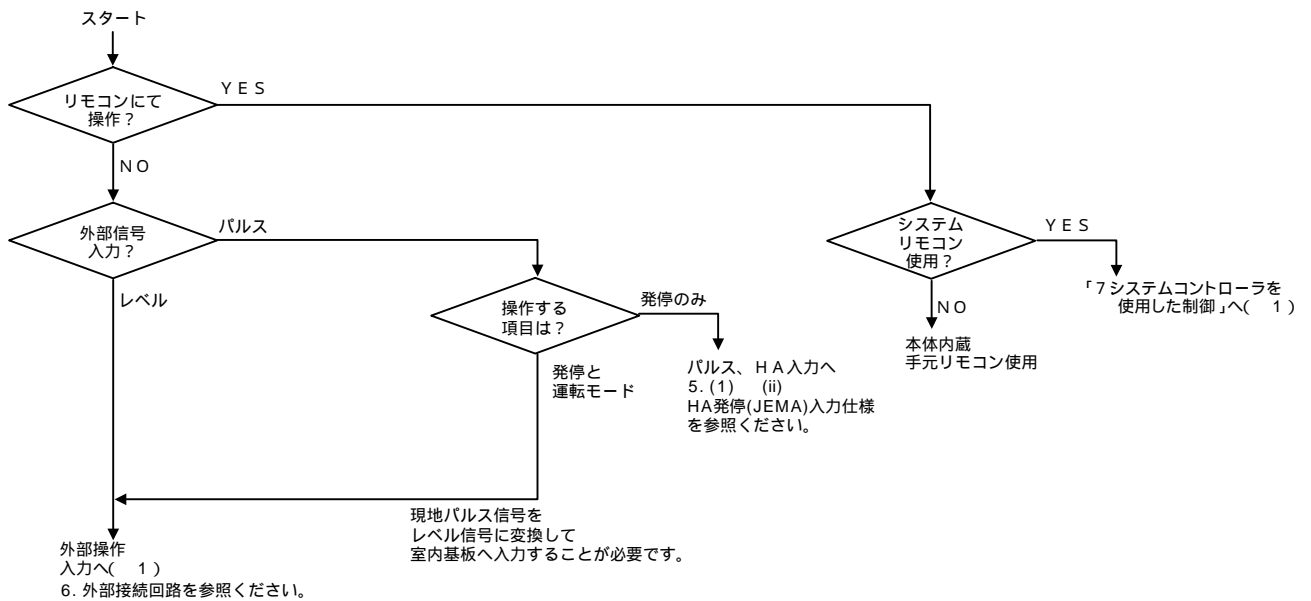
CN3D



CN3S



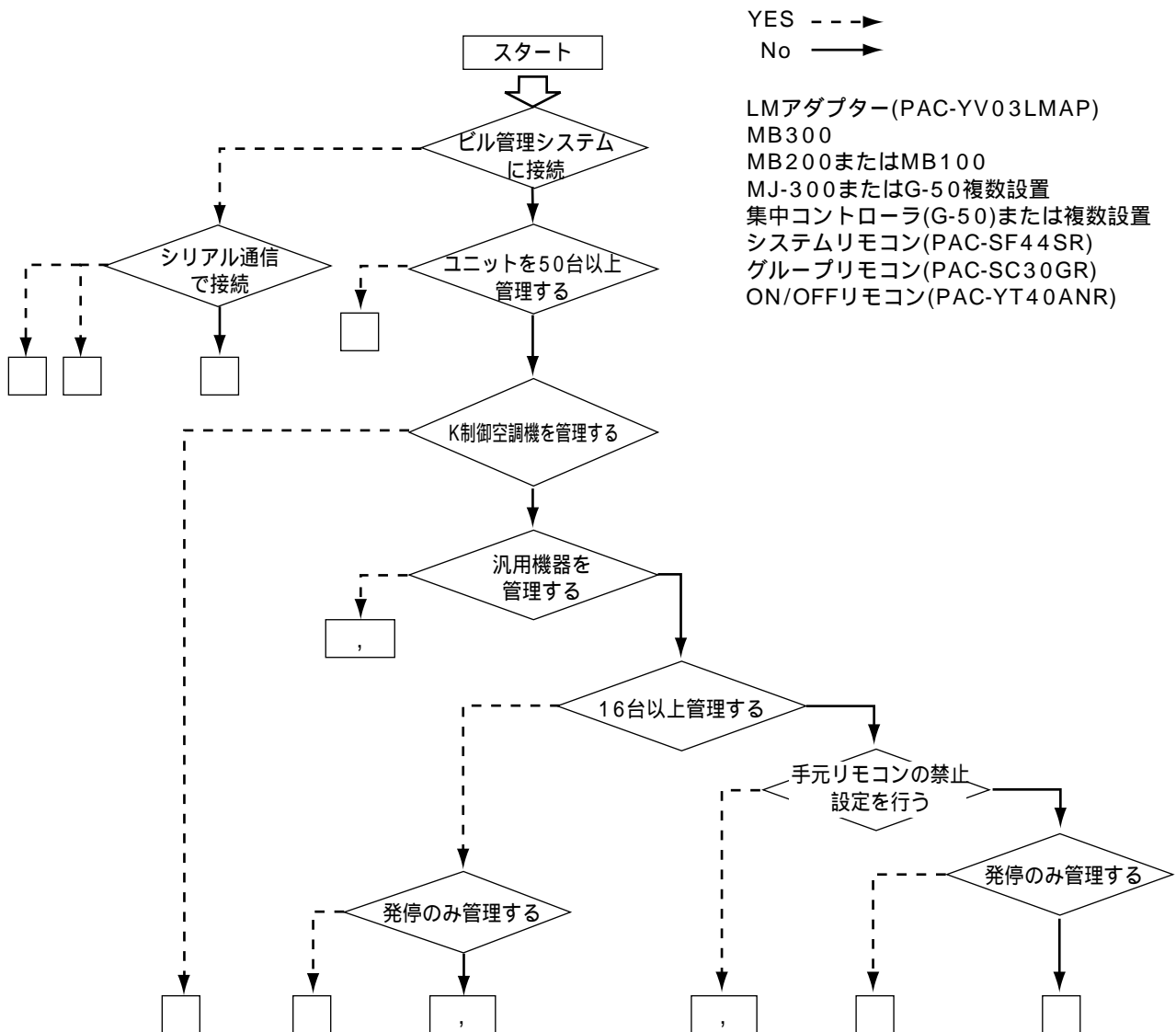
発停操作選択フローチャート



※1 外部操作入力とシステムコントローラは併用できません。

(3) システムコントローラを使用した制御 (※PFTK-P・AWM-A, PFAK-P・AWM-A-F形の場合)

①システムコントローラの選定



MBシリーズ、LMアダプターについての詳細はそれぞれのカタログ・ハンドブックを参照してください。上記フローチャートは、一般的なシステム選定の目安であり、実際には建物の用途、運営方法などを考慮したシステム選定が必要です。また、上記で選定したコントローラ同士の組み合わせによるシステム構築も可能です。課金については、対応しておりません。別途ご相談ください。

②各システムコントローラの特長

	グループリモコン PAC-SC30GR	システムリモコン PAC-SF44SR	ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR	スケジュールタイマー (M-NET対応) PAC-YT34ST	集中コントローラ G-50	
管理可能ユニット台数/グループ数	16台/8G	50台/50G	50台/16G	50台/50G	50台/50G	
K制御ユニットの管理	×	×	×	×		
汎用機器(汎用インターフェース使用)の管理	×				×	
機能	運転/停止					
	空調機運転モード切換		×	(注7)		
	室温設定		×	(注7)		
	風速設定	×	×	×	×	
	風向設定	×	×	×	×	
	手元操作への禁止/許可設定(注6)	×		(外部入力)	(注7)	(注8)
	特定モードへの操作禁止設定	×	(一括のみ)	×	×	×
	室温表示		×	×	×	
	異常内容表示			(LED点滅)		
	異常履歴			×	×	
	スケジュール	(注1)	(注1)	(注1)		
	グループ制御換気機器への換気モード操作	×		×	×	
	換気機器の連動運転			(注2)		
	外部入力緊急停止	×	(一括のみ)	(一括のみ)	(一括のみ)	(一括のみ)
	外部出力(運転状態、異常出力)	×	(一括のみ)	(一括のみ)	(一括のみ)	(一括のみ)
その他	手元リモコンなしシステム		×	×		
	伝送線接続位置(室内外系/集中管理系)	/	/	/	/	
	グループリング/タイマー情報バックアップ(注4)				/	
	現在時刻停電保証時間	×	×	×	1週間(注5)	1週間(注5)

○：グループ又は一括操作可能 △：条件付きで可能 ◇：グループ操作可能・対応可能 ×：機能なし・対応不可

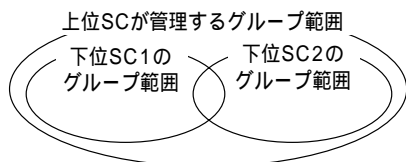
- (注1) スケジュールタイマー(M-NET対応)PAC-YT34STを接続することにより設定可能です。
- (注2) 換気単独運転は設定できませんが、室内ユニットの運転/停止動作に連動して運転/停止することは可能です。
- (注3) ON/OFFリモコン及びスケジュールタイマー(M-NET対応)は運転モードなどの操作機能がないため、基本的には手元リモコンなしシステムでのご使用はできません。
- (注4) グループリング情報/タイマー情報は、不揮発メモリに記憶していますので停電時記憶情報は保持されます。しかし、落雷や伝送線ノイズが大きい場合などは記憶情報が消失する可能性があります。
- (注5) 伝送線より電圧を受電し、内部のコンデンサに充電を行います。充電には約1日必要です。(電池とは異なり、内部コンデンサの交換は不要です。)
- (注6) 手元操作禁止制御を行うシステムコントローラはシステム系統内で1台としてください。
- (注7) スケジュールの実行項目としての制御と外部入力による制御が可能です。
- (注8) 機能設定により他のシステムコントローラの操作を禁止にすることが可能です。

(i)上位SC設定 / 下位SC設定とグループ管理について

管理する空調システムの同一系統に2台以上システムコントローラを併用する場合に、上位 / 下位SCの設定が必要となります。(G-50を除く)

上位SC設定：空調システムの系統全体を管理するシステムコントローラ

下位SC設定：上位SC設定と同一範囲或いは、その範囲以内のグループを管理するシステムコントローラ



- * 下位SCは上位SCが管理するグループ以外は管理できません。
- * 管理するグループが全く異なればシステムに上位SCが2台以上存在しても構いません。

通常は、機能が大きいシステムコントローラを上位設定にします。

従って、G-50 > PAC-SF44SR > PAC-YT34ST > PAC-YT40ANR > PAC-SC30GR > PAC-YV03LMAPの順になります。

- * 上位機種(MJ-300など)が接続される場合は、G-50を除く上記5機種は必ず下位設定となります。
- * G-50は上位設定のみです。

(ii)システムコントローラと室内ユニットの外部入力との組合せ制限

	発 / 停の種類 (室内ユニット外部入力コネクタ)		システムコントローラ 接続なし	システムコントローラ 接続あり
1	遠方 / 手元切換	CN32		
2	パルス発 / 停	CN51		
3	HA発 / 停(JEMA)	CN41		
4	電源発 / 停	-		
5	停電自動復帰	-		

遠方 / 手元切換 (CN32) が “遠方” 設定されている場合は、システムコントローラの発 / 停操作及び手元リモコン禁止機能は使用できません。

(iii)システムコントローラの外部入力について

外部入力による緊急停止信号により、システム内全てのユニットを停止させ、又、全てのシステムコントローラ、ならびに手元リモコンからの操作が禁止されます。(G-50は操作禁止レベルを手元リモコンのみに変更可能)

③システムコントローラの電源

システムコントローラはM-NET伝送線からの給電となります。(LMアダプターを除く)

(i)集中管理用伝送線に接続する場合 (LMアダプターを除く)

伝送線用給電ユニット (PAC-SC33KU/PAC-SC34KU) が必要です。

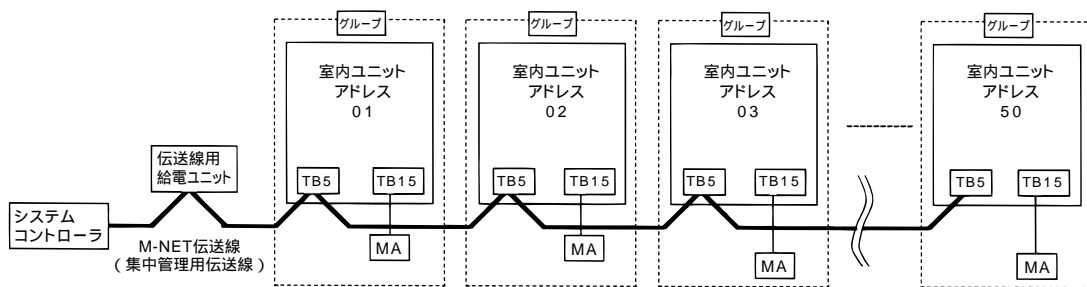
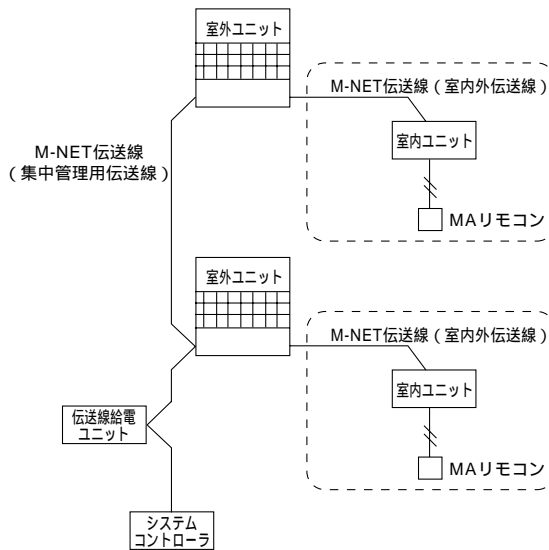
それぞれの伝送線用給電ユニットにより接続できるシステムコントローラの台数が異なります。

伝送線用給電ユニット	システムコントローラ	
	ON/OFFリモコン (注1)	集中コントローラ(G-50)
PAC-SC33KU	1~2台	1台 (注2)
PAC-SC34KU	1~5台	1~2台 (注3)

(注1) システムリモコン、グループリモコン及びスケジュールタイマー (M-NET対応) は、ON/OFFリモコンに比べ消費電力が1/2です。従って、1台につき1/2台として照らし合わせてください。

(注2) この場合、他のシステムコントローラは集中管理用伝送線に一切接続できません。システムに接続する場合、その他のシステムコントローラを室内外伝送線側に接続してください。

(注3) 集中コントローラ(G-50)を1台のみ接続した場合は3台まで、G-50以外のシステムコントローラを追加接続できます。(G-50を2台接続の場合、他のシステムコントローラ1台まで)



(ii) LMアダプターの場合

LMアダプター本体の電源は単相AC200Vが必要です。

* LMアダプターのみ接続する場合は伝送線用給電ユニットは不要ですが、LMアダプターの給電切換コネクタ (CN41)を(CN40)に差し替えて、伝送線への給電をLMアダプターから給電するようにしてください。

④システムコントローラの外部入出力仕様 (LMアダプターを除く)

外部入出力使用時に使用するリレー、ダイオード、電源、ランプ、延長ケーブルなどは現地手配です。また、外部入出力接続用の専用ケーブルが必要です。集中コントローラ、システムリモコン、スケジュールタイマー (M-NET対応) ON/OFFリモコンを使用する場合、別売設定されていますので別途手配が必要です。

集中コントローラ(G-50)用 : PAC-YG10HA
 システムリモコン、スケジュールタイマー (M-NET対応)
 ON/OFFリモコン用 : PAC-YT41HA

(i) システムリモコン、スケジュールタイマー (M-NET対応) ON/OFFリモコンの場合

(A) 外部入力

機能表

機能設定SWの設定により、下記の機能を選択できます。

システムリモコン、スケジュールタイマーについては、手元リモコン操作禁止設定不可 (.5.(3). 参照) の場合、外部入力機能は緊急停止のみになります。

No.	外部入力信号の機能	システムリモコン		スケジュールタイマー		ON/OFFリモコン		入力状態
		SW3		SW3		SW4		
		2	3	2	3	2	3	
1	外部入力を使用しない。	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	-
2	緊急停止 / 通常を切換える。 緊急停止中、全ユニットを停止させ本機及び、手元リモコンの運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルタリセットの操作が禁止されます。 ON/OFFリモコンの場合、運転 / 停止操作のみ禁止となります。	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	レベル入力
3	運転 / 停止を設定する。 入力状態より、全ユニットを運転 / 停止します。 本機能を使用中、本機及び、手元リモコンの運転 / 停止操作が禁止となります。	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	レベル入力
4	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転 / 停止したり、全手元リモコンの操作を禁止します。禁止入力の場合、手元リモコンの運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルタリセットの操作が禁止されます。本機からの操作は可能です。 ON/OFFリモコンの場合、運転 / 停止操作のみ禁止となります。	ON	ON	ON	ON	ON	ON	パルス入力 (0.5 ~ 1秒)

配線仕様

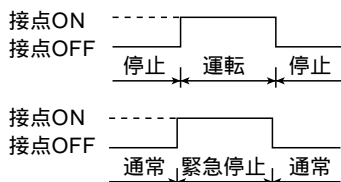
CN2	リード線	緊急停止 / 通常のレベル信号	運転 / 停止のレベル信号	運転 / 停止、禁止 / 許可のパルス信号
1番	緑	緊急停止 / 通常入力	運転 / 停止入力	運転入力
2番	黄	未使用	未使用	停止入力
3番	橙	未使用	未使用	手元リモコン操作禁止入力
4番	赤	未使用	未使用	手元リモコン操作許可入力
5番	茶	コモン (共通) OV		

入力信号

(レベル信号)

(パルス信号)

(例)運転 / 停止の場合



信号1(運転)

信号2(停止)

禁止 / 許可入力も同様です。



(レベル信号)

緊急停止 / 通常信号選択時、外部入力信号の接点OFF ONの変化時に通常 緊急停止、接点ON OFFの変化時に緊急停止 通常となります。

運転 / 停止信号選択時、外部入力信号の接点OFF ONの変化時に停止 運転、接点ON OFFの変化時に運転 停止となります。

(パルス信号)

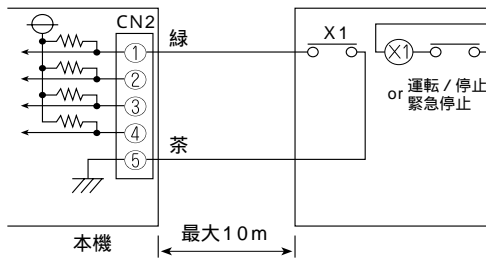
運転中に運転信号をいれても運転のままです。(停止、禁止、許可も同様です。)

手元リモコン禁止とした場合、手元リモコンによる運転 / 停止の操作を禁止します。

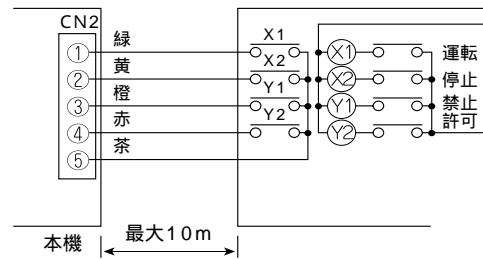
パルス幅 (接点ON時間) は0.5 ~ 1秒としてください。

推奨回路例

(レベル信号)



(パルス信号)



無電圧接点、延長ケーブル等は別途、現地にて手配してください。

無電圧接点の微小負荷 (最小適用負荷DC5V-1mA) に対応したリレーを使用してください。

接続ケーブルの延長は10mまでとしてください。(0.3mm²以上のケーブルを使用してください。)

使用しないケーブルはコネクタの近くでカットし、カットした部分はテープ等で確実に絶縁処理してください。

(B) 外部出力

機能

1台以上の空調機が運転しているとき「運転」、1台以上の空調機に異常が発生しているとき「異常発生中」の信号を出力します。

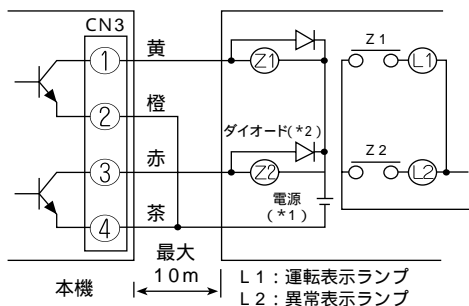
配線仕様

CN3	リード線(4線、黒チューブ付き)	各端子の内容
1番	黄	運転 / 停止
2番	橙	
3番	赤	異常 / 正常
4番	茶	

* 「異常発生中」も「運転中」は出力します。

推奨回路例

リレーを駆動させる場合



リレー-Z1、Z2は次の仕様のもを使用ください。

操作コイル

定格電圧：DC12V、DC24V

消費電圧：0.9W以下

(*1) 使用するリレーに合わせて電源を別途手配してください。(DC12VまたはDC24V)

(*2) リレーコイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

運転中、異常発生中に各素子がONします。

接続ケーブルの延長は、10mまでとしてください。

リレー、ランプ、ダイオード、延長ケーブル等は別途、現地にて手配してください。

(ii)集中コントローラ(G-50)の場合

(A) 外部入力

機能表

機能設定SWの設定により、下記の機能を選択できます。

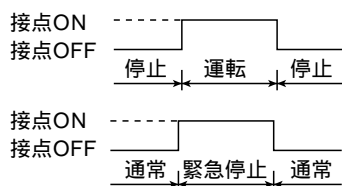
No.	外部入力信号の機能	機能設定SW		入力状態
		6	7	
1	外部入力を使用しない。	OFF	OFF	-
2	緊急停止 / 通常を切換える。 緊急停止中、全ユニットを停止させ本機及び、手元リモコンの 運転 / 停止操作が禁止となります。	OFF	ON	レベル入力
3	運転 / 停止を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転 / 停止します。 本機能を使用中、本機及び、手元リモコンの運転 / 停止操作が 禁止となります。	ON	OFF	レベル入力
4	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転 / 停止したり、全手元リモ コンの操作を禁止します。禁止入力の場合、手元リモコンの運 転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターリセットの操作 が禁止されます。本機からの操作は可能です。	ON	ON	パルス入力 (0.5 ~ 1秒)

配線仕様

CN2	リード線	緊急停止 / 通常のレベル信号	運転 / 停止のレベル信号	運転 / 停止、禁止 / 許可のパルス信号
5番	橙	緊急停止 / 通常入力	運転 / 停止入力	運転入力
6番	黄	未使用	未使用	停止入力
7番	青	未使用	未使用	手元リモコン操作禁止入力
8番	灰	未使用	未使用	手元リモコン操作許可入力
9番	赤	外部DC 電源 + 12Vまたは + 24V		

入力信号

(レベル信号)



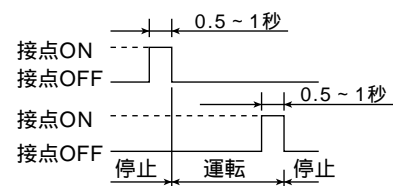
(パルス信号)

(例)運転 / 停止の場合

信号1(運転)

信号2(停止)

禁止 / 許可入力も同様です。



(レベル信号)

緊急停止 / 通常信号選択時、外部入力信号の接点OFF ONの変化時に通常 緊急停止、接点ON OFFの変化時に緊急停止 通常となります。

運転 / 停止信号選択時、外部入力信号の接点OFF ONの変化時に停止 運転、接点ON OFFの変化時に運転 停止となります。

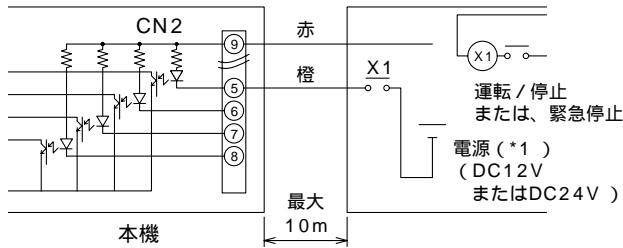
(パルス信号)

運転中に運転信号をいれても運転のままです。(停止、禁止、許可も同様です。)

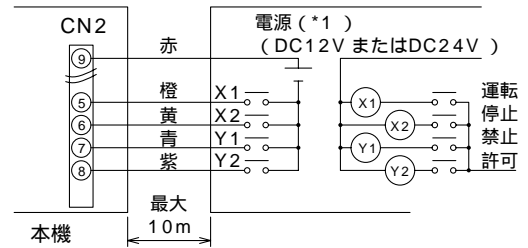
手元リモコン禁止とした場合、手元リモコンによる運転 / 停止・運転モード・温度設定・フィルターリセットの操作を禁止します。

パルス幅(接点ON時間)は0.5 ~ 1秒としてください。

推奨回路例
(レベル信号)



(パルス信号)



リレー、DC 電源、延長ケーブル等は別途、現地にて手配してください。
 接続ケーブルの延長は10m までとしてください。(0.3mm²以上のケーブルを使用してください。)
 使用しないケーブルはコネクタの近くでカットし、カットした部分はテープ等で確実に絶縁処理してください。

(B) 外部出力

機能

1台以上の空調機が運転しているとき「運転」、1台以上の空調機に異常が発生しているとき「異常発生中」の信号を出力します。

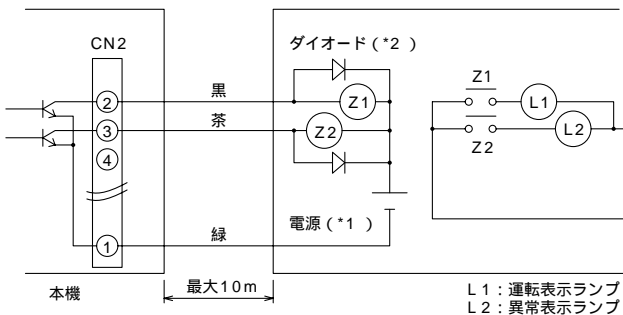
配線仕様

CN2	リード線	各端子の内容
1番	緑	外部出力共通GND (外部DC電源GND)
2番	黒	運転 / 停止
3番	茶	異常 / 正常

* 「異常発生中」も「運転中」は出力します。

推奨回路例

リレーを駆動させる場合



リレー Z1、Z2 は次の仕様のもを使用ください。
 操作コイル
 定格電圧：DC12V、DC24V
 消費電力：0.9W 以下
 (*1) 使用するリレーに合わせて電源を別途手配してください。(DC12V またはDC24V)
 (*2) リレーコイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

運転中、異常発生中に各素子がON します。
 接続ケーブルの延長は、10m までとしてください。
 リレー、ランプ、ダイオード、延長ケーブル等は別途、現地にて手配してください。

⑤システムコントローラ使用時の注意点

システムコントローラ	項目	内 容									
		IC	A_IC	K_IC	RAC	連LC	単LC	汎用	多汎用		
グループリモコン PAC-SC30GR	管理規模・機器 (注1)	16台 / 8G			x			x	x	x	
	接続位置	・集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 *必ず[5.(3)③システムコントローラの電源]をご覧ください。									
	管理グループ範囲	・最大8グループ、管理可能グループNo.はグループリモコン自己アドレスの[下2桁]～[下2桁+7] M-NETアドレスは同一に設定できないため、グループリモコンを2台使用し各々を上位設定 / 下位設定にして、全く同一のグループ範囲を管理することはできません。									
システムリモコン PAC-SF44SR	管理規模・機器 (注1)	50台 / 50G			x					x	
	接続位置	・集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 *必ず [5.(3)③システムコントローラの電源] をご覧ください。									
	管理グループ範囲	・最大50グループ、管理可能グループNo.は1～50。									
	手元リモコン 操作禁止	・機能設定スイッチ設定により「操作禁止送信有効」に設定した場合に有効になります。 ・本機から手元操作禁止を設定する場合、室内ユニットや他のシステムコントローラからの禁止制御は使用できません。									
	運転モード制限 機能	・本機能は設備用室内ユニットのグループに接続される手元リモコンに対してのみ有効です。									
	外部入力	・本機能の停止入力を使用してもRAC機種は、停止しないときがあります。RACを管理している時は、本機能は使用しないでください。 ・本機から手元禁止を設定入力する場合、室内ユニットの遠方 / 手元切換 (CN32) は使用できません。									
ON-OFFリモコン PAC-YT40ANR	管理規模・機器 (注1)	50台 / 16G			x					x	
	接続位置	・集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 *必ず [5.(3)③システムコントローラの電源] をご覧ください。									
	管理グループ範囲	・最大16グループ、管理可能グループNo.は通常自己アドレスの[下2桁]～[下2桁+15] (連番で任意で設定することも可能。)									
	外部入力	・PAC-SF44SRと同様									
スケジュール タイマー (M-MET対応) PAC-YT34ST	管理規模・機器 (注1)	50台 / 50G			x					x	
	接続位置	・集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 *必ず [5.(3)③システムコントローラの電源] をご覧ください。									
	管理グループ範囲	・最大50グループ、管理可能グループNo.は1～50。									
	スケジュール	・他のシステムコントローラから本機の手元操作設定された場合や、緊急停止中はスケジュール制御が停止します。									
	手元リモコン 操作禁止	・機能設定スイッチ設定により「操作禁止送信有効」に設定した場合に有効になります。 ・本機から手元操作禁止を設定する場合、室内ユニットや他のシステムコントローラからの禁止制御は使用できません。									
	外部入力	・PAC-SF44SRと同様									

(注1) 管理機種 IC : 設備用室内ユニット A_IC : M-NET通信対応A制御スリム機種 K_IC : K制御機種
RAC : M-NET制御インターフェースを用いたルームエアコン、ハウジングエアコン
連LC : 室内ユニットとの連動制御で運転動作するフリープランロスナイ
単LC : グループ制御で管理するフリープランロスナイ
汎用 : 汎用インターフェース(PAC-SE46DC)を介し接続された汎用機器
多汎用 : 多接点汎用インターフェース(MI-96MB)を介し接続された汎用機器

システムコントローラ	項目	内容																																										
集中コントローラ G-50	管理規模・機器 (注1)	50台 / 50G	IC	A_IC	K_IC	RAC	連LC	単LC	汎用	多汎用																																		
	K制御管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ K伝送コンバータ(形名:PAC-SC25KA)が必要です。K伝送コンバータのアドレスは、管理するK制御ユニットの最小アドレス+200を設定してください。(K伝送コンバータのアドレスはシステムコントローラへのグループ登録は不要です。) ・ アドレス“0”のシステムコントローラのみK制御ユニットを管理できます。本機でK制御機種を管理したい場合、必ずアドレスを“0”に設定してください。M-NETアドレスは同一に設定できないため、複数のシステムコントローラからK制御機種を管理できません。 ・ K制御ユニットとM-NET機種のユニットの両方を管理する場合、K制御室内ユニットのアドレスはM-NET機種の室内ユニットアドレスより大きくなるように設定してください。また、グループ番号とそのグループに属するK制御室内ユニットの最小アドレスが同値になるようにシステムコントローラへグループ登録してください。 																																										
	接続位置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 ・ *必ず [5.(3)③システムコントローラの電源] をご覧ください。 																																										
	管理グループ範囲	・ 最大50グループ、管理可能グループNo.は1~50																																										
	手元リモコン 操作禁止	・ 本機から手元操作禁止を設定する場合、室内ユニットや他のシステムコントローラからの禁止制御は使用できません。																																										
	外部入力	・ PAC-SF44SRと同様。																																										
LMアダプター PAC-YV03LMAP	管理規模・機器 (注1)	50台 / -	IC	A_IC	K_IC	RAC	連LC	単LC	汎用	多汎用																																		
	接続位置	機種により対応できない場合があります。																																										
	管理グループ範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ管理機能はありません。LONWORKS®からの操作は、空調機で設定したグループ構成と同一の室内ユニット(親機/子機)全てに対し操作が必要です。 																																										
* 空調機のシステム構成により対応できない場合があります、詳細は販売店にてお問い合わせください。																																												
その他	システム立上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上位SC設定のシステムコントローラにて、初期設定(グループ設定・連動設定)が必要です。グループ設定:各グループ毎にユニット、リモコン、下位システムコントローラを登録します。 ・ リモコン登録: M-NETリモコン使用時のみグループ設定します。MAリモコン(ワイヤレスリモコン含む)使用時にはリモコンをグループ設定する必要はありません。 ・ 下位システムコントローラ登録: 上位システムコントローラ(SC)で下位SCをグループ登録する際には下位SCの管理グループ範囲内で、グループ登録してください。或いは、自己アドレス変更などで下位SC側の管理グループ範囲を変更してください。(下位SC側の管理グループ範囲を変更した場合、上位SC、下位SCの両方を電源リセットし再立上げしてください。) 連動設定:室内ユニットと連動ロスナイの連動関係を登録します。 ON/OFFリモコンでは、連動設定ができません。手元リモコンにて室内ユニットと連動ロスナイとの接続関係を結んでください。その情報をON/OFFリモコンは吸い上げます。 																																										
	RAC, LC使用時の リモコン給電	<p>RAC機種は、集中管理用伝送線に接続します。ロスナイは、室内外伝送線・集中管理用伝送線どちらにも接続することが可能です。 上記ユニットを集中管理用伝送線に接続した場合、各リモコンは伝送線給電ユニットから給電され接続台数の制限があります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="5">リモコン台数(*1)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="5">集中コントローラ(G-50(*2))・ON/OFFリモコン (システムリモコン・スケジュールタイマー グループリモコン)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>0台(0台)</th> <th>1台(2台)</th> <th>2台(4台)</th> <th>3台(5台)</th> <th>4台(5台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">ユニット 伝送線用 給電</td> <td>PAC-SC34KU</td> <td>30台以下</td> <td>26台以下</td> <td>22台以下</td> <td>18台以下</td> <td>14台以下</td> </tr> <tr> <td>PAC-SC33KU</td> <td>10台以下</td> <td>6台以下</td> <td>2台以下</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>ロスナイ:ロスナイリモコン RAC:MEリモコン或いはコンパクトリモコン (但し、RACにコンパクトリモコン埋込形 PAC-SE52CRは接続できません。)</p> <p>*1 上記台数以上のリモコンを接続する場合、伝送線用給電拡張ユニット(PAC-SF46EP)が別途必要です。 伝送線用給電拡張ユニットからリモコンを50台まで給電できます。</p> <p>*2 集中コントローラ(G-50)を接続する場合は、リモコン台数8台を差し引いてください。</p>												リモコン台数(*1)							集中コントローラ(G-50(*2))・ON/OFFリモコン (システムリモコン・スケジュールタイマー グループリモコン)							0台(0台)	1台(2台)	2台(4台)	3台(5台)	4台(5台)	ユニット 伝送線用 給電	PAC-SC34KU	30台以下	26台以下	22台以下	18台以下	14台以下	PAC-SC33KU	10台以下	6台以下	2台以下	-
		リモコン台数(*1)																																										
		集中コントローラ(G-50(*2))・ON/OFFリモコン (システムリモコン・スケジュールタイマー グループリモコン)																																										
		0台(0台)	1台(2台)	2台(4台)	3台(5台)	4台(5台)																																						
ユニット 伝送線用 給電	PAC-SC34KU	30台以下	26台以下	22台以下	18台以下	14台以下																																						
	PAC-SC33KU	10台以下	6台以下	2台以下	-	-																																						

(注1)管理機種
IC : 設備用室内ユニット A_IC : M-NET通信対応A制御スリム機種 K_IC : K制御機種
RAC : M-NET制御インタフェースを用いたルームエアコン、ハウジングエアコン
連LC : 室内ユニットとの連動制御で運転動作するフリープランロスナイ
単LC : グループ制御で管理するフリープランロスナイ
汎用 : 汎用インタフェース(PAC-SE46DC)を介し接続された汎用機器
多汎用 : 多接点汎用インタフェース(MI-96MB)を介し接続された汎用機器

システムコントローラのスイッチ設定

機種	設定部位	内容	設定方法	工場出荷時の設定																											
グループリモコン PAC-SC30GR	SW3 (注1)	上位SC設定 / 下位SC設定	上位SC設定時：上位側 下位SC設定時：下位側	上位SC 設定																											
システムリモコン PAC-SF44SR	SW3-1 (注1)	上位SC設定 / 下位SC設定	OFF：システムコントローラを上位に設定する場合 ON：システムコントローラを下位に設定する場合	OFF																											
	SW3-2,3	外部入力機能切換 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">DipSW3</th> <th rowspan="2">外部入力信号の機能</th> <th rowspan="2">入力状態</th> </tr> <tr> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>外部入力使用せず</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>緊急停止 / 通常を切り換える</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>運転 / 停止を設定する</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する</td> <td>パルス入力(0.5s以上)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	DipSW3		外部入力信号の機能	入力状態	2	3	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-	2	OFF	ON	緊急停止 / 通常を切り換える	レベル入力	3	ON	OFF	運転 / 停止を設定する	レベル入力	4	ON	ON	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する	パルス入力(0.5s以上)		OFF
	No.	DipSW3		外部入力信号の機能	入力状態																										
		2	3																												
	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-																										
2	OFF	ON	緊急停止 / 通常を切り換える	レベル入力																											
3	ON	OFF	運転 / 停止を設定する	レベル入力																											
4	ON	ON	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する	パルス入力(0.5s以上)																											
SW3-4 (注2)(注3)	操作禁止設定切換	手元リモコンの操作禁止機能を設定します OFF：本機の操作禁止機能を使用しない場合 ON：本機の操作禁止機能を使用する場合		OFF																											
SW3-5 (注4)	操作禁止範囲設定切換	本機で使用する操作禁止機能の管理範囲を設定します OFF：手元リモコンのみ操作禁止する場合 ON：手元リモコン及び他のシステムコントローラを操作禁止する場合		OFF																											
SW3-6	設定温度表示切換	OFF：設定温度の表示を摂氏(°C)表示に設定する場合 ON：設定温度の表示を華氏(°F)表示に設定する場合		OFF																											
スケジュールタイマー (M-NET対応) PAC-YT34ST	SW3-1 (注1)	上位SC設定 / 下位SC設定	OFF：システムコントローラを上位に設定する場合 ON：システムコントローラを下位に設定する場合	OFF																											
	SW3-2,3	外部入力機能切換 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">DipSW3</th> <th rowspan="2">外部入力信号の機能</th> <th rowspan="2">入力状態</th> </tr> <tr> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>外部入力使用せず</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>緊急停止 / 通常を切り換える</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>運転 / 停止を設定する</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する</td> <td>パルス入力(0.5s以上)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	DipSW3		外部入力信号の機能	入力状態	2	3	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-	2	OFF	ON	緊急停止 / 通常を切り換える	レベル入力	3	ON	OFF	運転 / 停止を設定する	レベル入力	4	ON	ON	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する	パルス入力(0.5s以上)		OFF
	No.	DipSW3		外部入力信号の機能	入力状態																										
		2	3																												
	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-																										
	2	OFF	ON	緊急停止 / 通常を切り換える	レベル入力																										
	3	ON	OFF	運転 / 停止を設定する	レベル入力																										
	4	ON	ON	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する	パルス入力(0.5s以上)																										
SW3-4 (注2)(注3)	操作禁止設定切換	手元リモコンの操作禁止機能を設定します OFF：本機の操作禁止機能を使用しない場合 ON：本機の操作禁止機能を使用する場合		OFF																											
SW3-5 (注4)	操作禁止範囲設定切換	本機で使用する操作禁止機能の管理範囲を設定します OFF：手元リモコンのみ操作禁止する場合 ON：手元リモコン及び他のシステムコントローラを操作禁止する場合		OFF																											
SW3-6	設定温度表示切換	OFF：設定温度の表示を摂氏(°C)表示に設定する場合 ON：設定温度の表示を華氏(°F)表示に設定する場合		OFF																											
SW3-7 (注5)	設定温度範囲切換	OFF：設定温度範囲を19～28にする場合 ON：設定温度範囲を12～30にする場合		OFF																											
SW3-8 (注6)	フィルタサイン スイッチ禁止設定切換	OFF：手元リモコンのフィルタサインリセット スイッチを使用できるようにする場合 ON：手元リモコンのフィルタサインリセット スイッチを使用できないようにする場合		OFF																											
ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR	SW4-1 (注1)	上位SC設定 / 下位SC設定	上位SC設定時：OFF 下位SC設定時：ON	OFF																											
	SW4-2,3	外部入力機能切換 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">DipSW4</th> <th rowspan="2">外部入力信号の機能</th> <th rowspan="2">入力状態</th> </tr> <tr> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>外部入力使用せず</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>緊急停止 / 通常を切り換える</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>運転 / 停止を設定する</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する</td> <td>パルス入力(0.5s以上)</td> </tr> </tbody> </table>	No.	DipSW4		外部入力信号の機能	入力状態	2	3	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-	2	OFF	ON	緊急停止 / 通常を切り換える	レベル入力	3	ON	OFF	運転 / 停止を設定する	レベル入力	4	ON	ON	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する	パルス入力(0.5s以上)		OFF
No.	DipSW4			外部入力信号の機能	入力状態																										
	2	3																													
1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-																											
2	OFF	ON	緊急停止 / 通常を切り換える	レベル入力																											
3	ON	OFF	運転 / 停止を設定する	レベル入力																											
4	ON	ON	運転 / 停止・禁止 / 許可を設定する	パルス入力(0.5s以上)																											

(注1) “7.(2). 上位SC設定/下位SC設定とグループ管理について”を参考に設定します。

(注2) 同一システム内で操作禁止機能を使用できるのは1台です。システムコントローラが複数設置される場合は操作禁止機能を、使用しないシステムコントローラは操作禁止(無効)にしてください。
集中コントローラは出荷時(有効)設定、他のシステムコントローラは出荷時(無効)設定となっています。

(注3) “操作禁止設定をしない”に設定した場合、外部入力機能は緊急停止のみになります。

(注4) SW3-4がONの場合のみ有効です。

(注5) 本機で使用する設定温度の範囲を運転モードに関係なく切換えます。実際に設定可能な温度範囲は、室内ユニット及び室外ユニットの機種により異なります。

(注6) ON設定により常時、手元リモコンのフィルタサインスイッチ操作は禁止となります。

機種	設定部位	内容	設定方法	工場出荷時の設定																									
集中コントローラ G-50	機能設定SW1	予備	(OFF固定)	OFF																									
	機能設定SW2	予備	(OFF固定)	OFF																									
	機能設定SW3	K制御ユニット管理あり/なし	K制御ユニット管理なし: OFF K制御ユニット管理あり: ON (注7)	OFF																									
	機能設定SW4	手元リモコンへの操作禁止設定機能あり/なし	本機から手元リモコン/他のシステムコントローラの操作を禁止設定する場合: OFF 本機から手元リモコン/他のシステムコントローラの操作を禁止設定しない場合: ON (注8)	OFF																									
	機能設定SW6,7	外部入力機能切換		OFF																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">機能設定SW</th> <th rowspan="2">外部入力信号の機能</th> <th rowspan="2">入力状態</th> </tr> <tr> <th>6</th> <th>7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>外部入力使用せず</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>緊急停止/通常を切り換える</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>運転/停止を設定する</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>運転/停止・禁止/許可を設定する</td> <td>パルス入力(0.5s - 1.0s)</td> </tr> </tbody> </table>	No.		機能設定SW		外部入力信号の機能	入力状態	6	7	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-	2	OFF	ON	緊急停止/通常を切り換える	レベル入力	3	ON	OFF	運転/停止を設定する	レベル入力	4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する
No.	機能設定SW				外部入力信号の機能	入力状態																							
	6	7																											
1	OFF	OFF	外部入力使用せず		-																								
2	OFF	ON	緊急停止/通常を切り換える	レベル入力																									
3	ON	OFF	運転/停止を設定する	レベル入力																									
4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する	パルス入力(0.5s - 1.0s)																									
機能設定SW8	操作禁止時の範囲手元リモコンのみ/システムコントローラ含む	操作禁止設定時、手元リモコン及び本機以外のシステムコントローラの操作を禁止: OFF 手元リモコンのみ操作禁止: ON	OFF																										
LMアダプター PAC-YV03LMAP	SW1-1 (注9)	手元リモコン操作禁止設定切換	操作禁止nv(入力/出力)を使用しない場合: OFF 操作禁止nv(入力/出力)を使用する場合: ON	OFF																									
	SW1-2	システムコントローラ併用設定切換	システムコントローラを併用しない場合: OFF システムコントローラを併用する場合: ON	OFF																									
	SW1-5	M-NETロスナイ設定切換 SW1-2がOFFの場合のみ有効	空調機側でロスナイと室内ユニットを連動する場合: OFF 空調機側でロスナイと室内ユニットを連動せずに、LonWorks®からロスナイを直接操作する場合: ON	OFF																									
	CN41	LMアダプターを接続の場合は、LMアダプターの給電切換コネクタ(CN41)を(CN40)に差し替えます。		CN41																									

* LonWorks®に接続される機器の管理内容により、LMアダプター上のスイッチ設定が異なります。管理内容を十分ご確認の上、システム設定を行ってください。

- (注7) K制御ユニットを管理できるシステムコントローラはアドレス“0”のコントローラのみです。アドレス“0”以外のシステムコントローラでは機能設定SW3をONに設定しないでください。
- (注8) 同一システムにシステムコントローラが複数設置される場合、手元リモコン(システムコントローラも含む)の操作を禁止設定できるシステムコントローラはシステムに1台です。本機以外のシステムコントローラから手元リモコン(システムコントローラも含む)の操作を禁止する場合は、必ず機能設定SW4をONに設定してください。この場合、本機から手元リモコンへの操作禁止設定はできません。
- (注9) LMアダプターから他のシステムコントローラの操作を禁止することはできません。

⑦手元リモコンの機能比較

	MAリモコン		M-NETリモコン	
	MAリモコン(注1)	ワイヤレスリモコン	MEリモコン	コンパクトリモコン(注2)
運転/停止				
空調機運転モード切換				×
室温設定				
風速設定	×	×	×	×
風向設定	×	×	×	×
タイマー制御(注3)	1日タイマー			×
	毎日タイマー	×	×	×
	簡単切タイマー	×	×	×
室温設定範囲制限機能(注4)	×	×		×
リモコン操作簡易ロック機能(注5)	×	×		×
室内ユニットと換気連動時の換気単独運転		×		×
リモコンからの換気連動登録		×		×

- (注1) MAリモコンは、本体に内蔵されています。
- (注2) コンパクトリモコンは、運転モード及び風向設定ができない為、MAリモコン(本体内蔵)またはMEリモコン、システムコントローラとの併用が必要です。
- (注3) 1日タイマー: 一回ずつのON/OFF設定ができ、1日のみ有効です。
毎日タイマー: 一回ずつのON/OFF設定ができ、毎日同時刻にタイマー運転が可能です。
簡単切タイマー: 30分~4時間の間で切タイマーを設定できます。
(簡単切タイマーモードでは、次回運転時にも自動的に切タイマーが作動し、切り忘れ防止用のタイマーとしても使用できます)
- (注4) 通常、室温調節範囲は冷房時19~30、暖房時17~28の範囲で自由に温度設定が可能ですが、この室温調節範囲を冷房時は下限温度、暖房時は上限温度を予め任意の温度値に制限する機能です。これにより、冷房時は通常より高め、暖房時は低めの設定温度範囲としておけば、過度の冷房、暖房運転を防ぎ、手軽に省エネ対策が実現できます。
- (注5) リモコンの全ボタンをロックあるいは、運転/停止ボタン以外のボタンをロックすることが可能です。

⑧据付スペース

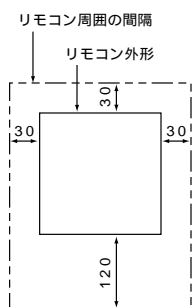
- ・システムコントローラは、十分強度がある場所に設置してください。
- ・0 以下、40 以上になる場所、直射日光のあたる場所には据え付けしないでください。
- ・浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据え付けしないでください。

(i) グループリモコン、システムリモコン、スケジュールタイマー (M-NET対応)、ON/OFFリモコンの場合

スイッチボックス、壁どちらかに設置することができます。

据付位置を決定する場合、下図に示すスペースを確保してください。

また、露、水滴、虫などの進入を防ぐために、伝送線引込口をパテで確実にシールしてください。



スイッチボックスに設置する場合は、下記部品を現地にて手配が必要です。

- ・2個用スイッチボックス (JIS C8336)
- ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ロックナット、ブッシング (JIS C8330)

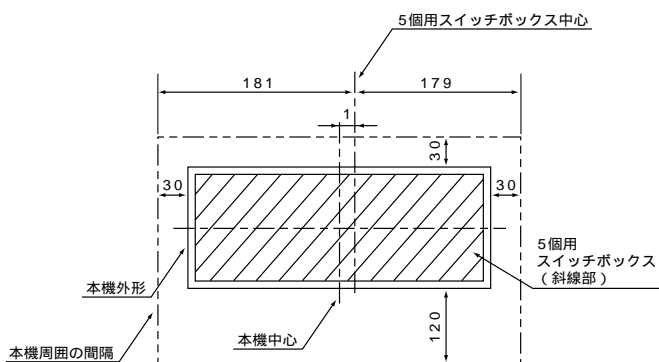
(ii) 集中コントローラの場合

スイッチボックスを使用し設置します。

据付位置を決定する場合、下図に示すスペースを確保してください。

但し、スイッチボックスに取付けた時、下図のように左方向へ1mmずれます。

また、露、水滴、虫などの進入を防ぐために、伝送線引込口をパテで確実にシールしてください。



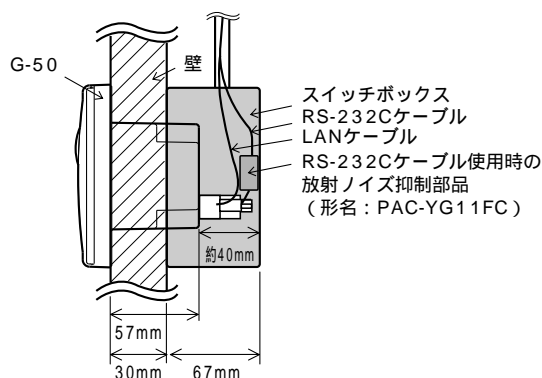
スイッチボックスに設置する場合は、下記部品を現地にて手配が必要です。

- ・5個用スイッチボックス (JIS C8336 (カバー付))
- ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ロックナット、ブッシング (JIS C8330)

G-50を2台以上、横並びで据え付ける場合、製品間には30mm以上の間隔を確保してください。また縦方向に同様の間隔で並べて使用しますと、カバーの取り外しが困難になります。LANやRS-232Cコネクタを接続するときに、コネクタとの配線分の空間が必要です。本機とスイッチボックス背面との距離を確保してください。

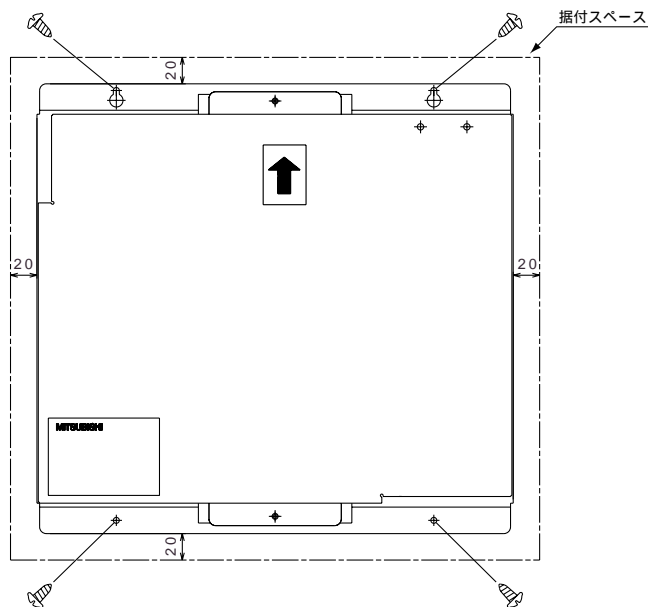
手配していただくLANケーブル、RS-232Cケーブルの仕様にもよりますが、本体底面よりLANコネクタが約20mm、RS-232Cコネクタが約40mm程度突出する場合があります。空間確保のため、できる限りコネクタ部が小さいケーブルを準備願います。

参考例) 壁厚30mmで、スイッチボックスの深さ67mmを使用したときの設置例



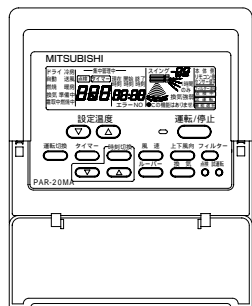
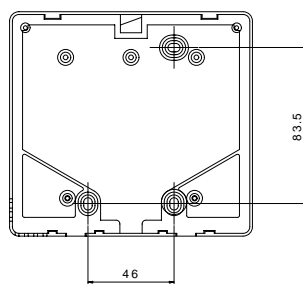
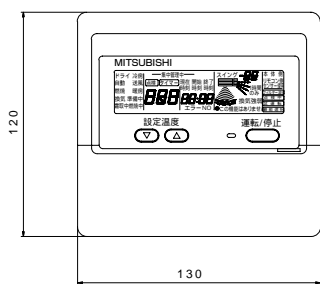
(iii)LMアダプター (PAC-YV03LMAP) の場合

- ・据付時は、本体カバーの取付けおよび取外し可能なスペースを確保ください。
- ・下図のようにM4ネジを使用し、固定します。落下の原因となるため、必ず4ヶ所固定してください。
- ・本製品は防水構造ではありません。必ず制御盤内に設置してください。
- ・3.3kgの荷重に耐えられる場所に設置してください。



⑨製品仕様

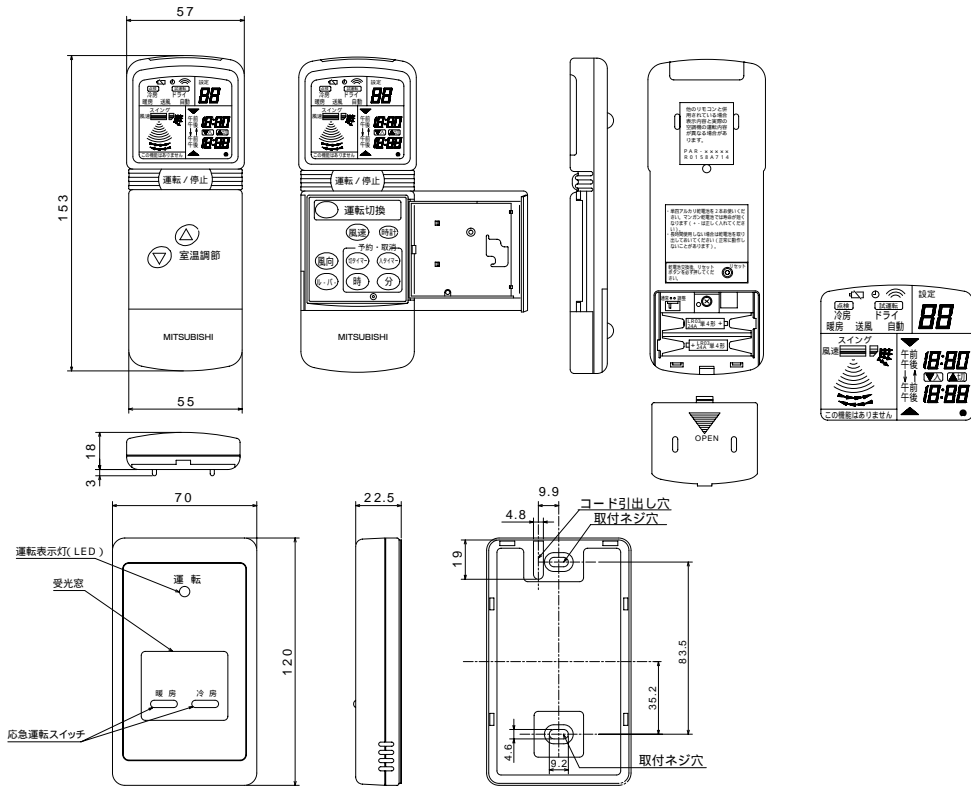
■MAリモコン PAR-20MA



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットのリモコン線より受電
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4 48Y7 92 / 0 66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC-G-261)
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。 MAリモコン線は、無極性2線でMAリモコン専用端子に接続。

■ワイヤレスリモコン PAR-FL39M/FA31M



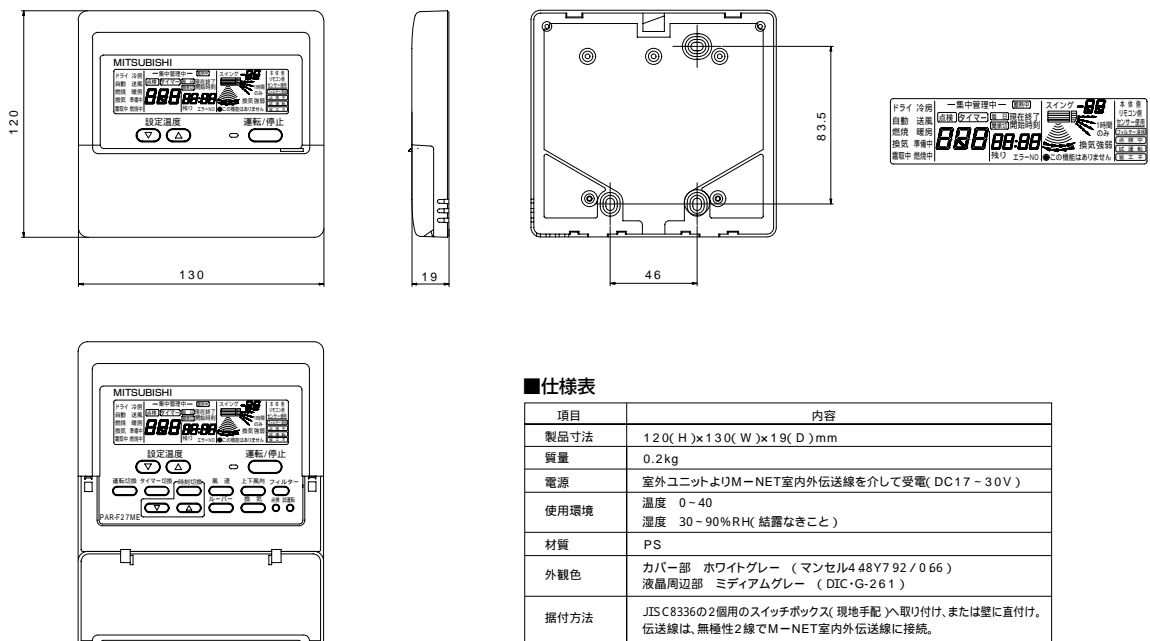
■リモコン本体仕様表

項目	内容
製品寸法	リモコン:153(H)×57(W)×21(D)mm
電源	リモコン:DC3V(単3乾電池×2)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4 48Y 92 / 0 66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)
付属品	リモコンホルダー

■MA受光アダプタ仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×70(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットのリモコン線より受電
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	ホワイトグレー (マンセル4 48Y 92 / 0 66)
据付方法	JIS C 8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け。 MAリモコン線は、無極性2線でMAリモコン専用端子に接続。

■MEリモコン PAR-F27ME

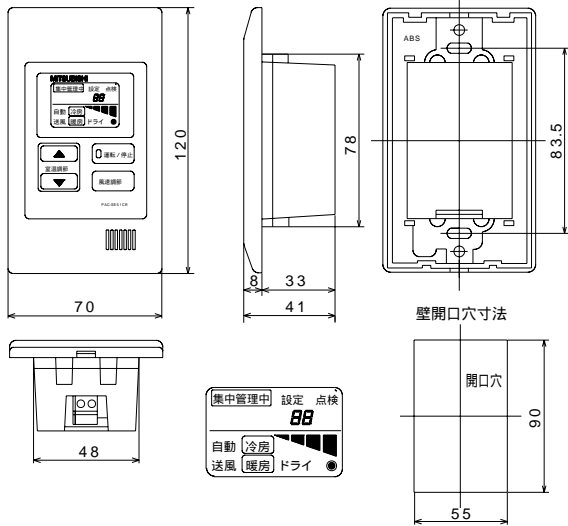


■仕様表

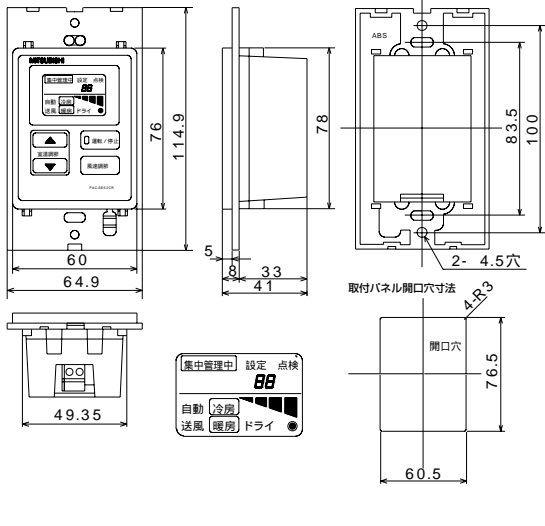
項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	室外ユニットよりM-NET室内外伝送線を介して受電(DC17～30V)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4 48Y 92 / 0 66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC-G-261)
据付方法	JIS C 8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外伝送線に接続。

■コンパクトリモコン PAC-SE51CR/52CR

PAC-SE51CR



PAC-SE52CR

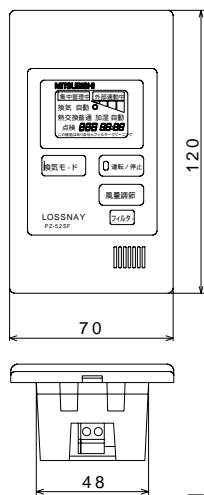


■仕様表

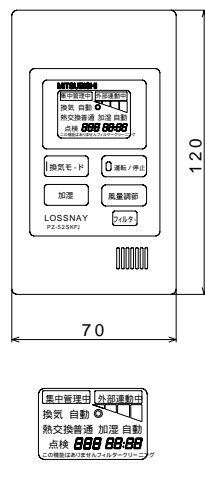
項目	内容	
	PAC-SE51CR	PAC-SE52CR
製品寸法	120(H)×70(W)×41(D)mm	114.9(H)×64.9(W)×41(D)mm
質量	0.2kg	
電源	室外ユニットよりM-NET室内外伝送線を介して受電(DC17~30V)	
使用環境	温度 0~40 湿度 30~90%RH(結露なきこと)	
材質	ABS	
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)	
据付方法	JIS C8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外伝送線に接続。	

■ロスナイリモコン PZ-52SF/52SKF₂

PZ-52SF



PZ-52SKF₂

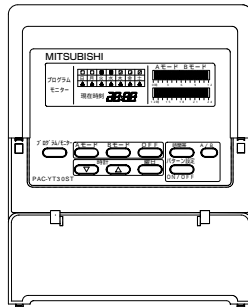
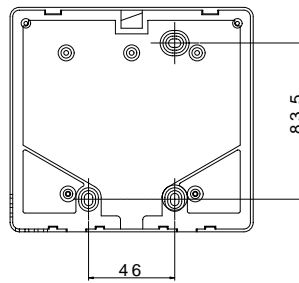
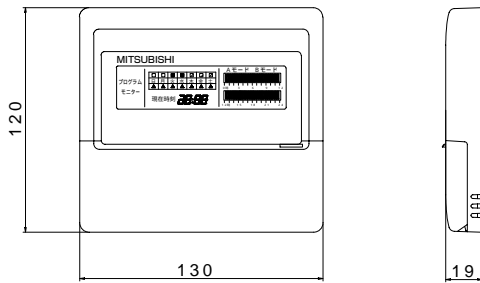


■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×70(W)×41(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又はフリープラン室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0~40 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)
据付方法	JIS C8336の1個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け。 伝送線は、無極性2線でフリープランM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

■スケジュールタイマー（手元リモコン用）

PAC-YT30ST



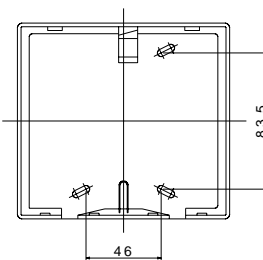
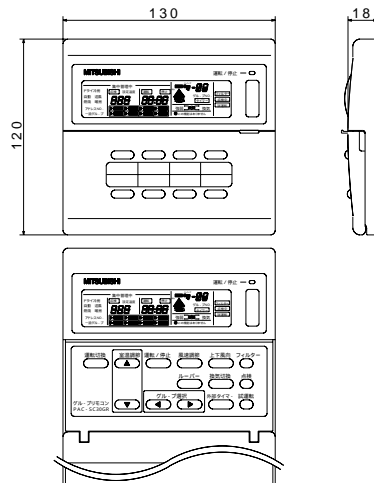
■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	手元リモコンより受電
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	カバー部 ホワイトグレー（マンセル448Y7.92/0.66） 液晶周辺部 ミディアムグレー（DIC・G-261）
据付方法	JIS C8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け、製品付属のコネクタ付5芯ケーブルにて手元リモコンと接続。

PFAK・PFTK・PFAK-F機種の場合は、別途MAリモコン(PAC-20MA)を手配しセットでご使用ください。

■グループリモコン

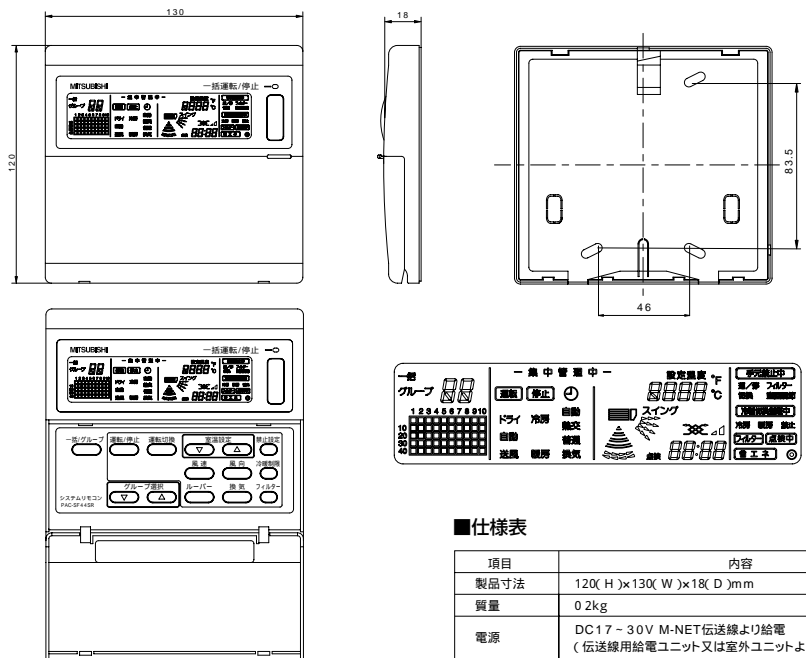
PAC-SC30GR



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×18(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17～30V M-NET伝送線より給電(伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー（マンセル448Y7.92/0.66） 液晶周辺部 ミディアムグレー（DIC551）
据付方法	JIS C8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け、伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

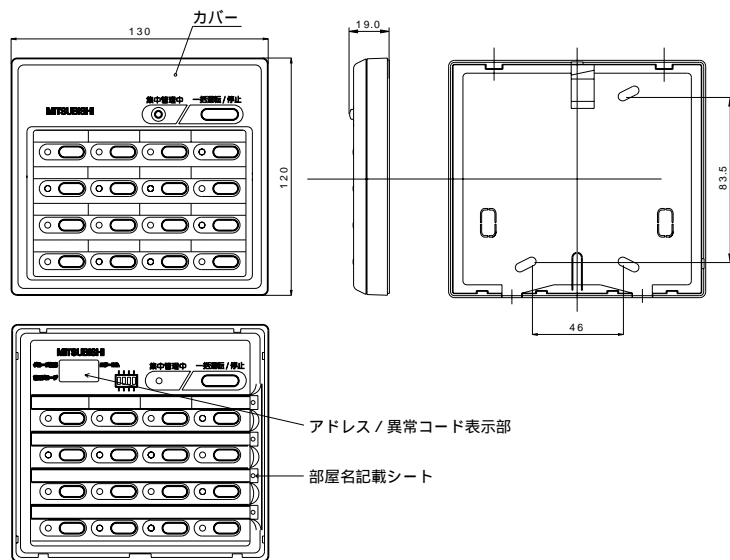
■システムリモコン PAC-SF44SR



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×18(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17～30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)
据付方法	JIS C8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

■ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR

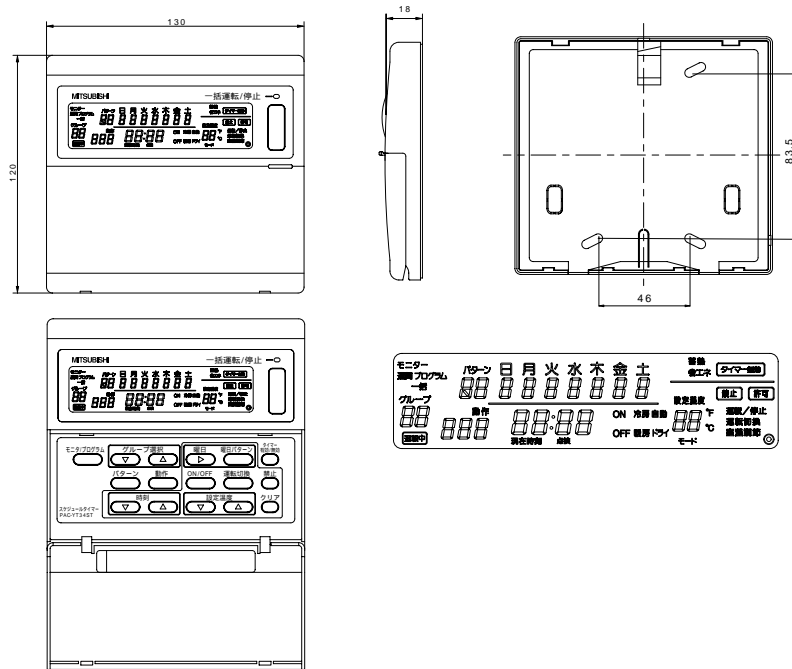


■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17～30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)
据付方法	JIS C8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

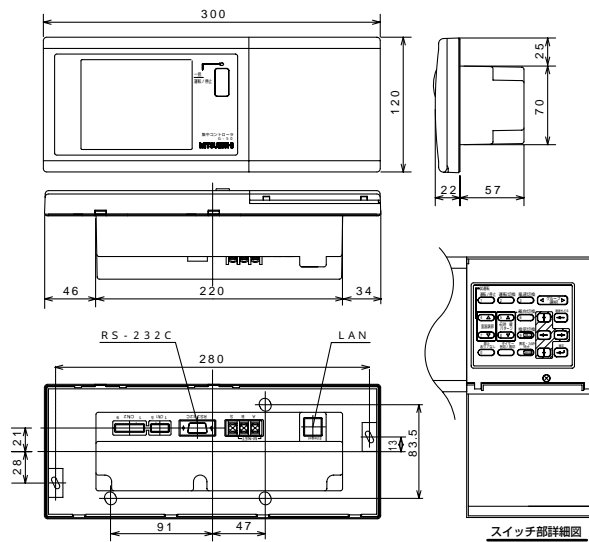
■スケジュールタイマー (M-NET対応)

PAC-YT34ST



■集中コントローラ

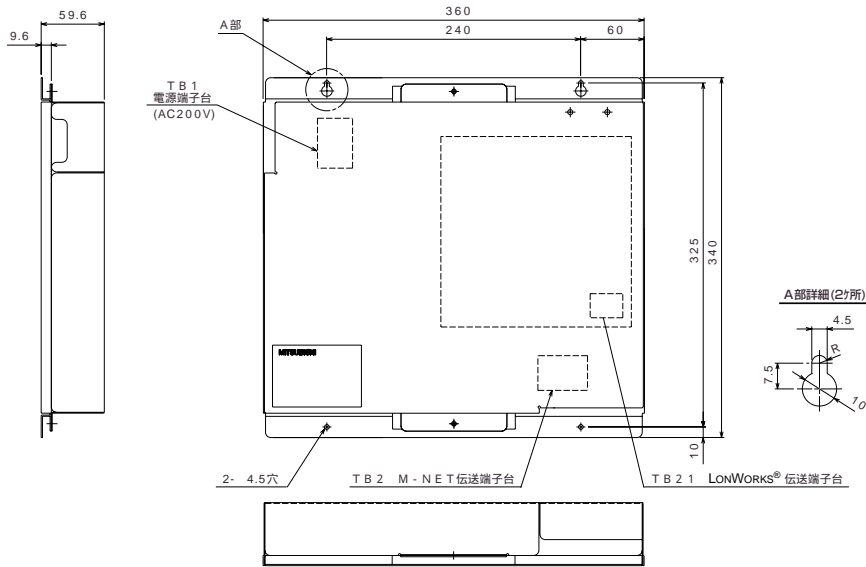
G-50



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×300(W)×79.22(D)mm
質量	1.0kg
電源	DC17～30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)
据付方法	JIS C8336の5個用スイッチボックス(カバー付き X 現地手配)へ取り付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

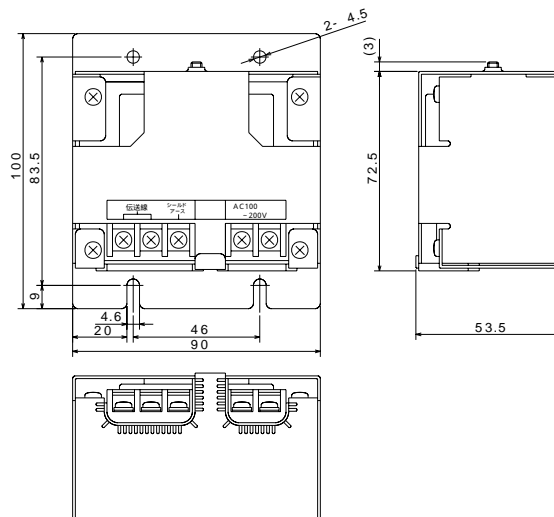
■LMアダプター PAC-YV03LMAP



■仕様表

項目		内容
外形寸法		340(H)X360(W)X59.6(D)mm
製品質量		3.3kg
電源		単相AC200V(50/60Hz)
消費電力		10W
使用環境	温度	動作 -15 to 43
		保存 -20 to 60
	湿度	30 ~ 95%RH(結露なきこと)
据付方法		水平、垂直方向据付け可能。 ただし、垂直方向の場合、 貼付けシールの方向とする。
外装		熔融亜鉛メッキ銅板

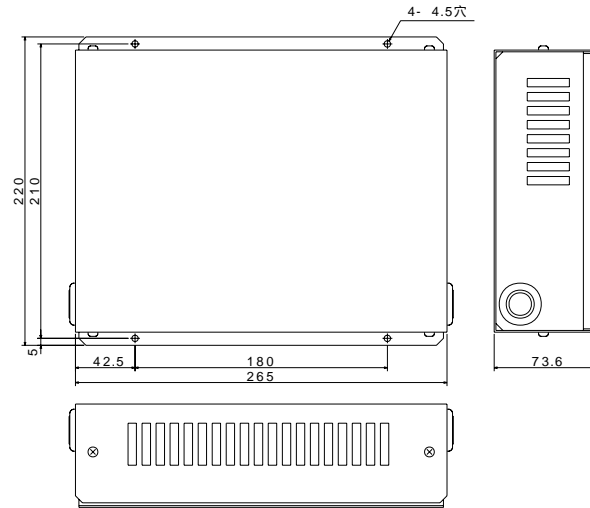
■伝送線用給電ユニット PAC-SC33KU



■仕様表

項目	内容
寸法	100(H)×90(W)×53.5(D)mm
質量	0.5kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
出力電圧	DC30V
出力電流	170mA
使用環境	温度 0 ~ 40
	湿度 30 ~ 90%RH(結露なきこと)
消費電力	20W
適合伝送線サイズ	0.4 ~ 1.2mm(単線)
外装材質	電気亜鉛メッキ銅板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、端子台を下方向とする。

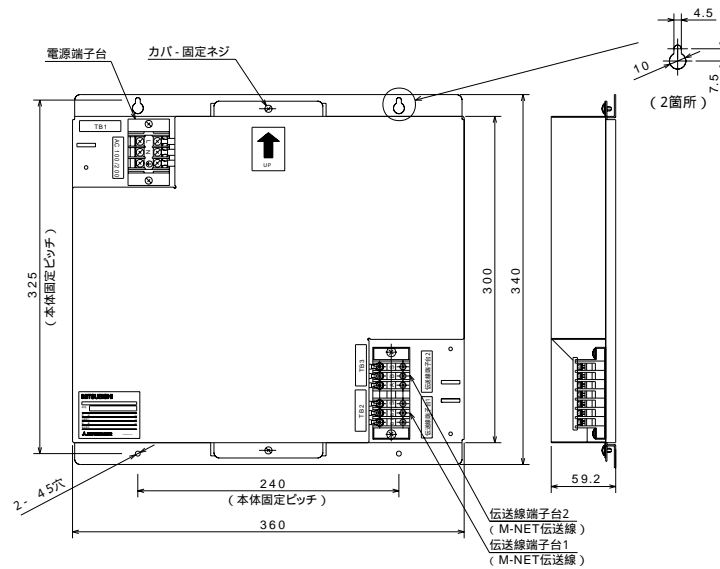
■伝送線用給電ユニット PAC-SC34KU



■仕様表

項目	内容
寸法	220(H)×265(W)×73.6(D)mm
質量	2kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
出力電圧	DC30V
出力電流	500mA
使用環境	温度 0~40 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
消費電力	40W
適合伝送線サイズ	0.4~1.2mm(単線)
外装材質	電気亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、端子台を下方とする。

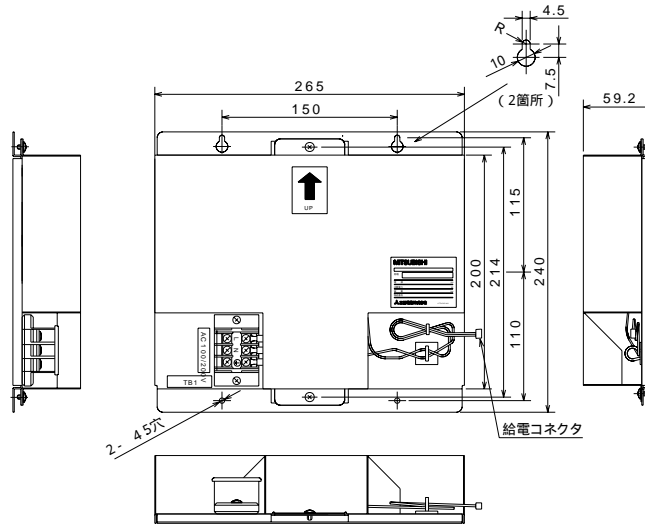
■伝送線用給電拡張ユニット PAC-SF46EP



■仕様表

項目	内容
寸法	340(H)×360(W)×59.2(D)mm
質量	3.4kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
消費電力	95W
使用環境	温度 0~40 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
適合伝送線サイズ	0.4~1.2mm(単線)
外装材質	電気亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、貼付シールの方向とする。

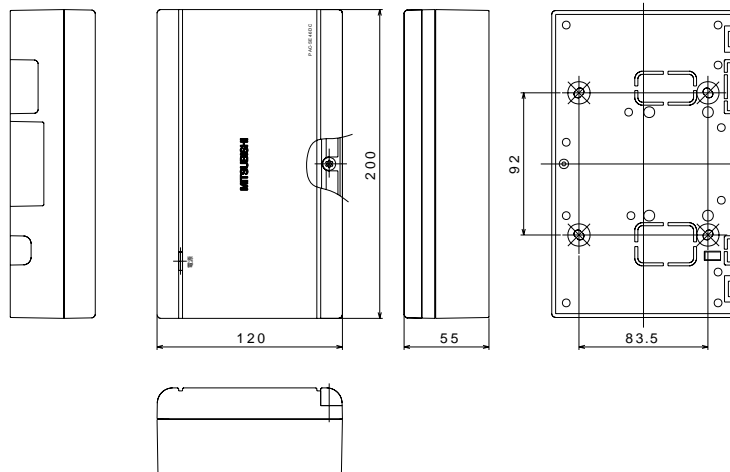
■個別給電ユニット PAC-SE58KU



■仕様表

項目	内容
寸法	240(H)×265(W)×59.2(D)mm
質量	1.6kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
消費電力	60W
出力電圧	24V
出力電流	1.7A
用途	PAC-SE42MC、PAC-SE44MC、PAC-SE46DC用給電ユニット
外装材質	溶融亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、貼付シールの方向とする。

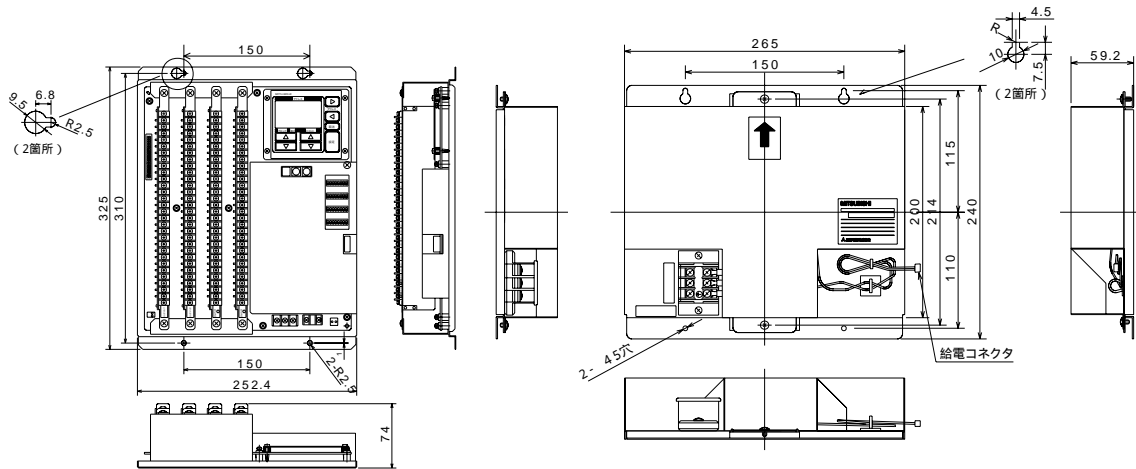
■汎用インタフェース PAC-SE46DC



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×200(W)×55(D)mm
質量	0.6kg
電源	個別給電ユニット(別売)またはDC24V別電源(別途手配)より受電
消費電力	3W
使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
塗装色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66)
据付方法	JIS C 8336の3個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。伝送線は、無極性2線でM-NET伝送線に接続。

■多接点汎用インターフェイス MI-96MB



■仕様表

項目	内容	
本体仕様	製品寸法	325(H)×252.4(W)×7.4(D)mm
	質量	2.2kg
	電源	DC24V(専用電源ユニット使用)
	消費電力	30W
	使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
	据付方法	盤用ボックス内等に取り付け
アライバ仕様	製品寸法	240(H)×265(W)×59.2(D)mm
	質量	1.6kg
	電源	AC100V又はAC200V
	消費電力	60W
	使用環境	温度 0～40 湿度 30～90%RH(結露なきこと)
	据付方法	盤用ボックス内等に取り付け

6.外部接続回路

室内ユニットの操作入力や信号出力は、標準装備のリモコンやM-NETによる集中管理のほかに、外部の制御盤とのリレー入出力信号配線の接続が可能です。

現地制御盤からの信号入力配線（運転ON/OFF、冷暖房切替入力等）を直接室内ユニットに接続することが可能です。（ただし、入力接点には微小電流対応のものを使用してください。入力接点が微小電流対応でない場合は、現地リレー（微小電流用リレー）追加により、レベル信号入力の接続が可能です。さらに、200V配線やパルス信号による入力時等でも、遠方操作キット（オプション部品）の追加により接続ができます。

出力については、無電圧接点出力端子を室内ユニットには標準で装備しており、運転・異常表示等の信号取出が可能です。

これらにより、現地側の状況に応じた配線接続が可能なほか、エアコンの更新時も既設の現地制御盤をできるだけ流用しながら改装することができます。

(1) 外部接続回路パターン

外部操作・外部サーモ入力時の回路パターンは、操作入力別に下記の番号（No.）に分類して示します。これらの分類にしたがって、配線パターンを決定してください。

リモコンまたは外部操作による運転操作設定は、室内ユニット電気品箱内の端子B1（RC/遠方）のON/OFFと、室内基板上のSW1-5のON/OFFの組合せで決定され、下表の組合せとなります。（工場出荷時のSW1-5の設定は、OFFです。）

端子B1	SW1-5	運転操作設定	設定認識条件
OFF	OFF	本体内蔵MAリモコン	SW1-5は、電源投入時の設定で認識します。 端子B1は、常時設定変更可能です。 但し、端子B1がONの場合、SW1-5の設定に関わらず、運転操作設定はリモコンとなります。
OFF	ON	外部操作	
ON	OFF	本体内蔵MAリモコン	
ON	ON	本体内蔵MAリモコン	

外部サーモ入力は、室内基板上のSW1-6のON/OFF状態で決定され、OFF時はサーミスタによるサーモ検知設定（工場出荷時設定）、ON時は現地配線による外部サーモ入力設定となります。

SW1-6は、電源投入時の設定で認識します。

（SW設定変更する場合）

一度電源をOFFさせてSW1-5とSW1-6の設定変更後、再度電源をONし立ち上げ直してください。

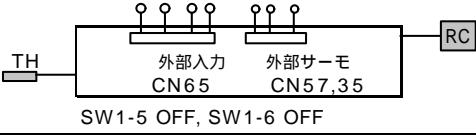
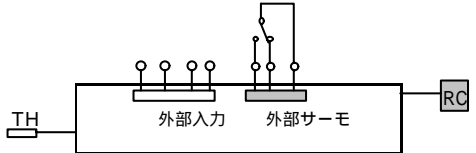
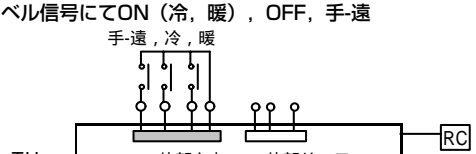
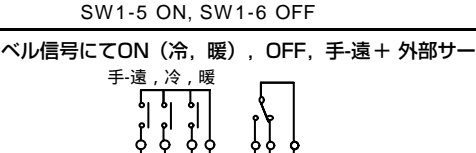
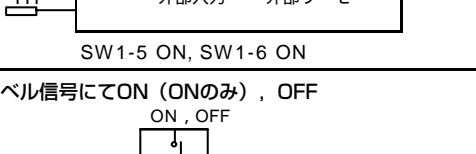
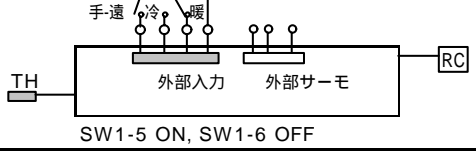
外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流接点を使用してください。

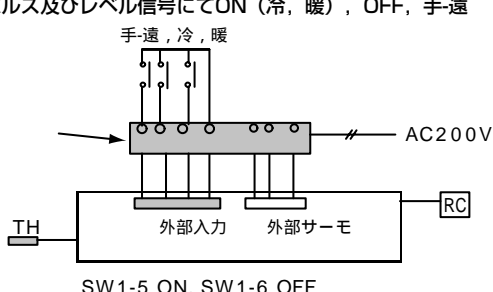
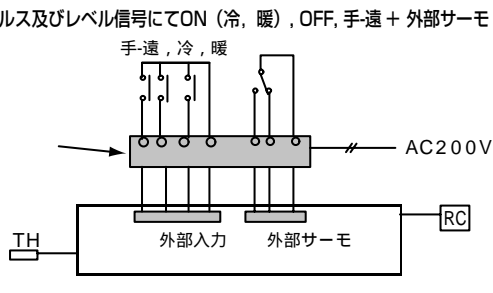
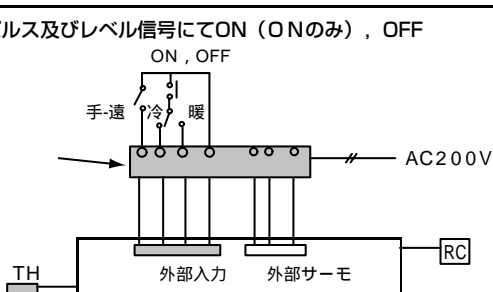
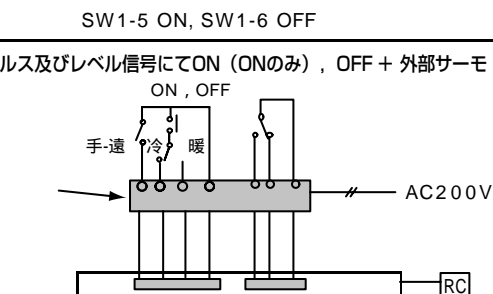
配線長が100mを超える場合は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けして、リレー接点を端子台に接続してください。低電圧線と電源線は、必ず別の電線管を通してください。

パルス信号や、AC200V等の有電圧の入力を行う場合は、別売部品「遠方操作キットPAC-CG91RCK」をご使用ください。（下記No. 5、6）



図中、RCはリモコン、THはサーミスタを示します。

操作部	No.	仕様と回路図	運転 ON/OFF	冷暖 切換	温度 設定	温度 検知	遠方手 元切換	リモコン 表示	必要別売部品
リモコン	1	標準出荷状態  SW1-5 OFF, SW1-6 OFF	リモコン	リモコン	リモコン	サーミスタ	-	全て	
	2	外部サーモ接続  SW1-5 OFF, SW1-6 ON	リモコン	リモコン	現地 サーモ	外部 サーモ	-	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	
冷・暖・送風別 ON/OFF	3	レベル信号にてON(冷, 暖), OFF, 手-遠 手-遠, 冷, 暖  SW1-5 ON, SW1-6 OFF	レベル 信号	レベル 信号	リモコン	サーミスタ	レベル 信号	全て	
	4	レベル信号にてON(冷, 暖), OFF, 手-遠+ 外部サーモ 手-遠, 冷, 暖  SW1-5 ON, SW1-6 ON	レベル 信号	レベル 信号	現地 サーモ	外部 サーモ	レベル 信号	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	
外部操作	3	レベル信号にてON(ONのみ), OFF ON, OFF 手-遠 手-遠, 冷, 暖  SW1-5 ON, SW1-6 OFF	レベル 信号	スイッチ	リモコン	サーミスタ	スイッチ	全て	
	4	レベル信号にてON(ONのみ), OFF + 外部サーモ ON, OFF 手-遠 手-遠, 冷, 暖  SW1-5 ON, SW1-6 ON	レベル 信号	スイッチ	現地 サーモ	外部 サーモ	スイッチ	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	

操作部	No.	仕様と回路図	運転 ON/OFF	冷暖 切換	温度 設定	温度 検知	遠方手 元切換	リモコン 表示	必要別売部品	
外部操作	冷・暖・送風別 ON/OFF	5	パルス及びレベル信号にてON(冷, 暖), OFF, 手-遠  SW1-5 ON, SW1-6 OFF	パルス 及び レベル 信号	パルス 及び レベル 信号	リモコン	サーミスタ	パルス 及び レベル 信号	全て	遠方操作キット
		6	パルス及びレベル信号にてON(冷, 暖), OFF, 手-遠 + 外部サーモ  SW1-5 ON, SW1-6 ON	パルス 及び レベル 信号	パルス 及び レベル 信号	現地 サーモ	外部 サーモ	パルス 及び レベル 信号	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	遠方操作キット
	運転 ON/OFF(冷暖切換)	5	パルス及びレベル信号にてON(ONのみ), OFF ON, OFF  SW1-5 ON, SW1-6 OFF	パルス 及び レベル 信号	スイッチ (に 内蔵)	リモコン	サーミスタ	スイッチ (に 内蔵)	全て	遠方操作キット
		6	パルス及びレベル信号にてON(ONのみ), OFF + 外部サーモ ON, OFF  SW1-5 ON, SW1-6 ON	パルス 及び レベル 信号	スイッチ (に 内蔵)	現地 サーモ	外部 サーモ	スイッチ (に 内蔵)	全て (設定温は ダミー 表示 吸込温は サーミスタ 検知温度 表示)	遠方操作キット

遠方手元切換入力がONの場合、リモコン優先となり、運転ON/OFF、冷暖切換操作はリモコンから行います。
 温度設定および温度検知の切り換えは、外部サーモ設定(SW1-6)により決定します。(03年4月生産分より対応しています。)
 別途部品「遠方操作キット」(PAC-CG91RCK)をご使用の配線接続方法は、別売部品の取付説明書をご覧ください。
 外部接続回路使用時のリモコン操作

Dip SW	リモコン操作
1 - 5 ON時	“集中管理表示” リモコン運転操作 [ON/OFF モード] 禁止(無効)
1 - 6 ON時	“集中管理表示” リモコン運転操作 [設定温度] 禁止(無効)

(2) 応用配線要領と入力端子

入出力仕様	項目	対応方法	別売部品	入出力端子	参照回路図
入力	リモートコントローラ	MAリモコン標準装備 (MAリモコン別売あり)		CN3A(TB15)	61～72ページ 電気配線図
サーモ入力	ルームサーモ (外部サーモ)	外部サーモ接続端子に取込	-	CN57,CN35	195～199ページ 参照
入力	緊急停止 (火災停止)	シーケンス変更	-	基板外の 電源配線S1,S2	
出力	遠方運転表示	室内基板接続端子から取込	-	CN75(L1,L2), CN47(L4,L5)	200ページ参照
出力	遠方一括異常表示	室内基板接続端子から取込	-	CN76(L6)	200ページ参照
出力	室外機異常表示	室内基板接続端子から取込	-	CN76(L7,L8), CN36(L9)	200ページ参照
(制御)	停電解除時自動復帰	標準にて機能あり。 (室内基板テックスイッチ4-1ON)	-	-	
(制御)	送風機残留運転 (余熱排除)	標準にて機能あり。	-	-	
(制御)	圧縮機再起動遅延	標準にて3分再起動防止機能あり (室外機)	-	-	
(制御)	プログラムタイマによる 運転停止	推奨回路提示	-	-	
入力	冷暖自動切換	標準仕様に有り。 又は外部入力接続端子に取込。	-	CN65(B5)	
(制御)	独立保護制御 (16・20馬力)	標準仕様。	-	-	
(制御)	瞬時停電対策回路	標準にて機能有り。	-	-	
出力	ファンインターロック	52F ON時出力端子あり	-	CN75(L2)	
出力	圧縮機インターロック	サーモON時出力端子あり	-	CN75(L3)	
出力	運転モード表示	室内基板接続端子から取込	-	CN75(L1,L2), CN47(L4,L5)	
入力	デマンド信号入力	室外機基板接続端子に取込	-	CN3D	60ページ 電気回路図
入力	運転ON/OFF (レベル信号)	外部入力接続端子に取込 (又は別売遠方操作キット取付対応)	(PAC-CG91RCK)	CN65	194ページ参照
入力	運転ON/OFF (パルス信号)	外部入力接続端子に取込 (別売遠方操作キット取付対応)	PAC-CG91RCK	CN65	194ページ参照
入力	進相コンデンサ組込 (圧縮機)	別売部品取付	PAC-CP29～37CA	-	
入力	進相コンデンサ組込 (全電動機)		-	基板外の 電源配線に設定	
(制御)	圧縮機積算時間計組込	室外機基板にて対応可能	-	-	

IV.据付スペース

1.据付場所の選定

(1)室外ユニット

- 他の熱源から直接ふく射熱を受けないところ。
- ユニットから発生する騒音が隣家に迷惑のかからないところ。
- 強風が吹きつけないところ。
- 本体の質量に十分耐えられる強度のあるところ。
- 暖房運転時には、ユニットからドレンが流れますのでご注意ください。
- 次項「2.据付スペース」に示すサービス、風路スペースがあるところ。
- 可燃性ガスの発生、流入、滞留、漏れのおそれがある場所では、火災をおこす危険性がありますので設置しないでください。
- 酸性の溶液や特殊なスプレー(イオウ系)を頻繁に使用する場所は避けてください。
- 油、蒸気、硫化ガスの多い特殊環境では使用しないでください。
- 外気10℃以下にて冷房運転を実施する可能性がある場合は、ユニットの安定した運転を確保するため、室外ユニットに直接雨雪が当たらない場所を選定するか、吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。
- 電源および室内側ユニットとの配線配管に便利なところ。
- ユニットの重さ、振動に耐え水平に据付けできるところ。

次の環境汚染地域にユニットを据付ける場合は、耐塩害仕様（BSタイプ）、耐重塩害仕様（BSGタイプ）のユニットを選定してください。

- 潮風にはかからないが、その雰囲気にあるような場所（室外ユニットの設置場所から海までの距離が300mを越え1km以内のところ）に据付ける場合は耐塩害仕様（BSタイプ）のユニット。
- 潮風の影響を受ける場所に据付ける場合は耐重塩害仕様（BSGタイプ）のユニット。

2.据付スペース

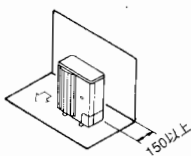
(1)室外ユニット

■PU(H)K-P140AW-A

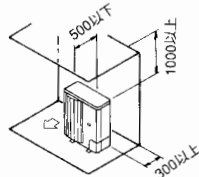
- 別売エアガイド（PAC-SF09AG）を使用する場合は、エアガイドの説明書または技術資料の指示に従って据付けてください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

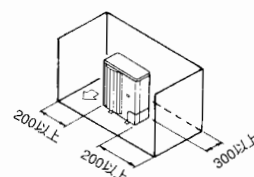
(1) 背面に障害物がある場合
(正面、側面、上方は開放)



(2) 背面と上方に障害物がある場合
(正面、側面は開放)

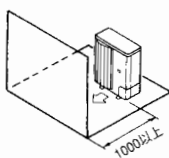


(3) 背面と側面に障害物がある場合
(正面、上方は開放)



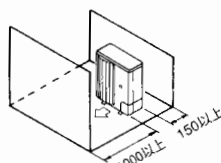
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

(4) 正面に障害物がある場合
(背面、側面、上方は開放)



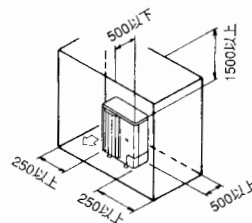
※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

(5) 背面と正面に障害物がある場合
(側面、上方は開放)



※別売吹出ガイドをご使用の場合は500以上。

(6) 背面と側面および上方に障害物がある場合
(正面は開放)

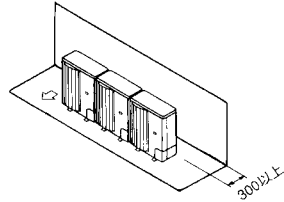


※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

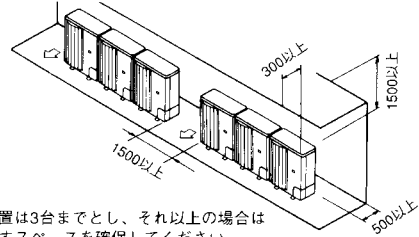
2) 複数台設置時の周囲必要空間

- 横連続設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。

(1) 背面に障害物がある場合
(正面、側面、上方は開放)

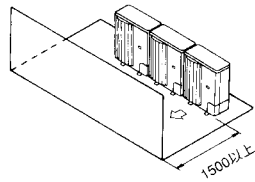


(2) 背面と上方に障害物がある場合
(正面、側面は開放)



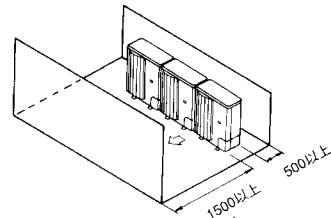
※横連続設置は3台までとし、それ以上の場合は上図に示すスペースを確保してください。
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用にならないでください。

(3) 正面に障害物がある場合
(背面、側面、上方は開放)



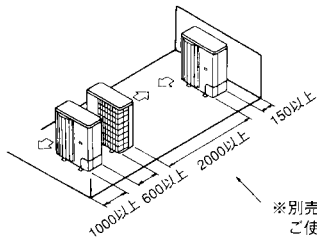
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

(4) 背面と正面に障害物がある場合
(側面、上方は開放)



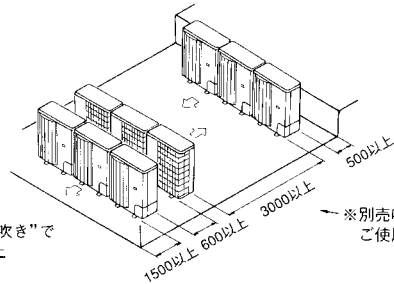
※別売吹出ガイドをご使用の場合は1000以上

(5) 1台多列設置の場合



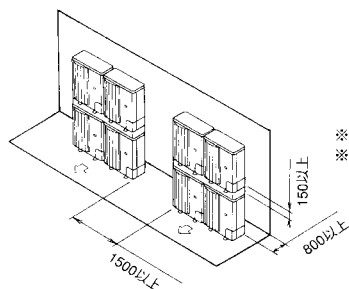
※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1000以上

(6) 複数台多列設置の場合



※別売吹出ガイドを“上吹き”でご使用の場合1500以上

(7) 段積み設置の場合



※段積みは2段までとしてください。
※横連続設置は2台までとし、それ以上の場合は左図に示すスペースを確保してください。

項目	形名	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A
圧力計		-	PAC-KA63PG	
防雪ダクト	吹出側	PAC-SF14BD	PAC-KB72TD	
	吸込側		PAC-KB82SD	
集中排水ドレンパン		PAC-SF17DP	PAC-KB92DPT	
進相コンデンサ (50Hz)		PAC-SF03CA	PAC-620CA	PAC-622CA
進相コンデンサ (60Hz)		PAC-SF02CA	PAC-621CA	PAC-623CA
後配管キット		-	PAC-KB62RPT	

(2) 室内ユニット

据付場所の選定

- 吹出空気が部屋全体に行き渡るところ。
- 侵入外気の影響のないところ。
- 吹出空気、吸込空気の流に傷害物のないところ。
- 油の飛沫や蒸気のないところ。
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れの恐れのないところ。
- 高周波を発生する機械（高周波ウエルダー等）のないところ。
- 吹出口側に火災報知器（センサー部）が位置しないようにしてください。
（暖房運転時に吹出温風により火災報知器が誤作動するおそれがあります。）
- 酸性の溶液などを頻繁に使用するところは避けてください。
- 特殊なスプレー（イオウ系）などを頻繁に使用するところは避けてください。



警告

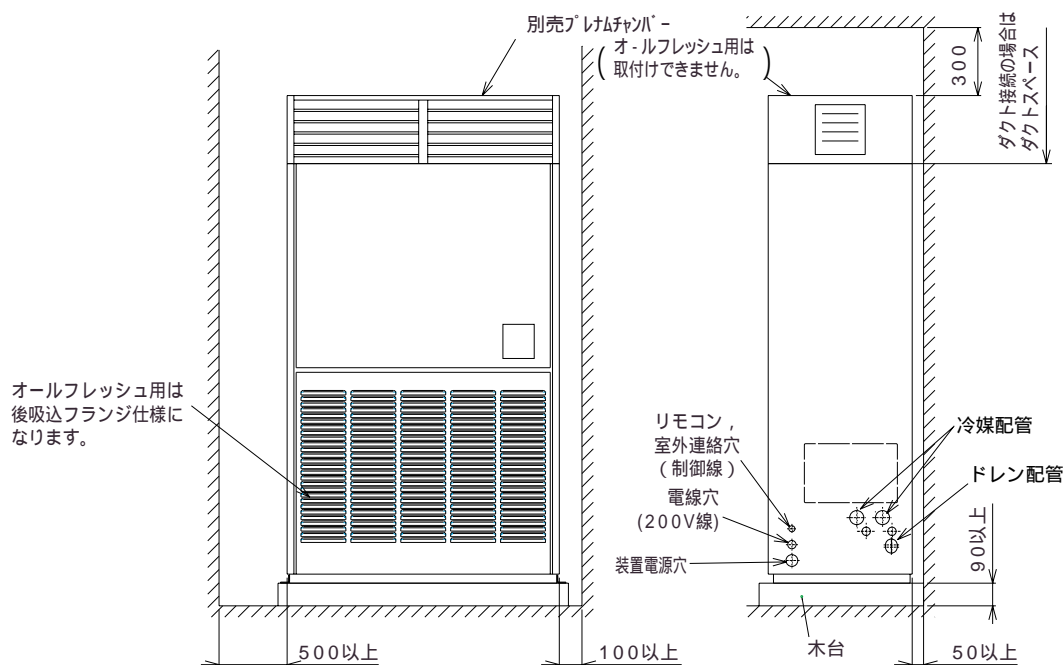
据付けは、質量に十分耐える場所に
確実にこなしてください。

- 強度不足の場合は、ユニットの転倒により、ケガの原因になります。

① 室内ユニットの質量に充分耐える強固な構造の床に据付けます。

② 据付・サービススペースの確保

(単位 mm)



- 強固な床面を選定し、ドレン排水の便を図るため、ならびにエアコンから床への振動伝播防止のため、9cm以上の木台を使用してください。
本図は、P450形ユニットを示しています。他の機種についても必要スペース寸法は同じです。

V. 製品仕様

1.仕様表

(1)標準仕様

項目		セット形名	PF(H)K -P140AW(M)-A	PF(H)K -P224AW(M)(U)-A	PF(H)K -P280AW(M)(U)-A	PF(H)K -P450AW(M)(U)-A	PF(H)K -P560AW(M)(U)-A	
標準仕様 注1	冷房	定格冷房能力	kW	12.5/14.0	20.0/22.4	25.0/28.0	40.0/45.0	50.0/56.0
		定格消費電力	kW	5.10/6.15	7.91/9.55	9.68/11.81	14.54/18.00	18.08/23.10
		運転電流	A	20.6/21.5	27.8/30.6	33.4/37.2	51.2/57.1	64.5/73.5
		運転力率	%	71/82	82/90	84/92	82/91	81/91
		エネルギー消費効率		2.45/2.27	2.53/2.35	2.58/2.37	2.75/2.50	2.77/2.42
	暖房	定格暖房能力	kW	15.0/17.0	23.6/26.5	30.0/33.5	47.5/53.0	60.0/67.0
		定格消費電力	kW	4.78/5.89	7.79/10.02	9.34/11.77	15.02/19.85	18.39/23.67
		運転電流	A	20.1/21.0	27.6/31.0	32.2/35.8	52.9/59.7	63.5/73.6
		運転力率	%	68/80	81/93	84/95	82/96	84/93
		エネルギー消費効率		3.13/2.88	3.03/2.64	3.21/2.85	3.16/2.67	3.26/2.83
低温	暖房能力	kW	11.2/12.5	17.7/20.0	22.0/26.0	35.4/40.0	45.0/50.0	
	消費電力	kW	4.14/5.36	6.84/8.62	8.25/10.62	13.34/17.44	15.14/20.05	
	始動電流	A	室内22.8/20.4、室外135/135	室内51/44、室外207/187	室内51/44、室外265/239	室内60/52、室外207/187(1台)	室内112/96、室外265/239(1台)	
室内ユニット	形名	-	PFAK-P140AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A	PFAK-P450AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法(H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	形式×個数	-	シロッコファン×1		シロッコファン×2			
	風量	m ³ /min	45	70	90	140	180	
	機外静圧	Pa	30 注2	30 注3	30 注3	30/130		
	電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7	
	防音・断熱材	-	グラスウール					
	エアフィルタ	-	不織布					
	ドレン配管サイズ	-	1B			1 1/4B		
	運転音(A特性値)	dB	49/49	53/53	55/55	53/55	57/60	
製品質量	kg	108	123	147	235	257		
室外ユニット	形名	-	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A	PU(H)K-P280(U)AW-A	PU(H)K-P224(U)AW-A×2	PU(H)K-P280(U)AW-A×2	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法(H×W×D)	mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2		
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	形式×個数	-	全密閉形×1			全密閉形×2		
	始動方式/称呼出力	kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	直入/5.5×2	直入/7.5×2	
	1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	2.33×2/2.77×2	2.89×2/3.44×2	
	クランクケースヒータ	kW	0.025	0.05		0.05×2		
	形式×個数	-	プロベラファン×2	プロベラファン×1		プロベラファン×2		
	風量	m ³ /min	85	185		185×2		
	電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2		
	霜取方式	-	リバースサイクル					
圧力計	-	-						
圧力開閉器	-	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa	高圧側3.3MPa、低圧側0MPa					
圧縮機	-	CT検知	熱動過電流継電器					
送風機	-	温度開閉器(内蔵)						
運転音(A特性値)	AW	dB	47/47	冷房56/56(1台)・55/55(2台)暖房58/58	冷房57/57(1台)・55/55(2台)暖房59/59	冷房56/56(1台)・55/55(2台)暖房58/58	冷房57/57(1台)・55/55(2台)暖房59/59	
	UAW	dB	-	冷房56/56(1台)・55/55(2台)暖房56/57	冷房57/57(1台)・55/55(2台)暖房57/59	冷房56/56(1台)・55/55(2台)暖房56/57	冷房57/57(1台)・55/55(2台)暖房57/59	
製品質量	kg	108	215(AW), 230(UAW)	220(AW), 235(UAW)	215×2(AW), 230×2(UAW)	220×2(AW), 235×2(UAW)		
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	19.05	25.4	28.6	25.4	28.6	
	液配管	mm	9.52	12.7				
冷媒	種類/出荷時封入量	AW UAW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	R407C×6.0×2	R407C×6.5×2
	制御方式	-	-	R407C×7.0	R407C×7.5	R407C×7.0×2	R407C×7.5×2	
冷媒機油(種類×封入量)	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)		DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)×2			
電線太さ 室外/室内	-	5.5mm ² /1.6mm	8mm ² /1.6mm	14mm ² /1.6mm	8mm ² /1.6mm	14mm ² /1.6mm		
内外接続線/リモコン電線太さ	mm ²	1.25以上/0.3~1.25						
内外接続線長さ(最大)<室内-室外>	m	200						
冷媒配管長/高低差	m	実長50, 相当長62.5/40(AW)、実長100, 相当長125/40(UAW)						
アース線サイズ(室外/室内)	-	2.0mm以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上/1.6mm以上	5.5mm ² 以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上/1.6mm以上	5.5mm ² 以上/1.6mm以上		
配線用遮断器	開閉器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		
	漏電遮断器(室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。

冷房能力(室内側:乾球温度27.0、湿球温度19.0、室外側:乾球温度35.0)、暖房能力(室内側:乾球温度20.0、室外側:乾球温度7.0・湿球温度6.0)、暖房低温能力(室内側:乾球温度20.0、室外側:乾球温度2.0・湿球温度1.0)

注2. 50Hz地区の場合、モーターリ径(可変プーリ)を93.9(出荷時は77.9)に調整した値を示します。

注3. 50Hz地区の場合、モーターリ径(可変プーリ)を140(出荷時は116.7)に調整した値を示します。

注4. PUKタイプは、暖房運転できません。

(2)中温仕様

項目		セット形名	PFTK -P125AW(M) -A	PFTK -P200AW(M)(U)-A	PFTK -P250AW(M)(U)-A	PFTK -P400AW(M)(U)-A	PFTK -P500AW(M)(U)-A	
標準仕様	冷房	定格冷房能力	kW	11.2/12.5	18.0/20.0	23.6/25.0	36.0/40.0	45.0/50.0
		定格消費電力	kW	4.95/6.01	7.53/9.05	9.10/11.20	14.19/17.39	18.39/22.50
		運転電流	A	20.1/21.2	26.2/29.0	31.6/35.9	49.4/55.8	64.0/72.2
		運転力率	%	71/81	83/90	83/90	83/90	83/90
		エネルギー消費効率		2.26/2.08	2.39/2.21	2.59/2.23	2.54/2.30	2.47/2.22
注1	始動電流	A	室内22.8/20.4、室外135/135	室内51/44、室外207/187	室内51/44、室外265/239	室内60/52、室外207/187(1台)	室内112/96、室外265/239(1台)	
室内ユニット	形名	-	PFTK-P125AW(M)-A	PFTK-P200AW(M)-A	PFTK-P250AW(M)-A	PFTK-P400AW(M)-A	PFTK-P500AW(M)-A	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	送風機	形式×個数	-	シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風量	m ³ /min	45	70	90	140	180
		機外静圧	Pa	30 注2	30 注3	30 注3	30/130	
		電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7
	防音・断熱材		グラスウール					
	エアフィルタ	-	不織布					
	ドレン配管サイズ	-	1B			1 1/4B		
	運転音 (A特性値)	dB	49/49	53/53	55/55	53/55	57/60	
製品質量	kg	108	123	147	235	257		
室外ユニット	形名	-	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台		
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	圧縮機	形式×個数	-	全密閉形×1		全密閉形×2		
		始動方式/称出出力	kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	直入/5.5×2	直入/7.5×2
		1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	2.33×2/2.77×2	2.89×2/3.44×2
	クラクケースヒータ	kW	0.025	0.05		0.05×2		
	送風機	形式×個数	-	プロペラファン×1		プロペラファン×2		
		風量	m ³ /min	85	185		185×2	
		電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2	
	圧力計		-					
保護装置	圧力開閉器	-	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa		高圧側3.3MPa、低圧側0MPa			
	圧縮機	-	CT検知		熱動過電流継電器			
	送風機	-	温度開閉器 (内蔵)					
運転音 (A特性値)	AW	dB	47/47	冷房56/56(1台)・55/55	冷房57/57(1台)・55/55	冷房56/56(1台)・55/55	冷房57/57(1台)・55/55	
	UAW	dB	-	冷房56/56(1台)・55/55	冷房57/57(1台)・55/55	冷房56/56(1台)・55/55	冷房57/57(1台)・55/55	
製品質量	kg	108	215(AW), 230(UAW)	220(AW), 235(UAW)	215×2台(AW), 230×2台(UAW)	220×2台(AW), 235×2台(UAW)		
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	19.05	25.4	28.6	25.4	28.6	
	液配管	mm	9.52	12.7				
冷媒	種類/出荷時封入量	AW UAW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	R407C×6.0×2	R407C×6.5×2
	制御方式	-	-	R407C×7.0	R407C×7.5	R407C×7.0×2	R407C×7.5×2	
冷凍機油 (種類×封入量)	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)		DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)×2			
電線太さ 室外/室内	-	5.5mm ² /1.6mm	8mm ² /1.6mm	14mm ² /1.6mm	8mm ² /1.6mm	14mm ² /1.6mm		
内外接続線/リモコン電線太さ	mm ²	1.25以上/0.3~1.25						
内外接続線長さ (最大) <室内-室外>	m	200						
冷媒配管長/高低差	m	実長50, 相当長62.5/40(AW)、実長100, 相当長125/40(UAW)						
アース線サイズ (室外/室内)	-	2.0mm以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上/1.6mm以上	5.5mm ² 以上/1.6mm以上	3.5mm ² 以上/1.6mm以上	5.5mm ² 以上/1.6mm以上		
配線用遮断器	開閉器 (室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		
	漏電遮断器 (室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		

注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
 冷房能力 (室内側: 乾球温度20.0・湿球温度14.0, 室外側: 乾球温度35.0)
 注2. 50Hz地区の場合、モータプリア径 (可変プリア) を 93.9 (出荷時は 77.9) に調整した値を示します。
 注3. 50Hz地区の場合、モータプリア径 (可変プリア) を 140 (出荷時は 116.7) に調整した値を示します。

(3)オールフレッシュ仕様

項目		セット形名	PFK -P167AW(M)-A-F	PFK -P265AW(M)(U)-A-F	PFK -P335AW(M)(U)-A-F	PFK -P530AW(M)(U)-A-F	PFK -P670AW(M)(U)-A-F	
標準仕様	冷房	定格冷房能力	kW	15.0/16.7	23.6/26.5	30.0/33.5	47.2/53.0	60.0/67.0
		定格消費電力	kW	4.91/5.99	7.50/9.58	8.90/11.30	14.77/18.84	18.54/22.76
		運転電流	A	20.5/21.3	27.4/30.8	31.1/36.2	53.2/60.8	67.2/73.3
		運転力率	%	69/81	79/90	83/90	80/90	80/90
		エネルギー消費効率		3.05/2.79	3.15/2.77	3.37/2.96	3.20/2.81	3.24/2.94
注1	始動電流	A	室内22.8/20.4、室外135/135	室内51/44、室外207/187	室内51/44、室外265/239	室内60/52、室外207/187(1台)	室内112/96、室外265/239(1台)	
室内ユニット	形名	-	PFK-P167AW(M)-A-F	PFK-P265AW(M)-A-F	PFK-P335AW(M)-A-F	PFK-P530AW(M)-A-F	PFK-P670AW(M)-A-F	
	定格電源	-	三相200V 50/60Hz					
	外形寸法 (H×W×D)	mm	1748×760×485	1748×980×485	1748×1200×485	1899×1200×635	1899×1420×635	
	外装	-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
	熱交換器形式	-	クロスフィン					
	送風機	形式×個数	-	シロッコファン×1		シロッコファン×2		
		風量	m³/min	20	35	45	70	90
		機外静圧	Pa	80 注2	90 注3	80 注3	110/180	110/190
		電動機出力	kW	0.75	1.5		2.2	3.7
	防音・断熱材		グラスウール					
	エアフィルタ	-	不織布					
	ドレン配管サイズ	-	1B			1 1/4B		
	運転音 (A特性値)	dB	40/40	47/47	48.5/48.5	48/50	50/53	
	製品質量	kg	110	126	150	239	262	
	室外ユニット	形名	-	PUK-P140AW-A	PUK-P224(U)AW-A	PUK-P280(U)AW-A	PUK-P224(U)AW-A×2台	PUK-P280(U)AW-A×2台
定格電源		-	三相200V 50/60Hz					
外形寸法 (H×W×D)		mm	1260×1050×330(+20)	1715×990×840		(1715×990×840)×2台		
外装		-	鋼板粉体塗装 マンセル 5Y8/1					
熱交換器形式		-	クロスフィン					
圧縮機		形式×個数	-	全密閉形×1		全密閉形×2		
		始動方式/称出出力	kW	直入/3.5	直入/5.5	直入/7.5	直入/5.5×2	直入/7.5×2
		1日の冷凍能力	法定トン	1.49/1.80	2.33/2.77	2.89/3.44	2.33×2/2.77×2	2.89×2/3.44×2
		クランクケースヒータ	kW	0.025	0.05		0.05×2	
送風機		形式×個数	-	プロペラファン×1		プロペラファン×2		
		風量	m³/min	85	185		185×2	
		電動機出力	kW	0.07×2	0.38		0.38×2	
圧力計			-					
保護装置		圧力開閉器	-	高圧側3.24MPa、低圧側0.03MPa		高圧側3.3MPa、低圧側0MPa		
		圧縮機	-	CT検知		熱動過電流継電器		
	送風機	-	温度開閉器 (内蔵)					
運転音 (A特性値)	AW	dB	47/47	冷房56/56(†††55/55)	冷房57/57(†††55/55)	冷房56/56(†††55/55)	冷房57/57(†††55/55)	
	UAW	dB	-	冷房56/56(†††55/55)	冷房57/57(†††55/55)	冷房56/56(†††55/55)	冷房57/57(†††55/55)	
製品質量	kg	108	215(AW), 230(UAW)	220(AW), 235(UAW)	215×2台(AW), 230×2台(UAW)	220×2台(AW), 235×2台(UAW)		
冷媒配管寸法	ガス配管	mm	19.05	25.4	28.6	25.4	28.6	
	液配管	mm	9.52	12.7				
冷媒	種類/出荷時封入量	AW UAW	kg	R407C×4.6	R407C×6.0	R407C×6.5	R407C×6.0×2	R407C×6.5×2
	制御方式	-	-	R407C×7.0	R407C×7.5	R407C×7.0×2	R407C×7.5×2	
冷凍機油 (種類×封入量)	ℓ	MMMAWPOE×1.76	DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)		DAPHNE FVC68D×3.0(AW), 4.0(UAW)×2			
電線太さ 室外/室内	-	5.5mm²/1.6mm	8mm²/1.6mm	14mm²/1.6mm	8mm²/1.6mm	14mm²/1.6mm		
内外接続線/リモコン電線太さ	mm²	1.25以上/0.3~1.25						
内外接続線長さ (最大) <室内-室外>	m	200						
冷媒配管長/高低差	m	実長50, 相当長62.5/40(AW)、実長100, 相当長125/40(UAW)						
アース線サイズ (室外/室内)	-	2.0mm以上/1.6mm以上	3.5mm²以上/1.6mm以上	5.5mm²以上/1.6mm以上	3.5mm²以上/1.6mm以上	5.5mm²以上/1.6mm以上		
配線用遮断器	開閉器 (室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		
	漏電遮断器 (室外/室内)	A	40/15	60/15		60(1台)/30		

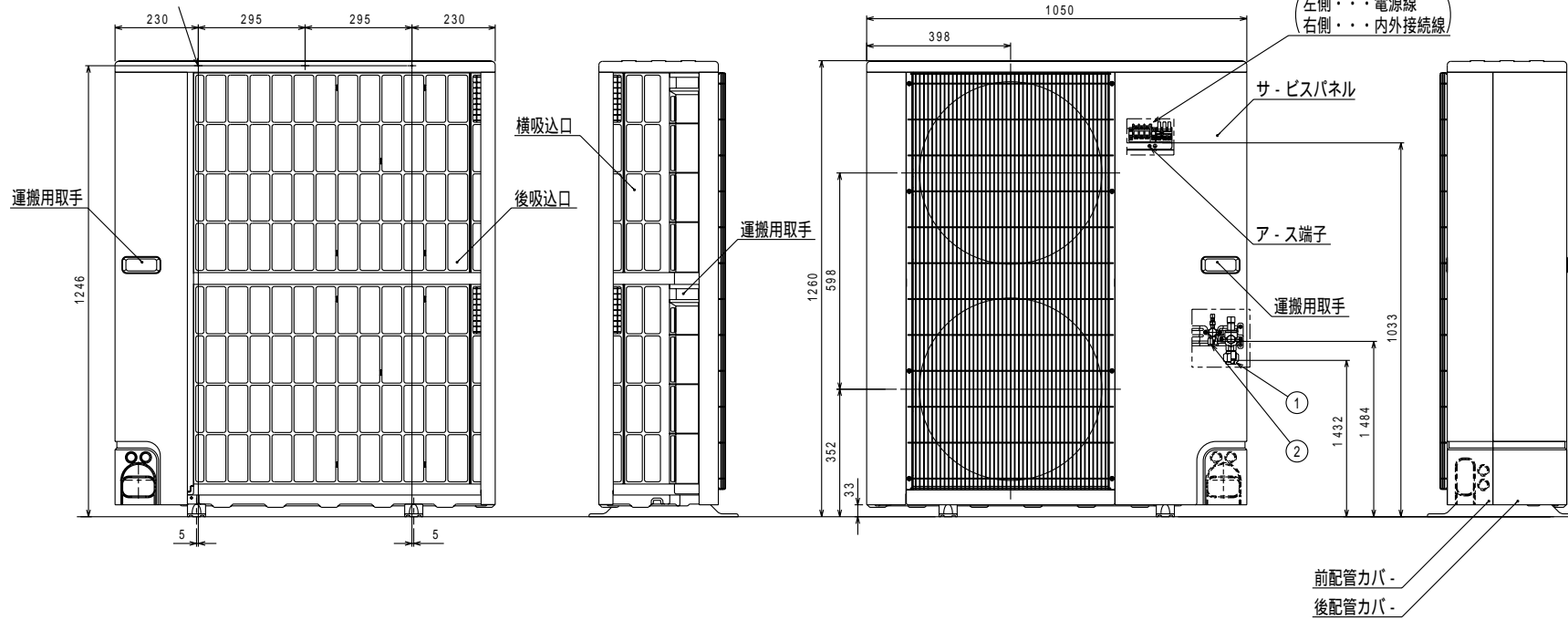
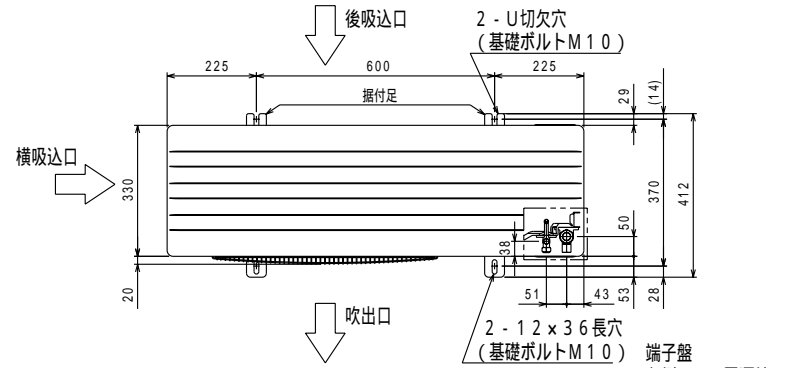
注1. 運転特性は次の条件で運転したときの数値です。
冷房能力 (室内側: 乾球温度33.0・湿球温度28.0, 室外側: 乾球温度33.0)
注2. 50Hz地区の場合、モータプーリ径 (可変プーリ) を 93.9 (出荷時は 77.9) に調整した値を示します。
注3. 50Hz地区の場合、モータプーリ径 (可変プーリ) を 140 (出荷時は 116.7) に調整した値を示します。

2.外形寸法図

(1) 室外ユニット
●PU(H)K-P140AW-A

記号説明

- ① ……冷媒ガス配管接続口 (フレア接続) 19.05 (3/4 F)
 - ② ……冷媒液配管接続口 (フレア接続) 9.52 (3/8 F)
 - 1 ……ストップバルブの接続先端寸法を示します
 - ③ ……3 - 3.6 穴 (ユニット上部固定用下穴)
- この穴は、ユニットの据付足を固定した上で、さらに上部固定をされる場合にご利用ください。尚、ご使用可能なネジは、セルフタッピングネジ 5 x L 15 以下 (現地手配) です。



●PU(H)K-P224・280(U)AW-A

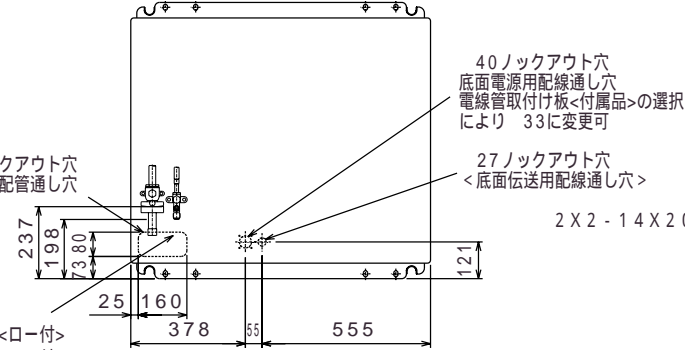
<付属品>

- ・冷媒<ガス>接続管・・・1個
(ユニットに取付済)
- ・接続管用パッキン・・・1個
(ボ-ルバルブ付近に取付)
- ・電線管取付板(本体同色塗装)
40, 33・・・各1個
- ・タッピンネジ 4 X 12・・・4本

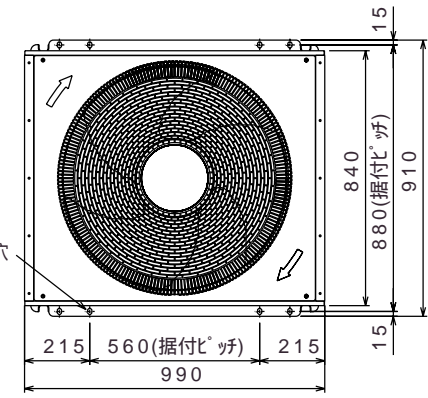
注1. 下配管取出しをする場合は
底面配管通し穴を基礎で
ふさがぬようにしてください

接続管
P224形: 25.4<ロー付>
P280形: 28.6<ロー付>

注1
ノックアウト穴
底面配管通し穴

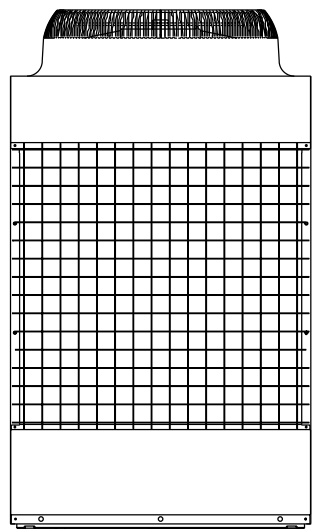


断面 X - X

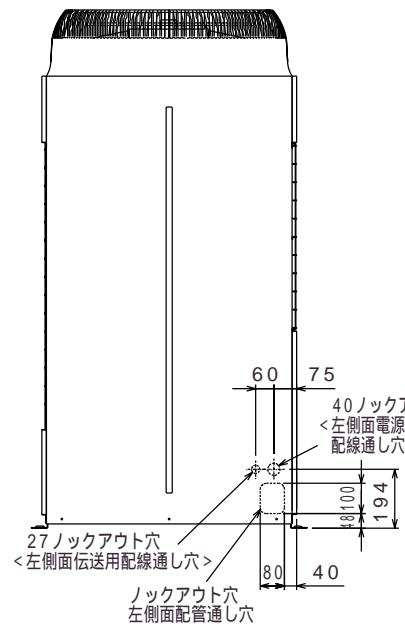


平面図

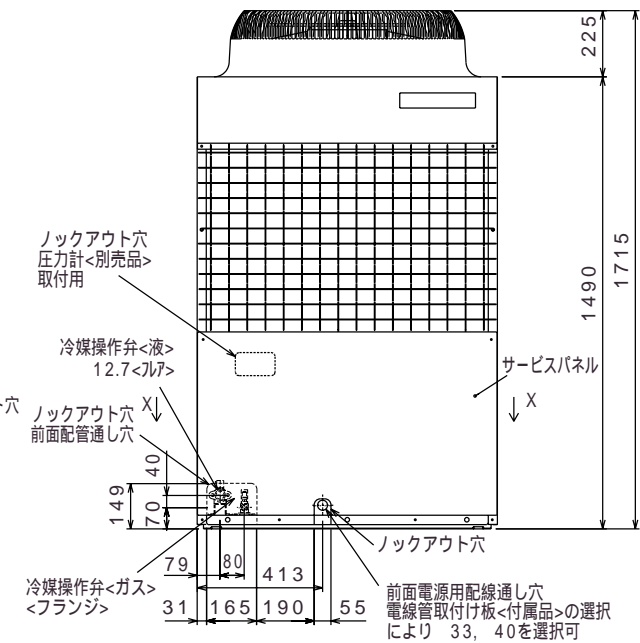
52



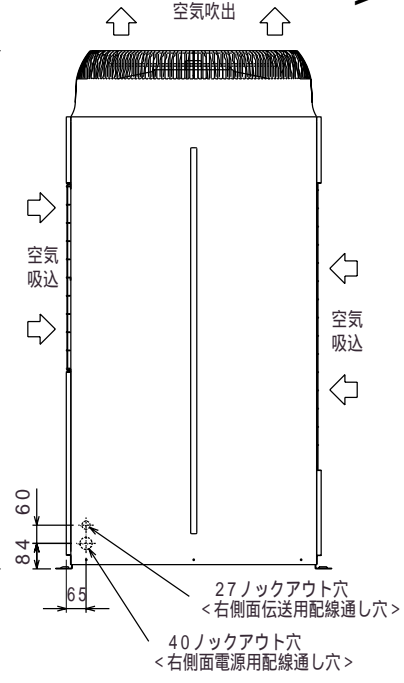
背面図



左側面図



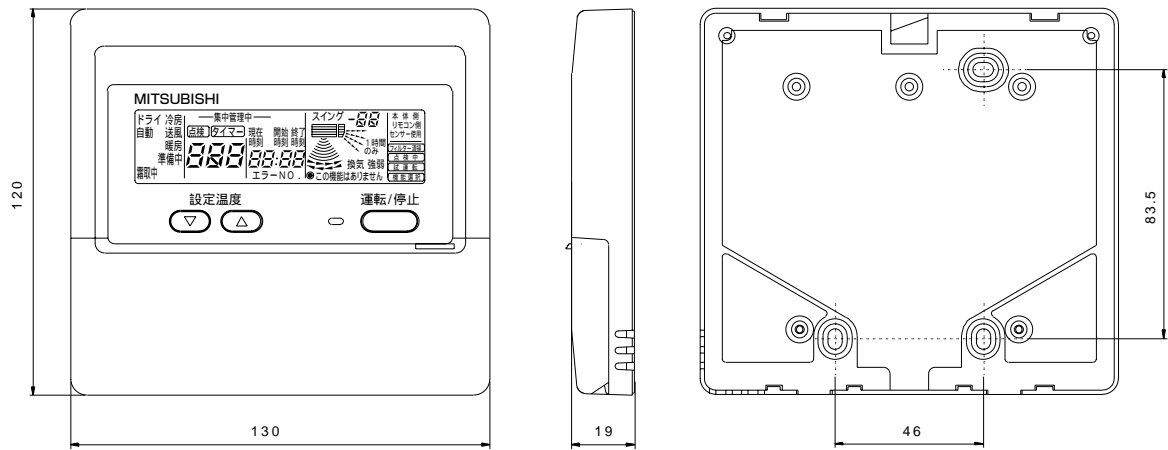
正面図



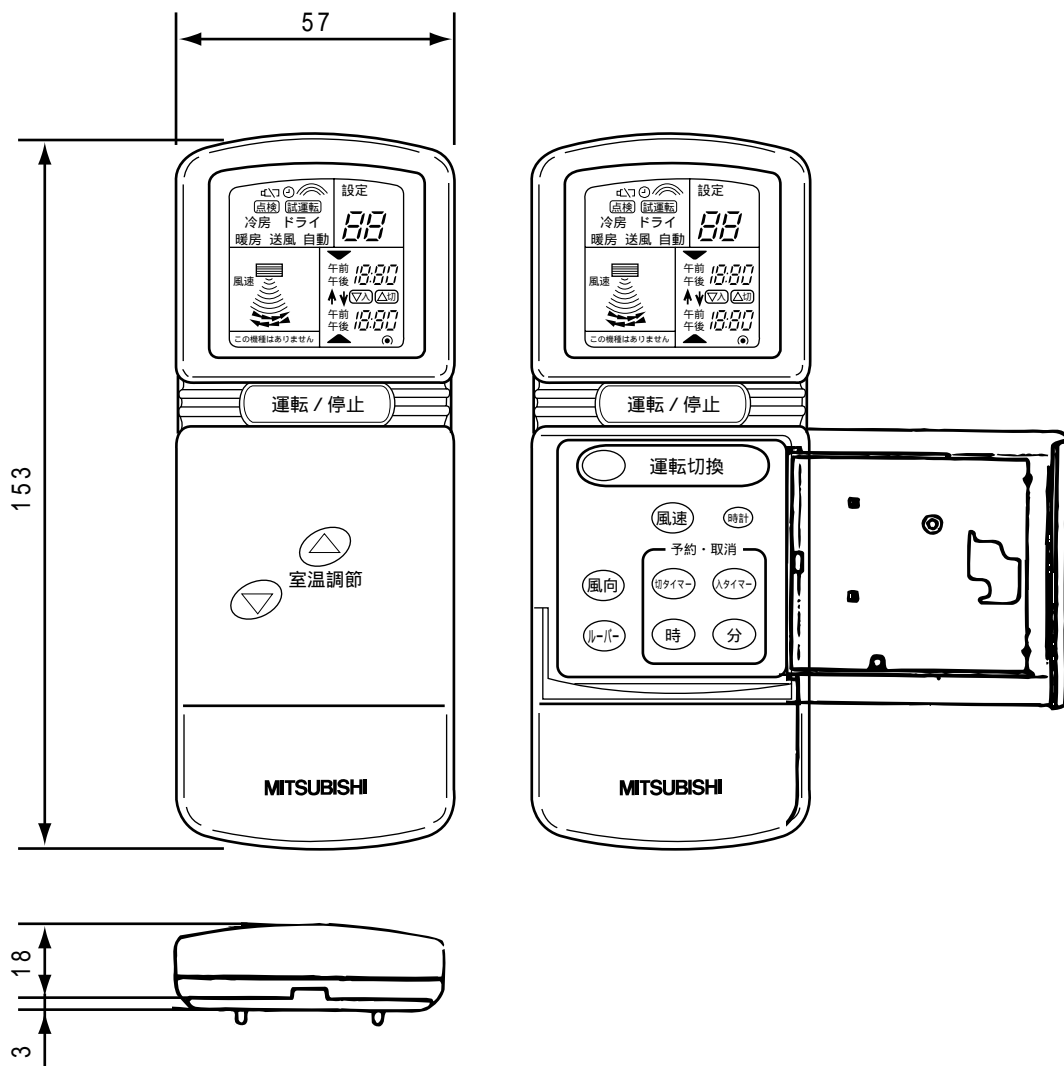
右側面図

(2) リモコン

① ワイヤードリモコン (室内ユニット操作部)



② ワイヤレスリモコン

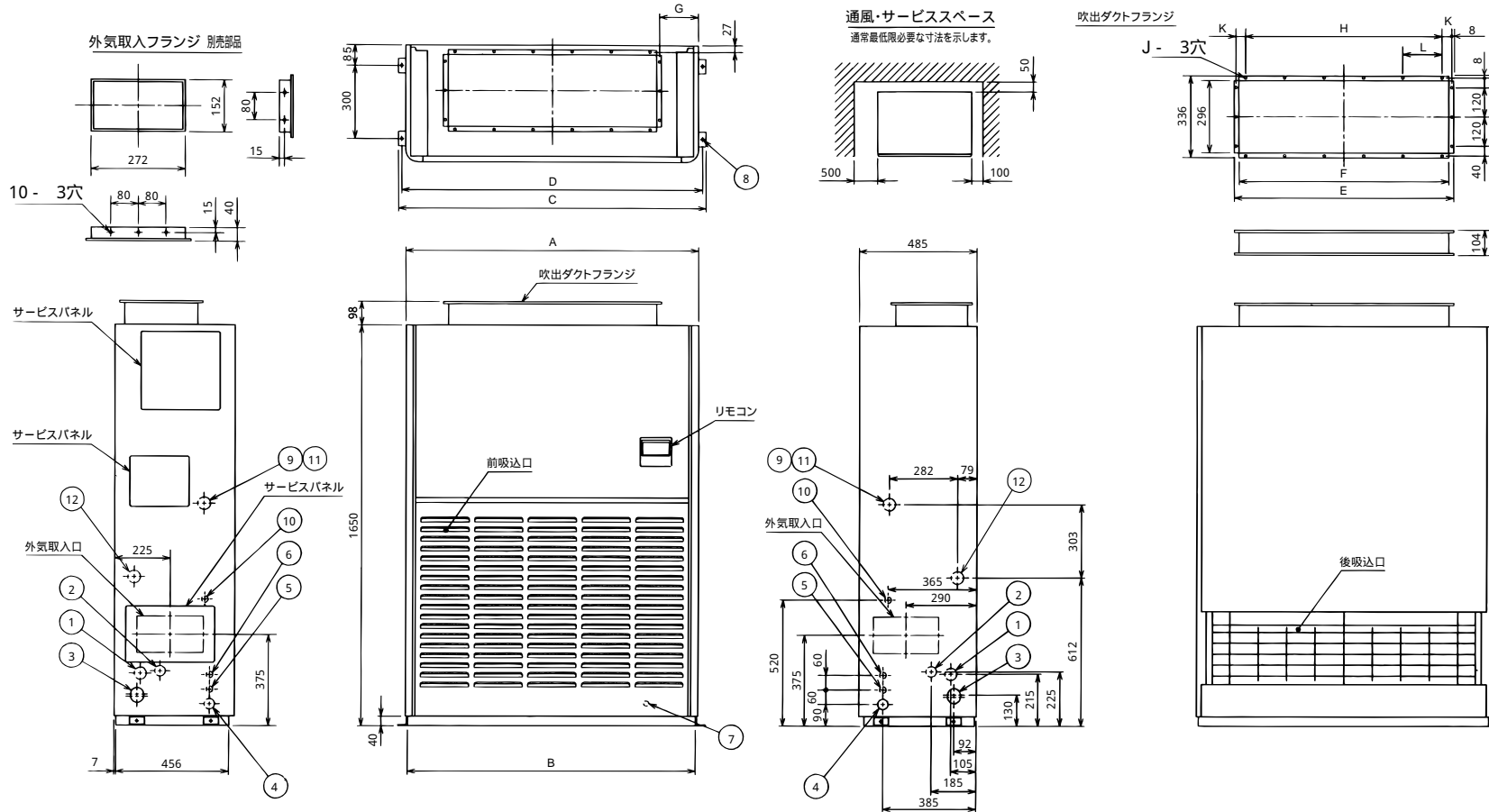


(3) 室内ユニット
 ① PFAK-P140・224・280AW(M)-A
 PFTK-P125・200・250AW(M)-A

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L
PFAK-P140(V)AW(M)-A PFTK-P125(V)AW(M)-A	760	742	822	794	383	343	154	230	10	68.5	-
PFAK-P224(V)AW(M)-A PFTK-P200(V)AW(M)-A	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	29.5	160
PFAK-P280(V)AW(M)-A PFTK-P250(V)AW(M)-A	1200	1182	1262	1234	895	835	160	800	18	39.5	160

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>..... P140,P125: 19.05 P224,P200: 25.4, P280,P250: 28.6 吋付	7	ア - ス端子 (制御箱内に設置)..... 5社'
2	冷媒配管<液>..... P140・P125: 9.52 P224・P280,P200・P250: 12.7 吋付	8	基礎ボルト穴..... 4- 12
3	ドレン穴..... 1B	9	透湿膜加熱器配管穴..... 52
4	装置電源穴..... 43	10	加湿器配管穴..... 27
5	電線穴..... 27	11	加湿器(蒸気入口・温水出口)・P140・224, P125・200: 1B P280, P250: 11/4B
6	室内外連絡穴, 伝送線穴..... 27	12	加湿器(蒸気出口・温水入口)・P140・224, P125・200: 1B P280, P250: 11/4B

注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
 注2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。



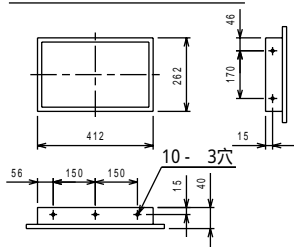
②PFAK-P450・560AW(M)-A
PFTK-P400・500AW(M)-A

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
PFAK-P450(V)AW(M)-A	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1178
PFTK-P400(V)AW(M)-A										
PFAK-P560(V)AW(M)-A	1420	1478	1450	1255	1215	247	5	1235	18	1398
PFTK-P500(V)AW(M)-A										

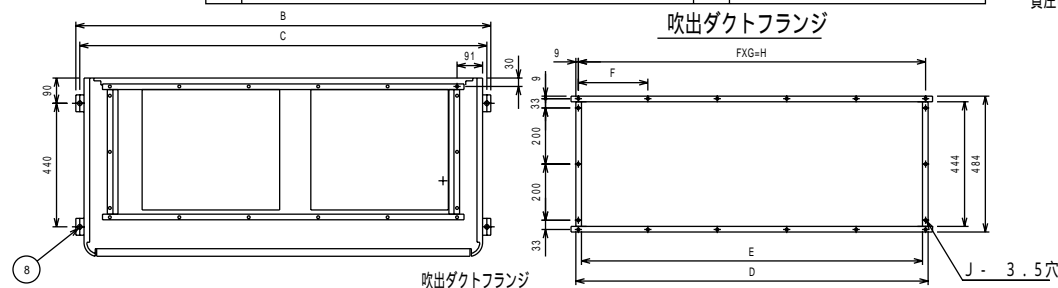
NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>…P450,P400: 25.4, P560,P500: 28.6 口-付	7	アース端子 (制御箱内に設置) …5枚
2	冷媒配管<液>… 12.7 ロー付	8	基礎ボルト穴 ……4- 12
3	ドレン穴 …… 1 1/4B	9	透湿膜加熱器配管穴 …… 52
4	装置電源穴 …… 52	10	加湿器配管穴 …… 27
5	電線穴 …… 37	11	加湿器(蒸気・温水) ……11/2B
6	室内外連絡穴,伝送線穴 …… 27		

- 注1. 別売加湿器(透湿膜を除く)を組み込んで右配管取り出しにする場合は別途、別売右配管部品(加湿器組込用)が必要となります。
- 注2. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
- 注3. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。

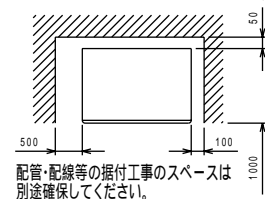
外気取入フランジ 別売部品



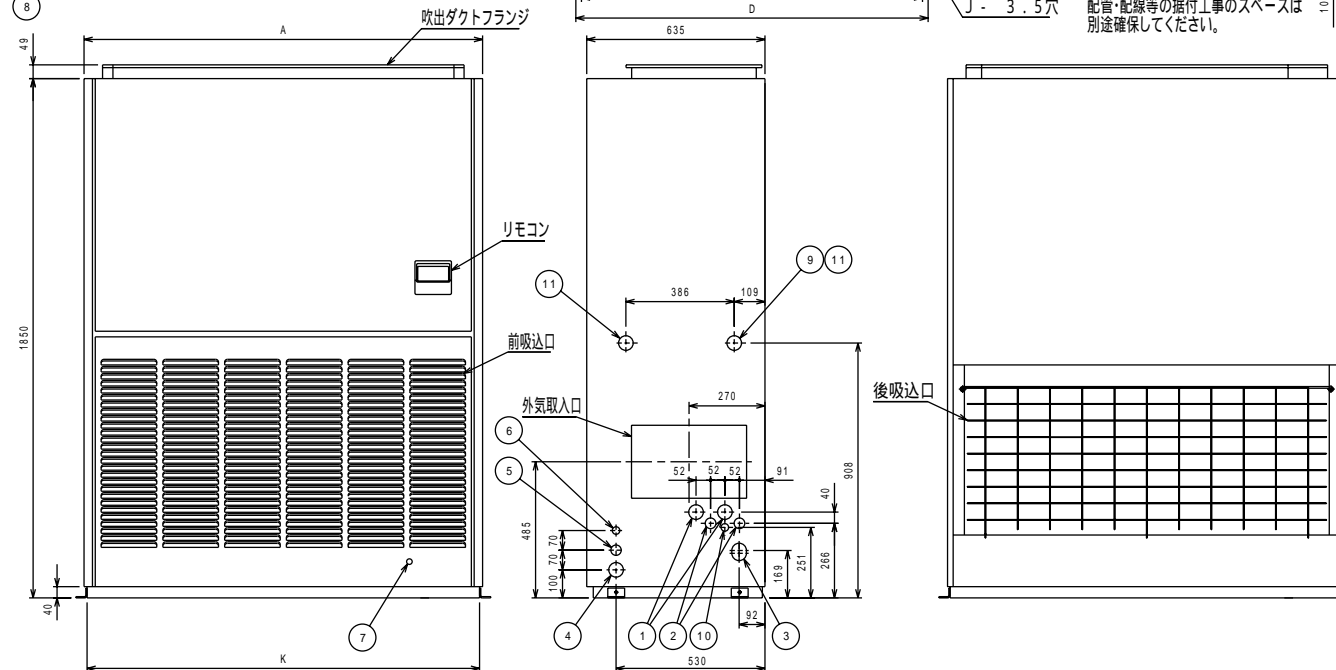
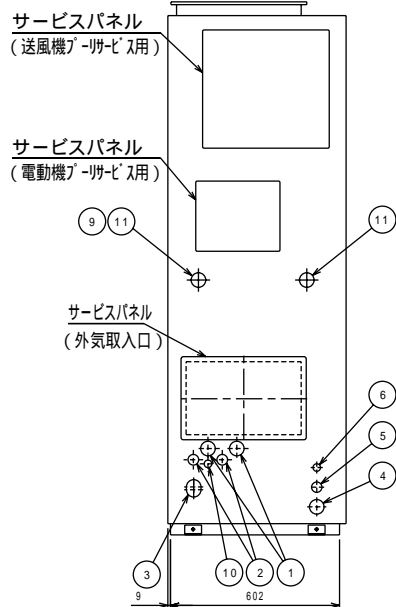
吹出ダクトフランジ



通風・サビスペース
通常最低限必要な寸法を示します。



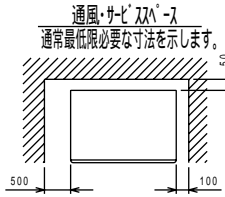
55



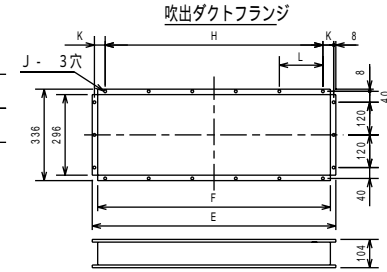
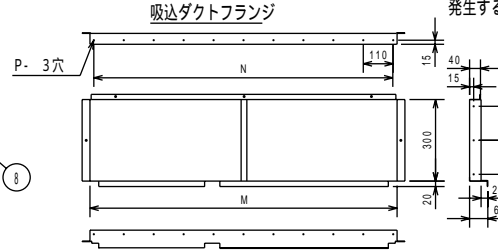
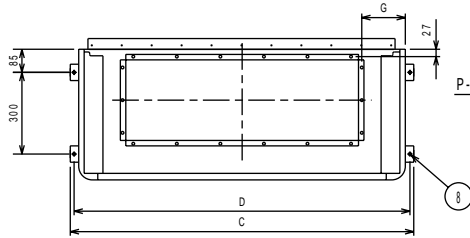
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	P
PFAK-P167(V)AW(M)-A-F	760	742	822	794	383	343	154	230	10	68.5	-	686	660	20
PFAK-P265(V)AW(M)-A-F	980	962	1042	1014	715	675	108	640	16	29.5	160	906	880	24
PFAK-P335(V)AW(M)-A-F	1200	1182	1262	1234	895	835	160	800	18	39.5	160	1126	1100	28

NO.	名称	NO.	名称
1	冷媒配管<ガス>..... P167: 19.05 P265: 25.4, P335: 28.6 □付	6	室内外連絡穴, 伝送線穴..... 27
2	冷媒配管<液>..... P167: 9.52 P265, P335: 12.7 □付	7	A-ス端子(制御箱内に設置)..... 5秒
3	ドレン穴..... 1B	8	基礎ボルト穴..... 4- 12
4	装置電源穴..... 43	9	透湿膜加熱器配管穴..... 52
5	電線穴..... 27	10	加湿器配管穴..... 27
		11	加湿器(蒸気入口・温水出口)・P167・265:1B, P335:11/4B
		12	加湿器(蒸気出口・温水入口)・P167・265:1B, P335:11/4B

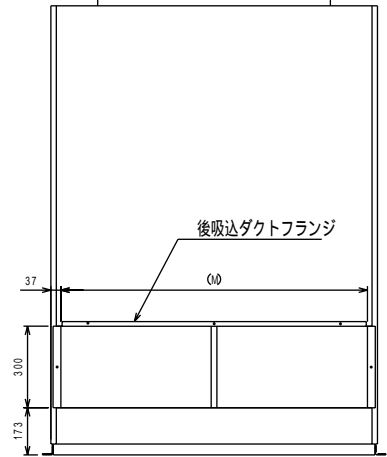
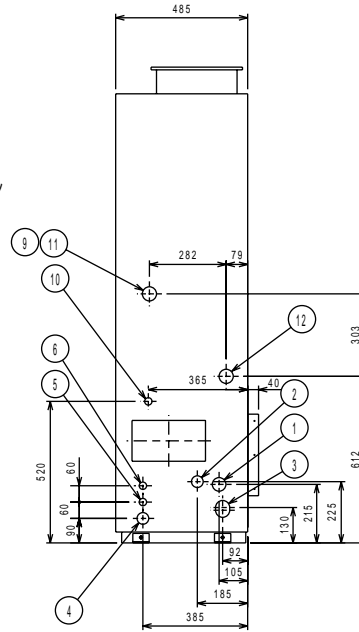
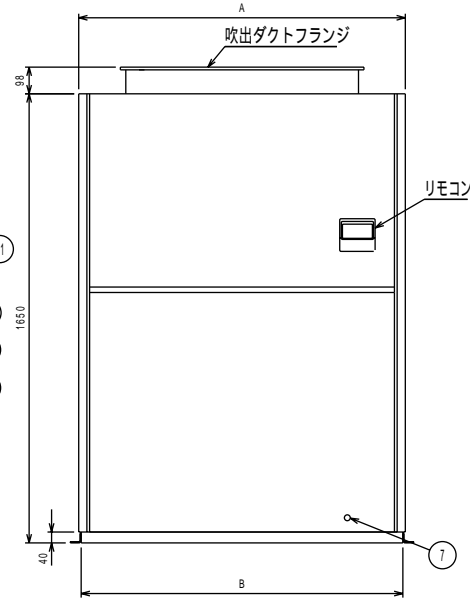
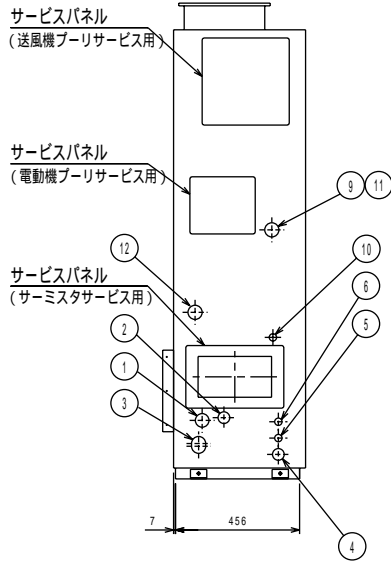
注1. 伝送線と電圧200V以上の配線は必ず分けた経路としてください。
 2. 設置する部屋の気密性が高い場合、室内が負圧となり、部屋の扉が開かない等の問題が発生する場合がありますので、室内が負圧にならないような通気孔等を設けてください。



配管・配線等の据付工事のスペースは別途確保してください。

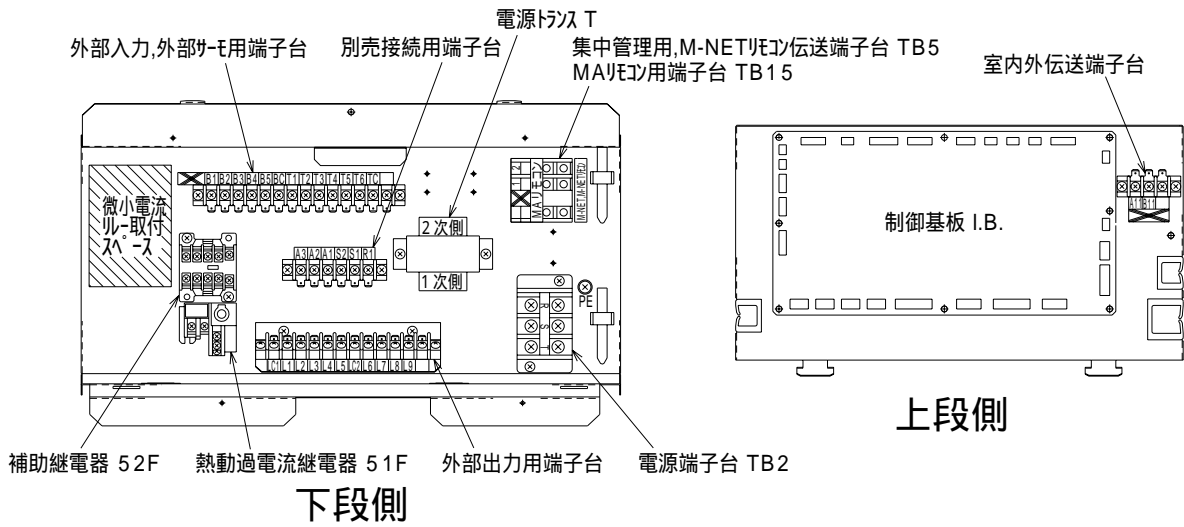


56

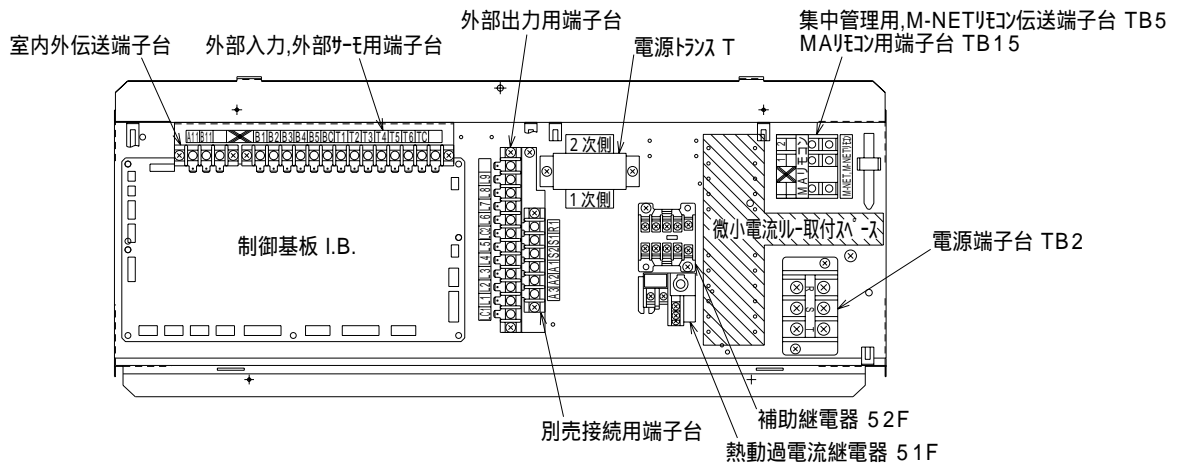


(4)室内ユニット電気品箱

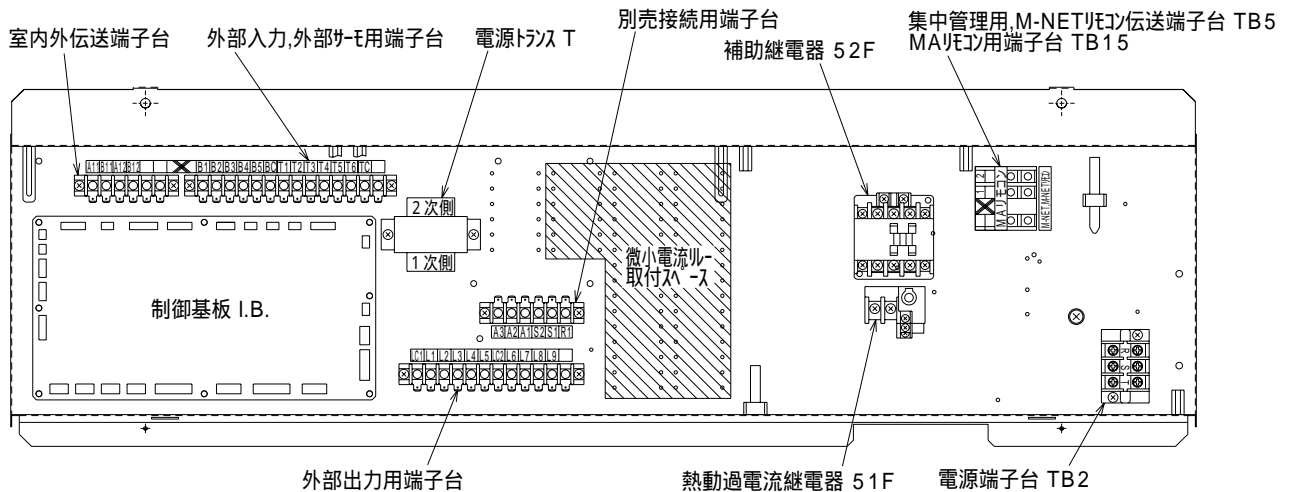
PFAK-P140AW(M)-A, PFTK-P125AW(M)-A, PFAK-P167AW(M)-A-F形



PFAK-P224,280AW(M)-A, PFTK-P200,250AW(M)-A, PFAK-P265,335AW(M)-A-F形



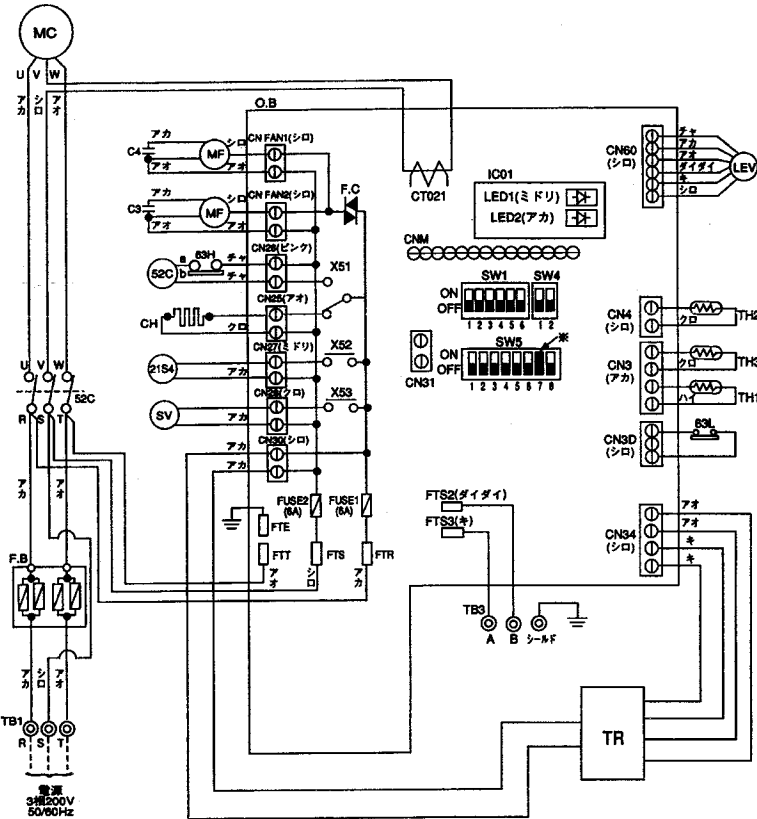
PFAK-P450,560AW(M)-A, PFTK-P400,500AW(M)-A, PFAK-P530,670AW(M)-A-F形



3.電気配線図
 (1)室外ユニット
 ●PU(H)K-P140AW-A

記号説明

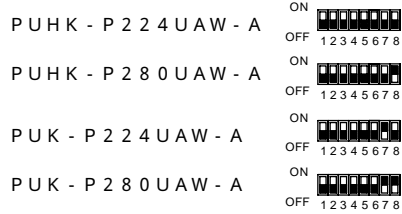
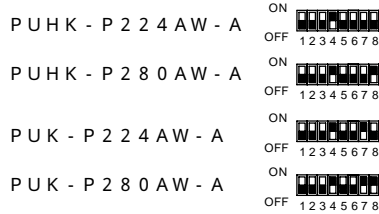
記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	O.B	室外コントローラボード
MF	送風機用電動機<インナーサーモ付>	FUSE1 <O.B>	ヒューズ<6A>
TH1	サーミスタ<配管温度検知>	FUSE2 <O.B>	ヒューズ<6A>
TH2	サーミスタ<圧縮機吐出配管温度検知>	X51 <O.B>	リレー<圧縮機/クランクケースヒータ>
TH3	サーミスタ<二相管温度検知>	X52 <O.B>	リレー<四方弁>
C3、C4	コンデンサ<送風機用電動機>	X53 <O.B>	リレー<電磁弁>
CH	クランクケースヒータ	F.C	ファンコントローラ<MF>
52C	電磁接触器<圧縮機>	SW1 <O.B>	スイッチ<送風機リ、異常クリア、冷機アドレス>
21S4	電磁弁<四方弁>	SW4 <O.B>	スイッチ<試運転>
SV	電磁弁<ガスバイパス>	SW5 <O.B>	スイッチ<機能固定>
LEV	電子膨張弁	CN31 <O.B>	コネクタ<応急運転>
63H	圧力開閉器<高圧保護用>	CT021 <O.B>	電流検出器
63L	圧力開閉器<低圧保護用>	LED1(緑)<O.B>	発光ダイオード<運転点検表示>
TB1	端子盤<電源線>	LED2(赤)<O.B>	発光ダイオード<運転点検表示>
TB3	端子盤<内外接続線>	TR	トランス
F.B	ヒューズ<30A>		



- 注1. ユニツトはD種(第三種)接地工事を必ず実施してください。
 2. TB3は伝送用端子合ですので、動力線は接続しないでください。
 3. 出荷時、SW5※は下記の状態になっています。

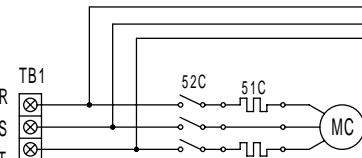


出荷時SW5は下記の状態となっています。

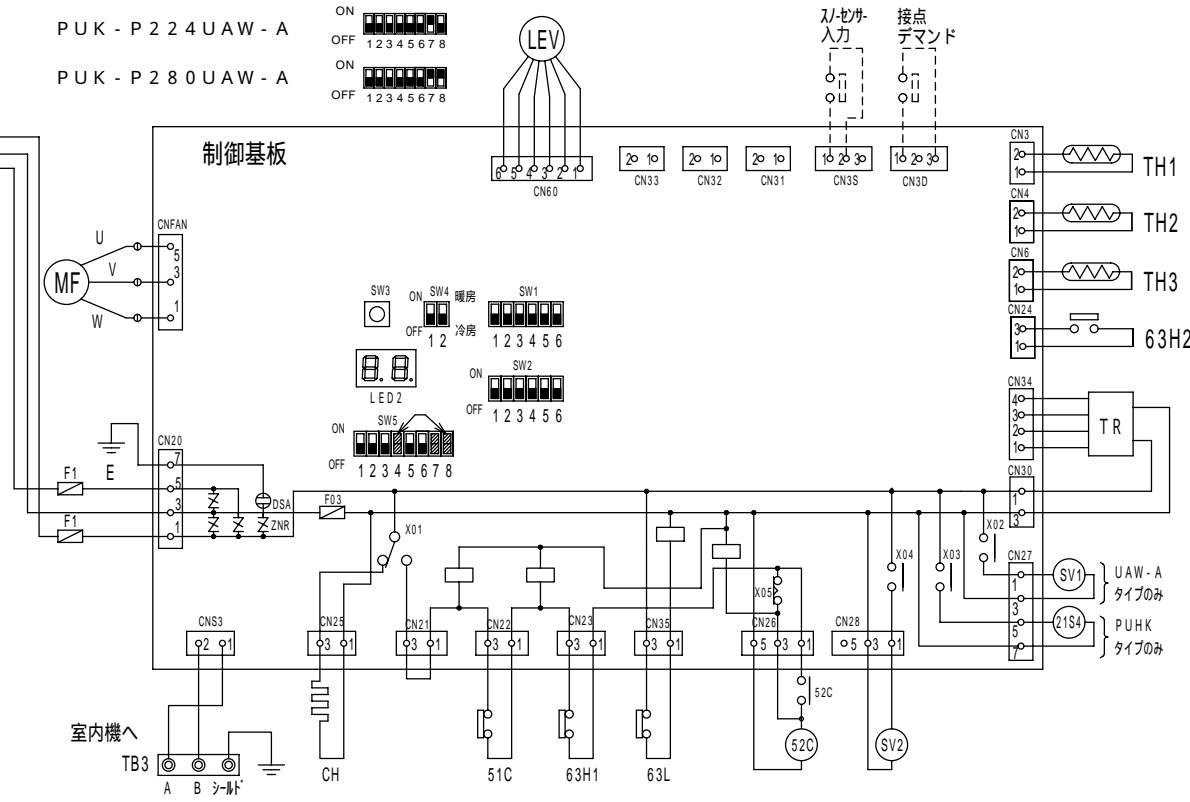


60

電源
3相200V
50/60Hz



記号	名称	記号	名称
MC	圧縮機用電動機	CN3	コネクタ(配管温度TH1)
MF	送風機用電動機	CN4	コネクタ(吐出温度TH2)
52C	電磁接触器(圧縮機)	CN6	コネクタ(熱交温度TH3)
51C	熱動電流継電器(圧縮機)	CN20	コネクタ(電源)
63H1	圧力開閉器(高圧保護)3.3MPa OFF	CN22	コネクタ(51C)
63H2	圧力開閉器(制御)2.79MPa ON	CN23	コネクタ(63H1)
63L	圧力開閉器(低圧保護)10 MPa OFF	CN24	コネクタ(63H2)
ZNR	バリスタ	CN25	コネクタ(CH)
CH	発熱器(ベルトヒータ)	CN26	コネクタ(52C)
TR	トランス	CN27	コネクタ(21S4, SV1)
TB1	端子台(電源)	CN28	コネクタ(SV2)
TB3	端子台(AW制御信号線)	CN30	コネクタ(トランス1次)
TH1	サ・ミスタ(配管温度検知)	CN31	コネクタ(応急)
TH2	サ・ミスタ(吐出配管温度検知)	CN32	コネクタ(テスト)
TH3	サ・ミスタ(熱交温度検知)	CN33	コネクタ(機種設定)
DSA	アレスタ	CN34	コネクタ(トランス2次)
F1	ヒューズ(10A)	CN35	コネクタ(63L)
F03	ヒューズ(2A)	CN3D	コネクタ(接点デマンド)
E	アース端子	CN3S	コネクタ(スノ・センサ)
X01	リレ-(CH)	CN53	コネクタ(伝送)
X02	リレ-(SV1)	CN60	コネクタ(LEV)
X03	リレ-(21S4)		
X04	リレ-(SV2)		
X05	リレ-(52C)		
CNFAN	コネクタ(送風機)		



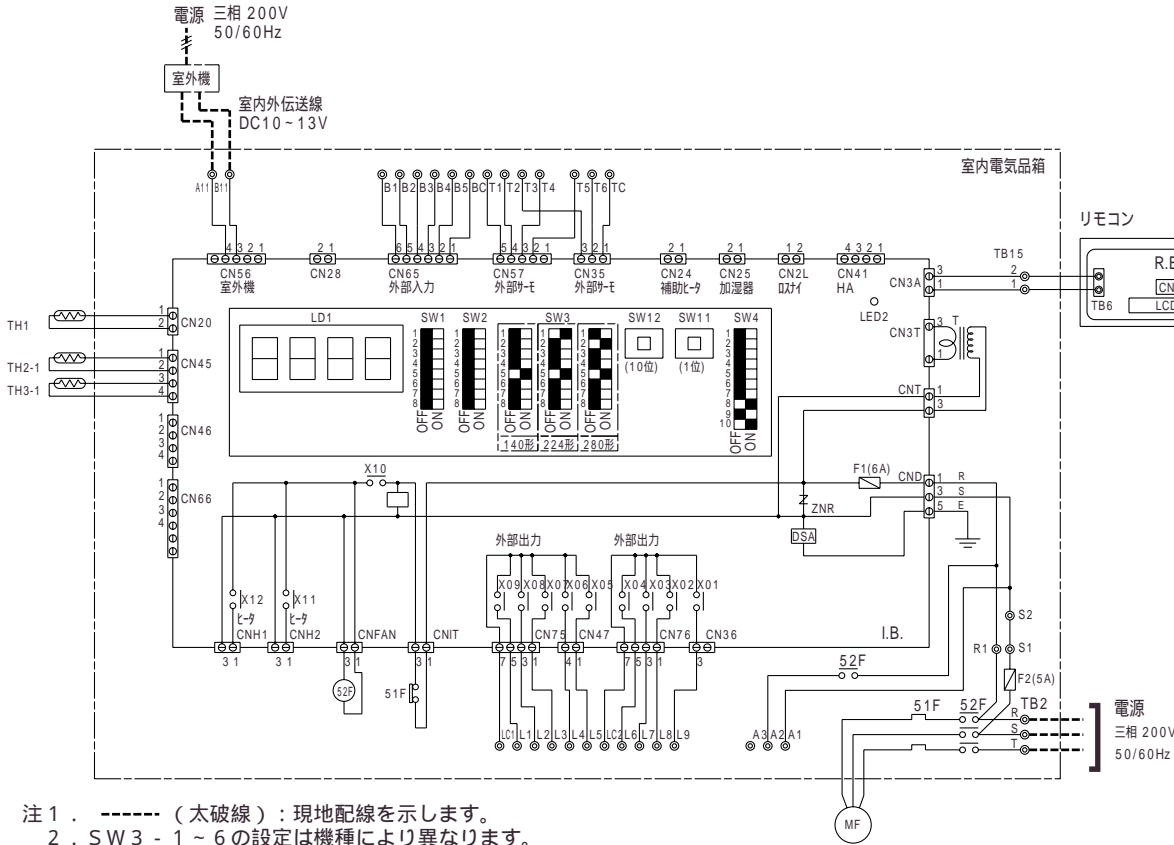
- 注1. ユニットのD種(第三種)接地工事を必ず実施してください。
 2. TB3は伝送用端子台ですので、動力線は接続しないでください。
 3. 破線は現地手配を示します。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(No.1熱交換管温度)
52F	補助継電器(送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスタ(No.1熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ		
CN24	コネクタ(補助ヒータ)	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクタ(HA)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW11(I.B)	スイッチ(7d設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	SW12(I.B)	スイッチ(7d設定用10の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイム)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスタ
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外機と組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意	
外部入力端子	レベル	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレ受けて基板に入力してください。 ・推奨用-微小電流用40製M Y形 ・本体制御箱内にリレ-取付穴-がありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。	
	回路電圧	B2	冷房運転ON-OFF	・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。		
	外部サーモ端子	レベル	T1	冷房ON-OFF		・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。
		回路電圧	T2	配線接続しない		・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。
		外部サーモ端子	T3	配線接続しない		間違っても接続しますと正常に運転しなくなります。
		外部サーモ端子	T4	暖房 高段側ON-OFF		・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。
外部出力端子	無電圧a接点出力	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレ受けてください。	
	外部出力端子	L2	52F ON時出力			
		L3	サーモ ON時出力			
		L4	暖房運転時出力			
		L5	霜取運転時出力			
外部出力端子	接点容量...AC200V 2.5A	L6	異常出力(室内、室外共通)			
	L7	異常出力(室外ユニット)				
	L8	使用しない				
	L9	使用しない				
	L10	使用しない				
	L11	使用しない				
	L12	L6-L9端子のコモン端子				



	140形	224形	280形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 印は端子台、⊖印はコネクタ、⊕印は基板差し込みコネクタを示します。

記号説明

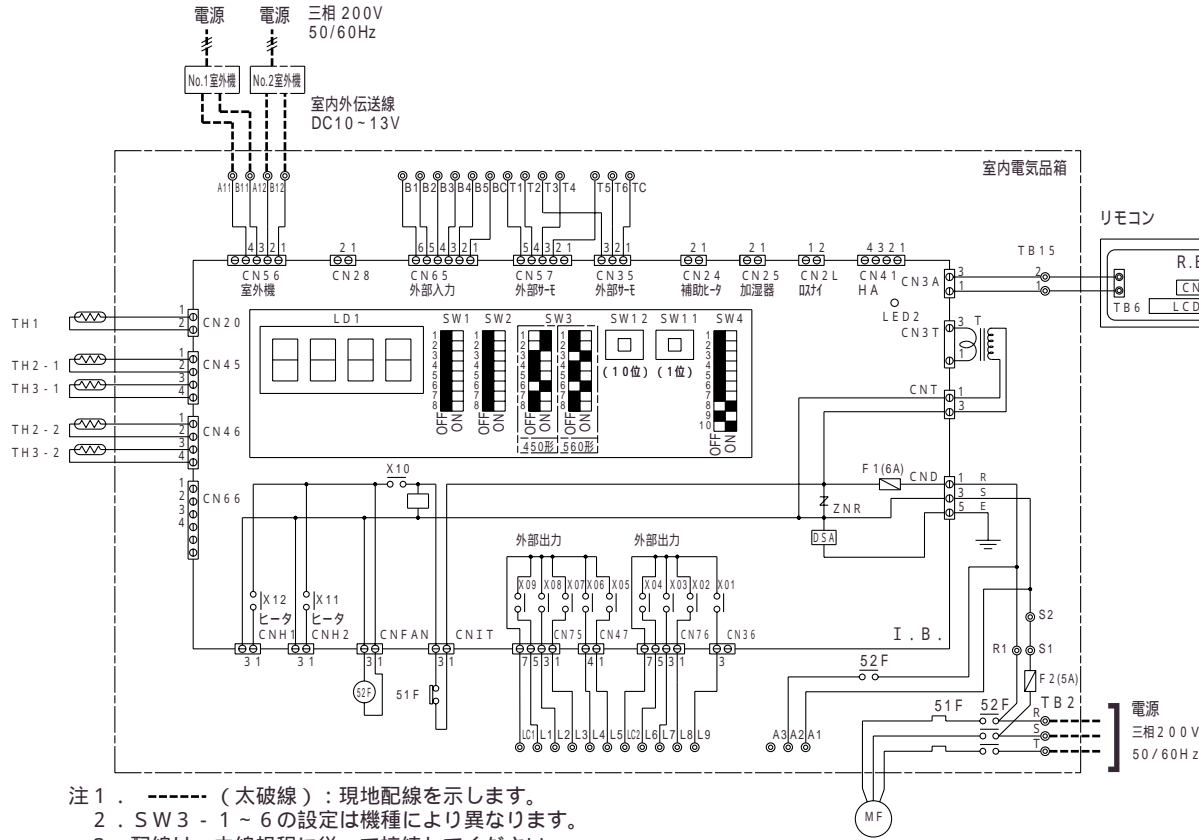
記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(No.1熱交液管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスタ(No.2熱交液管温度)
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスタ(No.1熱交二相管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-2	サーミスタ(No.2熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ		
CN24	コネクタ(補助ヒータ)	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクタ(HA)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW1.1(I.B)	スイッチ(7d/1d設定用 1の位)
CNIT	コネクタ(51F)	SW1.2(I.B)	スイッチ(7d/1d設定用 10の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイマ)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスタ
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明

冷媒専用室外機と組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータを組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	B1	R C / 遠方切換え	ONでRC操作になります	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引-受けして基板に入力してください。 ・推奨用-微小電流用接点の電圧V形 ・本体制御箱内にリレー取付穴-1が有りますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON-OFF	・B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転ON-OFF		
外部サーモ端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	T1	冷房 高段側ON-OFF(No.2回路)	・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。	同じ電線管内を通すと、誤動作の原因となります。 ・バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷媒自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房 低段側ON-OFF(No.1回路)		
		T3	配線接続しない		
		T4	暖房 高段側ON-OFF(No.1回路)		
		T5	暖房 低段側ON-OFF(No.2回路)		
		T6	暖房 最低段側ON-OFF(補助ヒータ)	・T6端子は補助ヒータ組込み時のみ配線接続してください。	
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 ...AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	霜取運転時出力		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
L9	使用しない				
LC2	L6-L9端子のコモン端子				

	450形	560形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外機への室内外伝送線No.1、No.2は、冷媒配管系統No.1、No.2と一致するよう確実に配線してください。
 6. 印は端子台、⊖印はコネクタ、⊕印は基板差し込みコネクタを示します。

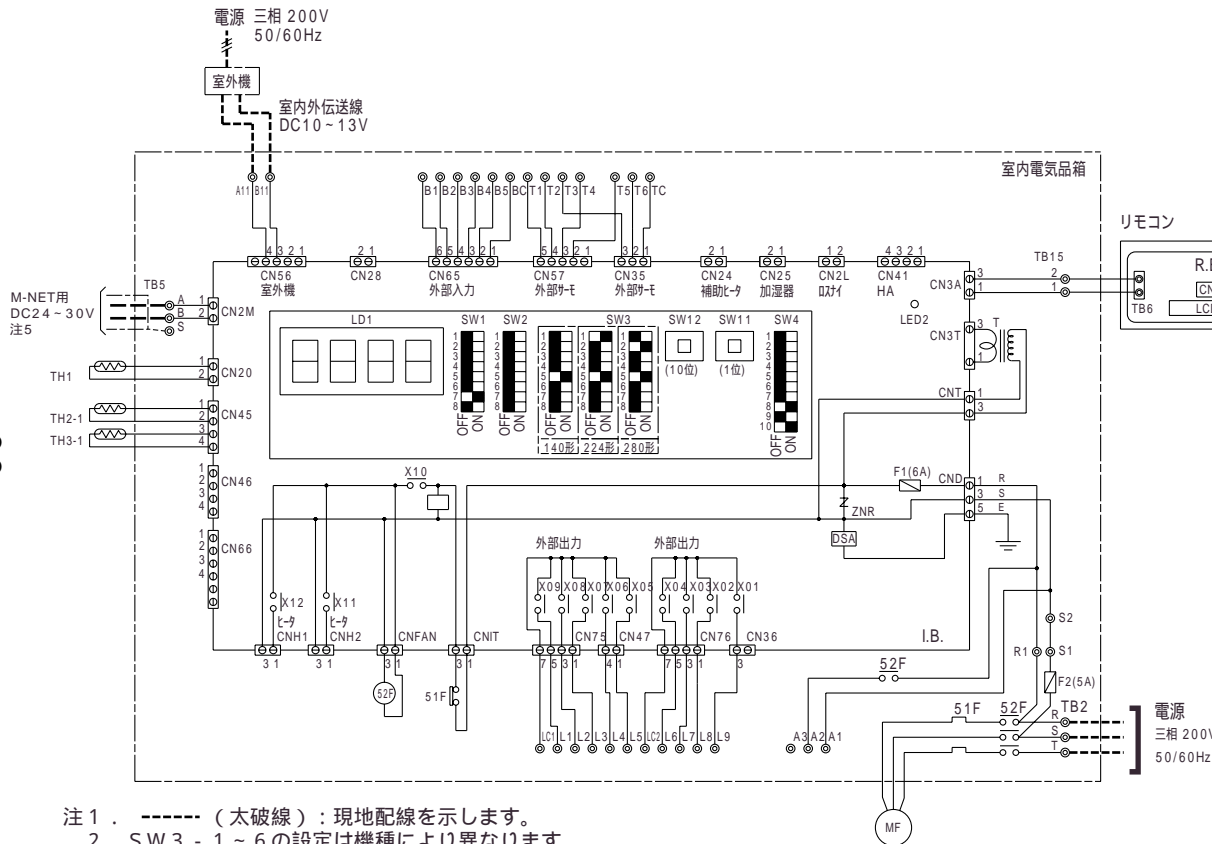
記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(No.1熱交換器温度)
52F	補助継電器(送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB5	集中管理用、M-NET用伝送端子台	TH3-1	サーミスタ(No.1熱交換器温度)
TB15	MAリモコン用端子台		
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN24	コネクタ(補助ヒータ)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW11(I.B)	スイッチ(7'レ設定用 1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW12(I.B)	スイッチ(7'レ設定用 10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイマ)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスタ
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外機と組合せた場合、暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータを組込んだ場合を示します。

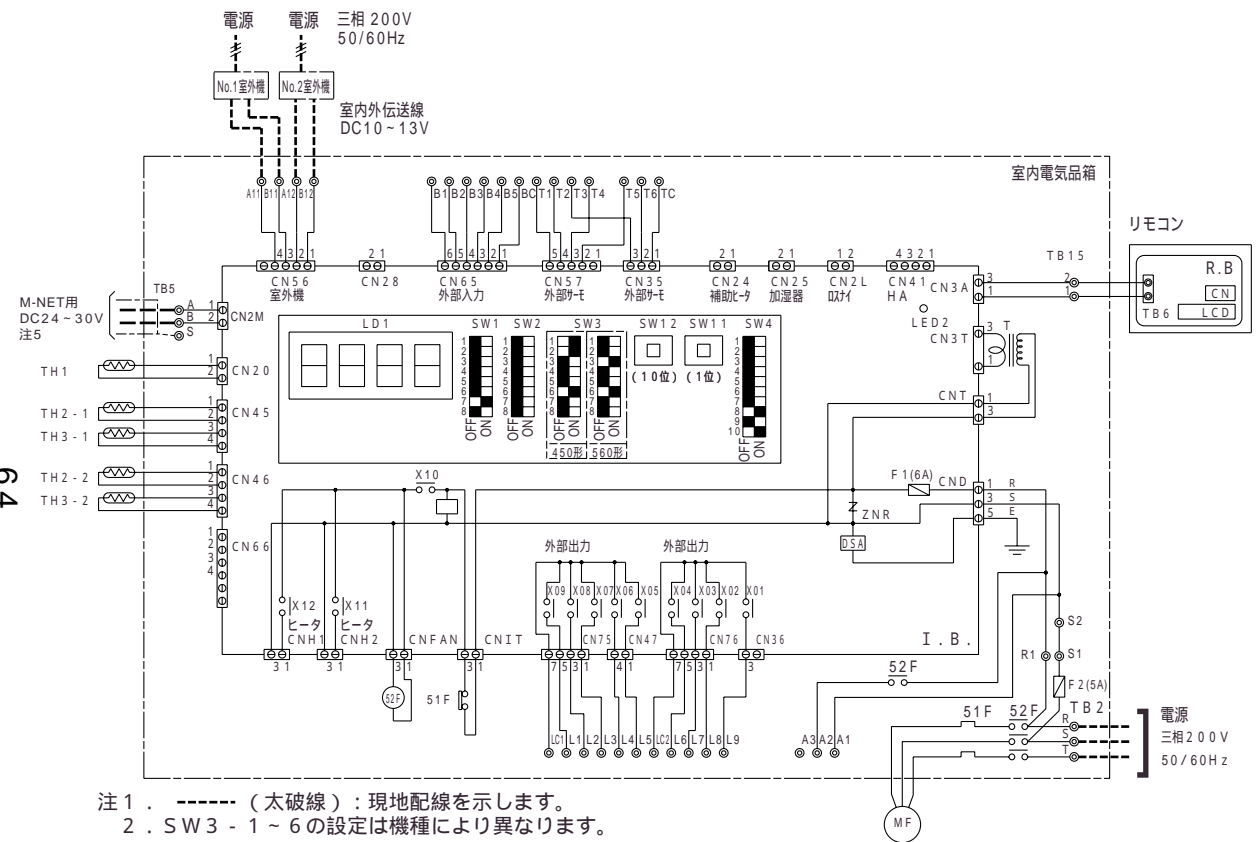
用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります	<ul style="list-style-type: none"> 外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号をリレー受けて基板に入力してください。 推定消費小電流用印40W形 本体制御箱内にリレー取付穴があり、その中で制御箱内に取付けることが可能です。低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力回路電圧: DC12V	B2	冷房運転ON - OFF	・B2 - B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
	B3	暖房運転ON - OFF			
	B4	送風運転ON - OFF			
	B5	自動運転ON - OFF			
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房ON-OFF	・外部サーモは左記内容に従って簡便に無事に接続してください。	<ul style="list-style-type: none"> 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 冷房自動運転時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力回路電圧: DC12V	T2	配線接続しない	・正常に運転しなくなります。	
	T3	配線接続しない			
	T4	暖房 高段側ON-OFF			
	T5	暖房 低段側ON-OFF(補助ヒータ)			
	T6	配線接続しない			
	T7	配線接続しない			
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	<ul style="list-style-type: none"> 出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受けてください。
	a接点	L2	52F ON時出力		
	L3	サーモ ON時出力			
	接点容量...AC200V 2.5A	L4	暖房運転時出力		
	L5	霜取運転時出力			
	L6	異常出力(室内、室外共通)			
	L7	異常出力(室外ユニット)			
	L8	使用しない			
	L9	使用しない			
L.C.2	L6 - L9端子のコモン端子				

	140形	224形	280形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上



- 注1. ----- (太破線): 現地配線を示します。
 2. SW3 - 1 ~ 6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)が必要です。
 6. 印は端子台、⊙印はコネクタ、⊗印は基板差し込みコネクタを示します。

64



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3 - 1 ~ 6 の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、
 本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. 室外機への室内外伝送線No. 1、No. 2は、冷媒配管系統No. 1、
 No. 2と一致するよう確実に配線してください。
 6. M-NET接続時には、必ず伝送線用給電ユニット(別売)
 が必要です。
 7. ⊕印は端子台、⊖印はコネクタ、Ⓞ印は基板差し込み
 コネクタを示します。

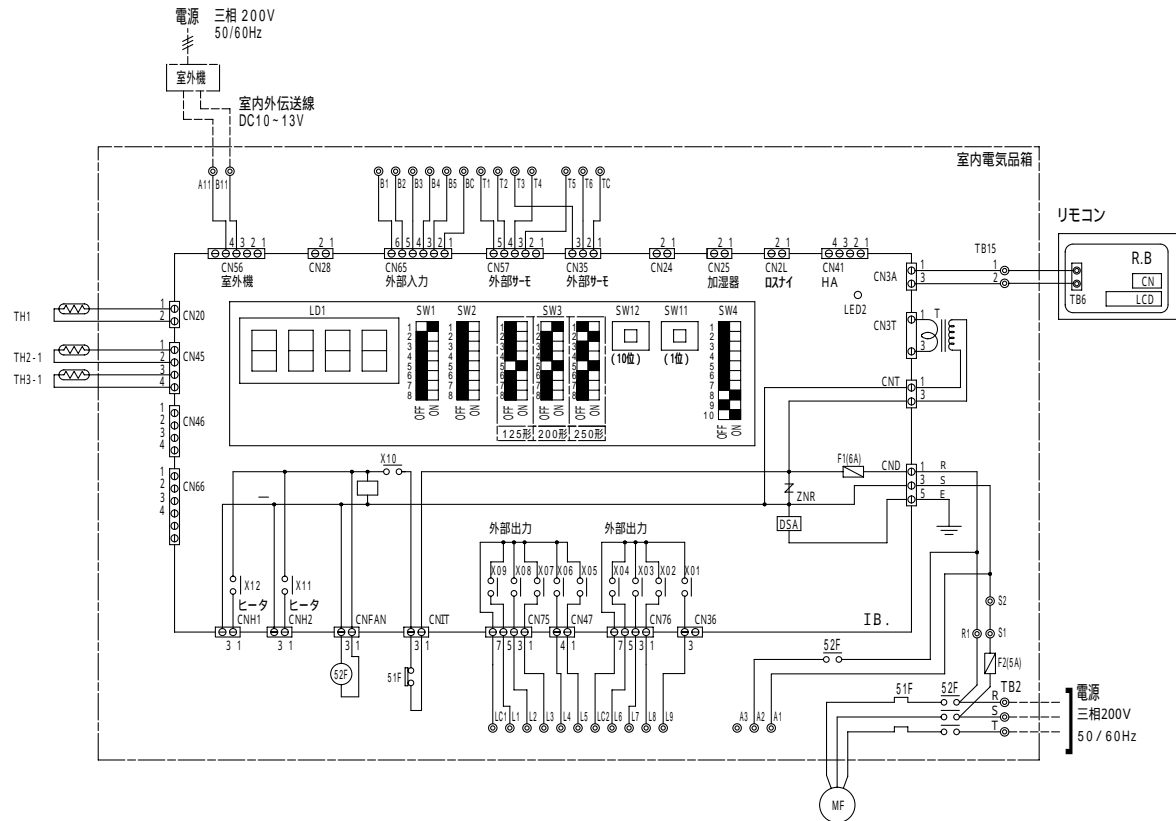
	450形	560形
開閉器	30 A	30 A
過電流保護器	20 A	30 A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(No.1熱交液管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスタ(No.2熱交液管温度)
TB2	電源端子台		
TB5	集中管理用、M-NET用伝送端子台	TH3-1	サーミスタ(No.1熱交二相管温度)
TB15	MARIモコン用端子台	TH3-2	サーミスタ(No.2熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ	SW1(I.B)	スイッチ(機種設定)
CN24	コネクタ(補助ヒータ)	SW2(I.B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(I.B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(I.B)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW11(I.B)	スイッチ(アドレ設定用 1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW12(I.B)	スイッチ(アドレ設定用 10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイム)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1F2	ヒューズ	DSA	アレスタ
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明 冷房専用室外機と組合わせた場合、暖房に関する内容は別売の暖房ヒータを組込んだ場合を示します。

用途	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります	<ul style="list-style-type: none"> ・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・B2 - B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 ・推奨用:微小電流用社電M1V形 ・本体制御箱内にリレー取付穴があり、低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	B2	冷房運転ON - OFF		
	B3	暖房運転ON - OFF		
	B4	送風運転ON - OFF		
	B5	自動運転ON - OFF		
外部サーモ端子	B C	B1 - B5端子のコモン端子		<ul style="list-style-type: none"> ・外部サーモは左記内容に従って間違いないように接続してください。間違っていると正常に運転しなくなります。 ・T6端子は補助ヒータ組込時のみ配線接続してください。 ・T1 - T6端子のコモン端子
	T1	冷房 高段側ON-OFF(No.2回路)		
	T2	冷房 低段側ON-OFF(No.1回路)		
	T3	配線接続しない		
	T4	暖房 高段側ON-OFF(No.1回路)		
	T5	暖房 低段側ON-OFF(No.2回路)		
	T6	暖房 最低段側ON-OFF(補助ヒータ)		
T C	T1 - T6端子のコモン端子			
外部出力端子	L1	冷房運転時出力	・左記運転状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受け付けてください。
	L2	52F ON時出力		
	L3	サーモ ON時出力		
	L4	暖房運転時出力		
	L5	露取運転時出力		
	LC1	L1 - L5端子のコモン端子		
	L6	異常出力(室内、室外共通)		
	L7	異常出力(室外ユニット)		
	L8	使用しない		
	L9	使用しない		
LC2	L6 - L9端子のコモン端子			



- 注1. ----- (太破線) 現地配線を示します。
 2 SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、
 本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5 ◎印は端子台、○印はコネクタ、⊙印は基板差し込み
 コネクタを示します。

	125形	200形	250形
開閉器	15 A	15 A	15 A
過電流保護器	15 A	15 A	15 A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
52F	補助継電器(送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
IB	室内制御基板		
ZNR	バリスタ		
		SW1(1B)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW2(1B)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクタ(HA)	SW3(1B)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW4(1B)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW11(1B)	スイッチ(7d/以設定用1の位)
CNT	コネクタ(51F)	SW12(1B)	スイッチ(7d/以設定用10の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	R B	リモコン基板
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマ)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01~X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスタ
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ(蒸気・温水ヒータ・大容量電気ヒータ)を組込んだ場合を示します。

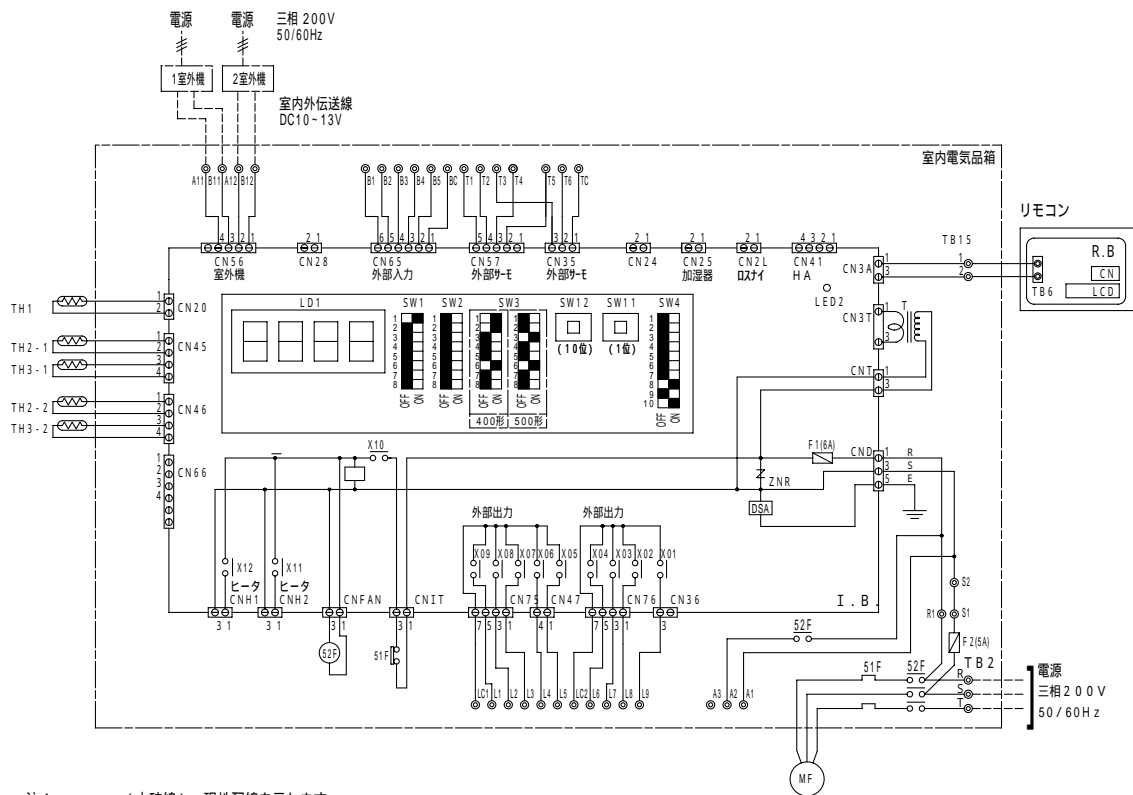
用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります	*外部入力、外部サ-モの入力はレベル入力、 微小電流用接点を接続ください。 *配線長100mを超える場合(Max200mまで) は、必ず100m以内で現地信号をル-受け して基板に入力してください。 *推奨用:微小電流用知能MY形 *本体制御室内にリレー取付穴-1があります *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を 通してください。 *同じ電線管内を通すと、誤作動の原因と なります。 *バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は 別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」を ご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板 SW11-5をON、外部サ-モ接続する場合は SW11-6をONにしてください。 *冷房自動時は外部サ-モ接続端子の 設定方法が異なります。 *詳しくは技術資料を参照ください。
		B2	冷房運転ON-OFF	*B2-B5端子は必ず 1端子のみに入力して ください、2端子以上 入力しますとユニット は停止します。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サ-モ端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	T1	冷房高段・暖房高段	外部サ-モは接続要領に従っ て間違いの無いように接続し てください。 間違っていると正常に 運転しなくなります。 *T1,T2の順に設定温度が外部 なるように配線接続して下さ い。	暖房時は、T1-T2への入力 がOFFでサ-モONとなります。
		T2	冷房低段・暖房低段		
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 出力 接点容量 ...AC200V 2.5A	L1	冷房運転時出力	*左記明状態の場合に 無電圧のa接点出力を します。	出力のa接点の接点電流量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないで ください。それ以上で使用になる場合は リレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サ-モ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
		L9	使用しない		
LC2	L6-L9端子のコモン端子				

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(1熱交液管温度)
52F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスタ(2熱交液管温度)
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスタ(1熱交二相管温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-2	サーミスタ(2熱交二相管温度)
I.B.	室内制御基板	ZNR	バリスタ
		SW1(1B)	スイッチ(機種設定)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW2(1B)	スイッチ(自己診断)
CN41	コネクタ(HA)	SW3(1B)	スイッチ(能力設定)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW4(1B)	スイッチ(機能切換)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW11(1B)	スイッチ(7d設定用1の位)
CNIT	コネクタ(51F)	SW12(1B)	スイッチ(7d設定用10の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクタ(ロスタイ)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマ)
T	トランス	TB6	端子台(室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	DSA	アレスタ
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ(蒸気・温水ヒータ・大容量電気ヒータ)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意	
外部入力端子	レベル	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 ・B2-B5端子は必ず1端子のみ入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 ・本体制御箱内にリレー取付穴(1)があり、推突形・微小電流用M/MY形入力が可能です。 ・本体制御箱内にリレー取付穴(2)があり、推突形・微小電流用M/MY形入力が可能です。 ・電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 ・同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。	
	接点入力	B2	冷房運転ON・OFF	B2-B5端子は必ず1端子のみ入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。		
	回路電圧	B3	暖房運転ON・OFF			
		B4	送風運転ON・OFF			
		B5	自動運転できません			
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段2・暖房高段1	外部サーモは接続要領に従って間違いないように入力してください。	・冷房高段1・暖房高段2は、別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷房自動時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 ・詳しくは技術資料を参照ください。	
	接点入力	T2	冷房高段1・暖房高段2			
	回路電圧	T3	冷房低段2・暖房低段1			
		T4	冷房低段1・暖房低段2			
		T5	配線接続しない			
		T6	配線接続しない			
		TC	T1-T6端子のコモン端子			
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	・左記明状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	・出力のa接点の接続電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上のご使用は接続しないでください。それ以上のご使用になる場合はリレー受け付けてください。	
	a接点	L2	52F ON時出力			
	出力	L3	サーモON時出力			
	接点容量 ..AC200V 2.5A		L4			暖房運転時出力
			L5			使用しない
			LC1			L1-L5端子のコモン端子
			L6			異常出力(室内、室外共通)
			L7			異常出力(1室外ユニット)
		L8	異常出力(2室外ユニット)			
	L9	使用しない				
	LC2	L6-L9端子のコモン端子				



	400形	500形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

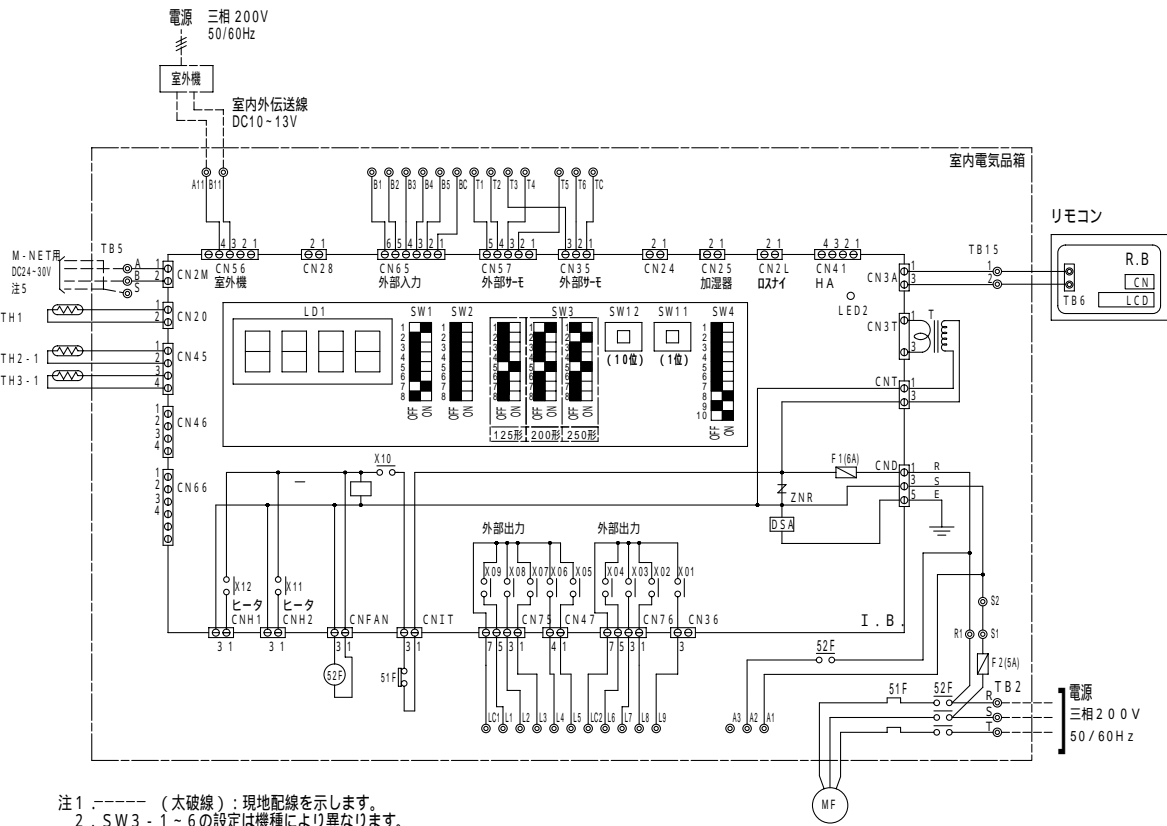
- 注 1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. ◎印は端子台、○印はコネクタ、⊙印は基板差し込みコネクタを示します。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
52F	補助継電器(送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB5	集中管理用M-NET用伝送端子台	TH3-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
TB15	MAリモコン用端子台		
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
		SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(IB)	スイッチ(機能切替)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW11(IB)	スイッチ(7/10で設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW12(IB)	スイッチ(7/10で設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマ)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスタ
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ(蒸気・温水・ヒータ・大容量電気ヒータ)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 *配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず300m以内で現場信号をループ受けして基板に入力してください。 *推奨用-微小電流用40mA電M形 *本体制御箱内にリレー取付穴が2箇所ありますので制御箱内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
		B2	冷房運転ON-OFF	*B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。	
		B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転できません		
		B C	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル 接点入力 回路電圧 DC12V	T1	冷房高段・暖房高段	*外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。	*外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。 *バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続の場合はSW1-6をONにしてください。 *冷種自動時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
		T2	冷房低段・暖房低段		
		T3	配線接続しない	間違って接続しますと正常に運転しなくなります。	
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		T C	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧 a接点 出力 L3 L4 L5 L6 L7 L8 L9 L C2	L1	冷房運転時出力	*左記明状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	*出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上で使用になる場合はリレー受けしてください。
		L2	52F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
		L5	使用しない		
		L C1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
L9	使用しない				
L C2	L6-L9端子のコモン端子				



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. M-NET接続時には、必ず伝送用給電ユニット(別売)が必要です。
 6. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊗印は基板差し込みコネクタを示します。

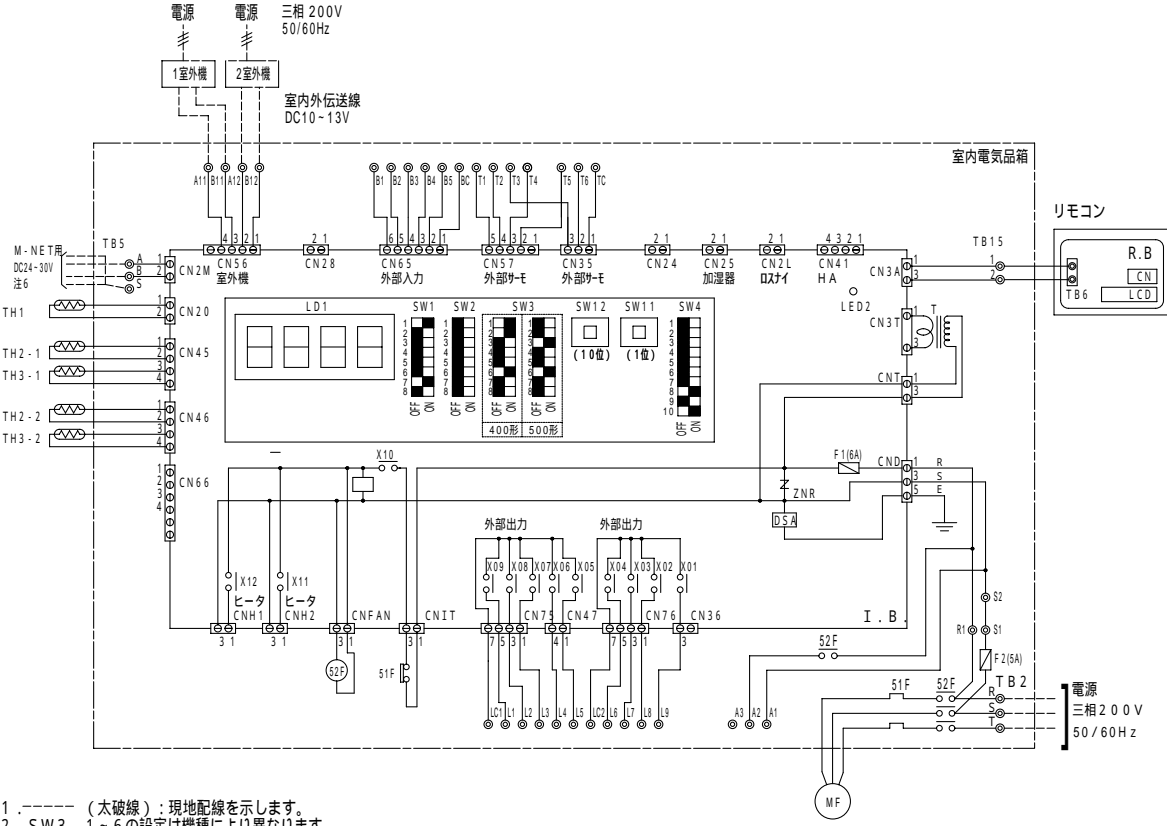
	125形	200形	250形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
S1F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
S2F	補助継電器(送風機用)	TH2-2	サーミスタ(2熱交換管温度)
TB2	電源端子台	TH3-1	サーミスタ(1熱交二相管温度)
TB5	集中管理用M-NET伝送端子台	TH3-2	サーミスタ(2熱交二相管温度)
TB15	MAリモコン用端子台		
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
		SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(IB)	スイッチ(機能切換)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW11(IB)	スイッチ(アフレ設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW12(IB)	スイッチ(アフレ設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマ)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1F2	ヒューズ	DSA	アレスタ
X01-X12	補助継電器(室内基板内)		
LD1	発光ダイオード(表示)		
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)		

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ(蒸気・温水ヒータ大容量電気ヒータ)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意	
外部入力端子	レベル	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 *配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引受けして基板入力してください。 *別売の微小電流用IC形M形 *本体制御箱内にリレー取付穴があり、本体で制御箱内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。	
	回路電圧 : DC12V	B2	冷房運転ON-OFF	*B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。		
		B3	暖房運転ON-OFF			
		B4	送風運転ON-OFF			
		B5	自動運転できません			
		B C	B1-B5端子のコモン端子			
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段2・暖房高段1	*外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。間違っても接続しなると正常に運転しなくなります。 *T1、T2、T3、T4の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。 *暖房時はT1-T4の4つの入力OFFでサーモONとなります。 *冷庫自動明時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。	同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 *バリス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板SW1-8をON、外部サーモ接続する場合はSW1-8をONにしてください。	
	回路電圧 : DC12V	T2	冷房高段1・暖房高段2			
		T3	冷房低段2・暖房低段1			
		T4	冷房低段1・暖房低段2			
		T5	配線接続しない			
		T6	配線接続しない			
		T C	T1-T6端子のコモン端子			
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	*左記明状態の場合に無電圧のa接点出力をします。	*出力のa接点の電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご使用になる場合はリレーをつけてください。	
	a接点出力	L2	52F ON時出力			
		L3	サーモ ON時出力			
		L4	暖房運転時出力			
		L5	使用しない			
		L C1	L1-L5端子のコモン端子			
		L6	異常出力(室内、室外共通)			
		L7	異常出力(1室外ユニット)			
		L8	異常出力(2室外ユニット)			
		L9	使用しない			
L C2	L6-L9端子のコモン端子					



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(ヒータ、加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. M-NET接続時には、必ず伝送用給電ユニット(別売)が必要です。
 6. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊗印は基板差し込みコネクタを示します。

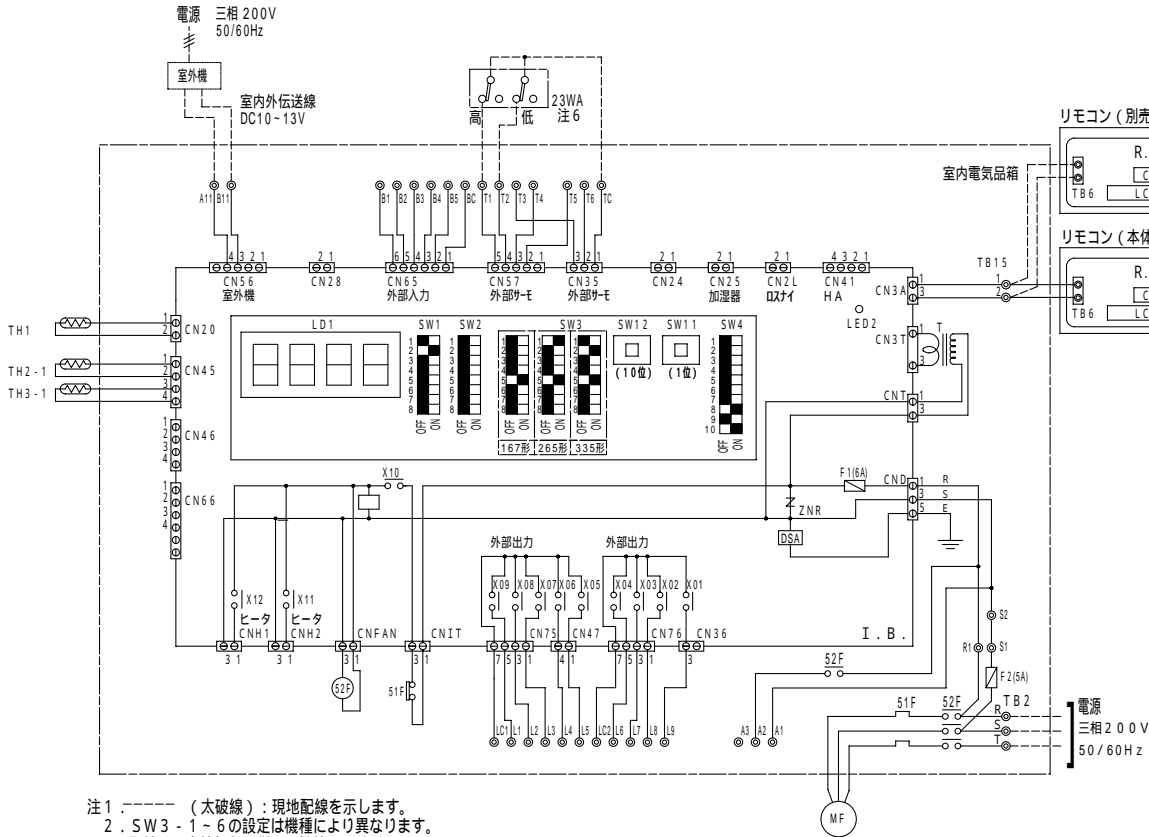
	400形	500形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
S1F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
S2F	補助継電器(送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスタ(1熱交換管温度)
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ		
CN25	コネクタ(加湿器)	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW4(IB)	スイッチ(機能切換)
CNIT	コネクタ(51F)	SW11(IB)	スイッチ(7/11設定用1の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	SW12(IB)	スイッチ(7/11設定用10の位)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	R.B	リモコン基板
T	トランス	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマ)
F1,F2	ヒューズ	TB6	端子台(室内ユニット接続)
X01-X12	補助継電器(室内基板内)	LCD	液晶表示器
LD1	発光ダイオード(表示)	DSA	アレスタ
LED2	発光ダイオード(リモコン給電)	23WA	温度調節器(現地手配)

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ(蒸気・温水ヒータ)を組込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります	微小電流用接点を接続ください。 ・配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引受けして基板に入力してください。 推奨ル-微小電流用30芯MY形 ・本体制御箱内にリレー取付穴「I」がありますので制御箱内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。 同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 ・バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キットPAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW11-5をON、外部サーモ接続する場合はSW11-6をONにしてください。 ・冷暖自動時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力	B2	冷房運転ON-OFF	・B2-B5端子は必ず1端子の外に入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。	
	回路電圧	B3	暖房運転ON-OFF		
		B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転できません		
外部サーモ端子	レベル	B C	B1-B5端子のコモン端子		
	接点入力	T1	冷房高段・暖房低段	・外部サーモは接続要領に従って間違いの無いように接続してください。	出力のa接点の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上ご使用になる場合はリレー受けしてください。
	回路電圧	T2	冷房低段・暖房高段	間違って接続しますと正常に運転しなくなります。	
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない	・T1、T2の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。	
	T C	T1-T6端子のコモン端子			
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	・左記順の状態に無電圧のa接点出力をします。	
	a接点出力	L2	52F ON時出力		
	出力	L3	サーモ ON時出力		
	接点容量	L4	暖房運転時出力		
	..AC200V	L5	使用しない		
	2.5A	L C1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(室外ユニット)		
		L8	使用しない		
	L9	使用しない			
	L C2	L6-L9端子のコモン端子			



- 注1. ----- (太破線)：現地配線を示します。
 2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(加湿器、モータ)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊕印は基板差し込みコネクタを示します。
 6. 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

	167形	265形	335形
開閉器	15 A	15 A	15 A
過電流保護器	15 A	15 A	15 A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

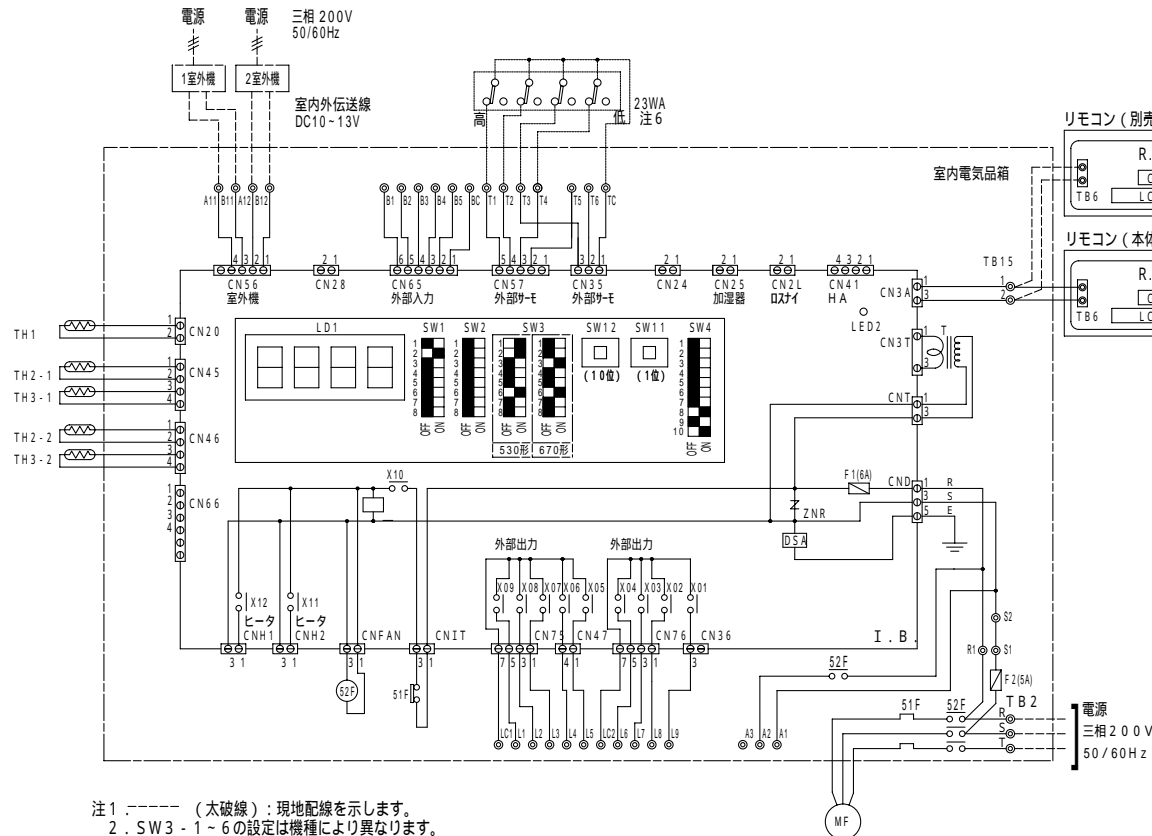
内容	SW設定の変更
温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付の「従」、室内に設置するリモコンを「主」に設定してください。 詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照ください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ(吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流继电器	TH2-1	サーミスタ(1熱交液管温度)
52F	補助继电器(送風機用)	TH2-2	サーミスタ(2熱交液管温度)
TB2	電源端子台		
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスタ(1熱交二相管温度)
I.B	室内制御基板	TH3-2	サーミスタ(2熱交二相管温度)
ZNR	バリスタ		
CN25	コネクタ(加湿器)	SW1(IB)	スイッチ(機種設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW2(IB)	スイッチ(自己診断)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW3(IB)	スイッチ(能力設定)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW4(IB)	スイッチ(機能切替)
CNIT	コネクタ(51F)	SW11(IB)	スイッチ(機能設定1の位)
CNFAN	コネクタ(52F)	SW12(IB)	スイッチ(ファン設定用10の位)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	R.B	リモコン基板
T	トランス	CN	コネクタ(別売スケジュールタイマ)
F1,F2	ヒューズ	TB6	端子台(室内ユニット接続)
X01-X12	補助继电器(室内基板内)	LCD	液晶表示器
LD1	発光ダイオード(表示)	DSA	アレスタ
LED2	発光ダイオード(リモコン発電)	23WA	温度調節器(現地手配)

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ(蒸気・温水ヒータ)を組込んだ場合を示します。

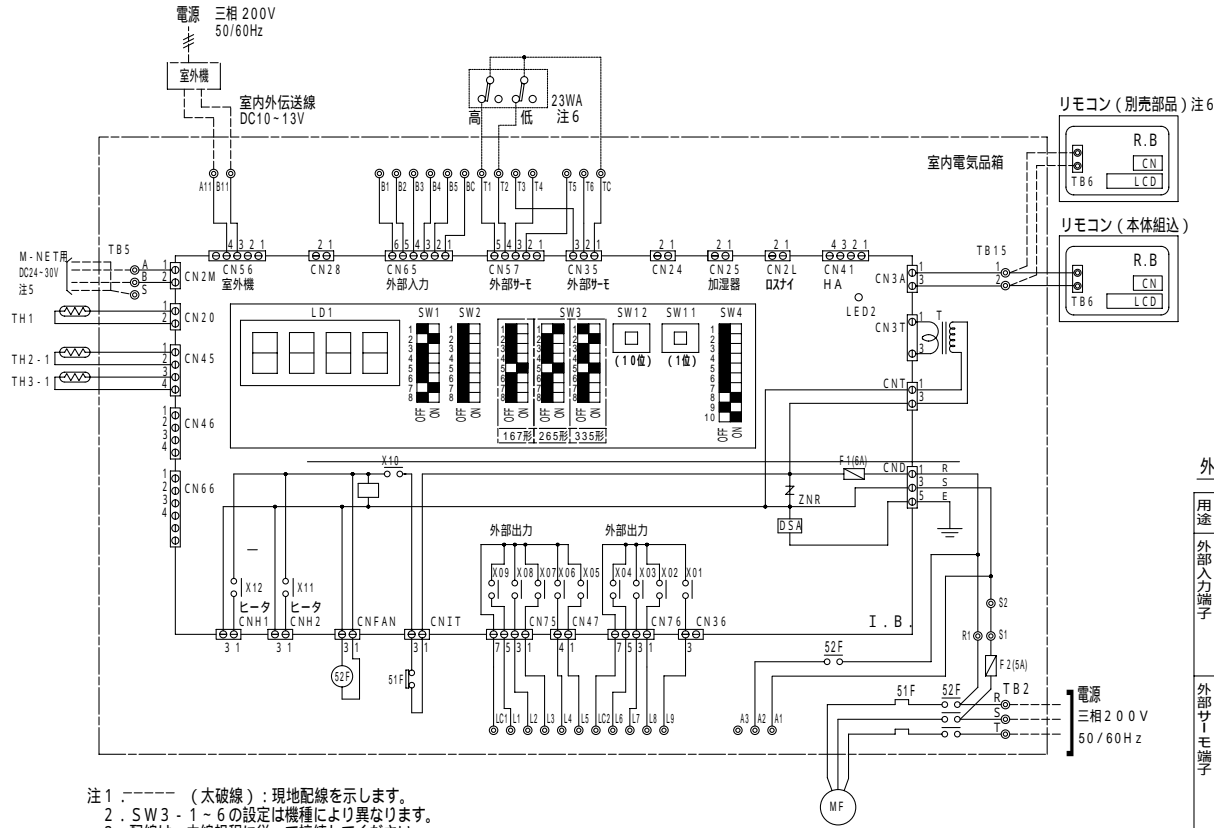
用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	RC/遠方切換え	ONでRC操作になります	*外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流回路を接続ください。 配線長100mを超える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現場信号を介して基板に入力してください。 *本体制御箱内にリレー取付部「R」がありますので制御箱内に取付けることが可能です。 *低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力	B2	冷房運転ON-OFF	B2-B5端子は必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力するとユニットは停止します。	
	回路電圧	B3	暖房運転ON-OFF		
	DC12V	B4	送風運転ON-OFF		
		B5	自動運転できません		
		BC	B1-B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段2・暖房高段2	*外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。 *別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 *外部入力接続する場合は、制御基板に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。 *暖房時はT1-T4への入力がOFFでサーモONとなります。	同じ電線管内を通すと、誤作動の原因となります。 *バルス入力、AC200V等の入力を行う場合は必ず「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 *外部サーモ接続する場合は、制御基板SW1-6をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 *冷房自動時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力	T2	冷房高段1・暖房高段2		
	回路電圧	T3	冷房低段2・暖房低段2		
	DC12V	T4	冷房低段1・暖房低段1		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない		
		TC	T1-T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	*左記[状態]の場合に無電圧のa接点出力をします。	出力のa接点の電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上のご使用になる場合はリレー受けしてください。
	a接点	L2	52F ON時出力		
	出力	L3	サーモ ON時出力		
	接点容量	L4	暖房運転時出力		
	...AC200V	L5	使用しない		
	2.5A	LC1	L1-L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力(室内、室外共通)		
		L7	異常出力(1室外ユニット)		
		L8	異常出力(2室外ユニット)		
		LC2	L6-L9端子のコモン端子		



- 注1. ----- (太破線) : 現地配線を示します。
- 注2. SW3-1~6の設定は機種により異なります。
- 注3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
- 注4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。但し、別売部品(加湿器、モーター)を組込んで、本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
- 注5. ⊙印は端子台、⊖印はコネクタ、⊕印は基板差し込みコネクタを示します。
- 注6. 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

	530形	670形
開閉器	30A	30A
過電流保護器	20A	30A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上

内容	SW設定の変更
温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1-6 をONにしてください。
リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2 をONにしてください。 本体取付の「R」を「従」、室内に設置するリモコンを「主」に設定してください。 詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照ください。



- 注1 太破線：現地配線を示します。
 2. SW3-1～6の設定は機種により異なります。
 3. 配線は、内線規程に従って接続してください。
 4. 開閉器、過電流保護器、電線太さは右表参照ください。
 但し、別売部品（加湿器、モータ）を組み込んで、
 本体と同一電源にする場合は再選定が必要となります。
 5. ◎印は端子台、⊖印はコネクタ、⊙印は基板差し込み
 コネクタを示します。
 6. 室内温度調節のため下表に示す または の内容を実施ください。

	167形	265形	335形
開閉器	15A	15A	15A
過電流保護器	15A	15A	15A
電線太さ	1.6mm以上	1.6mm以上	1.6mm以上

内容	SW設定の変更
温度調節器23WA（現地手配）を接続する。	DIPSW 1-6をONにしてください。
リモコン（別売部品）を接続し、室内に設置してそのリモコンサーモを使用する。	DIPSW 4-2をONにしてください。 本体取付のリモコンを“従”、室内に設置するリモコンを“主”に設定してください。 詳しくは据付説明書及びリモコンの取付説明書を参照ください。

記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ（吸い込み空気温度）
S1F	熱動過電流保護電器	TH2-1	サーミスタ（1熱交換管温度）
S2F	補助電器（送風機用）		
TB2	電源端子台		
TB5	集中管理用M-NET用伝送端子台	TH3-1	サーミスタ（1熱交換管温度）
TB15	MAリモコン用端子台		
I.B.	室内制御基板		
ZNR	バリスタ	SW1(1B)	スイッチ（機種設定）
		SW2(1B)	スイッチ（自己診断）
CN25	コネクタ（加湿器）	SW3(1B)	スイッチ（能力設定）
CN41	コネクタ（HA）	SW4(1B)	スイッチ（機能切換）
CNH1	コネクタ（暖房ヒータ1）	SW11(1B)	スイッチ（機能10の位）
CNH2	コネクタ（暖房ヒータ2）	SW12(1B)	スイッチ（7で設定用10の位）
CNIT	コネクタ（S1F）	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ（S2F）	CN	コネクタ（別売スケジュールタイマ）
CN2L	コネクタ（ロスタイ）	TB6	端子台（室内ユニット接続）
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスタ
X01-X12	補助電器（室内基板内）		
LD1	発光ダイオード（表示）	23WA	温度調節器（現地手配）
LED2	発光ダイオード（リモコン給電）		

外部接続端子の説明暖房に関する内容は別売の暖房用ヒータ（蒸気・温水ヒータ）を組み込んだ場合を示します。

用途	仕様	端子番号	各端子の内容	ご説明	ご注意
外部入力端子	レベル	B1	RC / 遠方切換え	ONでRC操作になります	・外部入力、外部サーモの入力はレベル入力、微小電流用接点を接続ください。 配線長100mを越える場合(Max200mまで)は、必ず100m以内で現地信号を引受け、必ず1端子のみに入力してください。2端子以上入力しますとユニットは停止します。 ・本体制御室内にリレー取付ハブがありますので制御室内に取付けることが可能です。 ・低電圧配線と電源線は必ず別の電線管を通してください。
	接点入力回路電圧 :DC12V	B2	冷房運転ON・OFF	・B2～B5端子は必ず1端子のみに入力してください。	
		B3	暖房運転ON・OFF		
		B4	送風運転ON・OFF		
		B5	自動運転できません		
		B C	B1～B5端子のコモン端子		
外部サーモ端子	レベル	T1	冷房高段・暖房低段	外部サーモは接続要領に従って間違いないように接続してください。	・パルス入力、AC200V等の入力を行う場合は別売「遠方操作キット PAC-CG91RCK」をご使用ください。 ・外部入力接続する場合は、制御基板SW1-5をON、外部サーモ接続する場合はSW1-6をONにしてください。 ・冷房自動時は外部サーモ接続端子の設定方法が異なります。 詳しくは技術資料を参照ください。
	接点入力回路電圧 :DC12V	T2	冷房低段・暖房高段	間違って接続しますと正常に働かなくなります。	
		T3	配線接続しない		
		T4	配線接続しない		
		T5	配線接続しない		
		T6	配線接続しない	・T1,T2の順に設定温度が低くなるように配線接続して下さい。	
		T C	T1～T6端子のコモン端子		
外部出力端子	無電圧	L1	冷房運転時出力	左記明状態の場合に無電圧のa端子出力をします。	・出力のa端子の接点電流容量はAC200V 2.5Aです。それ以上の負荷は接続しないでください。それ以上でご利用になる場合はリレー受け付けてください。
	a接点出力	L2	S2F ON時出力		
		L3	サーモ ON時出力		
		L4	暖房運転時出力		
	接点容量 :AC200V 2.5A	L5	使用しない		
		LC1	L1～L5端子のコモン端子		
		L6	異常出力（室内、室外共通）		
		L7	異常出力（室外ユニット）		
		L8	使用しない		
L9		使用しない			
LC2	L6～L9端子のコモン端子				

VI. 製品データ

1. 冷房・暖房能力特性

(1) 冷房・暖房能力の求め方

冷房・暖房能力を求めるには、次ページ以降の定格性能値表より算出してください。

算出例

- a. 室内・室外組合せシステム 50Hz地区
 室外ユニット PUHK-P280AW-A × 2台
 室内ユニット PFAK-P560AW-A
- b. 定格性能値表より (50Hz地区)

室内容量	能力(kW)		入力(kW)	
	冷房	暖房	冷房	暖房
560	50.0	60.0	18.08	18.39

定格性能値表はJIS B8615-2の標準条件で、冷媒配管長5mにおける値です。

JIS B8615-2標準条件
 冷房：室内側 乾球温度27 湿球温度19 室外側 乾球温度35 湿球温度7
 暖房：室内側 乾球温度20 室外側 乾球温度7 湿球温度6

したがって、運転条件が異なる場合は、次ページ以降の各種能力補正を行ってください。

c. 補正後の冷房・暖房能力の求め方

$$\text{補正後の能力 (kW)} = \text{定格能力} \times \text{能力補正係数 (温度、配管長、霜取補正係数)}$$

(2) 能力・入力補正

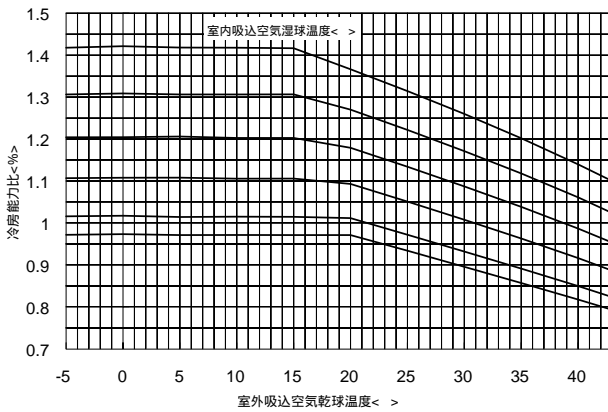
① 標準仕様

(i) 冷房

(A) PF(H)K-P140AW(M)-A

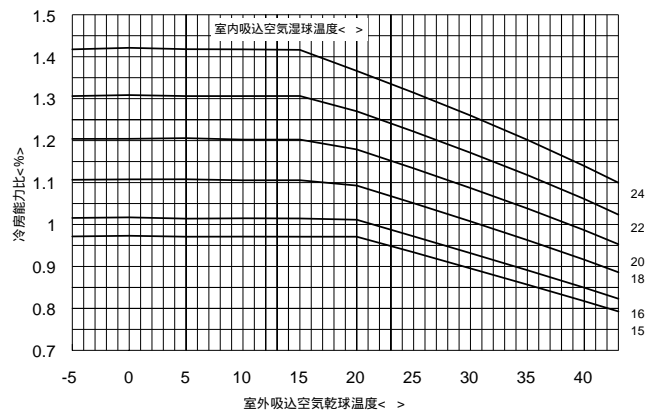
50Hz

・冷房能力補正

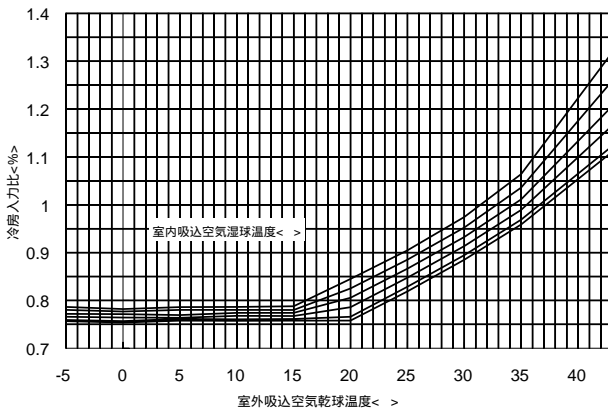


60Hz

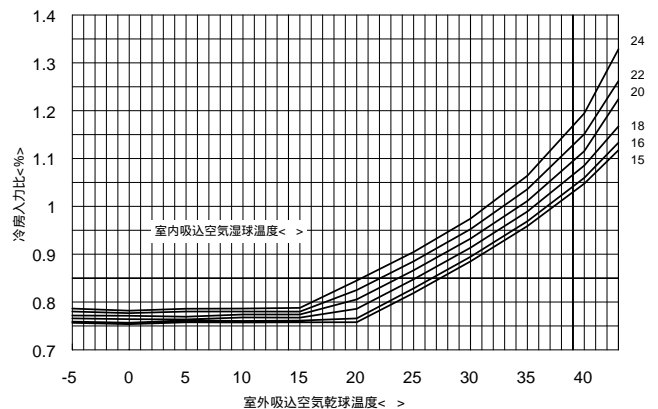
・冷房能力補正



・冷房入力補正



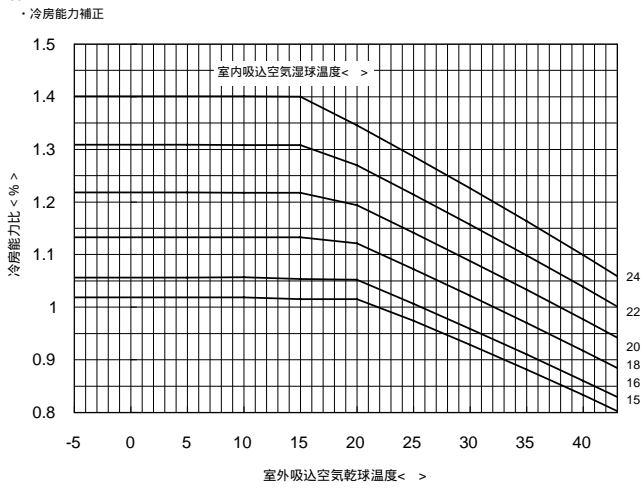
・冷房入力補正



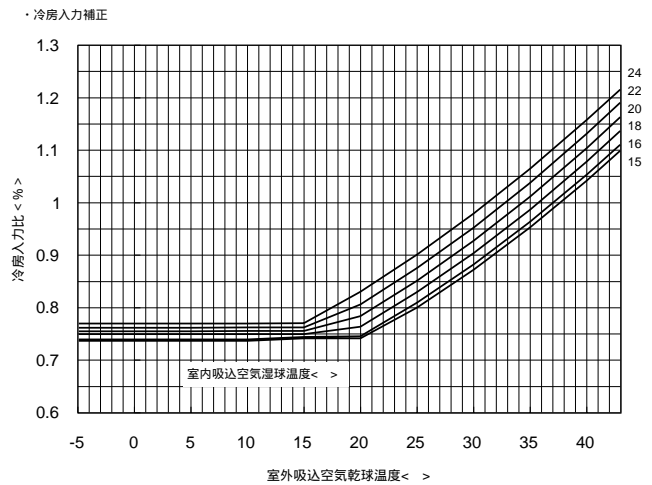
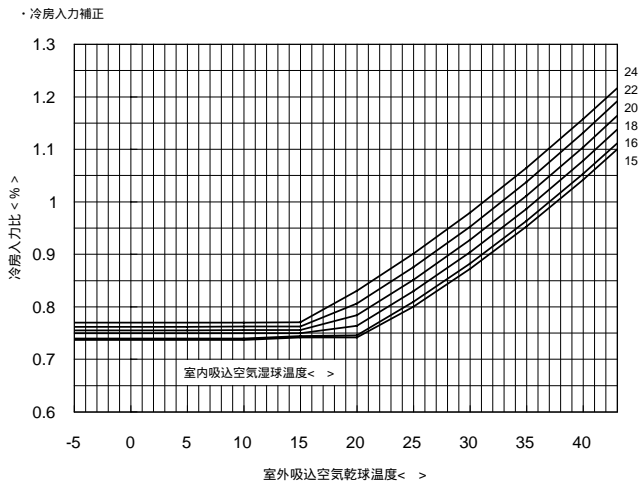
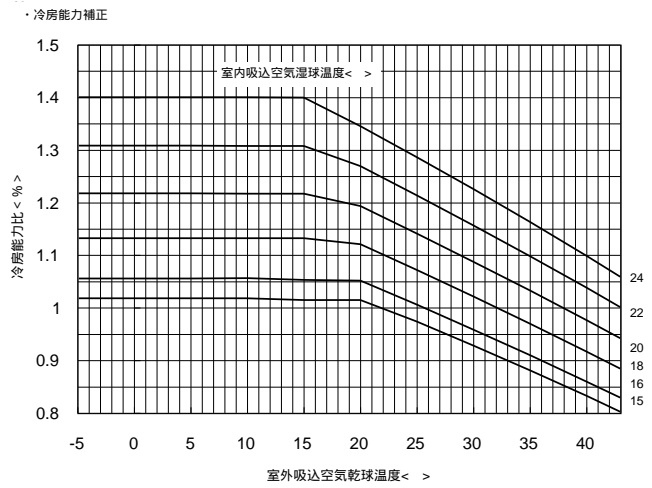
能力値・入力値は、75頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(B)PF(H)K-P224,450AW(M) (U)-A

50Hz



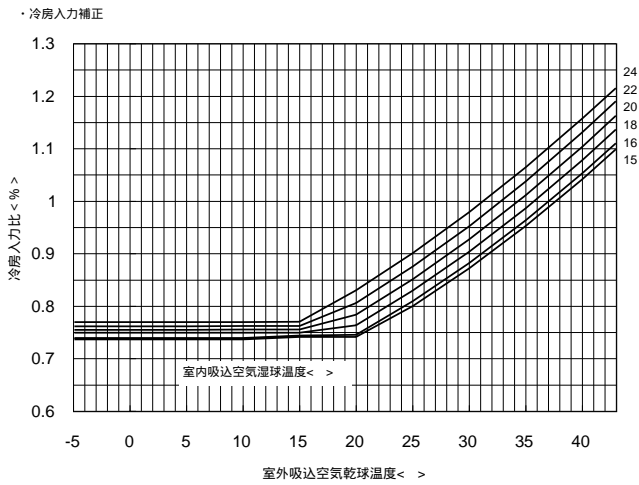
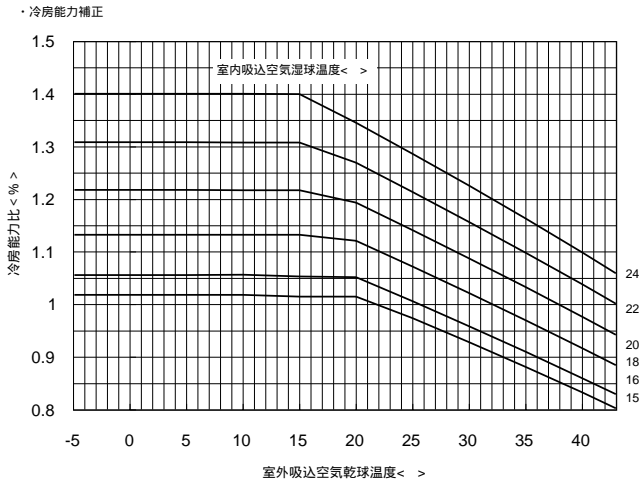
60Hz



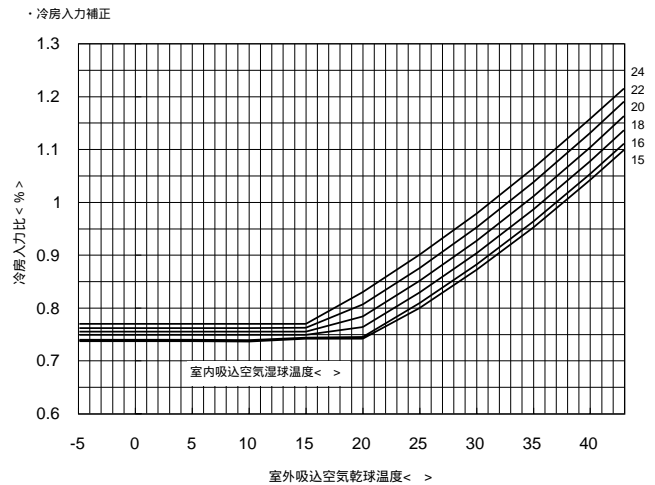
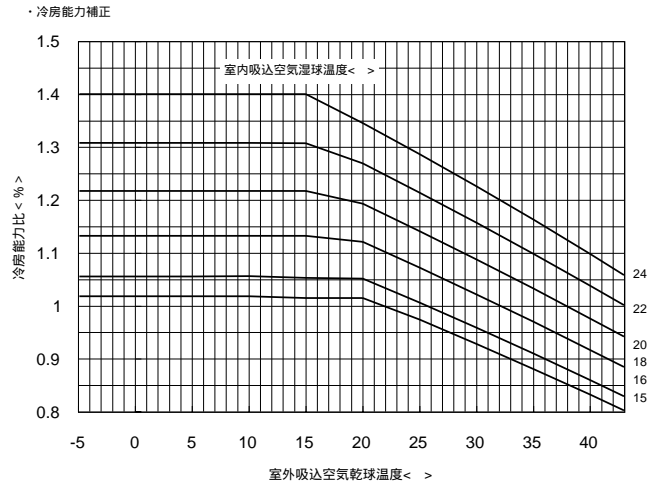
能力値・入力値は、75頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(C)PF(H)K-P280,560AW(M)-A

50Hz



60Hz



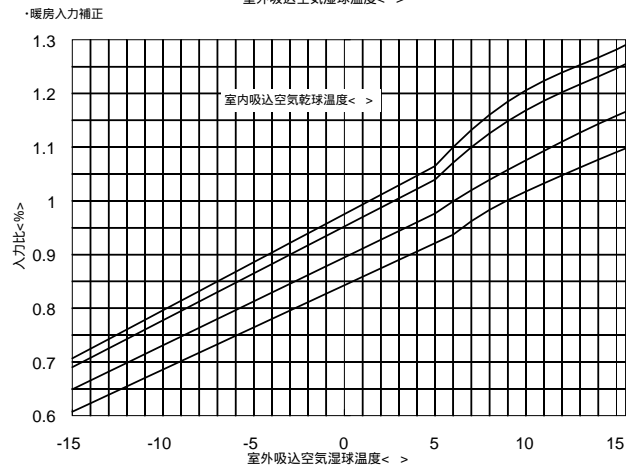
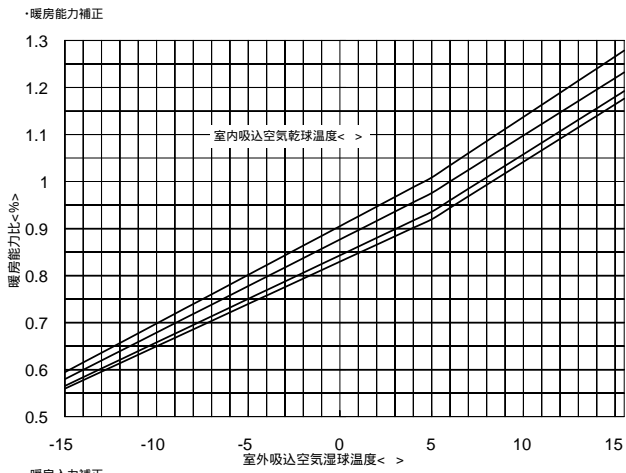
能力値、入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比、入力比を掛けて補正してください。

【冷房定格性能値 <50Hz/60Hz>】

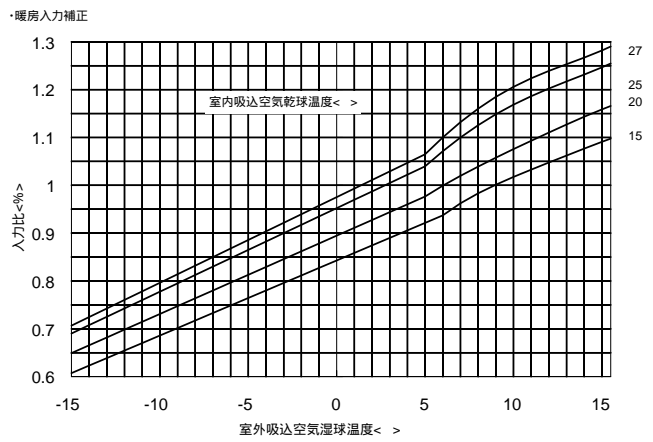
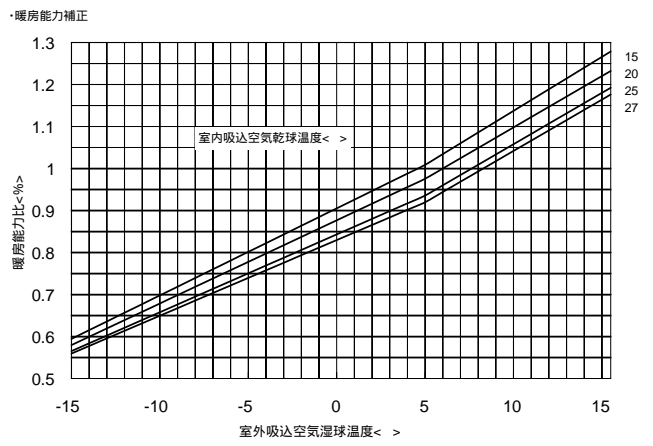
形名	項目	冷房能力 <kW>	入力 <kW>
PF(H)K-P140AW(M)-A		12.5/14.0	5.10/6.15
PF(H)K-P224AW(M)(U)-A		20.0/22.4	7.91/9.55
PF(H)K-P280AW(M)(U)-A		25.0/28.0	9.68/11.81
PF(H)K-P450AW(M)(U)-A		40.0/45.0	14.54/18.00
PF(H)K-P560AW(M)(U)-A		50.0/56.0	18.08/23.10

(ii)暖房
(A)PFHK-P140AW(M)-A

50Hz



60Hz

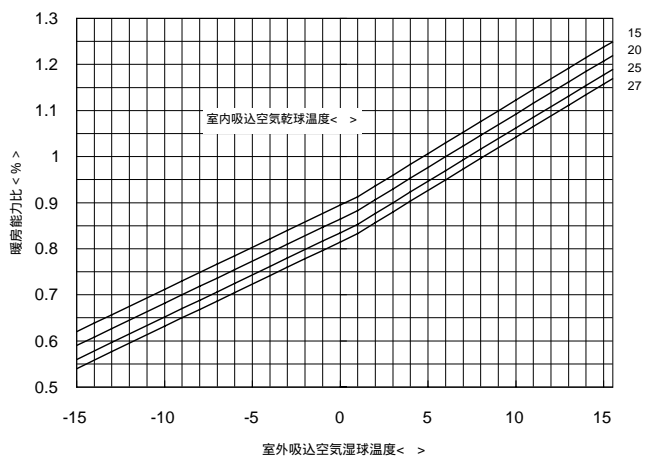


能力値・入力値は、78頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(ii)暖房
(B)PFHK-P224,450AW(M)(U)-A

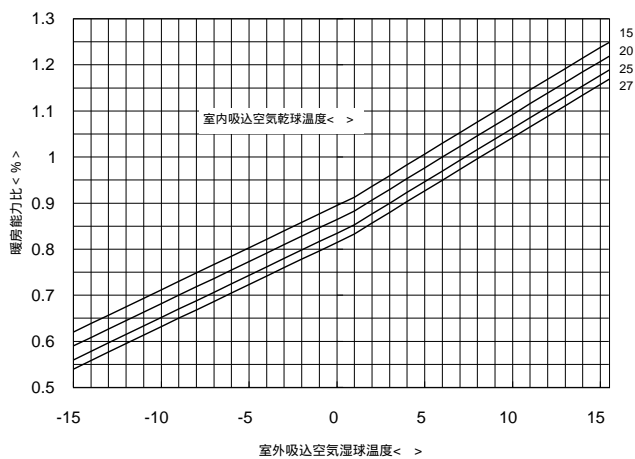
50Hz

・暖房能力補正

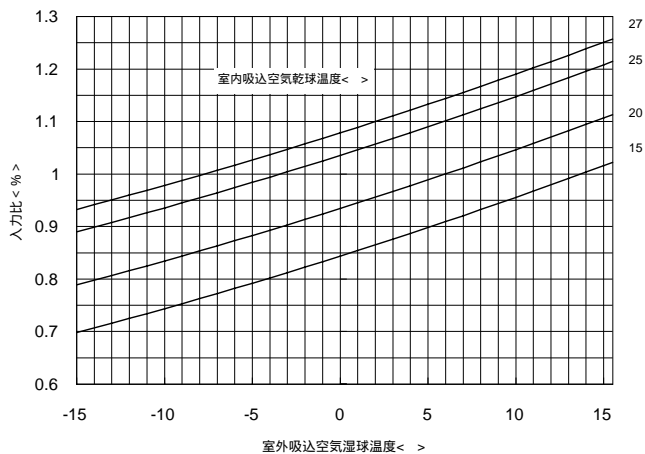


60Hz

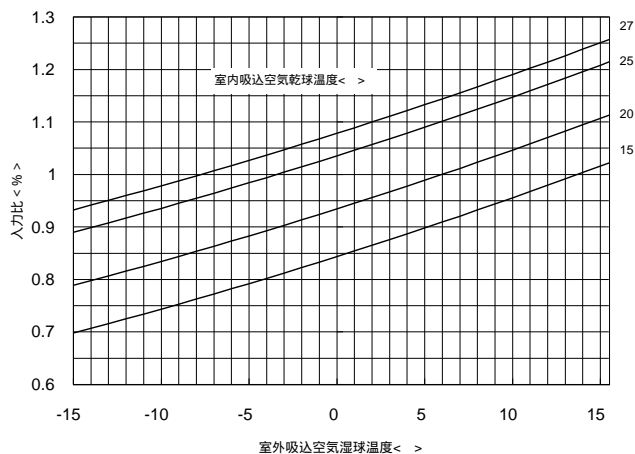
・暖房能力補正



・暖房入力補正



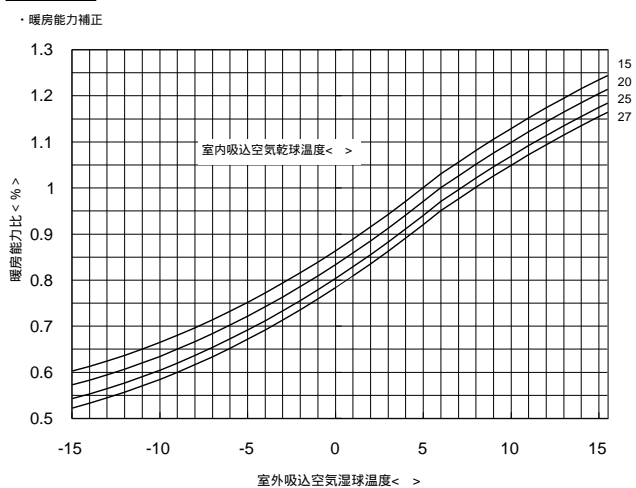
・暖房入力補正



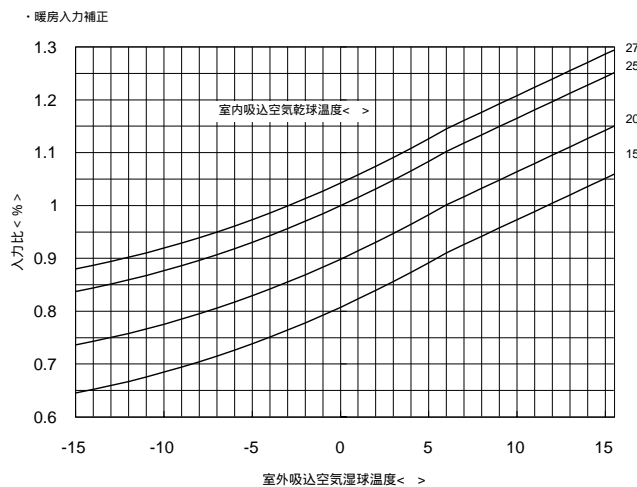
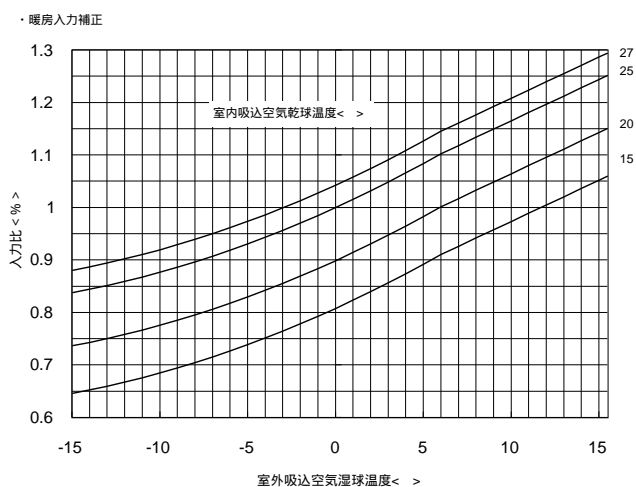
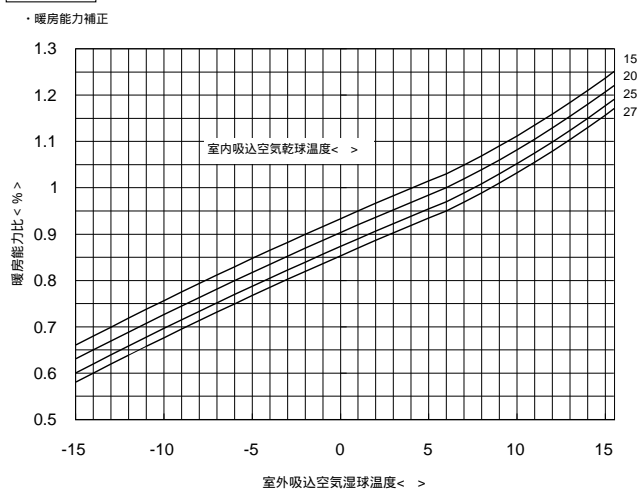
能力値・入力値は、78頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(C)PFHK-P280,560AW(M)(U)-A

50Hz



60Hz



能力値・入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

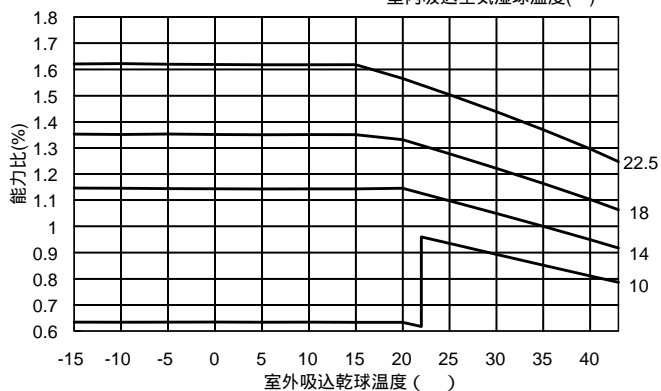
【 暖房定格性能値 < 50Hz/60Hz > 】

形名	項目	暖房能力 <kW>	入力 <kW>
PFHK-P140AW(M)-A		15.0/17.0	4.78/5.89
PFHK-P224AW(M)(U)-A		23.6/26.5	7.79/10.02
PFHK-P280AW(M)(U)-A		30.0/33.5	9.34/11.77
PFHK-P450AW(M)(U)-A		47.5/53.0	15.02/19.85
PFHK-P560AW(M)(U)-A		60.0/67.0	18.39/23.67

②中温仕様
(i)PFTK-P125AW(M)-A

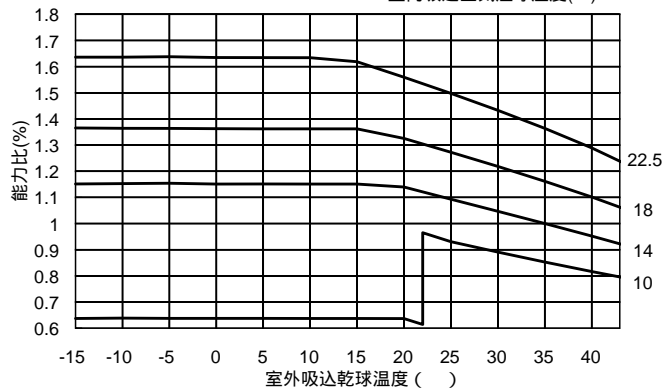
50Hz

冷房能力線図
室内吸込空気湿球温度()

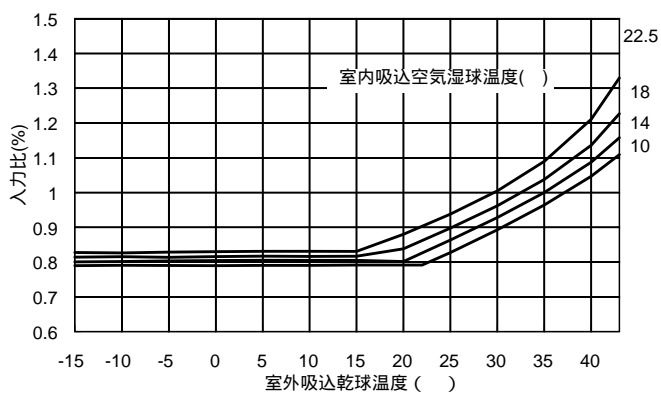


60Hz

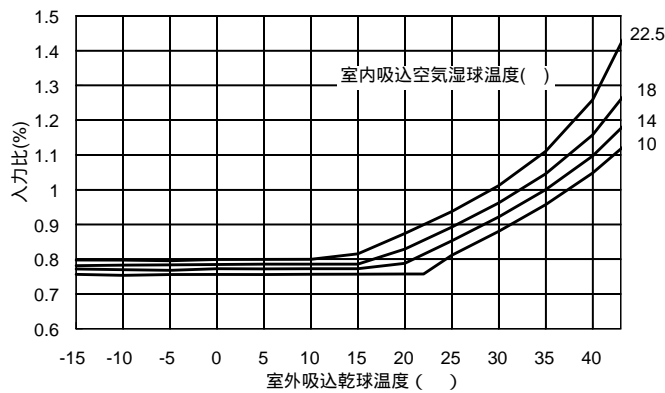
冷房能力線図
室内吸込空気湿球温度()



冷房入力線図



冷房入力線図



能力値・入力値は、81頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

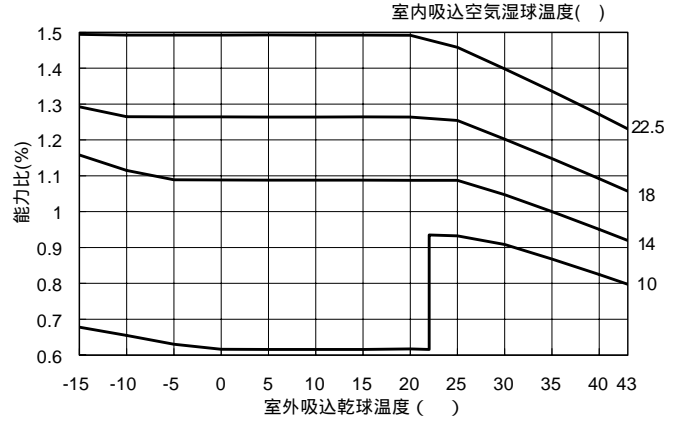
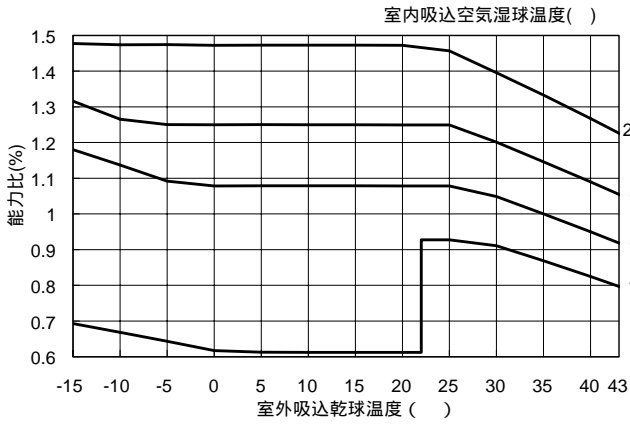
(ii) PFTK-P200,400AW(M) (U)-A

50Hz

60Hz

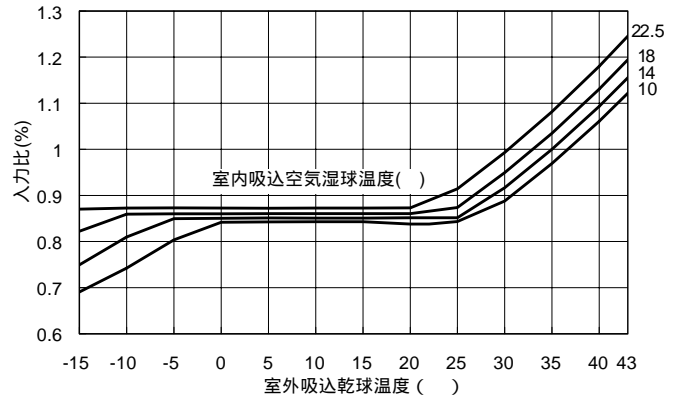
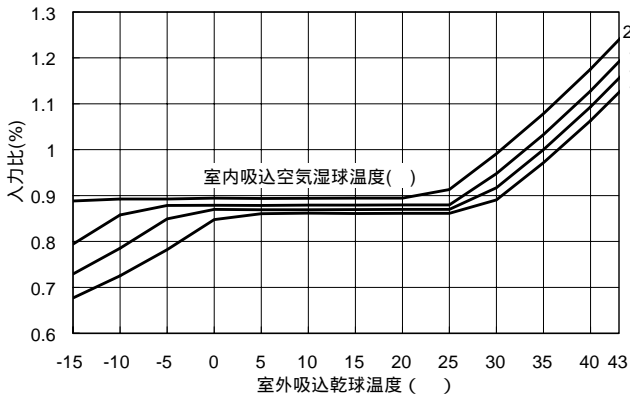
冷房能力線図

冷房能力線図



冷房入力線図

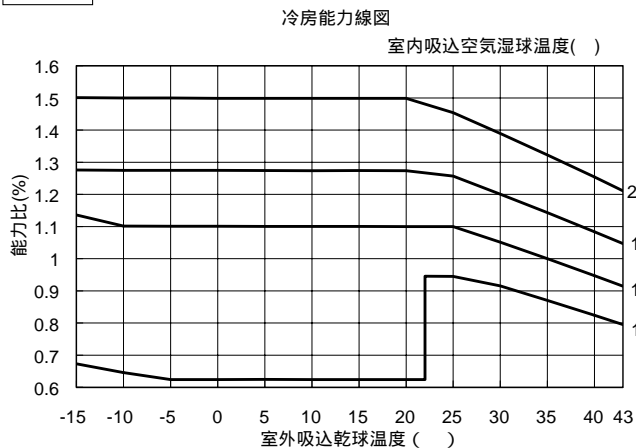
冷房入力線図



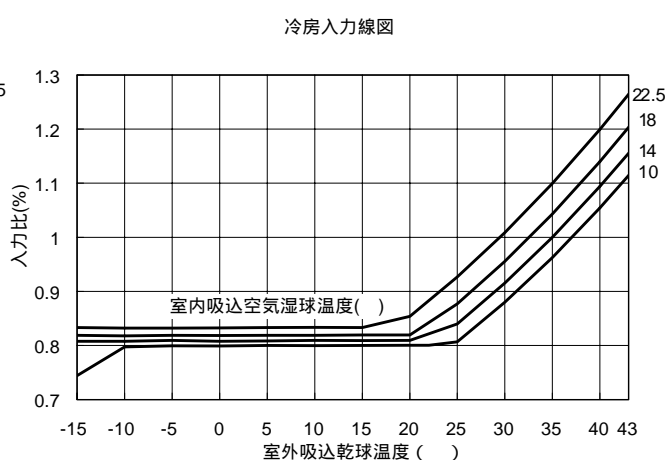
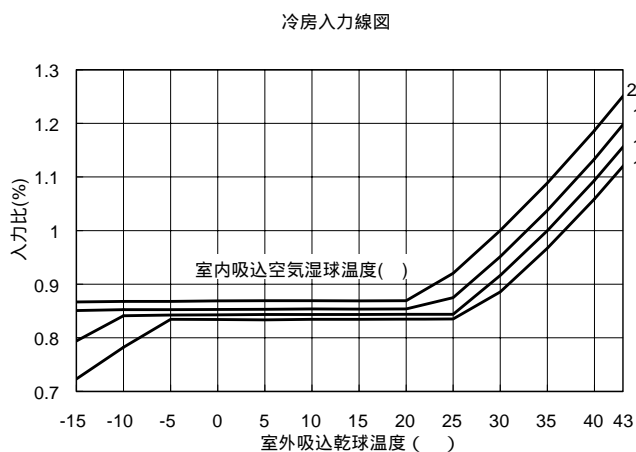
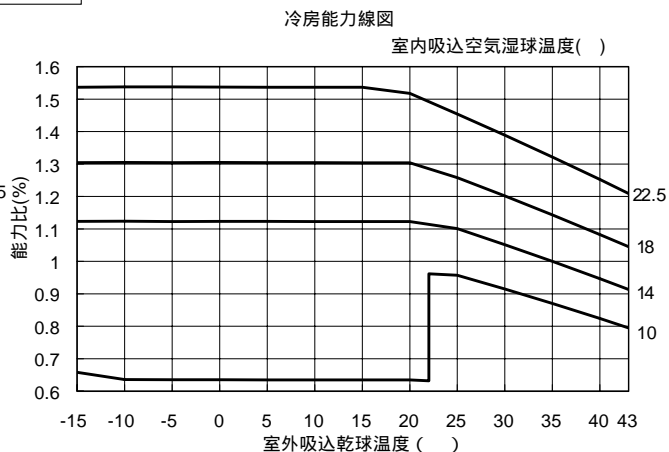
能力値・入力値は、81頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(iii) PFTK-P250,500AW(M) (U)-A

50Hz



60Hz



能力値・入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

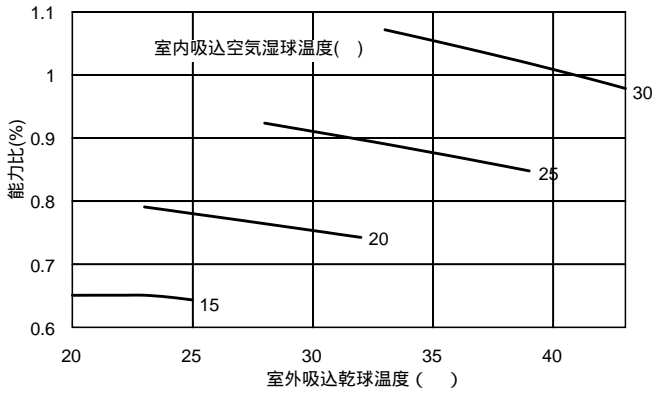
【 冷房定格性能値 <50Hz/60Hz> 】

形名	項目	冷房能力 <kW>	入力 <kW>
PFTK-P125AW(M)-A		11.2/12.5	4.95/6.01
PFTK-P200AW(M)(U)-A		18.0/20.0	7.53/9.05
PFTK-P250AW(M)(U)-A		23.6/25.0	9.10/11.20
PFTK-P400AW(M)(U)-A		36.0/40.0	14.19/17.39
PFTK-P500AW(M)(U)-A		45.0/50.0	18.39/22.50

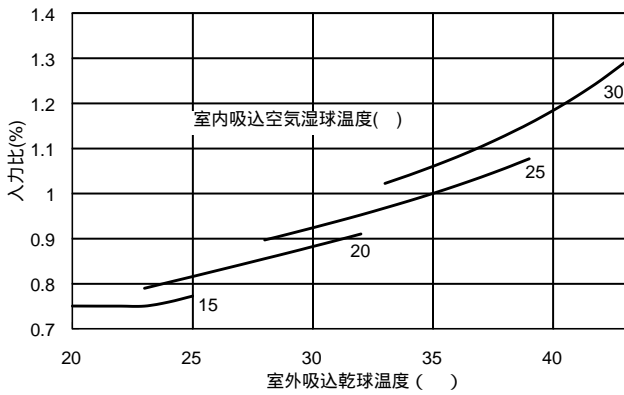
③オールフレッシュ仕様
(i)PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz

冷房能力線図

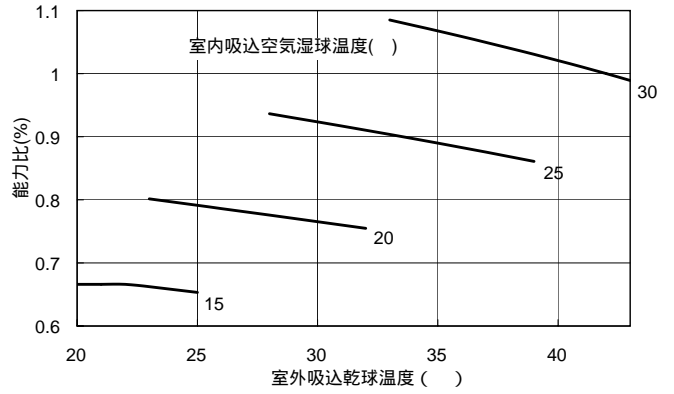


冷房入力線図

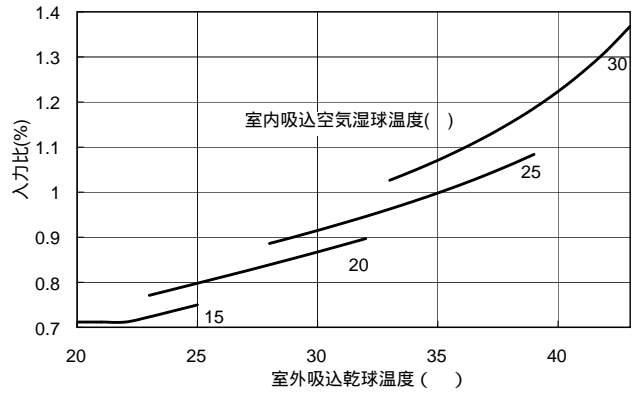


60Hz

冷房能力線図



冷房入力線図

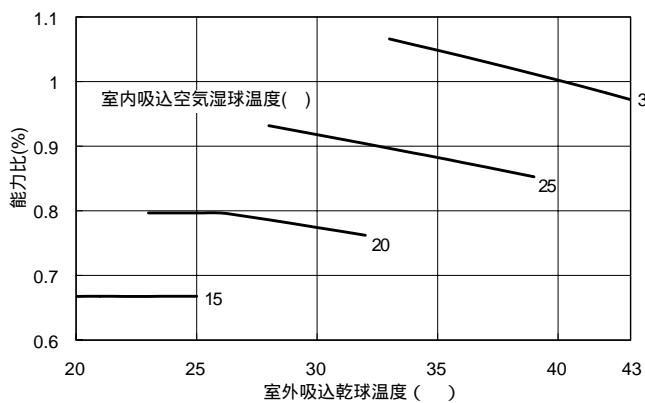


能力値・入力値は、84頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(ii) PFK-P265,530AW(M) (U)-A-F

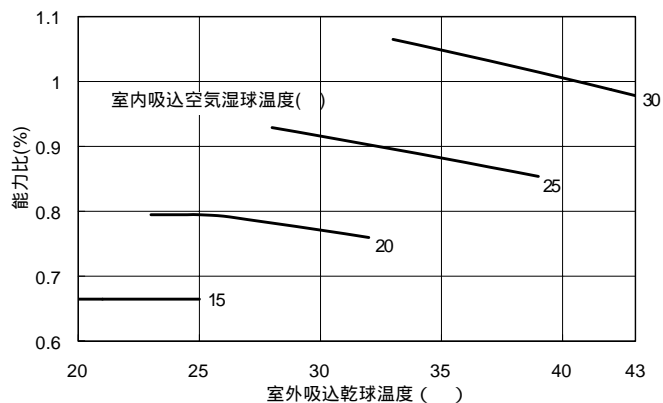
50Hz

冷房能力線図

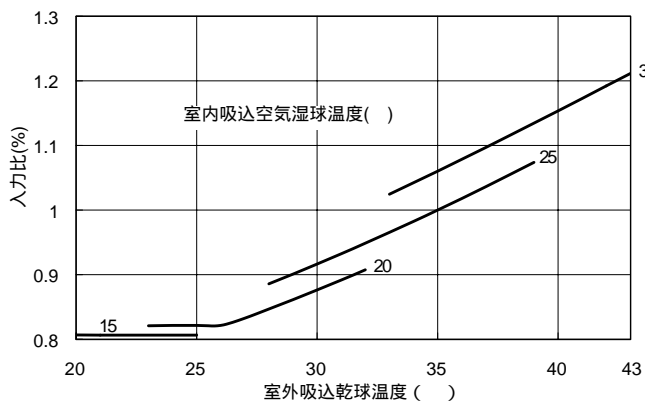


60Hz

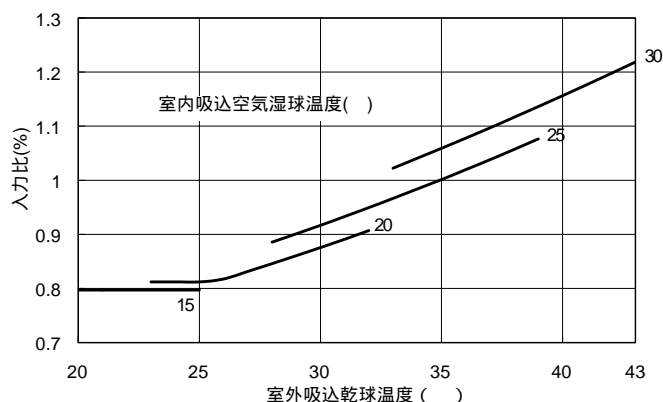
冷房能力線図



冷房入力線図



冷房入力線図



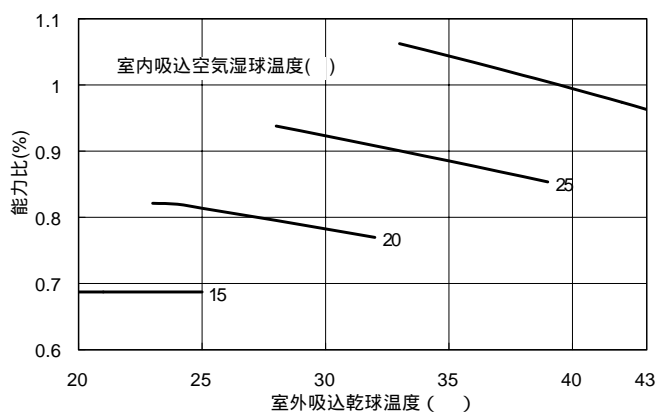
能力値・入力値は、84頁の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

(iii) PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F

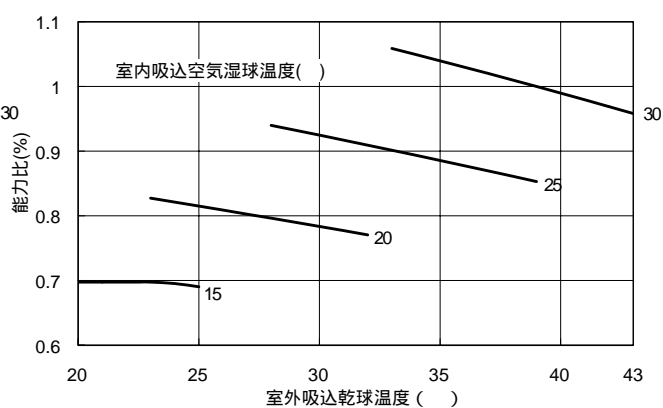
50Hz

60Hz

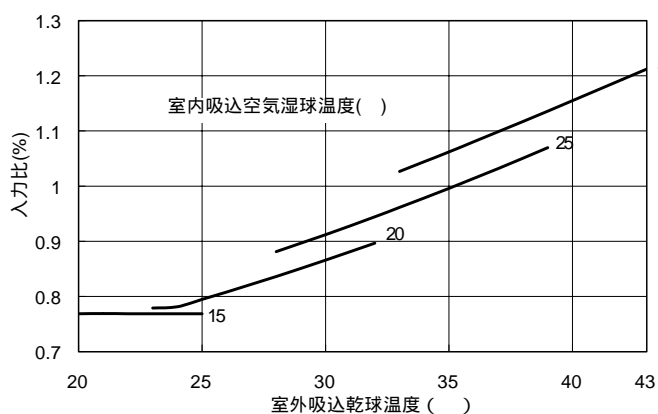
冷房能力線図



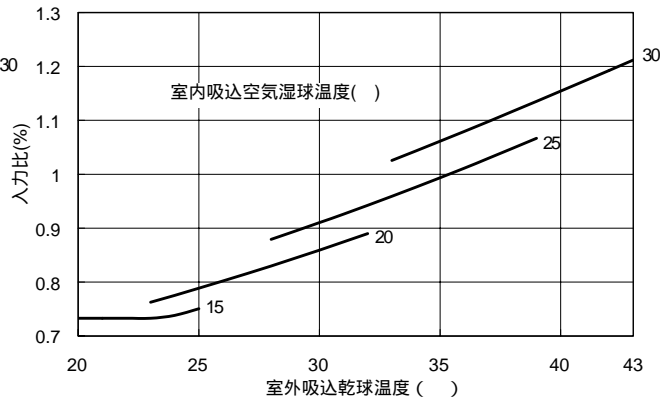
冷房能力線図



冷房入力線図



冷房入力線図



能力値・入力値は、下表の冷房定格性能値にグラフの能力比・入力比を掛けて補正してください。

【 冷房定格性能値 <50Hz/60Hz> 】

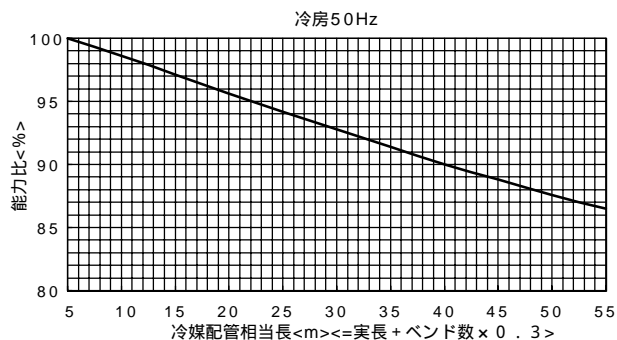
形名	項目	暖房能力 <kW>	入力 <kW>
PFK-P167AW(M)-A-F		15.0/16.7	4.91/5.99
PFK-P265AW(M)(U)-A-F		23.6/26.5	7.50/9.58
PFK-P335AW(M)(U)-A-F		30.0/33.5	8.90/11.30
PFK-P530AW(M)(U)-A-F		47.2/53.0	14.77/18.84
PFK-P670AW(M)(U)-A-F		60.0/67.0	18.54/22.76

(3)冷媒配管長による冷房能力補正係数

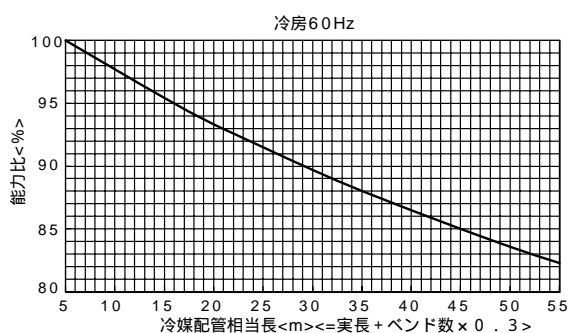
PU(H)K-P・AW-A (最大62.5m) PU(H)K-P・UAW-A (最大125m) 配管長に対する能力比

- ①PF(H)K-P140AW(M)-A形
PFTK-P125AW(M)-A形
PFK-P167AW(M)-A-F形

50Hz

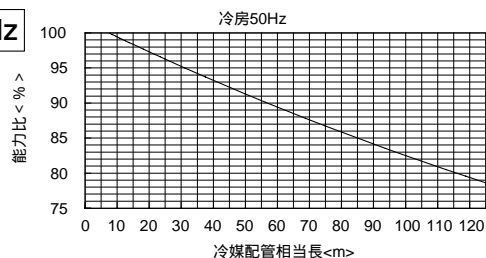


60Hz

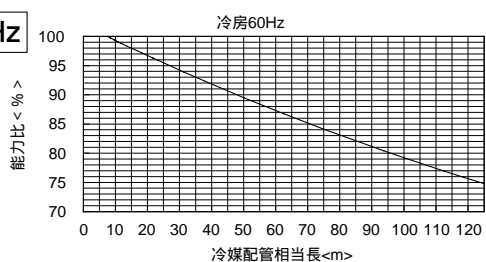


- ②PF(H)K-P224AW(M)(U)-A形
PFTK-P200,400AW(M)(U)-A形
PFK-P265,530AW(M)(U)-A-F形

50Hz

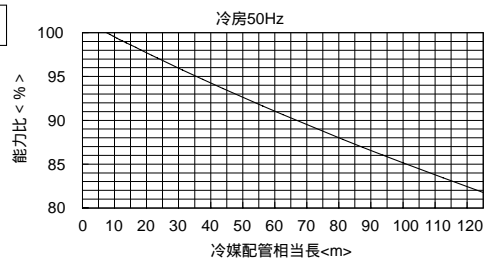


60Hz

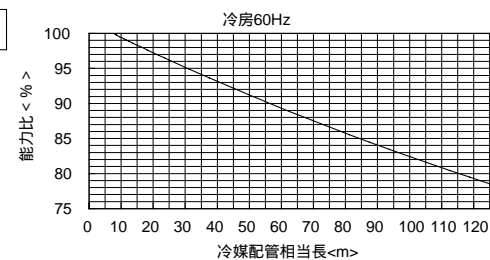


- ③PF(H)K-P280AW(M)(U)-A形
PFTK-P250,500AW(M)(U)-A
PFK-P335,670AW(M)(U)-A-F

50Hz



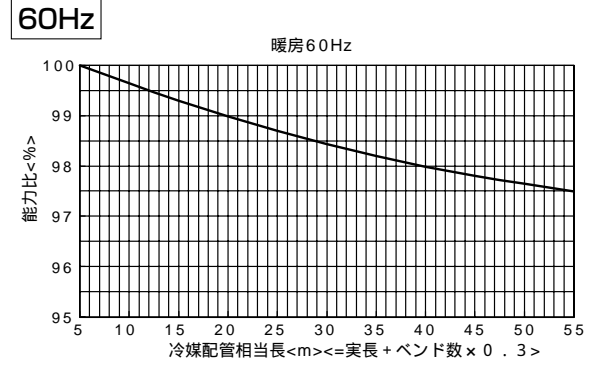
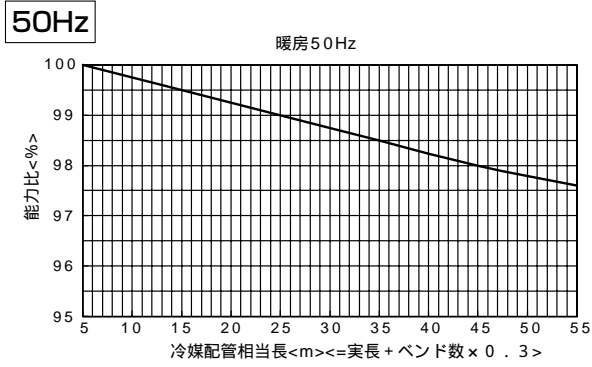
60Hz



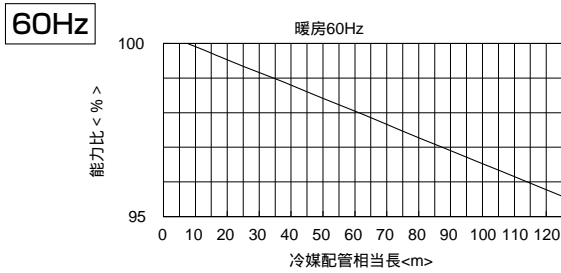
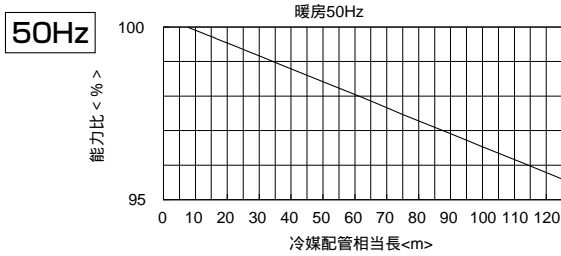
(4)冷媒配管長による暖房能力補正係数

PU(H)K-P・AW-A (最大62.5m)、PU(H)K-P・UAW-A (最大125m) 配管長に対する能力比

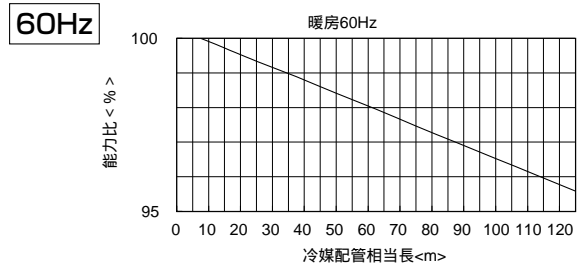
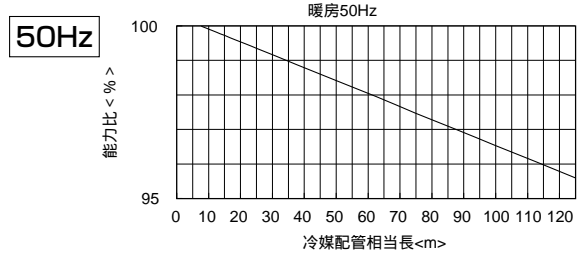
①PFHK-P140AW(M)-A形



②PFHK-P224AW(M)(U)-A形



③PFHK-P280AW(M)(U)-A形



(5)霜取補正

①PFHK-P140AW(M)-A形

下表に各室外吸入空気湿球温度 () の補正係数を示す。

室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
6	1
5	0.98
4	0.92
3	0.87
2	0.84
1	0.83
0	0.83
-1	0.83
-2	0.83
-3	0.84
-4	0.85

室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
-5	0.85
-6	0.86
-7	0.87
-8	0.88
-9	0.89
-10	0.91
-11	0.92
-12	0.93
-13	0.94
-14	0.95
-15	0.95

②PFHK-P224・280AW(M)(U)-A形

下表に各室外吸入空気湿球温度 () の補正係数を示す。

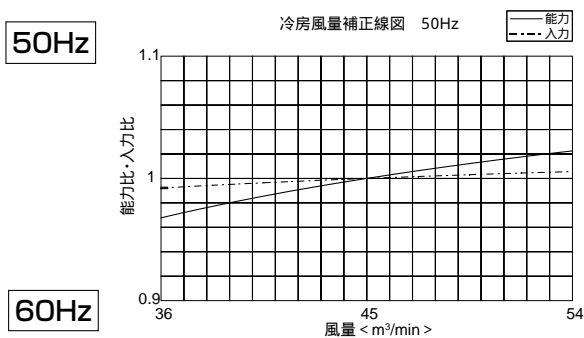
室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
6	1
5	0.98
4	0.96
3	0.92
2	0.87
1	0.85
0	0.86
-1	0.87
-2	0.88
-3	0.89
-4	0.9

室外吸入空気湿球温度 ()	能力比
-5	0.92
-6	0.95
-7	0.95
-8	0.95
-9	0.95
-10	0.95
-11	0.95
-12	0.95
-13	0.95
-14	0.95
-15	0.95

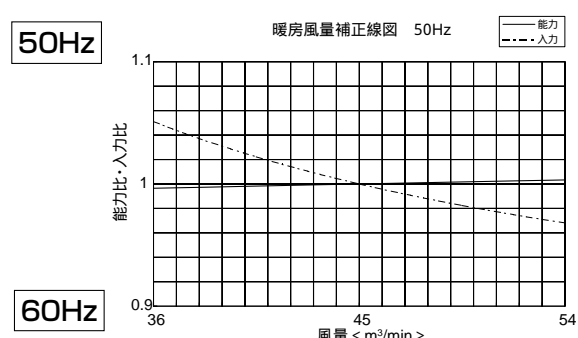
(6)風量変化による能力・入力補正係数

①標準仕様

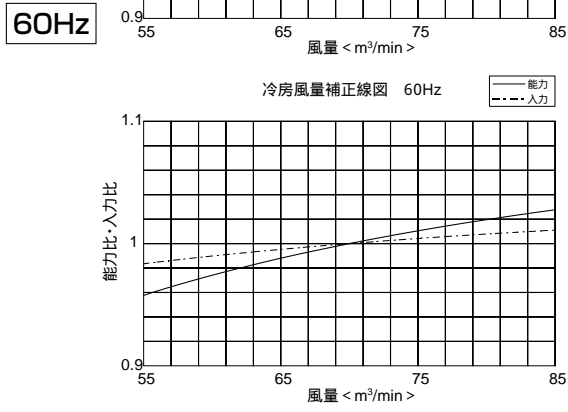
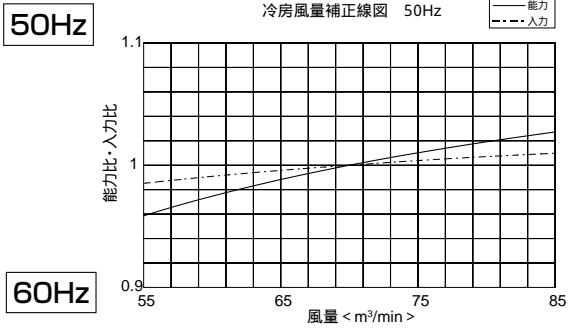
(i)PF(H)K-P140AW(M)-A 【冷房】



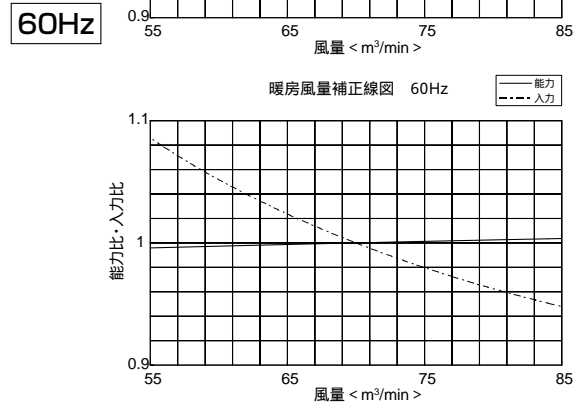
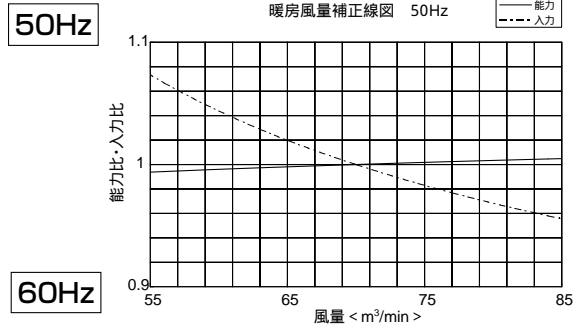
(ii)PFHK-P140AW(M)-A 【暖房】



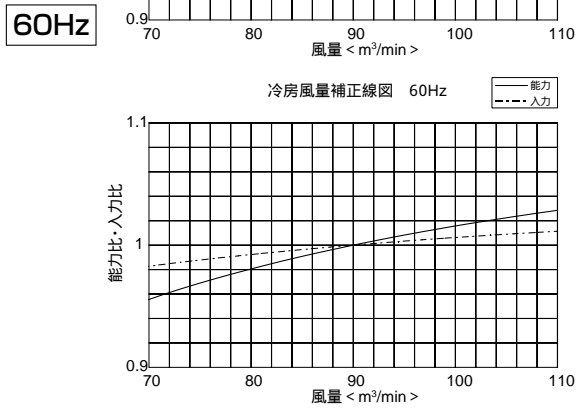
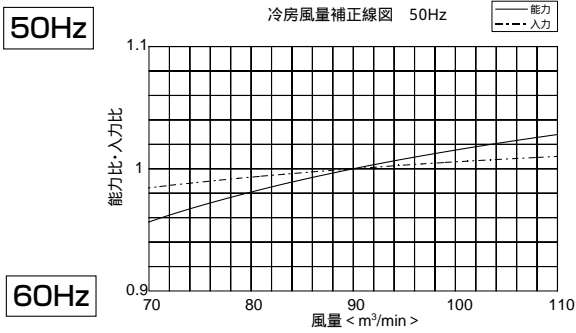
(iii) PF(H)K-P224AW(M) (U)-A 【冷房】



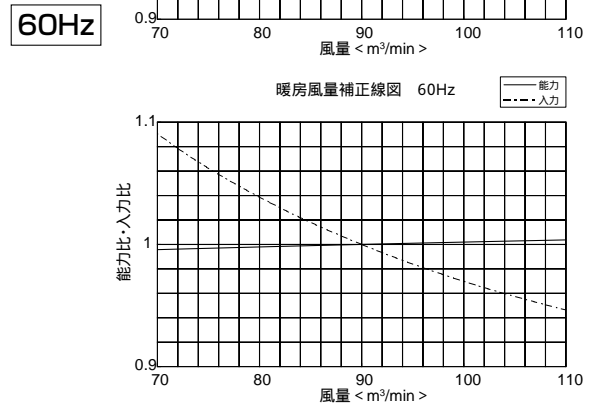
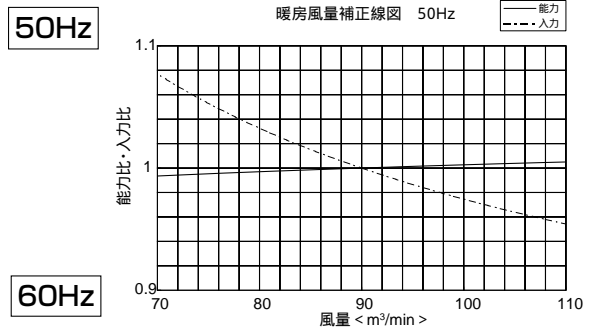
(iv) PFHK-P224AW(M) (U)-A 【暖房】



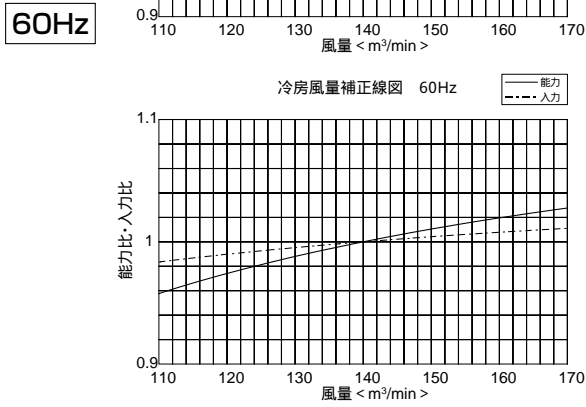
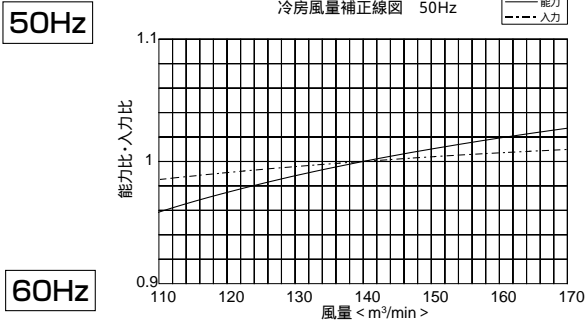
(v) PF(H)K-P280AW(M) (U)-A 【冷房】



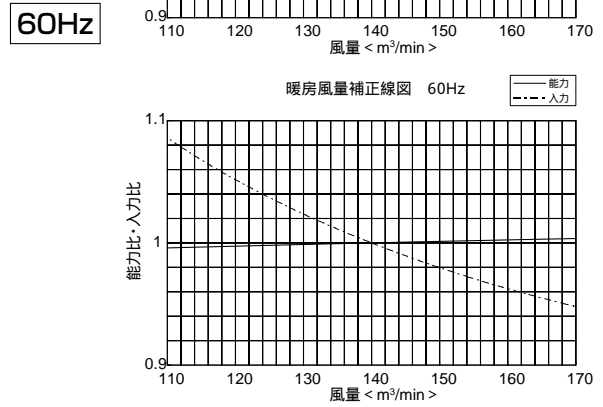
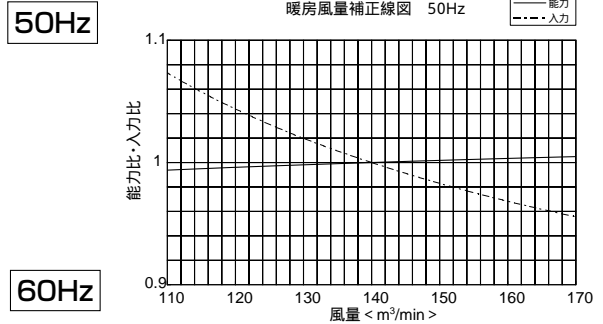
(vi) PFHK-P280AW(M) (U)-A 【暖房】



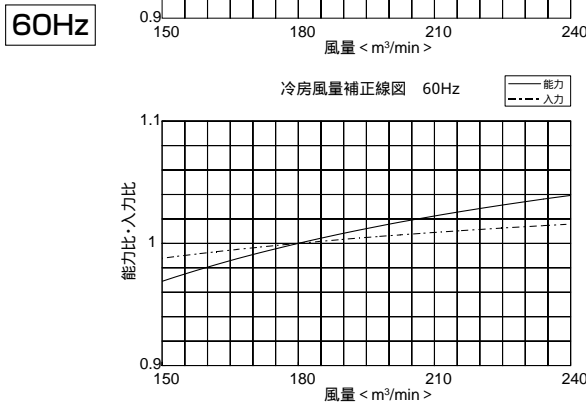
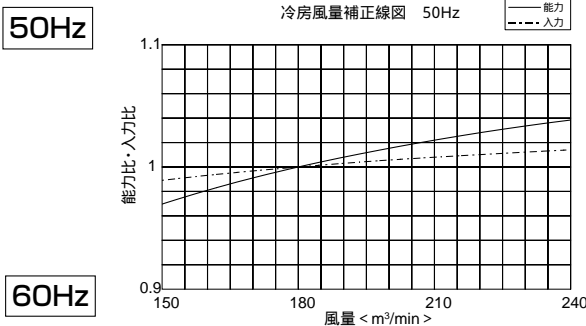
(vii) PF(H)K-P450AW(M) (U)-A 【冷房】



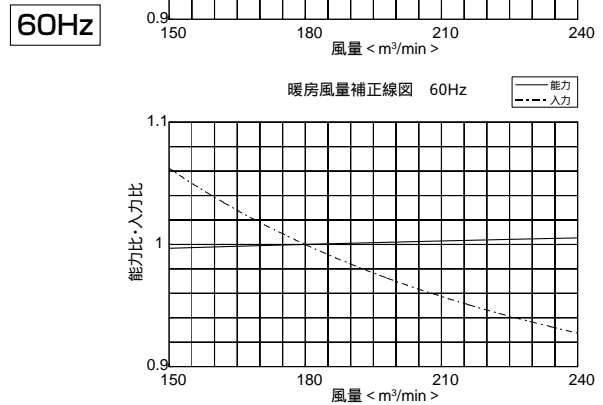
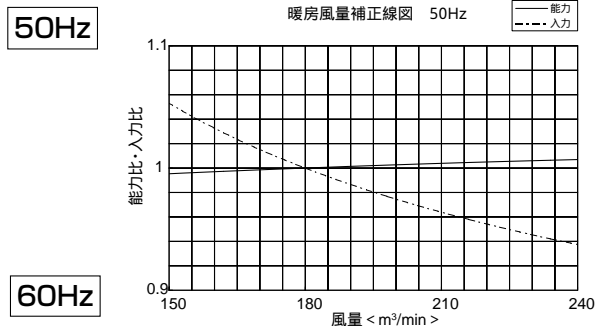
(viii) PFHK-P450AW(M) (U)-A 【暖房】



(ix) PF(H)K-P560AW(M) (U)-A 【冷房】

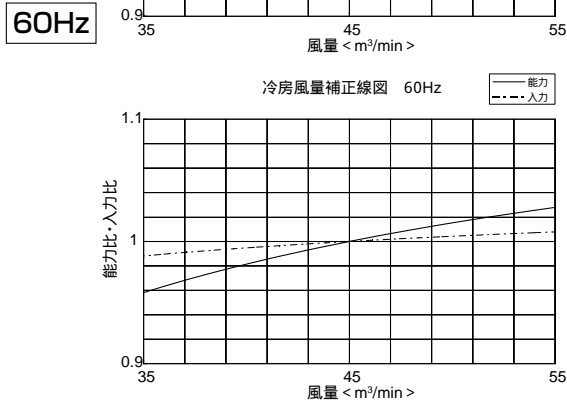
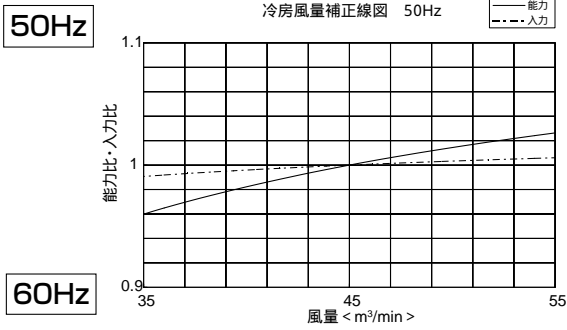


(x) PFHK-P560AW(M) (U)-A 【暖房】

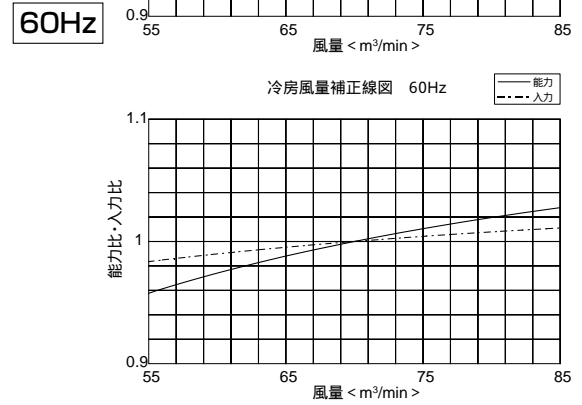
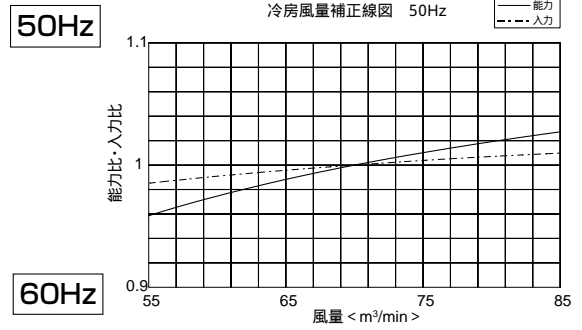


②中温仕様

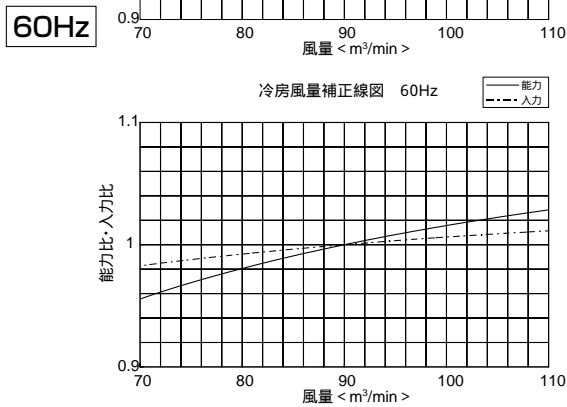
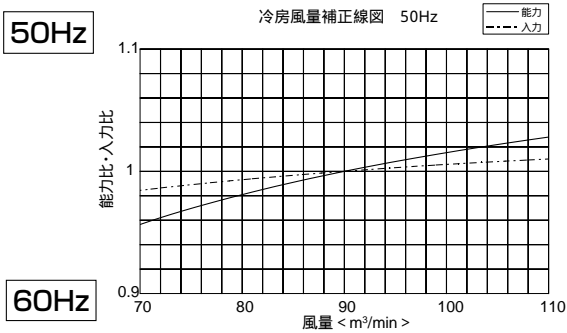
(i)PFTK-P125AW(M)-A



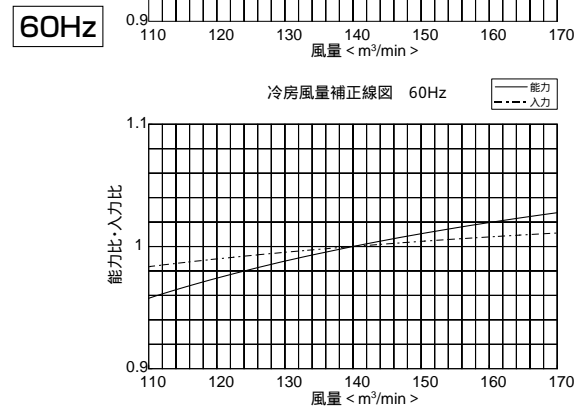
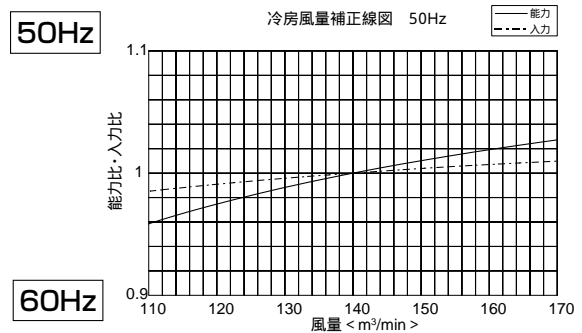
(ii)PFTK-P200AW(M)(U)-A



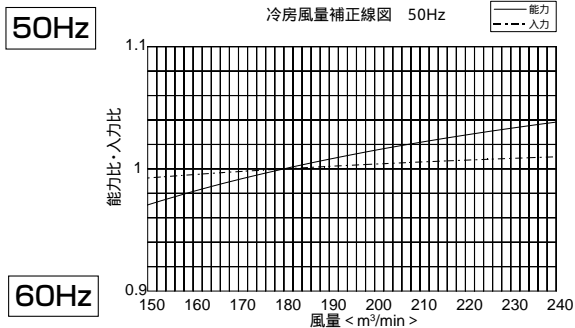
(iii)PFTK-P250AW(M)(U)-A



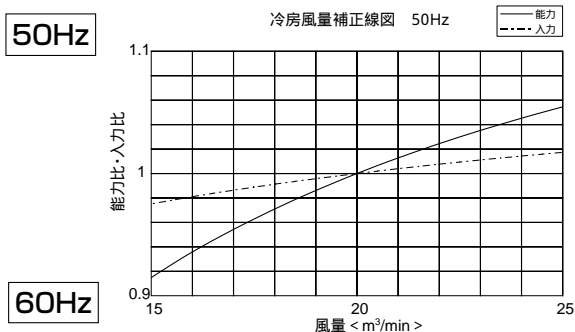
(iv)PFTK-P400AW(M)(U)-A



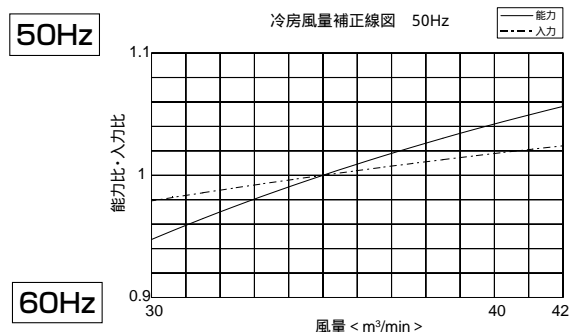
(v) PFTK-P500AW(M) (U)-A



③ オールフレッシュ仕様
(i) PFK-P167AW(M)-A-F

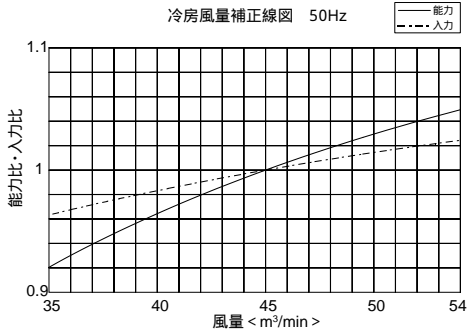


(ii) PFK-P265AW(M) (U)-A-F

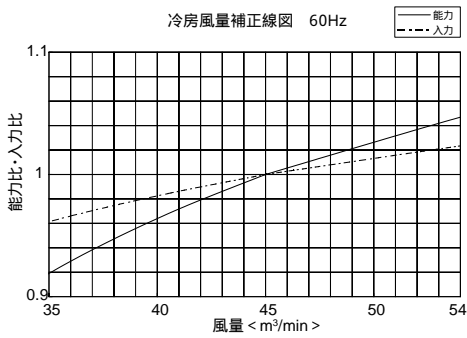


(iii) PFK-P335AW(M) (U)-A-F

50Hz

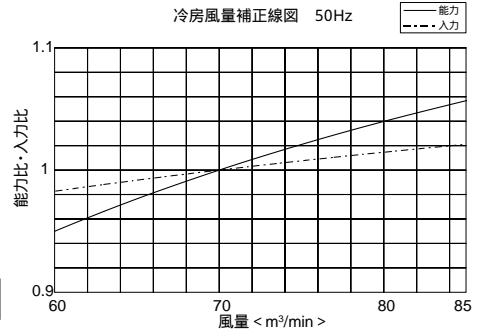


60Hz

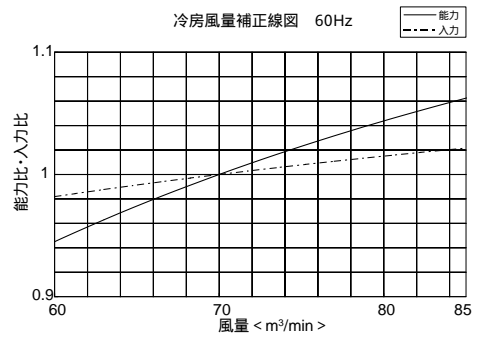


(iv) PFK-P530AW(M) (U)-A-F

50Hz

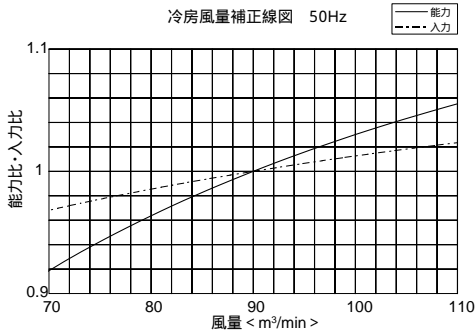


60Hz

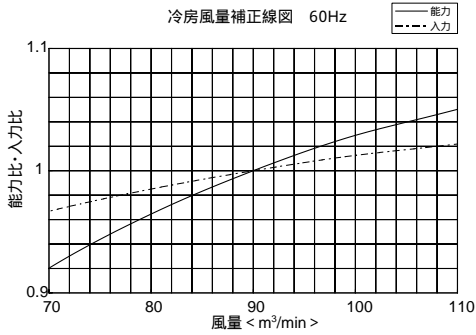


(v) PFK-P670AW(M) (U)-A-F

50Hz



60Hz

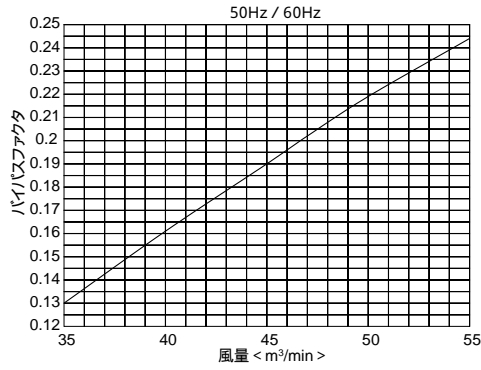


(7) バイパスファクタ線

① 標準仕様

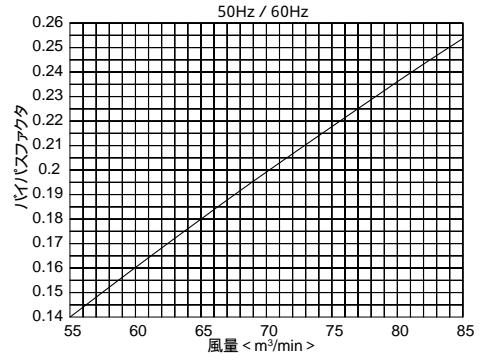
(i) PF(H)K-P140AW(M)-A

50Hz 60Hz



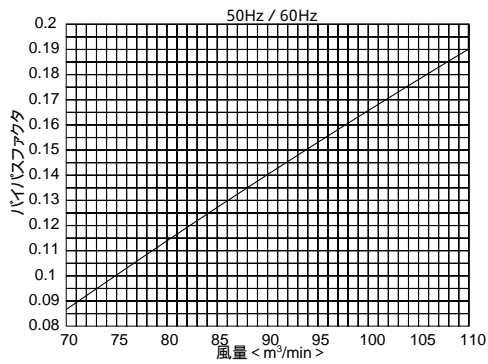
(ii) PF(H)K-P224AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



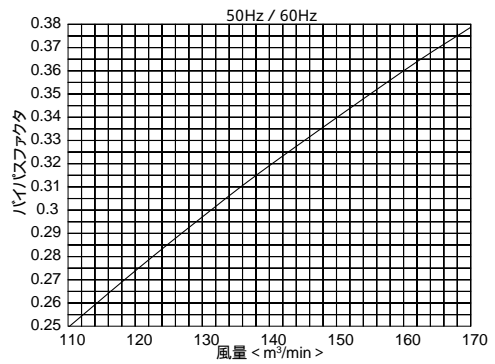
(iii) PF(H)K-P280AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



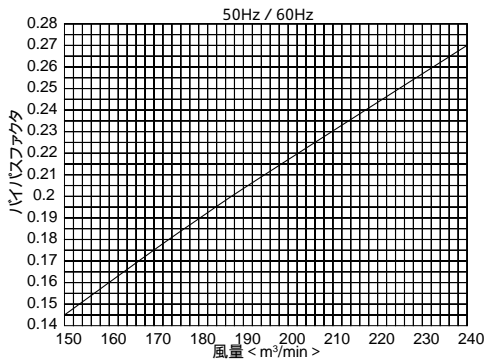
(iv) PF(H)K-P450AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



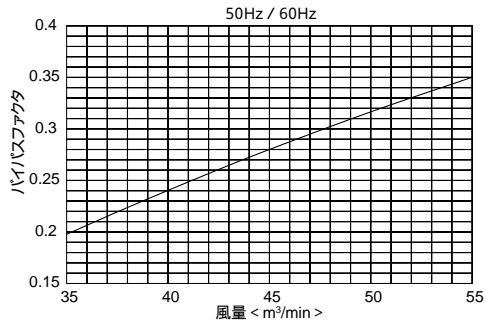
(v) PF(H)K-P560AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



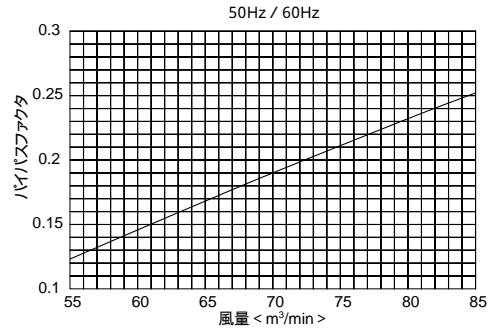
②中温仕様
(i)PFTK-P125AW(M)-A

50Hz 60Hz



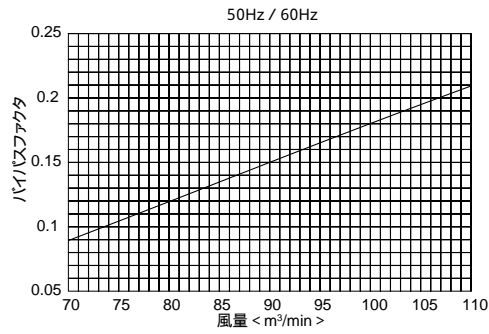
(ii)PFTK-P200AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



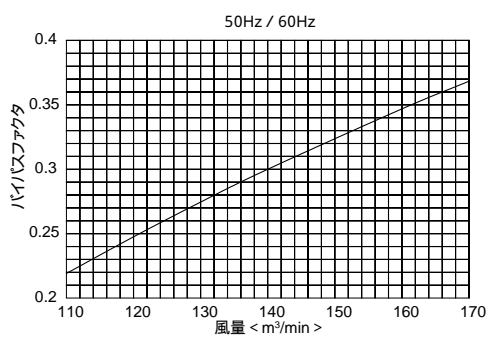
(iii)PFTK-P250AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



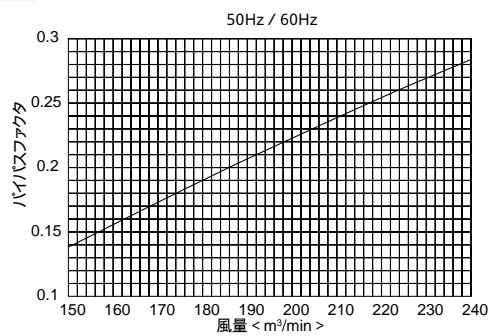
(iv)PFTK-P400AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



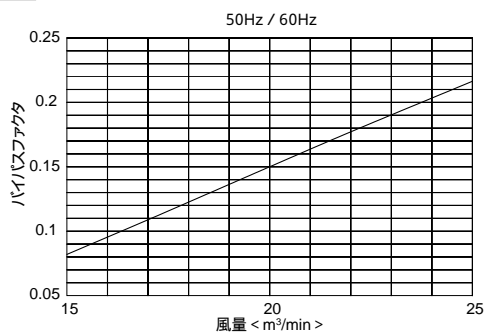
(v)PFTK-P500AW(M)(U)-A

50Hz 60Hz



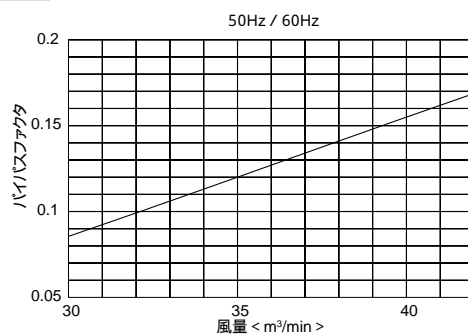
③オールフレッシュ仕様
(i) PFK-P167AW(M)-A-F

50Hz 60Hz



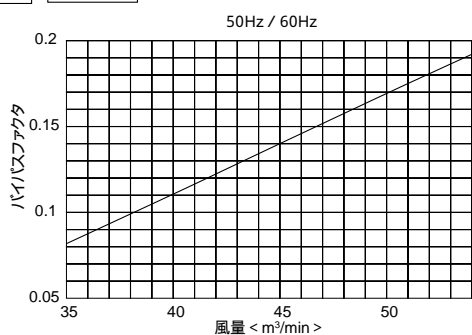
(ii) PFK-P265AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



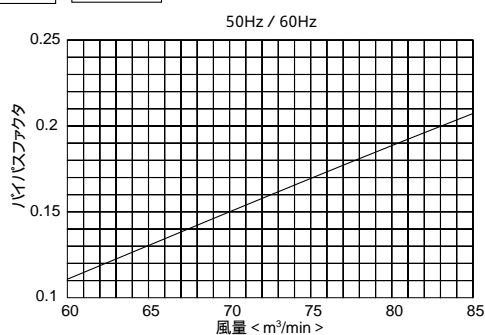
(iii) PFK-P335AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



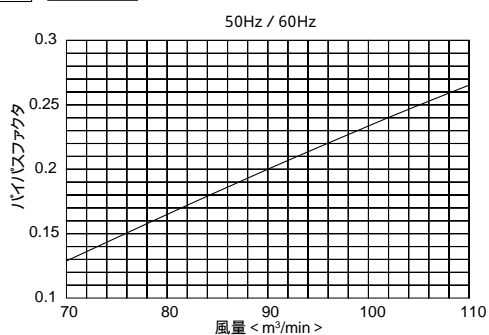
(iv) PFK-P530AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



(v) PFK-P670AW(M)(U)-A-F

50Hz 60Hz



2.取付可能部品表

■室内ユニット

部 品 名	形 名	仕 様	通 用 機 種			
			標準PFAK形	中温PFTK形	オールドタイプPFAK-F形	
加 熱 器	蒸気・温水ヒータ 1	PAC-CG41XH	PFAK.PFTK形：温水18.0kW・蒸気19.0kW PFAK-F形：温水13.2kW・蒸気14.0kW	5HP	5HP	5HP
		PAC-CG42XH	PFAK.PFTK形：温水28.0kW・蒸気31.5kW PFAK-F形：温水21.2kW・蒸気23.6kW	8HP	8HP	8HP
		PAC-CG43XH	PFAK.PFTK形：温水35.5kW・蒸気37.5kW PFAK-F形：温水26.5kW・蒸気28.0kW	10HP	10HP	10HP
		PAC-CG44XH	PFAK.PFTK形：温水56.0kW・蒸気60.0kW PFAK-F形：温水42.5kW・蒸気45.0kW	16HP	16HP	16HP
		PAC-CG45XH	PFAK.PFTK形：温水71.0kW・蒸気75.0kW PFAK-F形：温水53.0kW・蒸気56.0kW	20HP	20HP	20HP
	電気ヒータ(補助)	PAC-CE41EH	2.6kW	5HP	-	-
		PAC-CE42EH	4.2kW	8HP	-	-
		PAC-CE43EH	5.2kW	10HP	-	-
		PAC-CE44EH	8.4kW	16HP	-	-
		PAC-CE45EH	10.4kW	20HP	-	-
電気ヒータ(大容量) 2	PAC-CE51EH	15 (7.5+7.5) kW	5HP	5HP	別途受注対応	
	PAC-CE52EH	24 (12+12) kW	8HP	8HP		
	PAC-CE53EH	30 (15+15) kW	10HP	10HP		
	PAC-CE54EH	40 (20+20) kW	16HP	16HP		
	PAC-CE55EH	56 (28+28) kW	20HP	20HP		
加 湿 器	透湿膜加湿器 4	PAC-CE31TF	2.3kg/h	5HP	-	-
		PAC-CE32TF	3.0kg/h	8HP	-	-
		PAC-CE33TF	4.1kg/h	10HP	-	-
		PAC-CE34TF	6.0kg/h	16HP	-	-
		PAC-CE35TF	8.6kg/h	20HP	-	-
	蒸気スプレー式加湿器	PAC-CG03SS	5HP：3kg/h・8HP：4kg/h・10HP：5kg/h	5・8・10HP	5・8・10HP	5・8・10HP
		PAC-CG04SS	6.0kg/h	16HP	16HP	16HP
	ペーパーパン	PAC-CG05SS	8.0kg/h	20HP	20HP	20HP
		PAC-CG31VP	2.6kg/h	5HP	5HP	5HP
	水スプレー式加湿器 (ヘッダー1本)	PAC-CG33VP	5.2kg/h	8・10HP	8・10HP	8・10HP
		PAC-CG35VP	7.8kg/h	16・20HP	16・20HP	16・20HP
		PAC-CG11WS	1.2kg/h	5HP	5HP	5HP
		PAC-CG12WS	1.6kg/h	8HP	8HP	8HP
		PAC-CG13WS	2.1kg/h	10HP	10HP	10HP
	水スプレー式加湿器 (ヘッダー2本)	PAC-CG14WS	3.2kg/h	16HP	16HP	16HP
		PAC-CG15WS	4.8kg/h	20HP	20HP	20HP
		PAC-CG21WS	2.4kg/h	5HP	5HP	5HP
		PAC-CG22WS	3.2kg/h	8HP	8HP	8HP
		PAC-CG23WS	4.3kg/h	10HP	10HP	10HP
	風 路 部 品	プレナム	PAC-CG24WS	6.4kg/h	16HP	16HP
PAC-CG25WS			9.6kg/h	20HP	20HP	20HP
PAC-CG51PL				5HP	5HP	-
PAC-CG52PL				8HP	8HP	-
PAC-CG53PL				10HP	10HP	-
吸込ダクトフランジ		PAC-CG54PL		16HP	16HP	-
		PAC-CG55PL		20HP	20HP	-
		PAC-CG61DF		5HP	5HP	標準組込み済
		PAC-CG62DF		8HP	8HP	
		PAC-CG63DF		10HP	10HP	
PAC-CG64DF		16HP	16HP			
PAC-CG65DF		20HP	20HP			
外気取入フランジ	PAC-CG73GF		5・8・10HP	5・8・10HP	-	
エ ア フ ィ ル タ 類	フィレドフィルタ (PS・400)	PAC-CJ17FF	PS-400	5HP	5HP	5HP
		PAC-CJ17EF	PS-400	8HP	8HP	8HP
		PAC-CJ17FF	PS-400	10HP	10HP	10HP
		PAC-CJ17FF	PS-400	16HP	16HP	16HP
		PAC-CJ17FF	PS-400	20HP	20HP	20HP
	予備フィルタ	PAC-CF81YF		5HP	5HP	5HP
		PAC-CF82YF		8HP	8HP	8HP
		PAC-CF83YF		10HP	10HP	10HP
		PAC-CF84YF		16HP	16HP	16HP
		PAC-CF85YF		20HP	20HP	20HP
	高性能フィルタ (NBS90%)	PAC-CF91AF		5HP	5HP	5HP
		PAC-CF92AF		8HP	8HP	8HP
		PAC-CF93AF		10HP	10HP	10HP
		PAC-CF94AF		16HP	16HP	16HP
		PAC-CF95AF		20HP	20HP	20HP
	中性能フィルタ (NBS65%)	PAC-CF61AF		5HP	5HP	5HP
		PAC-CF62AF		8HP	8HP	8HP
		PAC-CF63AF		10HP	10HP	10HP
		PAC-CF64AF		16HP	16HP	16HP
		PAC-CF65AF		20HP	20HP	20HP
フィルタボックス (中・高性能用)	PAC-CF71TB		5HP	5HP	5HP	
	PAC-CF72TB		8HP	8HP	8HP	
	PAC-CF73TB		10HP	10HP	10HP	
	PAC-CF74TB		16HP	16HP	16HP	
	PAC-CF75TB		20HP	20HP	20HP	
オイルフィルタ (5枚入り)	PAC-CE01UF		5HP	5HP	-	
	PAC-CE02UF		8HP	8HP	-	
	PAC-CE03UF		10HP	10HP	-	
	PAC-CE04UF		16HP	16HP	-	
	PAC-CE05UF		20HP	20HP	-	
フィルタユニット (オイルフィルタ用)	PAC-CE21UTB		5HP	5HP	-	
	PAC-CE22UTB		8HP	8HP	-	
	PAC-CE23UTB		10HP	10HP	-	
	PAC-CE24UTB		16HP	16HP	-	
	PAC-CE25UTB		20HP	20HP	-	
クリーンルーム用フィルタユニット	PAC-CF41CLB		5HP	5HP	-	
	PAC-CF42CLB		8HP	8HP	-	
	PAC-CF43CLB		10HP	10HP	-	
	PAC-TS04FD		5HP	5HP	-	
	PAC-TS05FD		8HP	8HP	-	
HEPAフィルタ	PAC-TS08FD		10HP	10HP	-	
	PAC-CF31CLF		5HP	5HP	-	
	PAC-CF32CLF		8HP	8HP	-	
	PAC-CF33CLF		10HP	10HP	-	
	PAC-CF34CLF		16HP	16HP	-	
電 気 部 品	遠方操作キット	PAC-CG91RCK		5・20HP	5・20HP	5・20HP
	M.Aリモコン	PAR-20MA		5・20HP	5・20HP	5・20HP
	サ・ミスタ取付位置変更部品	PAC-SE40TS		5・20HP	5・20HP	5・20HP
	進相コンデンサ	PAC-CP31CA	電動機出力 60Hz：0.75kW 20μF	5・20HP	5・20HP	5・20HP
		PAC-CP32CA	電動機出力 50Hz：0.75kW、60Hz：1.5kW 30μF	5・20HP	5・20HP	5・20HP
		PAC-CP33CA	電動機出力 50Hz：1.5kW、60Hz：2.2kW 40μF	5・20HP	5・20HP	5・20HP
		PAC-CP34CA	電動機出力 50Hz：2.2kW、60Hz：3.7kW 50μF	5・20HP	5・20HP	5・20HP
		PAC-CP35CA	電動機出力 50Hz：3.7kW、60Hz：5.5kW 75μF	5・20HP	5・20HP	5・20HP
	進相コンデンサ取付アタッチメント	PAC-CP36CA	電動機出力 50Hz：5.5kW 100μF	5・20HP	5・20HP	5・20HP
	そ の 他	右配管部品 (加湿器組込み用) 5	PAC-CG85CAA		5・20HP	5・20HP
木台		PAC-CF54RPH		16HP	16HP	16HP
		PAC-CF55RPH		20HP	20HP	20HP
		PAC-CQ30MD		5HP	5HP	5HP
		PAC-CQ31MD		8HP	8HP	8HP
		PAC-CQ32MD		10HP	10HP	10HP
サービス工具		PAC-CG94MD		16HP	16HP	16HP
		PAC-CG95MD		20HP	20HP	20HP
		PAC-CQ04SK		5・20HP	5・20HP	5・20HP

- ヒートポンプ暖房運転との併用運転はできません。
- 冷房専用機種のみ取付可能です。
- 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。
- ヒートポンプ機種のみ取付可能です。
- 16,20馬力ユニットに(透湿膜は除く)を組込んで右配管接続する場合に必要となります。

■ 室外ユニット

		形 名	適 用 機 種
圧力計		PAC-KA63PG	8～10HP
防雪フード 吸込側		PAC-KB72TD	8～10HP
防雪フード 吹出側		PAC-KB82SD	8～10HP
集中排水キット		PAC-KB92DPT	8～10HP
後配管キット		PAC-KB62RPT	8～10HP
進相コンデンサ	50Hz	PAC-620CA	8HP
		PAC-622CA	10HP
	60Hz	PAC-621CA	8HP
		PAC-623CA	10HP

室内ユニットの別売部品の仕様値等は変更になる場合があります。機種選定の際に別途お問い合わせ願います。
後配管キットと進相コンデンサの併用はできません。

● 取付可能部品併用組込可能組合せ表

標準ヒートポンプ用PFHK形(室内PFAK, 室外PUHK) ...併用組込可能 ×...併用組込不可 -...対象外

														備考			
ヒータ	温水・蒸気ヒータ	-	x	x												-	ヒートポンプ暖房運転との併用運転は出来ません
	大容量電気ヒータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
加湿器	補助ヒータ	x	-	x												-	
	透湿膜加湿器	x	-	x	x	x	x									-	
	蒸気スプレー加湿器	-	-	x	x	x											
	水スプレー加湿器	-	-	x	x	x											
風路	ペーパーパン加湿器	-	-	x	x	x											
	吸込ダクトフランジ	-	-	-	-	-										x	-
	プレナム	-	-	-	-	-										3	x
フィルタ	外気取入フランジ	-	-	-	-	-											x
	フィルドフィルタ	-	-	-	-	-											-
	中、高性能フィルタ	-	-	-	-	-										3	x
他	HEPAフィルタユニット	-	-	-	-	-										x	x
	右配管部品(加湿器組込み)	-	-	-	-	-										-	-

標準冷房専用PFK形(室内PFAK, 室外PUK) ...併用組込可能 ×...併用組込不可 -...対象外

														備考			
ヒータ	温水・蒸気ヒータ	-	x	-	-											-	
	大容量電気ヒータ	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	x	x
加湿器	補助ヒータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
	透湿膜加湿器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
	蒸気スプレー加湿器	-	-	-	-	x	x										冷房加湿はできません。 ²
	水スプレー加湿器	-	-	-	-	x	x										ヒータと同時組込みが必要です。
風路	ペーパーパン加湿器	-	-	-	-	x	x										
	吸込ダクトフランジ	-	-	-	-	-	-										x
	プレナム	-	-	-	-	-	-									3	x
フィルタ	外気取入フランジ	-	-	-	-	-	-										x
	フィルドフィルタ	-	-	-	-	-	-										-
	中、高性能フィルタ	-	-	-	-	-	-									3	x
他	HEPAフィルタユニット	-	-	-	-	-	-									x	x
	右配管部品(加湿器組込み)	-	-	-	-	-	-									-	-

中温冷房専用PFTK形(室内PFTK, 室外PUK) ...併用組込可能 ×...併用組込不可 -...対象外

														備考			
ヒータ	温水・蒸気ヒータ	-	x	-	-											-	
	大容量電気ヒータ	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
加湿器	補助ヒータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
	透湿膜加湿器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
	蒸気スプレー加湿器	-	-	-	-	x	x										冷房加湿はできません。 ²
	水スプレー加湿器	-	-	-	-	x	x										ヒータと同時組込みが必要です。
風路	ペーパーパン加湿器	-	-	-	-	x	x										
	吸込ダクトフランジ	-	-	-	-	-	-										-
	プレナム	-	-	-	-	-	-									3	x
フィルタ	外気取入フランジ	-	-	-	-	-	-										x
	フィルドフィルタ	-	-	-	-	-	-										-
	中、高性能フィルタ	-	-	-	-	-	-									3	x
他	HEPAフィルタユニット	-	-	-	-	-	-									x	x
	右配管部品(加湿器組込)	-	-	-	-	-	-									-	-

オールシーズン冷房専用PFK-F(室内PFAK-F, 室外PUK) ...併用組込可能 ×...併用組込不可 -...対象外

														備考			
ヒータ	温水・蒸気ヒータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大容量電気ヒータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	受注対応
加湿器	補助ヒータ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	組込みできません
	透湿膜加湿器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	"
	蒸気スプレー加湿器	-	-	-	-	x	x										冷房加湿はできません。 ²
	水スプレー加湿器	-	-	-	-	x	x										ヒータと同時組込みが必要です。
風路	ペーパーパン加湿器	-	-	-	-	x	x										
	吸込ダクトフランジ	-	-	-	-	-	-										標準組込み済
	プレナム	-	-	-	-	-	-										組込みできません
フィルタ	外気取入フランジ	-	-	-	-	-	-										"
	フィルドフィルタ	-	-	-	-	-	-										-
	中、高性能フィルタ	-	-	-	-	-	-										組込みできません
他	HEPAフィルタユニット	-	-	-	-	-	-									-	"
	右配管部品(加湿器組込)	-	-	-	-	-	-									-	16,20馬力のみ 1

ご注意

- 16, 20馬力ユニットに、加湿器を組込んで右配管接続する場合は、右配管部品が必要です。
- 加湿器は暖房運転で加湿してください。冷房運転での加湿はできません。
- 8, 10馬力はx、16, 20馬力は となりませぬ。
- 上表に記載の無い別売部品については、基本的には併用組込み可能です。

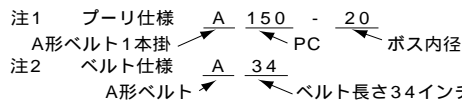
●静風圧部品標準仕様表

室内ユニット形名	電動機	送風機プーリ	Vベルト	電動機プーリ	51F設定値 (過電流継電器)
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	0.75kW全閉外扇形	A180-20	A50	A可変19	3.6A
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	1.5kW全閉外扇形	A224-20	A56	A可変24	6.5A
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1.5kW全閉外扇形	A212-20	A55	A可変24	6.5A
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	2.2kW全閉外扇形	2B280-24	B65×2本	2B118-28	9.0A
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	3.7kW全閉外扇形	2B280-28	B65×2本	2B135-28	15A
PFAK-P167AW(M)-A-F	0.75kW全閉外扇形	A224-20	A53	A可変19	3.6A
PFAK-P265AW(M)-A-F	1.5kW全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P335AW(M)-A-F	1.5kW全閉外扇形	A280-20	A59	A可変24	6.5A
PFAK-P530AW(M)-A-F	2.2kW全閉外扇形	2B315-24	B67	2B118-28	9.0A
PFAK-P670AW(M)-A-F	3.7kW全閉外扇形	2B315-28	B66	2B125-28	15A

●静風圧部品形名・仕様表 ※プーリボスの寸法は、P214(7)プーリボス部形状を参照ください。)

PFAK-P140・224・280AW(M)-A、PFTK-P125・200・250AW(M)-A
PFAK-P167・265・335AW(M)-A-Fの場合

部品形名	部品名	プーリ	個数	ベルト	個数	電磁閉閉器	個数	電動機	個数	備考
PAC-CT01SP	送風機プーリセット	A90-20	1							
PAC-CT02SP	"	A118-20	1							
PAC-CT03SP	"	A132-20	1							
PAC-CT04SP	"	A150-20	1	注3						
PAC-CT05SP	"	A180-20	1							
PAC-CT06SP	"	A224-20	1							
PAC-CT07SP	"	A250-20	1							
PAC-CT08SP	"	A280-20	1							
PAC-CT09MP	電動機プーリセット	A可変-24	1			PAK-6JTH(6A)	1			標準仕様変更銘板付(1.5kWモーター用)
PAC-CT10MP	"	A可変-28	1			PAK-6JTH(9A)	1			標準仕様変更銘板付(2.2kWモーター用)
PAC-CJ63MR	電動機							SF-JR1.5kW-4P	1	
PAC-CJ14VB	Vベルト			A44	1					
PAC-CJ15VB	"			A45	1					
PAC-CJ16VB	"			A46	1					
PAC-CJ17VB	"			A47	1					
PAC-CJ49VB	"			A49	1					
PAC-CJ50VB	"			A50	1					
PAC-CJ51VB	"			A51	1					
PAC-CJ52VB	"			A52	1					
PAC-CJ53VB	"			A53	1					
PAC-CJ54VB	"			A54	1					
PAC-CJ55VB	"			A55	1					
PAC-CJ56VB	"			A56	1					
PAC-CJ58VB	"			A58	1					
PAC-CJ59VB	"			A59	1					



注3 PAC-CT01~08SPに付属のベルトは使用できません。
別途技術資料(静風圧部品選定表)を参照の上、上記PAC-CJ14~59VBをお買い求めください。

PFAK-P450・560AW(M)-A、PFAK-P400・500AW(M)-A
PFAK-P530・670AW(M)-A-Fの場合

別売形名	部品名	部 品 内 容										
		送風機プーリ	個数	ベルト	個数	電動機プーリ	個数	電磁閉閉器	個数	電動機	個数	備考
PAC-CH41SP	送風機プーリセット	2B170-24	1	B58	2							
PAC-CH42SP	送風機プーリセット	2B180-24	1	B59	2							
PAC-CH43SP	送風機プーリセット	2B190-24	1	B59,B60	各2							
PAC-CH44SP	送風機プーリセット	2B200-24	1	B60	2							
PAC-CH45SP	送風機プーリセット	2B212-24	1	B61	2							
PAC-CH46SP	送風機プーリセット	2B224-24	1	B62	2							
PAC-CH47SP	送風機プーリセット	2B236-24	1	B62	2							
PAC-CH39SP	送風機プーリセット	2B250-24	1	B63,B64	各2							
PAC-CH48SP	送風機プーリセット	2B280-24	1	B65,B66	各2							
PAC-CH49SP	送風機プーリセット	2B300-24	1	B66	2							
PAC-CH50SP	送風機プーリセット	2B315-24	1	B67	2							
PAC-CH51SP	送風機プーリセット	2B355-24	1	B70	2							
PAC-CH52SP	送風機プーリセット	2B165-28	1	B56	2							
PAC-CH53SP	送風機プーリセット	2B170-28	1	B56	2							
PAC-CH54SP	送風機プーリセット	2B180-28	1	B57	2							
PAC-CH55SP	送風機プーリセット	2B200-28	1	B59,B60	各2							
PAC-CH56SP	送風機プーリセット	2B212-28	1	B59,B60	各2							
PAC-CH57SP	送風機プーリセット	2B224-28	1	B60,B61	各2							
PAC-CH58SP	送風機プーリセット	2B236-28	1	B61,B62	各2							
PAC-CH40SP	送風機プーリセット	2B250-28	1	B62,B63	各2							
PAC-CH59SP	送風機プーリセット	2B280-28	1	B64,B65	各2							
PAC-CH60SP	送風機プーリセット	2B300-28	1	B65,B66	各2							
PAC-CH61SP	送風機プーリセット	2B315-28	1	B66	2							
PAC-CH62MP	電動機プーリセット					2B125-28	1					
PAC-CH63MP	電動機プーリセット			B63,B65	各2	2B145-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			標準仕様変更銘板付 (3.7kW用)
PAC-CH64MP	電動機プーリセット			B64,B66	各2	2B155-28	1	PAK-21JTH(15A)	1			
PAC-CH65MP	電動機プーリセット					2B145-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CH66MP	電動機プーリセット					2B155-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			標準仕様変更銘板付 (5.5kW用)
PAC-CH67MP	電動機プーリセット			B63,B65	各2	2B165-38	1	PAK-26JTH(22.5A)	1			
PAC-CJ65MR	電動機									SF-JR3.7kW-4P	1	
PAC-CJ66MR	電動機									SF-JR5.5kW-4P	1	

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P140AW(M)-A
PFTK-P125AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min				
	35	40	45	50	55
100	標準	X			
	PAC-CT06SP(224)				
	PAC-CJ53VB(A53)				
	標準				
150	1・1/4	X			
	標準				
	A50 標準				
	標準				
200	2	X			
	2・1/2				
	標準				
	標準				
250	0	X			
	標準				
	PAC-CT05SP(180)				
	PAC-CJ51VB(A51)				
300	1・1/4	X			
	標準				
	PAC-CT04SP(150)				
	PAC-CJ49VB(A49)				
350	1・3/4	X			
	標準				
	PAC-CT03SP(132)				
	PAC-CJ49JVB(A49)				
400	0	X			
	標準				
	PAC-CT02SP(118)				
	PAC-CJ17VB(A47)				
450	4・1/4	X			
	標準				
	PAC-CT01SP(90)				
	PAC-CJ14VB(A44)				
500	3・1/4	X			
	標準				
	PAC-CJ63MR				
	PAC-CT03SP(132)				
550	2・1/4	X			
	標準				
	PAC-CJ63MR				
	PAC-CT03SP(132)				
600	1	X			
	標準				
	PAC-CJ63MR				
	PAC-CT03SP(132)				
650	2・3/4	X			
	標準				
	PAC-CJ63MR				
	PAC-CT02SP(118)				

- 注1. 出荷時の電動機⁷-リPC (可変プーリー)は77.9(スライドピース回転数4・1/2)、送風機⁷-リPC は180と
なっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなどを組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗125Pa 機外静圧30Pa 風量45m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリーPC (可変プーリー)を
93.9(スライドピース回転数1・1/4)にしてください。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。上記6、に示すプーリー仕様にてご使用ください。(風量45m³/min)

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P140AW(M)-A
PFTK-P125AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min				
	35	40	45	50	55
100	標準	X			
	PAC-CT06SP(224)				
	PAC-CJ53VB(A53)				
	標準				
150	4・1/2	X			
	標準				
	PAC-CT06SP(224)				
	PAC-CJ53VB(A53)				
200	2	1・1/2	4・1/2	X	
	標準	標準	標準		
	PAC-CT06SP(224)	標準	A50 標準		
	PAC-CJ53VB(A53)	標準	標準		
250	3・1/2	3・1/4	2・3/4	2	1
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT05SP(180)	PAC-CJ51VB(A51)	標準	標準	標準
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ49VB(A49)	標準	標準	標準
300	4・1/2	4	3・3/4	3	2・3/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ63MR	PAC-CT06SP(224)	PAC-CJ56VB(A56)	PAC-CT09MP
	PAC-CJ49VB(A49)	標準	標準	標準	標準
350	2・1/4	2・1/4	2	1・1/2	0
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT03SP(132)	PAC-CT05SP(180)	PAC-CJ63MR	PAC-CT05SP(180)	PAC-CJ53VB(A53)
	PAC-CJ49VB(A49)	PAC-CJ53VB(A53)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
400	3	3	3	4・1/2	4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT03SP(132)	PAC-CT05SP(180)	PAC-CJ63MR	PAC-CT05SP(180)	PAC-CJ53VB(A53)
	PAC-CJ49VB(A49)	PAC-CJ53VB(A53)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
450	1・3/4	1・3/4	1・3/4	3	2・3/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT03SP(132)	PAC-CJ63MR	PAC-CT05SP(180)	PAC-CT05SP(180)	PAC-CJ53VB(A53)
	PAC-CJ49VB(A49)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
500	3/4	3/4	1・1/2	1・1/4	1
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ63MR	PAC-CT04SP(150)	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)
	PAC-CJ16VB(A46)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
550	1・3/4	4・3/4	4・3/4	4・1/2	4・1/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ63MR	PAC-CT04SP(150)	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)
	PAC-CJ16VB(A46)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
600	3・3/4	3・3/4	3・1/2	3・1/2	3・1/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ63MR	PAC-CT04SP(150)	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)
	PAC-CJ16VB(A46)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
650	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/4	2
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ63MR	PAC-CT04SP(150)	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)
	PAC-CJ16VB(A46)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP
700	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/4	1・1/4
	標準	標準	標準	標準	標準
	PAC-CT02SP(118)	PAC-CJ63MR	PAC-CT04SP(150)	PAC-CT04SP(150)	PAC-CJ51VB(A51)
	PAC-CJ16VB(A46)	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP	PAC-CT09MP

- 注1. 出荷時の電動機P-IPC (可変プーリ)は77.9(スライドピース回転数4・1/2)、送風機P-IPC は180と なっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなどを組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。 該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
- 機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗125Pa 機外静圧30Pa 風量45m³/minです。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様のプーリのままご使用ください。(風量45m³/min)

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P224AW(M)-A
PFTK-P200AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min						
	55	60	65	70	75	80	82.5
150	標準			X			
	標準(224)						
	標準(A56)						
	標準						
200	4	3・1/4	2・3/4	標準			X
	標準(224)			PAC-CT05SP(180)			
	標準(A56)			PAC-CJ53VB(A53)			
	標準			標準			
250	1・1/4	3/4	1/4	4・3/4	4		
	標準						
	PAC-CT05SP(180)						
	PAC-CJ53VB(A53)						
300	4・1/4	4	3・3/4	3	2	1	1/2
	標準			標準			
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ51VB(A51)			
350	2・1/2	2	1・1/2	1	1/4	4	3・1/2
	標準			標準			
	PAC-CT05SP(180)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ53VB(A53)			PAC-CJ51VB(A51)			
400	1/4	0	4・1/2	4	3・1/4	2・1/2	2・1/4
	標準			標準			
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CT04SP(150)			
450	3・1/4	3	2・3/4	2・1/4	1・1/2	3	2・3/4
	標準			標準			
	PAC-CT04SP(150)			PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ51VB(A51)			PAC-CJ52VB(A52)			
500	1・1/2	1・1/2	1・1/4	3/4	1/4	1・1/2	1・1/4
	標準			標準			
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT04SP(150)			
550	3・3/4	3・1/2	3・1/4	2・3/4	1	1/4	0
	標準			標準			
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT03SP(132)			
600	2・1/2	2・1/4	2	1・3/4	3・1/4	2・3/4	2・1/2
	標準			標準			
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT03SP(132)			
650	1・1/4	1・1/4	1	2・3/4	2	1・1/4	1
	標準			標準			
	PAC-CT03SP(132)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ50VB(A50)			PAC-CT03SP(132)			
700	1/4	0	1・3/4	1・1/4	3/4	1/2	
	標準			標準			
	PAC-CT02SP(118)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ49VB(A49)			PAC-CT03SP(132)			
750	2	2	1/2	1/4	0		
	標準			標準			
	PAC-CT02SP(118)			PAC-CJ64MR			
	PAC-CJ49VB(A49)			PAC-CT02SP(118)			
750	1	3	2・3/4	2・1/2			
	標準			標準			
	PAC-CT10MP			PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			標準			

- 注1 . 出荷時の電動機プリーPC (可変プリー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プリーPC は224となつています。
- 2 . 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
- 3 . プリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
- 4 . 電動機プリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
- 5 . 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
- 6 . 標準仕様は機内抵抗165Pa 機外静圧30Pa 風量70m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プリーPC (可変プリー)を140(スライドピース回転数 0)にしてください。
- 7 . 別売プレナムは機外静圧30Paです。上記6 , に示すプリー仕様にてご使用ください。(風量70m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プリー形名(PC)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プリー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P224AW(M)-A
PFTK-P200AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min							
	55	60	65	70	75	80	82.5	
150	標準 PAC-CT08SP(280) PAC-CJ59VB(A59)			X				
	標準							
	3	2・1/4	1・3/4					
	標準							
200	標準 PAC-CT08SP(280) PAC-CJ59VB(A59)		標準 標準(224) 標準(A56)				X	
	標準		標準					
	0	0	4・3/4	4・1/4	3			
	標準		標準					
250	標準 標準(224) 標準(A56)						X	
	標準							
	3・1/2	3・1/4	3	2・1/4	1・1/4	0		
	標準							
300	標準 標準(224) 標準(A56)			標準 PAC-CT05SP(180) PAC-CJ53VB(A53)				
	標準			標準				
	1・1/2	1・1/4	3/4	1/4	4・3/4	4	3・3/4	
	標準			標準				
350	標準 PAC-CT05SP(180) PAC-CJ53VB(A53)						X	
	標準							
	4・3/4	4・3/4	4・1/2	4	3・1/2	2・3/4		2・1/4
	標準							
400	標準 PAC-CT05SP(180) PAC-CJ53VB(A53)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT05SP(180) PAC-CJ54VB(A54) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	3・1/2	3・1/4	3	2・1/2	1・3/4	3・1/4	3	
	標準			標準				
450	標準 PAC-CT05SP(180) PAC-CJ53VB(A53)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT05SP(180) PAC-CJ54VB(A54) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	1・3/4	1・1/2	1・1/4	1	1/2	1・3/4	1・1/2	
	標準			標準				
500	標準 PAC-CT05SP(180) PAC-CJ53VB(A53)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT04SP(150) PAC-CJ54VB(A54) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	1/2	1/4	0	4・1/4	1・1/4	1/2	0	
	標準			標準				
550	標準 PAC-CT04SP(150) PAC-CJ51VB(A51)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT04SP(150) PAC-CJ52VB(A52) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	4	3・3/4	3・1/2	3・1/4	4・3/4	4・1/4	4	
	標準			標準				
600	標準 PAC-CT04SP(150) PAC-CJ51VB(A51)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT04SP(150) PAC-CJ52VB(A52) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	2・3/4	2・3/4	2・1/2	4・1/4	3・3/4	3	2・3/4	
	標準			標準				
650	標準 PAC-CT04SP(150) PAC-CJ51VB(A51)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT04SP(150) PAC-CJ52VB(A52) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	2	1・3/4	3・1/2	3	2・1/2	2・1/4	X	
	標準			標準				
標準			標準					
標準			標準					
700	標準 PAC-CT04SP(150) PAC-CJ51VB(A51)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT04SP(150) PAC-CJ52VB(A52) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	3/4	1/2	2・1/4	2	1・3/4	X		
	標準			標準				
標準			標準					
標準			標準					
750	標準 PAC-CT03SP(132) PAC-CJ50VB(A50)			標準 PAC-CJ64MR PAC-CT04SP(150) PAC-CJ52VB(A52) PAC-CT10MP				
	標準			標準				
	3	1・1/2	1・1/4	1・1/4	X			
	標準			標準				
標準			標準					
標準			標準					

- 注1. 出荷時の電動機プリーPC (可変プリー)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プリーPC は224と
なっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗165Pa 機外静圧30Pa 風量70m³/minです。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様のプリーのままご使用ください。(風量70m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プリー形名(PC)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プリー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P280AW(M)-A
PFTK-P250AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min								
	70	75	80	85	90	95	100	105	110
150	標準		X						
	PAC-CT07SP(250)								
	PAC-CJ58VB(A58)								
	標準								
	1・3/4	1・1/2							
200	標準		X						
	標準(212)								
	標準(A55)								
	標準								
	2・1/2	2・1/4							
250	標準		X						
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
4	4	3・3/4	3・3/4	3・1/2	3・1/4	3・1/4			
300	標準		X						
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
1・1/2	1・1/2	1・1/4	1・1/4	1	1	3/4	1/2	1/4	
350	標準		X						
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
4・1/2	4・1/4	4	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・1/2	
400	標準		X						
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/4	
450	標準		X						
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
4・1/2	4・1/2	4・1/2	4・1/2	4・1/2	4・1/2	4・1/2	3	3	
500	標準		X						
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
	3	3							
550	標準		X						
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
2	2	2・1/4	3/4	3/4	3/4	3/4	3/4	3/4	
600	標準		X						
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ49VB(A49)								
	標準								
1/2	2・1/2	2・3/4	2・3/4	2・3/4	3	3	3	3	
650	標準		X						
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・3/4	1・3/4	1・3/4			
700	標準		X						
	PAC-CT03SP(132)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
1/2	1/2	1/2	1/2	3/4					
750	標準		X						
	PAC-CT02SP(118)								
	PAC-CJ50VB(A50)								
	標準								
3	3	3	3	3					

- 注1. 出荷時の電動機プーリPC (可変プーリ)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プーリPC は212と
なっています。
2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。
該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗200Pa 機外静圧30Pa 風量90m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリPC (可変プーリ)を140(スライドピース回転
数 0)にしてください。
7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。上記6, に示すプーリ仕様にてご使用ください。(風量90m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プーリ形名(PC)
3段目	使用ベルト形名(サイズ)
4段目	電動機プーリ形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P280AW(M)-A
PFTK-P200AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m³/min								
	70	75	80	85	90	95	100	105	110
150	標準		X						
	PAC-CT08SP(280)								
	PAC-CJ59VB(A59)								
	標準								
	3・3/4	3・1/2							
200	標準		X						
	PAC-CT07SP(250)								
	PAC-CJ58VB(A58)								
	標準								
	3・1/4	3	2・1/2	2・1/2					
250	標準		X						
	標準(212)								
	標準(A55)								
	標準								
	4・1/2	4・1/2	4・1/4	4・1/4	4	4	3・3/4		
300	標準		X						
	標準(212)								
	標準(A55)								
	標準								
	2	2	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・1/2	1・1/2	1・1/4	1
350	標準		X						
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
	4・1/2	4・1/2	4・1/4	4	4	4	3・3/4	3・3/4	3・1/2
400	標準		X						
	PAC-CT05SP(180)								
	PAC-CJ53VB(A53)								
	標準								
	3	3	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2	2・1/4
450	標準		X					PAC-CJ64MR	
	PAC-CT05SP(180)							PAC-CT05SP(180)	
	PAC-CJ53VB(A53)							PAC-CJ54VB(A54)	
	標準							PAC-CT10MP	
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/4	1・1/4	1・1/4	3	3
500	標準		X			PAC-CJ64MR			
	PAC-CT05SP(180)					PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ53VB(A53)					PAC-CJ54VB(A54)			
	標準					PAC-CT10MP			
	0	0	0	0	2	2	2	2	2
550	標準		X						
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
	3・1/2	3・1/2	3・3/4	3/4	3/4	3/4	3/4	3/4	3/4
600	標準		X						
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ51VB(A51)								
	標準								
	2・1/4	4・1/4	4・1/4	4・1/4	4・1/4	4・1/2	4・1/2	4・1/2	4・1/2
650	標準		X						
	PAC-CJ64MR								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ52VB(A52)								
	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/2	3・1/2	3・1/2		
700	標準		X						
	PAC-CJ64MR								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ52VB(A52)								
	2・1/4	2・1/4	2・1/4	2・1/2					
750	標準		X						
	PAC-CJ64MR								
	PAC-CT04SP(150)								
	PAC-CJ52VB(A52)								
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2					

- 注1. 出荷時の電動機プリーPC は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プリーPC は212となっています。
 2. 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
 3. プリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
 4. 電動機プリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
 5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
 6. 標準仕様は機内抵抗200Pa 機外静圧30Pa 風量90m³/minです。
 7. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様のプリーのままご使用ください。(風量90m³/min)

表中

1段目	電動機形名
2段目	送風機プリー形名(PC)
3段目	使用ベルト形
4段目	電動機プリー形名
5段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P450AW(M)-A
PFTK-P400AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m³/min												
	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170
150Pa	PAC-CH62MP(125)						標準(118)						X
	PAC-CH50SP(315)						標準(280)						
	B67						B65(標準)						
	標準(2.2kW)						標準(2.2kW)						
200Pa	PAC-CH62MP(125)												X
	標準(280)												
	B65(標準)												
	標準(2.2kW)												
250Pa	標準(118)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B63												
	標準(2.2kW)												
300Pa	標準(118)												
	PAC-CH46SP(224)												
	B61												
	標準(2.2kW)												
350Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)						
	PAC-CH44SP(200)						PAC-CH39SP(250)						
	B60						B63						
	標準(2.2kW)						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
400Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)						
	PAC-CH43SP(190)						PAC-CH47SP(236)						
	B59						B62						
	標準(2.2kW)						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
450Pa	標準(118)						PAC-CH63MP(145)						
	PAC-CH42SP(180)						PAC-CH46SP(224)						
	B58						B61						
	標準(2.2kW)						PAC-CJ65MR(3.7kW)						
500Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH45SP(212)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
550Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH44SP(200)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
600Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH43SP(190)												
	B59												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
650Pa	PAC-CH64MP(155)												X
	PAC-CH44SP(200)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
700Pa	PAC-CH64MP(155)						X						
	PAC-CH43SP(190)												
	B59												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
750Pa	PAC-CH63MP(145)						X						
	PAC-CH41SP(170)												
	B58												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												

注1. 標準仕様 電動機ブリー:2B118-28 送風機ブリー:2B280-24 ベルトサイズ:B65 サーマル:PAK-6JT(9A)

表中

- 2. 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
- 3. 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
- 4. 標準時は機内抵抗:140Pa 機外静圧:30Pa 風量:140m³/minです。
- 5. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様ブリーのまゝご使用ください。

1段目	電動機ブリー形名(PC)
2段目	送風機ブリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P450AW(M)-A
PFTK-P400AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min												
	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170
150Pa	標準(118)						X						
	PAC-CH51SP(355)												
	B70												
	標準(2.2kW)												
200Pa	標準(118)						X						
	PAC-CH50SP(315)												
	B67												
	標準(2.2kW)												
250Pa	標準(118)												
	標準(280)												
	B65(標準)												
	標準(2.2kW)												
300Pa	PAC-CH62MP(125)												
	標準(280)												
	B65(標準)												
	標準(2.2kW)												
350Pa	標準(118)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B63												
	標準(2.2kW)												
400Pa	標準(118)												
	PAC-CH46SP(224)												
	B61												
	標準(2.2kW)												
450Pa	標準(118)		PAC-CH64MP(155)										
	PAC-CH45SP(212)		標準(280)										
	B60		B65(標準)										
	標準(2.2kW)		PAC-CJ65MR(3.7kW)										
500Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B63												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
550Pa	PAC-CH63MP(145)												
	PAC-CH47SP(236)												
	B62												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
600Pa	PAC-CH64MP(155)												
	PAC-CH39SP(250)												
	B63												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
650Pa	PAC-CH63MP(145)						X						
	PAC-CH46SP(224)												
	B61												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
700Pa	PAC-CH63MP(145)						X						
	PAC-CH45SP(212)												
	B60												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												
750Pa	PAC-CH64MP(155)		X										
	PAC-CH46SP(224)												
	B61												
	PAC-CJ65MR(3.7kW)												

注1. 標準仕様 電動機プーリ:2B118-28 送風機プーリ:2B280-24 ベルトサイズ:B65 サーマル:PAK-6JT(9A)

表中

電動機形名: SF-JR2.2kW

2. 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。

3. 表中のプーリ径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。

4. 標準時は機内抵抗: 140Pa 機外静圧: 130Pa 風量: 140m³/minです。

5. 別売プレナムは機外静圧30Paです。プレナム取付時は、上表の全静圧150Paの仕様にしてください。

1段目	電動機プーリ形名(PC)
2段目	送風機プーリ形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P560AW(M)-A
PFTK-P500AW(M)-A

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min									
	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240
250Pa	標準(135)									
	標準(280)									
	B65(標準)									
	標準(3.7kW)									
300Pa	標準(135)									
	PAC-CH40SP(250)									
	B63									
	標準(3.7kW)									
350Pa	標準(135)									
	PAC-CH58SP(236)									
	B61									
	標準(3.7kW)									
400Pa	PAC-CH63MP(145)						PAC-CH65MP(145)			
	PAC-CH58SP(236)						PAC-CH58SP(236)			
	B61						B61			
	標準(3.7kW)						PAC-CJ66MR(5.5kW)			
450Pa	PAC-CH63MP(145)					PAC-CH66MP(155)				
	PAC-CH57SP(224)					PAC-CH58SP(236)				
	B61					B61				
	標準(3.7kW)					PAC-CJ66MR(5.5kW)				
500Pa	PAC-CH63MP(145)			PAC-CH66MP(155)						
	PAC-CH56SP(212)			PAC-CH57SP(224)						
	B60			B61						
	標準(3.7kW)			PAC-CJ66MR(5.5kW)						
550Pa	PAC-CH63MP(145)		PAC-CH66MP(155)							
	PAC-CH55SP(200)		PAC-CH56SP(212)							
	B59		B60							
	標準(3.7kW)		PAC-CJ66MR(5.5kW)							
600Pa	PAC-CH67MP(165)									
	PAC-CH56SP(212)									
	B60									
	PAC-CJ66MR(5.5kW)									
650Pa	PAC-CH65MP(145)									
	PAC-CH54SP(180)									
	B57									
	PAC-CJ66MR(5.5kW)									
700Pa	PAC-CH67MP(165)									
	PAC-CH55SP(200)									
	B59									
	PAC-CJ66MR(5.5kW)									
750Pa	PAC-CH65MP(145)									
	PAC-CH53SP(170)									
	B56									
	PAC-CJ66MR(5.5kW)									
800Pa	PAC-CH66MP(155)									
	PAC-CH54SP(180)									
	B57									
	PAC-CJ66MR(5.5kW)									
850Pa	PAC-CH65MP(145)									
	PAC-CH52SP(165)									
	B56									
	PAC-CJ66MR(5.5kW)									

注1. 標準仕様 電動機ブリー:2B135-28 送風機ブリー:2B280-28 ベルトサイズ:B65 サーマル:PAK-21JT(15A)

表中

電動機形名: SF-JR3.7kW

2. 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
3. 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
4. 標準時は機内抵抗: 220Pa 機外静圧: 30Pa 風量: 180m³/minです。
5. 別売プレナムは機外静圧30Paです。標準仕様ブリーのまゝご使用ください。

1段目	電動機ブリー形名(PC)
2段目	送風機ブリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P560AW(M)-A
PFTK-P500AW(M)-A

60Hz

全静圧 Pa	風量 m³/min										
	150	160	170	180	190	200	210	220	230	240	
250Pa	PAC-CH62MP(125)										
	PAC-CH61SP(315)										
	B66										
	標準(3.7kW)										
300Pa	標準(135)										
	PAC-CH60SP(300)										
	B66										
	標準(3.7kW)										
350Pa	標準(135)										
	標準(280)										
	B65(標準)										
	標準(3.7kW)										
400Pa	PAC-CH63MP(145)				PAC-CH65MP(145)						
	標準(280)				標準(280)						
	B65(標準)				B65(標準)						
	標準(3.7kW)				PAC-CJ66MR(5.5kW)						
450Pa	標準(135)				PAC-CH66MP(155)						
	PAC-CH40SP(250)				標準(280)						
	B63				B65(標準)						
	標準(3.7kW)				PAC-CJ66MR(5.5kW)						
500Pa	PAC-CH63MP(145)			PAC-CH67MP(165)							
	PAC-CH40SP(250)			標準(280)							
	B63			B65(標準)							
	標準(3.7kW)			PAC-CJ66MR(5.5kW)							
550Pa	PAC-CH63MP(145)		PAC-CH65MP(145)								
	PAC-CH58SP(236)		PAC-CH58SP(236)								
	B61		B61								
	標準(3.7kW)		PAC-CJ66MR(5.5kW)								
600Pa	PAC-CH65MP(145)										
	PAC-CH57SP(224)										
	B61										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
650Pa	PAC-CH66MP(155)										
	PAC-CH58SP(236)										
	B61										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
700Pa	PAC-CH67MP(165)										
	PAC-CH40SP(250)										
	B63										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
750Pa	PAC-CH66MP(155)										
	PAC-CH57SP(224)										
	B61										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
800Pa	PAC-CH65MP(145)										
	PAC-CH55SP(200)										
	B59										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										
850Pa	PAC-CH66MP(155)										
	PAC-CH56SP(212)										
	B60										
	PAC-CJ66MR(5.5kW)										

注1. 標準仕様 電動機ブリー:2B135-28 送風機ブリー:2B280-28 ベルトサイズ:B65 サーマル:PAK-21JT(15A)

表中

電動機形名: SF-JR3.7kW

- 電動機の変更時のみ、サーマルの変更が必要です。
- 表中のブリー径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
- 標準時は機内抵抗: 220Pa 機外静圧: 130Pa 風量: 180m³/minです。
- 別売プレナムは機外静圧30Paです。プレナム取付時は、上表の全静圧250Paの仕様にてください。

1段目	電動機ブリー形名(PC)
2段目	送風機ブリー形名(PC)
3段目	ベルトサイズ
4段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P167AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量m ³ /min			
	15	20	25	28
100	標準			
	PAC-CT06SP(224)			
	PAC-CJ53VB(A53)			
	標準			
150	3	2・3/4	2・1/4	2
	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ51VB(A51)			
200	3・1/4	3・1/4	3	3
	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ51VB(A51)			
250	3/4	3/4	1/2	1/4
	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
300	3・3/4	3・3/4	3・3/4	3・3/4
	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
350	1・3/4	1・3/4	1・1/2	1・1/2
	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
400	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
450	1/4	1/4	1/4	1/4
	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ15VB(A45)			
500	4	4	4	4
	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ15VB(A45)			
550	3・1/4	3・1/4	3・1/4	3・1/4
	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ15VB(A45)			
600	2・1/2	2・1/2	2・1/2	2・1/2
	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ15VB(A45)			
650	1・1/2	1・1/2	1・1/2	
	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ15VB(A45)			
	1	1		

- 注1. 出荷時の電動機P-リPC (可変プーリ)は77.9(スライドピース回転数 4・1/2)、送風機プーリPC は224と なっています。
2. 機内抵抗はフィードンフィルタ、温水・蒸気ヒータなどを組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。 該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
機種により組込可能別売部品は異なります。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗40Pa 機外静圧85Pa 風量20m³/minです。
50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリPC (可変プーリ)を 93.9(スライドピース回転数 1・1/4)にしてください。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P167AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 ³ /min			
	15	20	25	28
100	標準			
	PAC-CT07SP(250)			
	PAC-CJ55VB(A55)			
	標準			
	4・1/2	4	3・1/2	3・1/4
150	標準			
	PAC-CT06SP(224)			
	PAC-CJ53VB(A53)			
	標準			
	2・3/4	2・3/4	2・1/2	2・1/2
200	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			
	4	4	4	3・3/4
250	標準			
	PAC-CT05SP(180)			
	PAC-CJ50VB(A50)			
	標準			
	1・1/2	1・1/2	1・1/2	1・1/2
300	標準			
	PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ49VB(A49)			
	標準			
	2・3/4	2・3/4	2・3/4	2・3/4
350	標準			
	PAC-CT04SP(150)			
	PAC-CJ49VB(A49)			
	標準			
	3/4	3/4	3/4	3/4
400	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ49VB(A49)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
450	標準			
	PAC-CT03SP(132)			
	PAC-CJ49VB(A49)			
	標準			
	1/2	1/2	1/2	1/2
500	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	1・3/4	1・3/4	1・3/4	1・3/4
550	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	3/4	3/4	3/4	3/4
600	標準			
	PAC-CT02SP(118)			
	PAC-CJ17VB(A47)			
	標準			
	0	0	0	
650	標準			
	PAC-CT01SP(90)			
	PAC-CJ14VB(A44)			
	標準			
	4・1/4	4・1/4		

表中

- 出荷時の電動機が-リPC (可変プーリ)は77.9(スライドピース回転数 4・1/2)、送風機プーリPC は224と なっています。
- 機内抵抗はフィルドフィルタ、温水・蒸気ヒータなどを組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。 該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
機種により組込可能別売部品は異なります。
- プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
- 電動機プーリのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
- 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
- 標準仕様は機内抵抗40Pa 機外静圧85Pa 風量20m³/minです。

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P265AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min			
	28	30	35	40
100	標準			
	標準 (280)			
	標準 (A 5 9)			
	標準 3・3/4			
150	標準			
	PAC-CT07SP (250)			
	PAC-CJ58VB (A 5 8)			
	標準		標準	
200	標準			
	PAC-CT06SP (224)			
	PAC-CJ56VB (A 5 6)			
	標準		標準	
250	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ52VB (A 5 2)			
	標準		標準	
300	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ53VB (A 5 3)			
	標準		標準	
350	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ53VB (A 5 3)			
	標準		標準	
400	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ51VB (A 5 1)			
	標準		標準	
450	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ51VB (A 5 1)			
	標準		標準	
500	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ52VB (A 5 2)			
	標準		標準	
550	標準			
	PAC-CT03SP (132)			
	PAC-CJ50VB (A 5 0)			
	標準		標準	
600	標準			
	PAC-CT03SP (132)			
	PAC-CJ50VB (A 5 0)			
	標準		標準	
650	標準			
	PAC-CT02SP (118)			
	PAC-CJ49VB (A 4 9)			
	標準		標準	
700	標準			
	PAC-CT02SP (118)			
	PAC-CJ49VB (A 4 9)			
	標準		標準	

- 注1. 出荷時の電動機プーリPC (可変プーリ)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プーリPC は280となっています。
2. 機内抵抗はフレドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPCの調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗55Pa 機外静圧90Pa 風量35m³/minです。
 ・50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリPC (可変プーリ)を140(スライドピース回転数 0)にしてください。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P265AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min			
	28	30	35	40
100	標準			
150	標準			
	標準 (280)			
	標準 (A 5 9)			
	標準			
200	標準			
	標準 (280)			
	標準 (A 5 9)			
	標準			
250	0		1 / 4	
	標準			
	PAC-CT07SP (250)			
	PAC-CJ58VB (A 5 8)			
300	1 / 2		3 / 4	
	標準			
	PAC-CT06SP (224)			
	PAC-CJ56VB (A 5 6)			
350	1 · 1 / 4		1 · 1 / 2	
	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ52VB (A 5 2)			
400	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ52VB (A 5 2)			
	標準			
450	3 · 1 / 4		3 · 1 / 2	
	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ53VB (A 5 3)			
500	1 · 1 / 2		1 · 3 / 4	
	標準			
	PAC-CT05SP (180)			
	PAC-CJ53VB (A 5 3)			
550	0		1 / 4	
	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ50VB (A 5 0)			
600	3 · 3 / 4		4	
	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ51VB (A 5 1)			
650	2 · 1 / 2		2 · 3 / 4	
	標準			
	PAC-CT04SP (150)			
	PAC-CJ51VB (A 5 1)			
700	1 · 1 / 2		1 · 3 / 4	
	標準			
	PAC-CT03SP (132)			
	PAC-CJ49VB (A 4 9)			
	標準			
	4			

- 注1. 出荷時の電動機プーリPC (可変プーリ)は116.7(スライドピース回転数 4・3/4)、送風機プーリPC は280となっています。
2. 機内抵抗はフレドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗55Pa 機外静圧90Pa 風量35m³/minです。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P335AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min				
	36	40	45	50	54
150	標準				
	標準 (280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
	1				
200	標準				
	PAC-CT06SP (224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
	標準				
	3				
250	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
	標準				
	4・3 / 4				
300	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準				
	2・1 / 4				
350	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準				
	4・3 / 4				
400	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	3				
450	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ49VB (A 4 9)				
	標準				
	4・3 / 4				
500	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準				
	3・1 / 2				
550	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準				
	2・1 / 4		2		
600	標準				
	PAC-CT03SP (132)				
	PAC-CJ50VB (A 5 0)				
	標準				
	3 / 4				
650	標準				
	PAC-CT02SP (118)				
	PAC-CJ49VB (A 4 9)				
	標準				
	2・3 / 4				

- 注1. 出荷時の電動機プーリPC (可変プーリ)は116.7(スライドピース回転数 4・3 / 4)、送風機プーリPC は 280となっています。
2. 機内抵抗はフィレドフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. プーリ別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機プーリのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗85Pa 機外静圧80Pa 風量45m³/minです。
 . 50Hz地区の場合、上記標準仕様にてご使用される時は、電動機プーリPC (可変プーリ)を 140 (スライドピース回転数 0) にしてください。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機プーリ形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P335AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min				
	36	40	45	50	54
150	標準				
	標準 (280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
	4・3 / 4				
200	標準				
	標準 (280)				
	標準 (A 5 9)				
	標準				
	2				
250	標準				
	PAC-CT07SP (250)				
	PAC-CJ58VB (A 5 8)				
	標準				
	1・1 / 2				
300	標準				
	PAC-CT06SP (224)				
	PAC-CJ56VB (A 5 6)				
	標準				
	1・1 / 2				
350	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ52VB (A 5 2)				
	標準				
	4・3 / 4				
400	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準				
	3・1 / 4				
450	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ53VB (A 5 3)				
	標準				
	1・3 / 4				
500	標準				
	PAC-CT05SP (180)				
	PAC-CJ54VB (A 5 4)				
	標準				
	1 / 4				
550	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	3・3 / 4				
600	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	2・1 / 4				
650	標準				
	PAC-CT04SP (150)				
	PAC-CJ51VB (A 5 1)				
	標準				
	1・1 / 4				

- 注1. 出荷時の電動機ブリーPC (可変ブリー)は116.7(スライドピース回転数 4・3 / 4)、送風機ブリーPC は 280となっています。
2. 機内抵抗はフィルドンフィルタ、温水・蒸気ヒータなど別売部品を組み込んだ場合に変わりますので補正が必要です。該当する部品の機内抵抗線を参照の上、適宜補正をしてください。
3. ブリー別売部品にはベルトが同梱されていますが、必ず静風圧選定表に示すベルトを手配・使用してください。
4. 電動機ブリーのPC の調節方法は技術マニュアル、据付説明書を参照してください。
5. 電動機の変更時には、サーマル(熱動過電流継電器)の変更が必要です。別売部品の説明書を参照ください。
6. 標準仕様は機内抵抗85Pa 機外静圧80Pa 風量45m³/minです。

表中

1 段目	電動機形名
2 段目	送風機ブリー形名(PC)
3 段目	使用ベルト形名(サイズ)
4 段目	電動機ブリー形名
5 段目	スライドピース回転数

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P530AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min						
	56	60	65	70	75	80	84
100Pa	標準(118)						
	PAC-CH51SP(355)						
	B70						
	標準(2.2kW)						
150Pa	標準(118)						
	標準(315)						
	B67 (標準)						
	標準(2.2kW)						
200Pa	標準(118)						
	PAC-CH48SP(280)						
	B65						
	標準(2.2kW)						
250Pa	標準(118)						
	PAC-CH47SP(236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
300Pa	標準(118)						
	PAC-CH46SP(224)						
	B61						
	標準(2.2kW)						
350Pa	標準(118)						
	PAC-CH44SP(200)						
	B60						
	標準(2.2kW)						
400Pa	標準(118)						
	PAC-CH43SP(190)						
	B59						
	標準(2.2kW)						
450Pa	標準(118)						
	PAC-CH42SP(180)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
500Pa	標準(118)						
	PAC-CH41SP(170)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
550Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH42SP(180)						
	B58						
	標準(2.2kW)						
600Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH41SP(170)						
	B58						
	標準(2.2kW)						

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ: 2B118-28 送風機プーリ: 2B315-24 ベルトサイズ: B67
 サーマル: PAK-6JT(9A) 電動機形名: SF-JR2.2kW
 2. 表中のプーリ径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3. 標準時は機内抵抗: 40Pa 機外静圧: 110Pa 風量: 7.0m³/minです。

表中

1 段目	電動機プーリ形名(PC)
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	ベルトサイズ
4 段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P530AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min						
	56	60	65	70	75	80	84
100Pa	標準(118)						
150Pa	標準(118)						
	PAC-CH51SP(355)						
	B70						
	標準(2.2kW)						
200Pa	標準(118)						
	標準(315)						
	B67 (標準)						
	標準(2.2kW)						
250Pa	標準(118)						
	PAC-CH49SP(300)						
	B66						
	標準(2.2kW)						
300Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH48SP(280)						
	B65						
	標準(2.2kW)						
350Pa	標準(118)						
	PAC-CH39SP(250)						
	B63						
	標準(2.2kW)						
400Pa	標準(118)						
	PAC-CH47SP(236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
450Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH47SP(236)						
	B62						
	標準(2.2kW)						
500Pa	PAC-CH62MP(125)						
	PAC-CH46SP(224)						
	B61						
	標準(2.2kW)						
550Pa	標準(118)						
	PAC-CH44SP(200)						
	B60						
	標準(2.2kW)						
600Pa	標準(118)						
	PAC-CH43SP(190)						
	B59						
	標準(2.2kW)						

- 注1 . 標準仕様 電動機プーリ : 2B118-28 送風機プーリ : 2B315-24 ベルトサイズ : B67
 サーマル : PAK-6JT(9A) 電動機形名 : SF-JR2.2kW
 2 . 表中のプーリ径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3 . 標準時は機内抵抗 : 40Pa 機外静圧 : 180Pa 風量 : 70m³/minです。

表中

1 段目	電動機プーリ形名(PC)
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	ベルトサイズ
4 段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P670AW(M)-A-F

50Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ /min							
	72	80	90	100				
100Pa								
150Pa								
200Pa								
250Pa								
300Pa								
350Pa								
400Pa								
450Pa								
500Pa								
550Pa								
600Pa								
650Pa					標準(125)			
					PAC-CH52SP(165)			
					B56			
					標準(3.7kW)			

表中

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ: 2B125-28 送風機プーリ: 2B315-28 ベルトサイズ: B66
 サーマル: PAK-6JT(9A) 電動機形名: SF-JR3.7kW
- 2. 表中のプーリ径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
- 3. 標準時は機内抵抗: 50Pa 機外静圧: 110Pa 風量: 90m³/minです。

1 段目	電動機プーリ形名(PC)
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	ベルトサイズ
4 段目	電動機形名(容量)

静風圧部品選定表

適用機種, PFAK-P670AW(M)-A-F

60Hz

全静圧 Pa	風量 m ³ / min				
	72	80	90	100	
100Pa					
150Pa					
200Pa					
250Pa					標準(125)
					標準(315)
					B66 (標準)
					標準(3.7kW)
300Pa					標準(125)
					PAC-CH60SP(300)
					B66
					標準(3.7kW)
350Pa					標準(125)
					PAC-CH59SP(280)
					B65
					標準(3.7kW)
400Pa					標準(125)
	PAC-CH40SP(250)				
	B63				
	標準(3.7kW)				
450Pa	標準(125)				
	PAC-CH58SP(236)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
500Pa	標準(125)				
	PAC-CH57SP(224)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
550Pa	標準(125)				
	PAC-CH56SP(212)				
	B60				
	標準(3.7kW)				
600Pa	PAC-CH63MP(145)				
	PAC-CH58SP(236)				
	B61				
	標準(3.7kW)				
650Pa	標準(125)				
	PAC-CH55SP(200)				
	B60				
	標準(3.7kW)				

表中

- 注1. 標準仕様 電動機プーリ: 2B125-28 送風機プーリ: 2B315-28 ベルトサイズ: B66
 サーマル: PAK-21JT(15A) 電動機形名: SF-JR3.7kW
 2. 表中のプーリ径はPC を記載しています。外径はPC より11mm増加します。
 3. 標準時は機内抵抗: 50Pa 機外静圧: 190Pa 風量: 90m³ / minです。

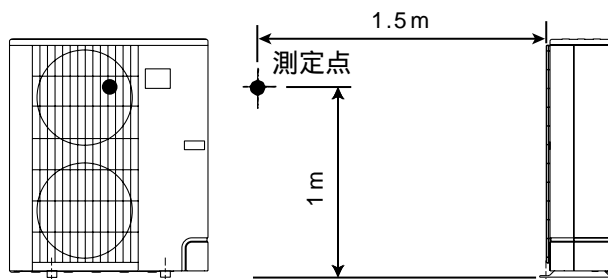
1 段目	電動機プーリ形名(PC)
2 段目	送風機プーリ形名(PC)
3 段目	ベルトサイズ
4 段目	電動機形名(容量)

3.騒音データ

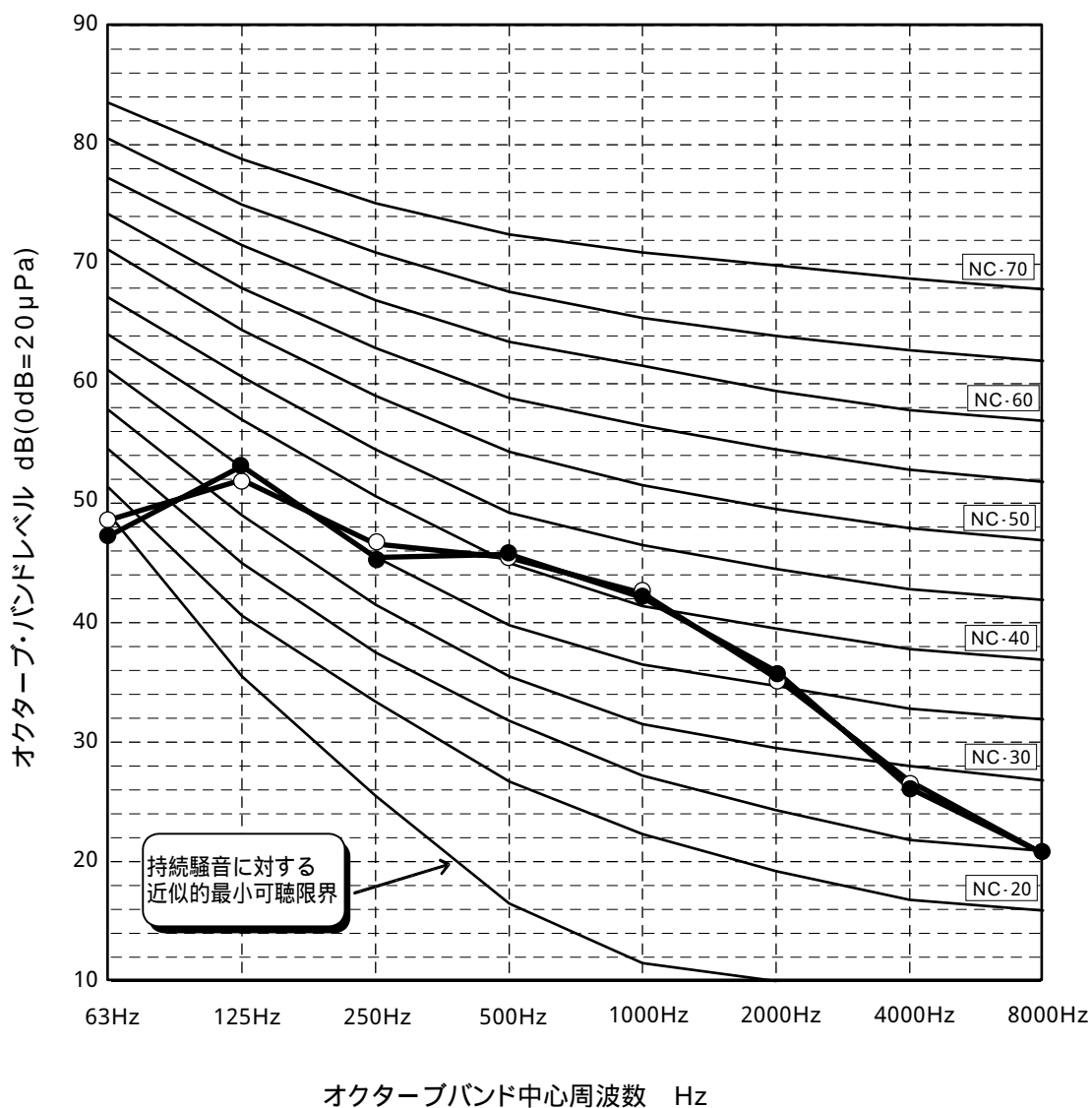
(1)室外ユニット

①PU(H)K-P140AW-A

測定場所：無響音室
計 器：B&K

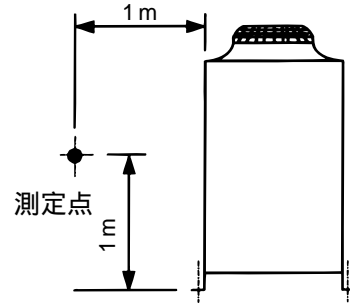
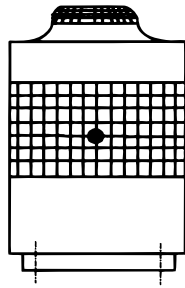


グラフ 記号	電波 周波数	バンド Hz								オーバーオール値 dB[A特性]
		63	125	250	500	1000	2000	4000	8000	
○—○	50	48.6	52.0	46.6	45.4	42.5	35.4	26.7	20.7	47.0
●—●	60	47.2	53.1	45.5	45.7	42.1	35.9	26.1	20.7	47.0

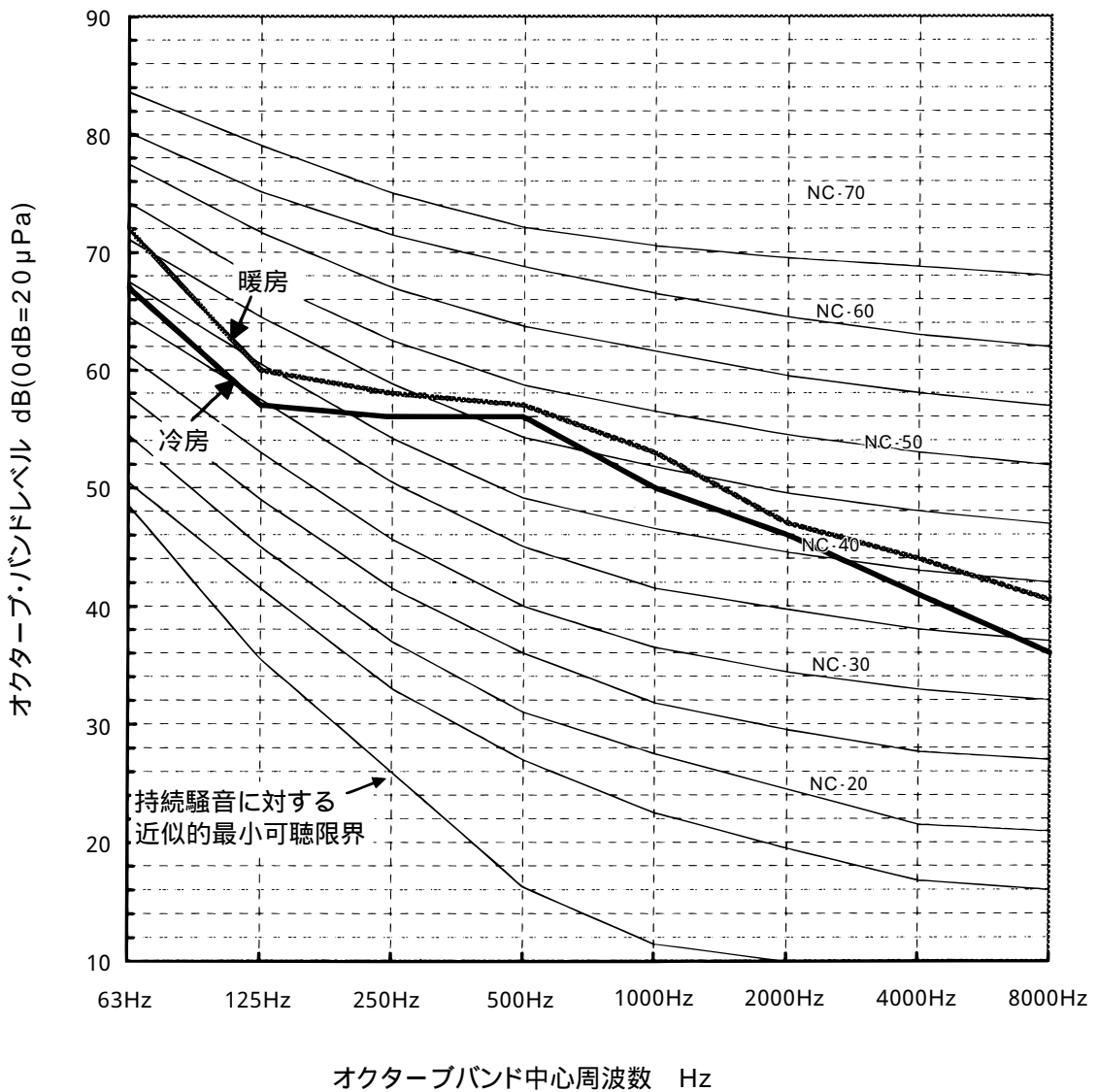


②PUHK-P224AW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

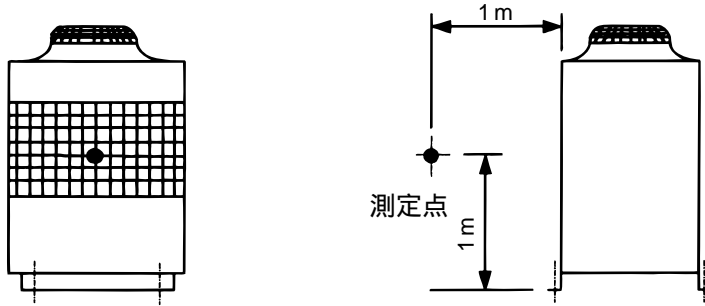


	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	67	57	56	56	50	46	41	36	56	
暖房	72	60	58	57	53	47	44	41	58	

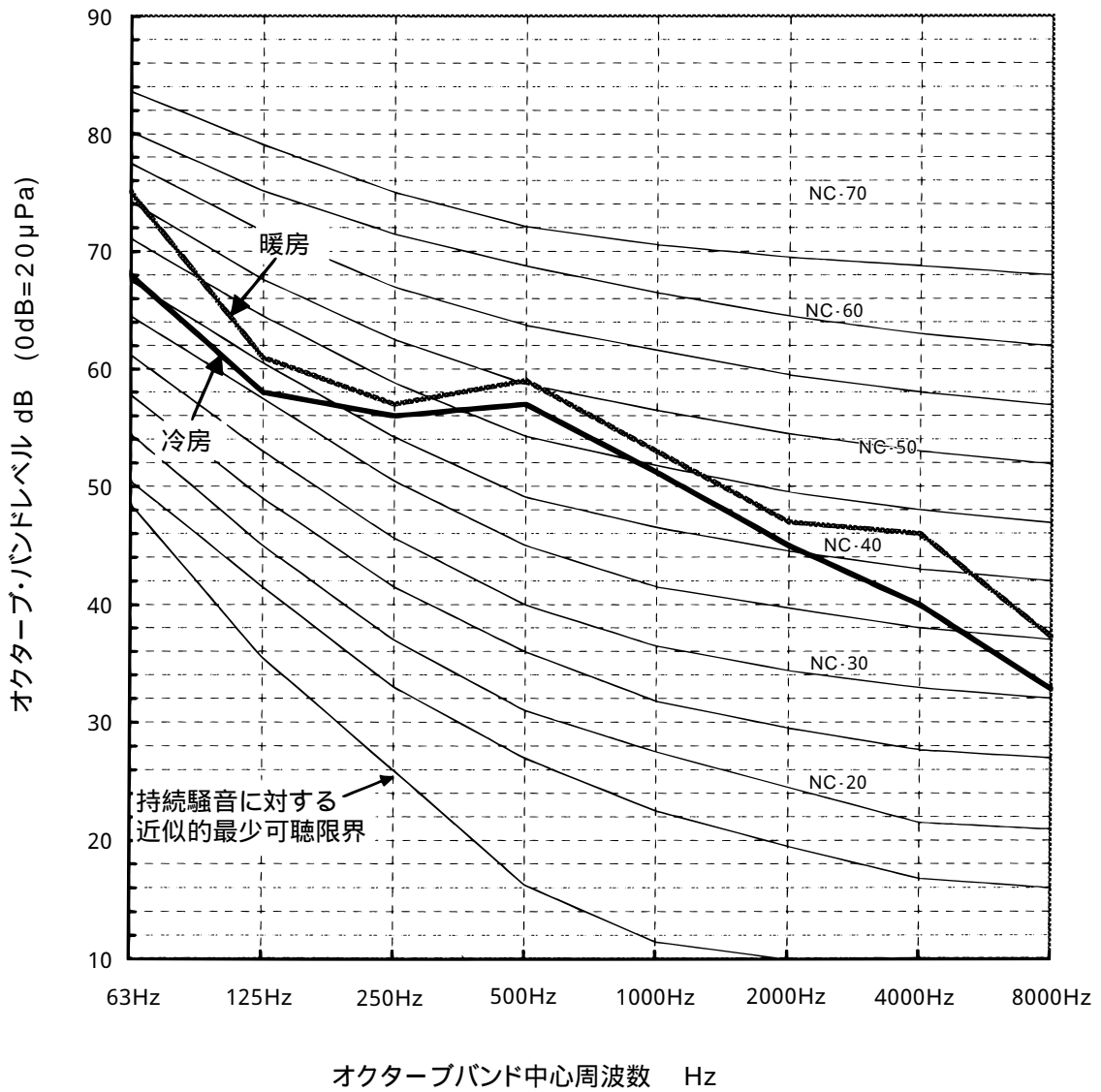


③PUHK-P280AW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

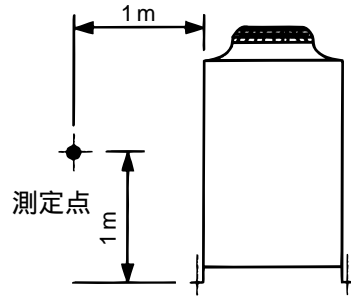
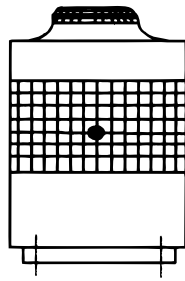


	63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	68	58	56	57	51	45	40	33	57	
暖房	75	61	57	59	53	47	46	37	59	

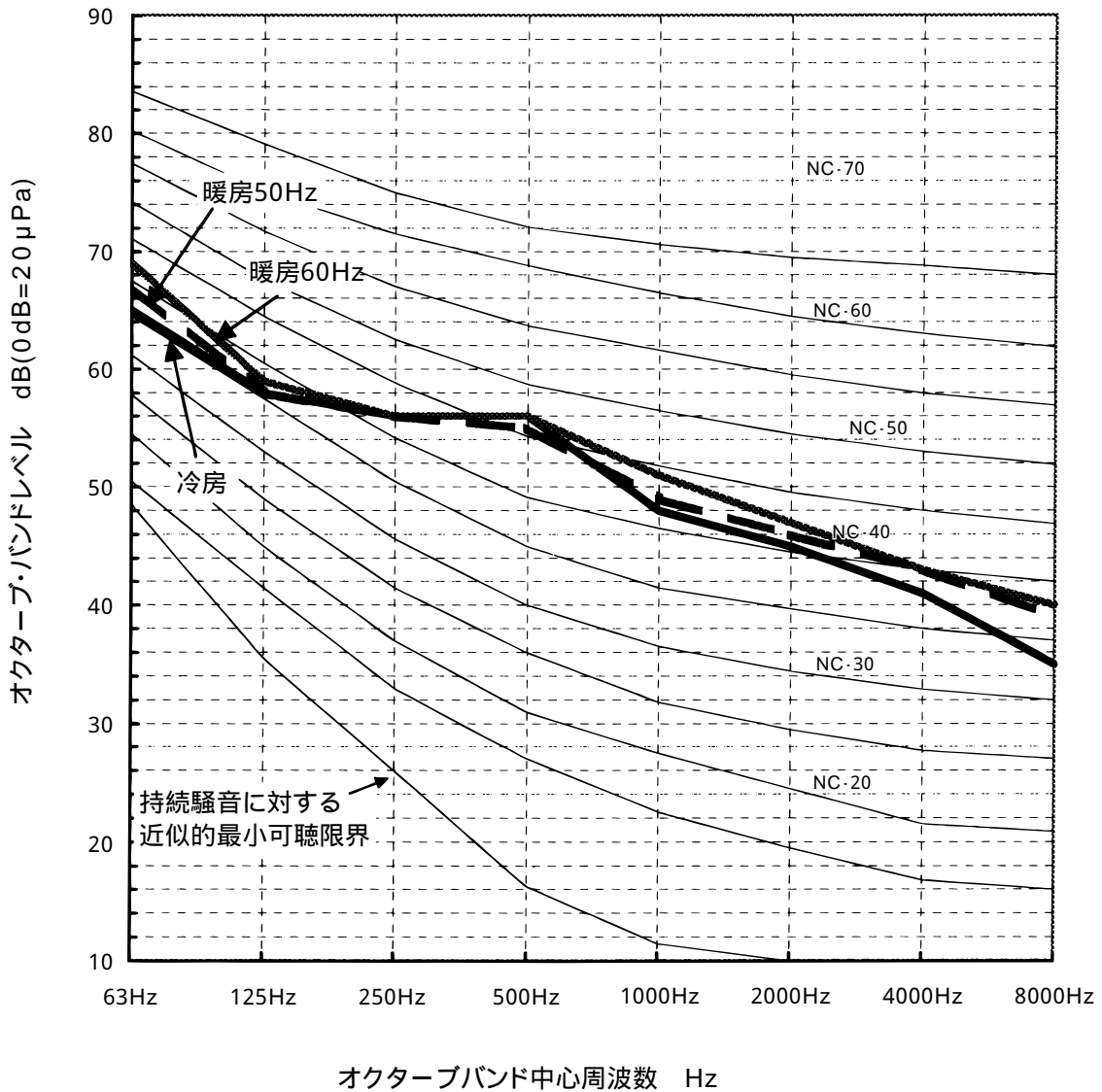


④PUHK-P224UAW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

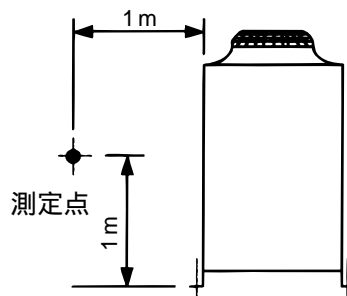
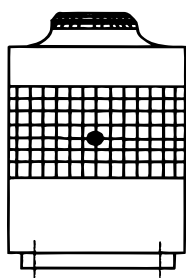


		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
冷房	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
暖房	50Hz	67	58	56	55	49	46	43	39	56	
暖房	60Hz	69	59	56	56	51	47	43	40	57	

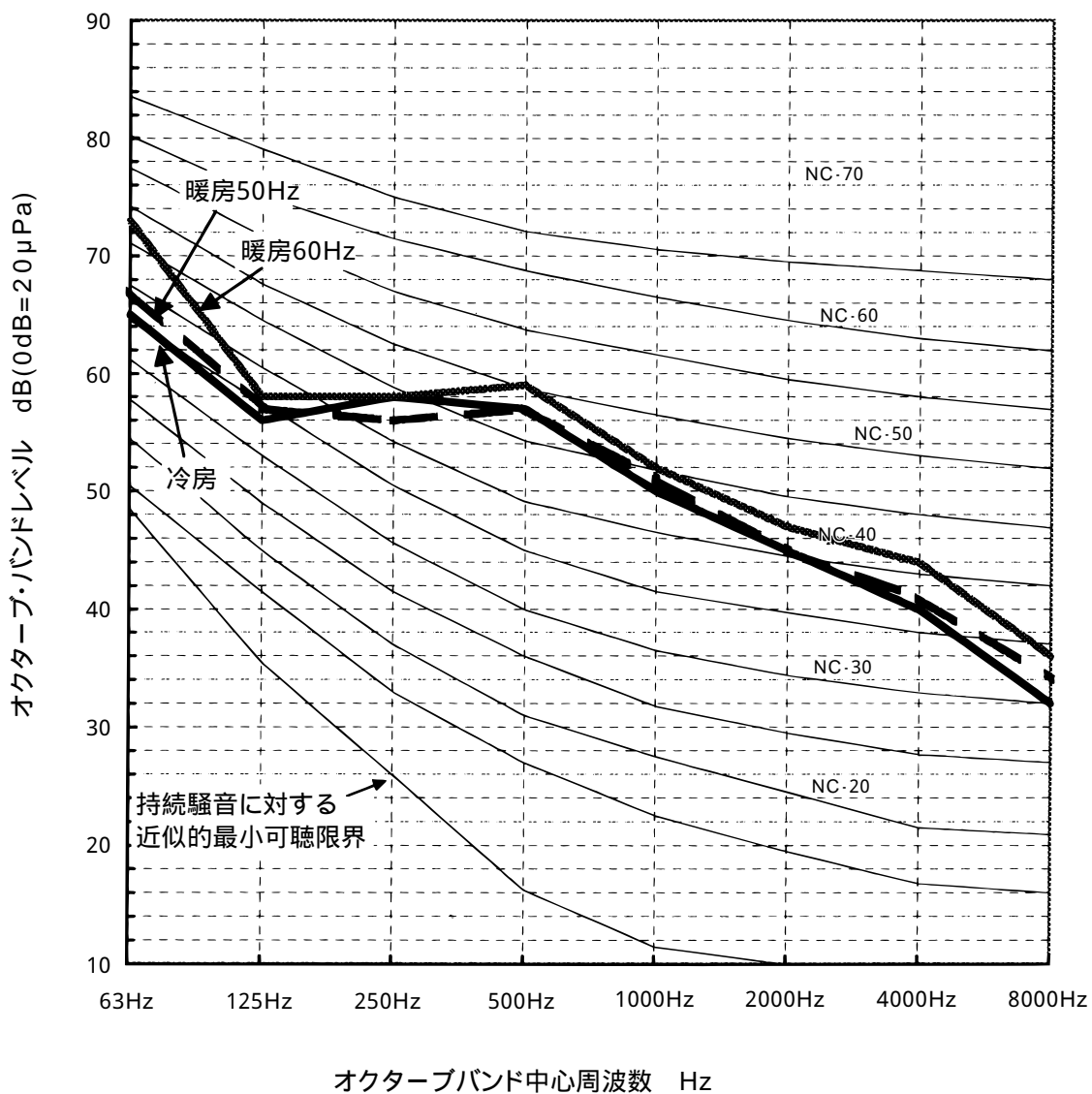


⑤PUHK-P280UAW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K

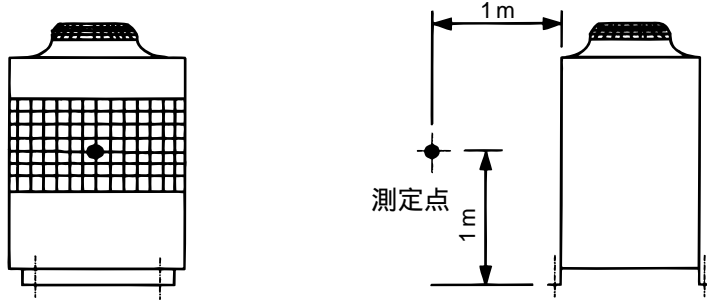


		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
冷房	60Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
暖房	50Hz	67	57	56	57	51	45	41	34	57	
暖房	60Hz	73	58	58	59	52	47	44	36	59	

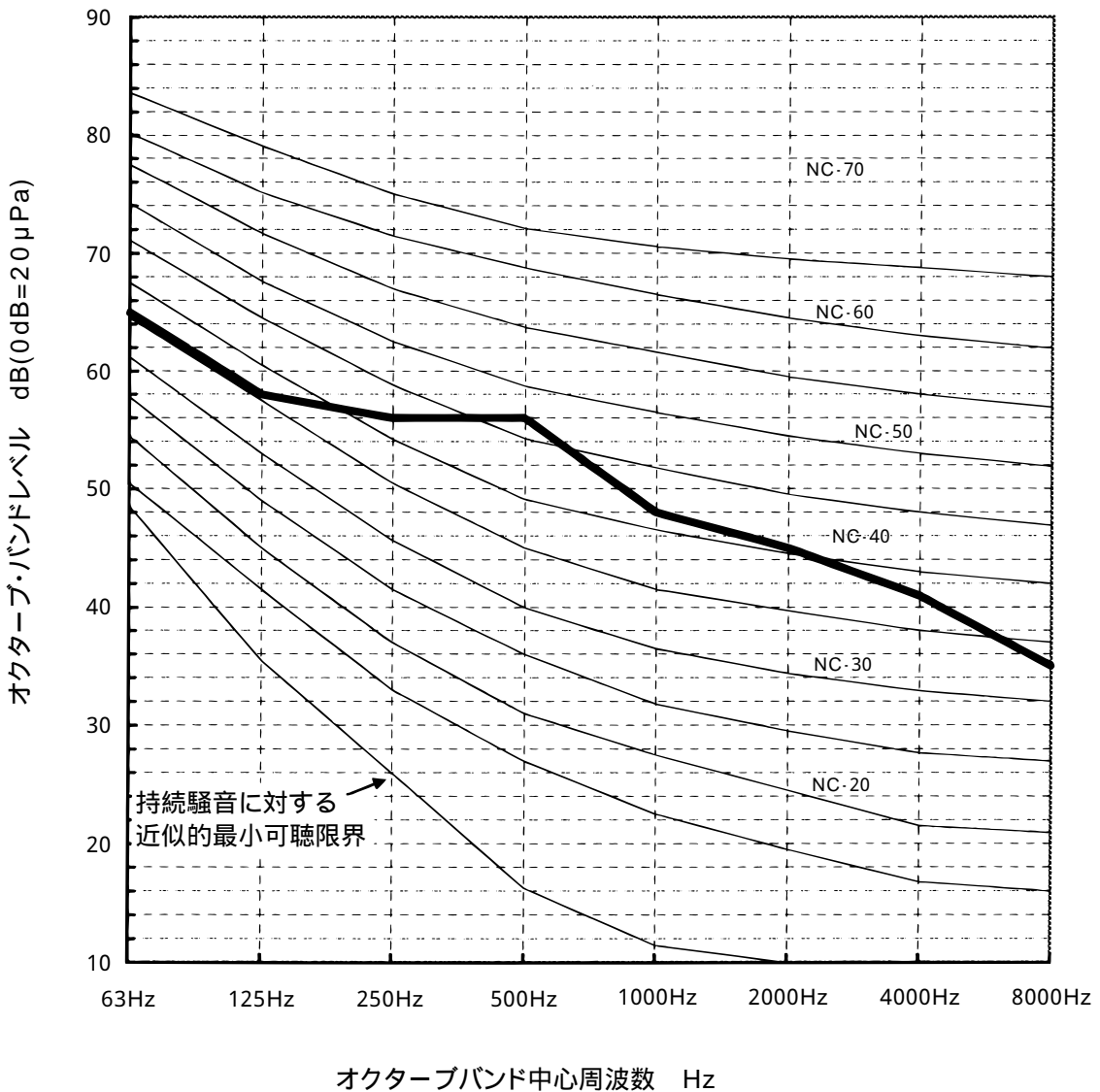


⑥PUK-P224(U)AW-A

測定場所：無響音室
計 器：B&K

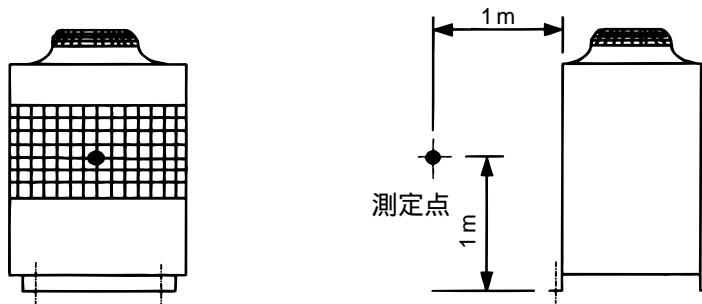


		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	
冷房	60Hz	65	58	56	56	48	45	41	35	56	

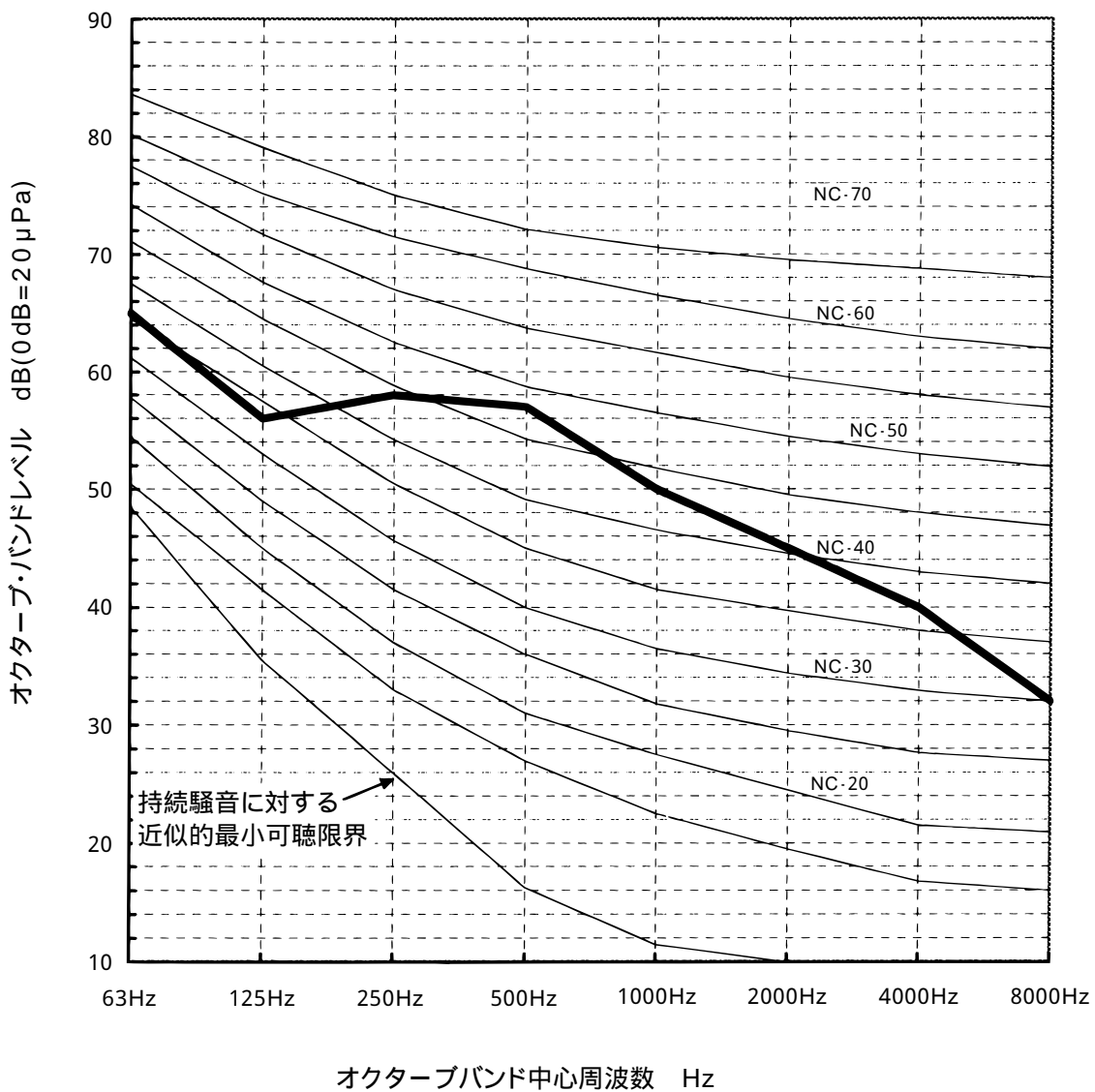


⑦PUK-P280(U)AW-A

測定場所：無響音室
計器：B&K



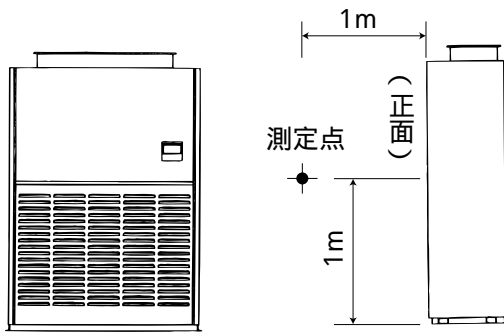
		63Hz	125Hz	250Hz	500Hz	1000Hz	2000Hz	4000Hz	8000Hz	A特性	(dB)
冷房	50Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	
冷房	60Hz	65	56	58	57	50	45	40	32	57	



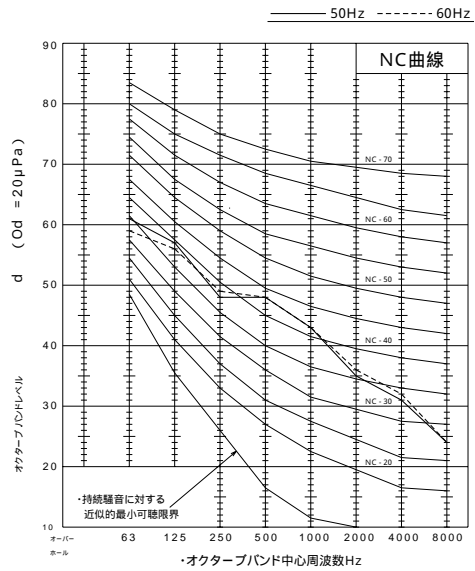
(2)室内ユニット

【測定条件】

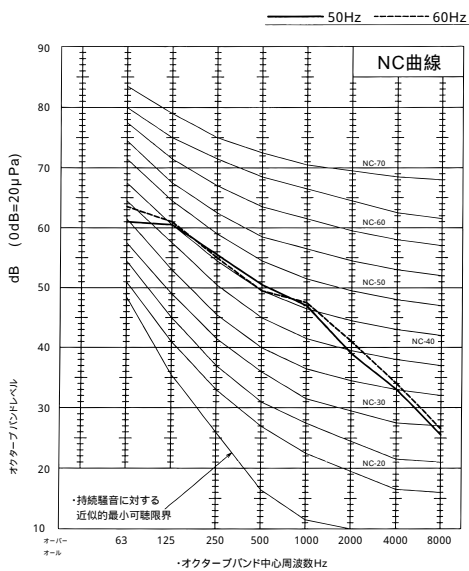
- 無響音室：暗騒音25dB (A) 以下



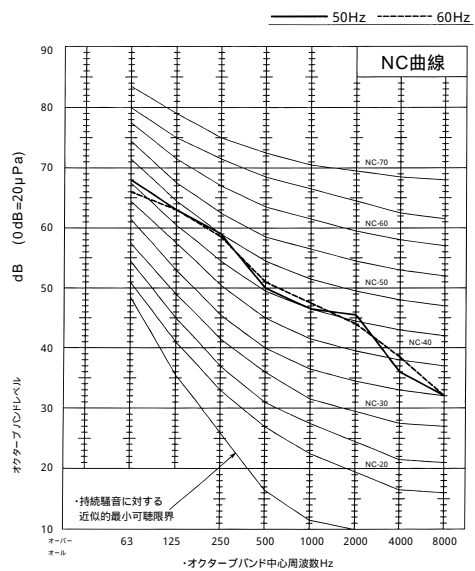
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A 標準	49/49



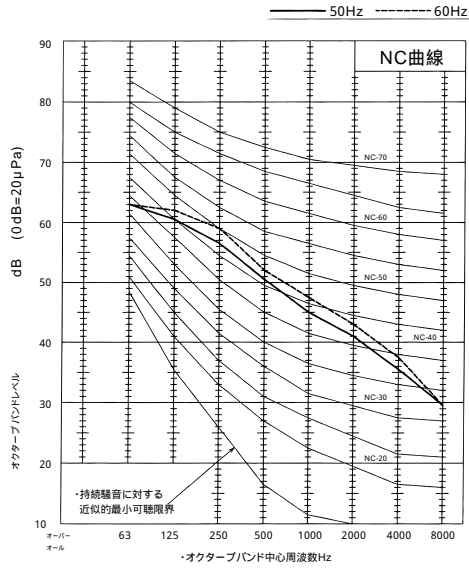
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A 標準	53/53



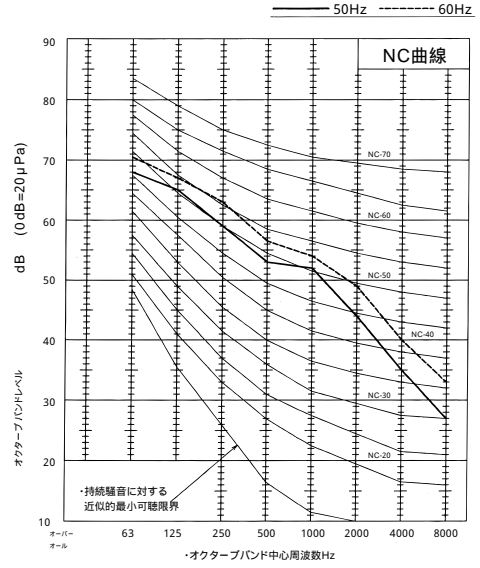
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A 標準	55/55



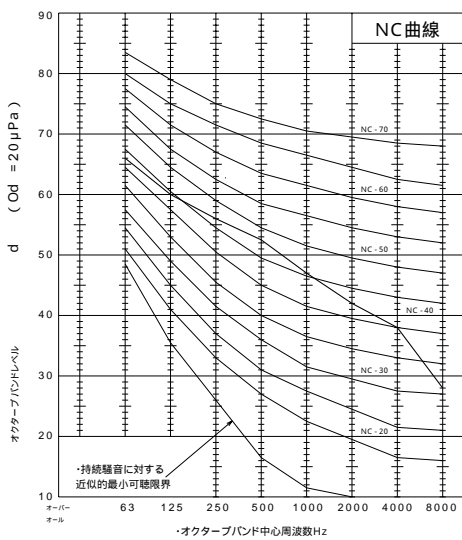
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A 標準	53/55



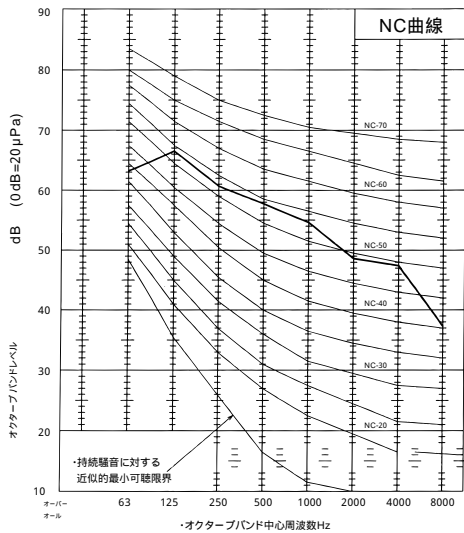
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A 標準	57/60



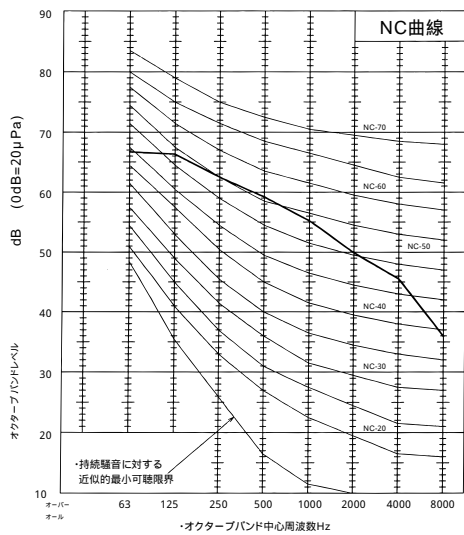
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A 別売プレナム取付時	54/54



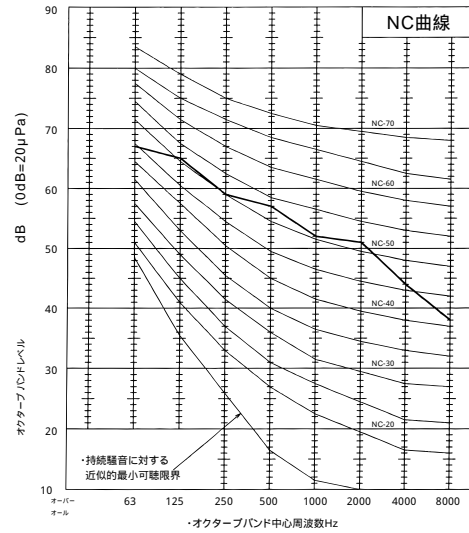
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A 別売プレナム取付時	60/60



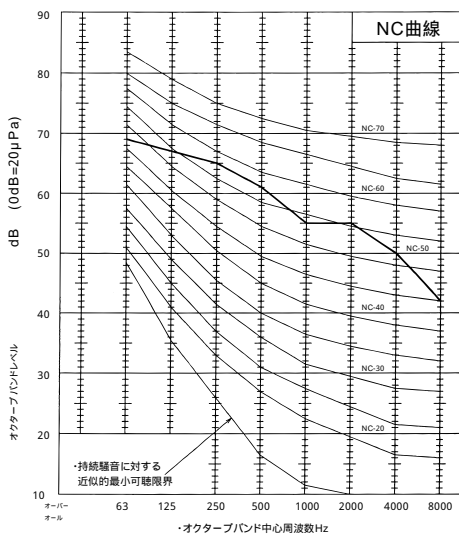
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A 別売プレナム取付時	61/61



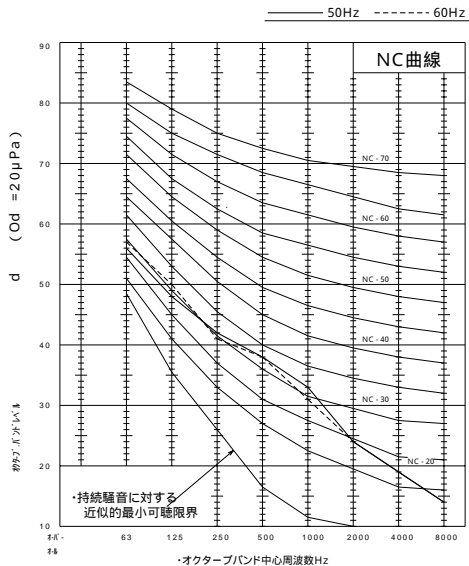
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A 別売プレナム取付時	59/59



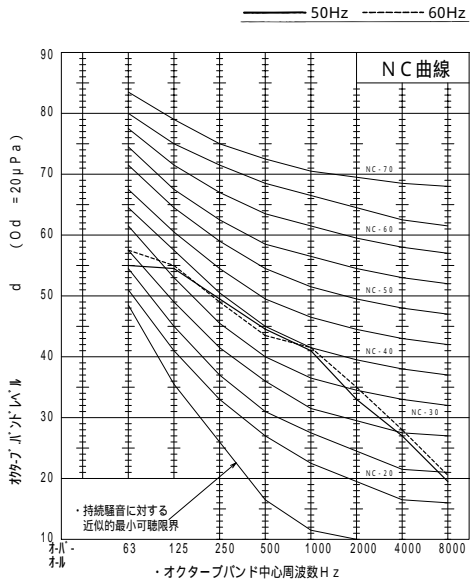
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A 別売プレナム取付時	63/63



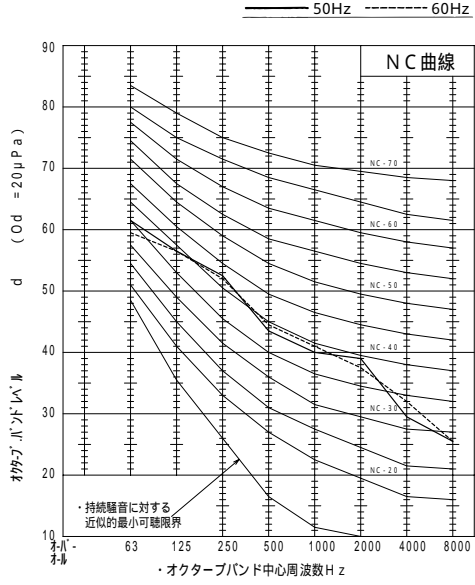
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P167AW(M)-A-F標準	40/40



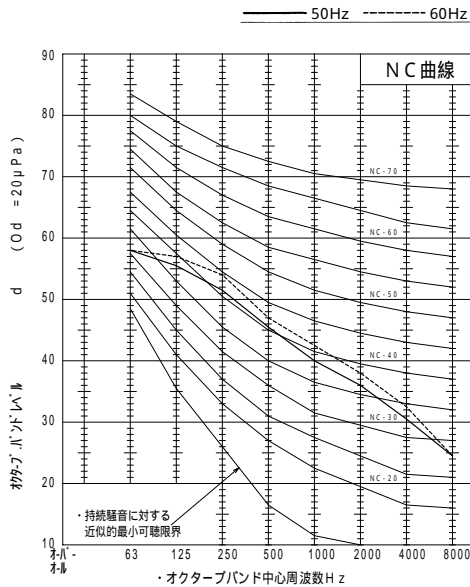
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P265AW(M)-A-F標準	53/53



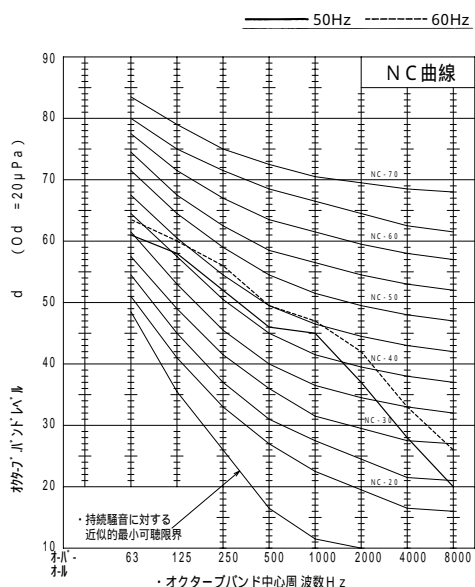
形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P335AW(M)-A-F標準	55/55



形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P530AW(M)-A-F標準	53/55

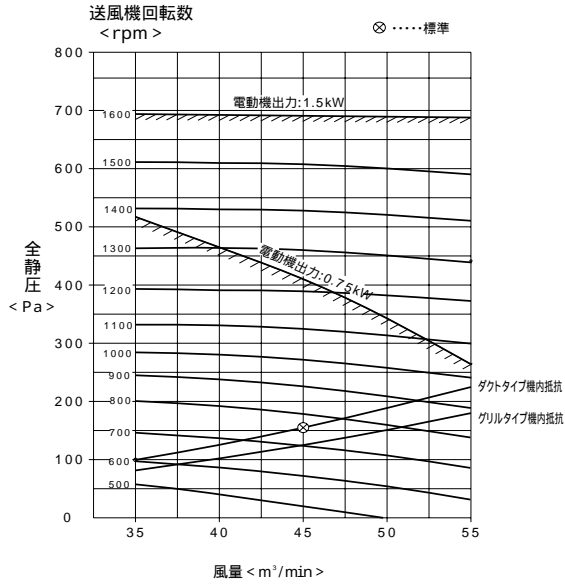


形名	騒音値(dB[A特性])
PFAK-P670AW(M)-A-F標準	57/60

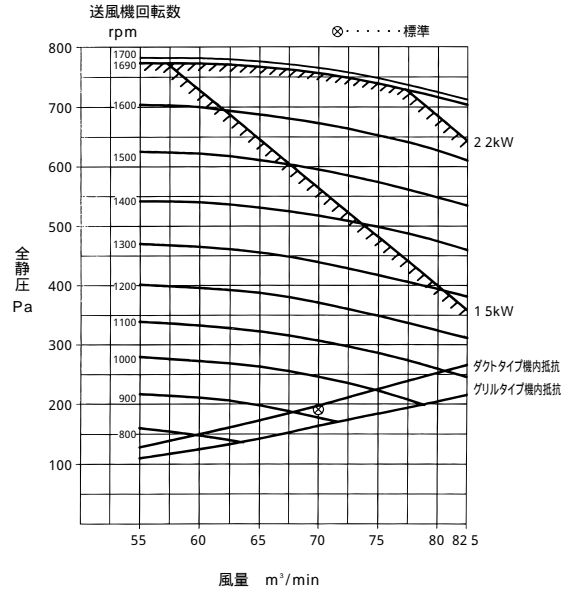


4.送風機性能線図

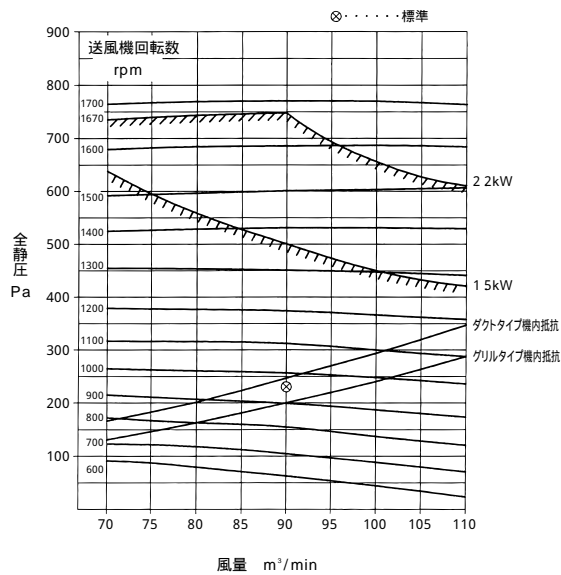
●PFAK-P140AW(M)-A形 PFTK-P125AW(M)-A形



●PFAK-P224AW(M)-A形 PFTK-P200AW(M)-A形

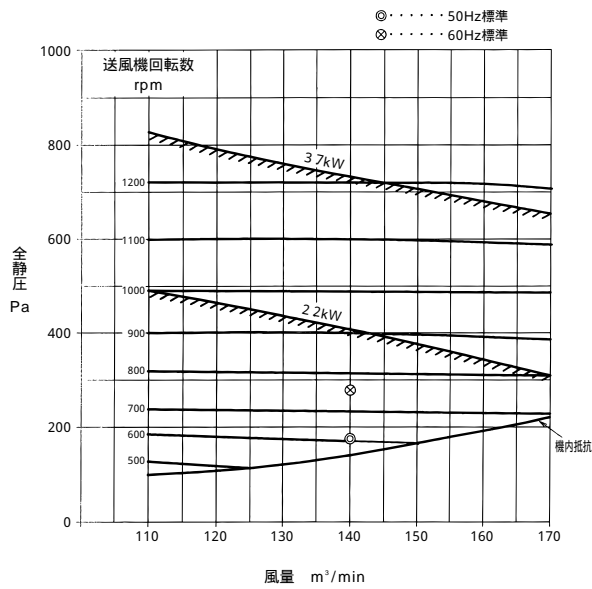


●PFAK-P280AW(M)-A形 PFTK-P250AW(M)-A形

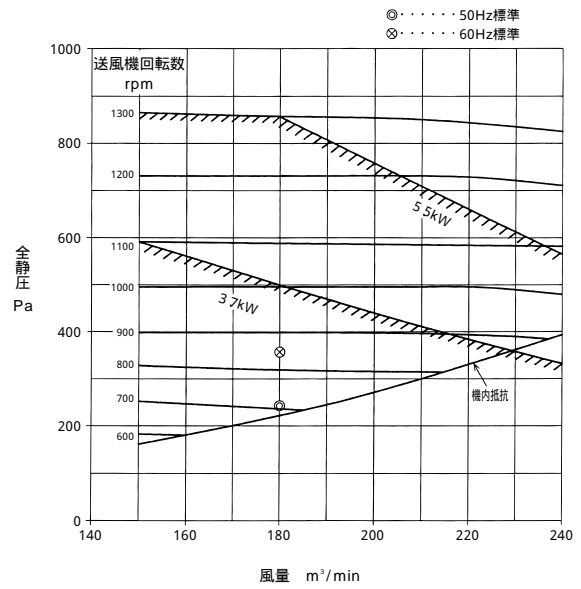


50Hz地区の場合、モーターリー径(可変リー径)を 140(出荷時は 116.7)に調整した値を示します。

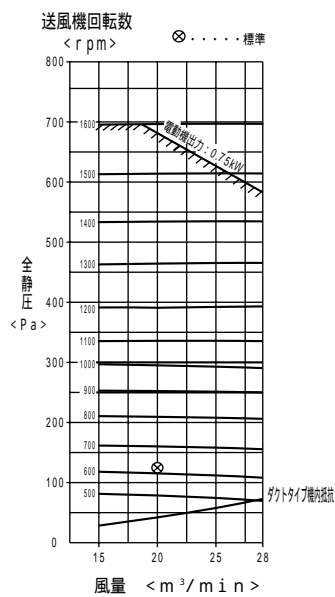
●PFAK-P450AW(M)-A形
PFTK-P400AW(M)-A形



●PFAK-P560AW(M)-A形
PFTK-P500AW(M)-A形

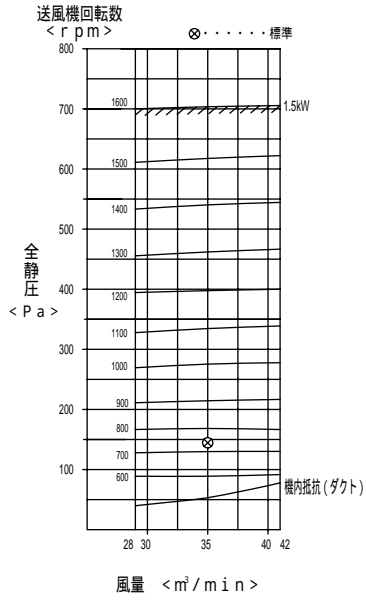


●PFAK-P167AW(M)-A-F形

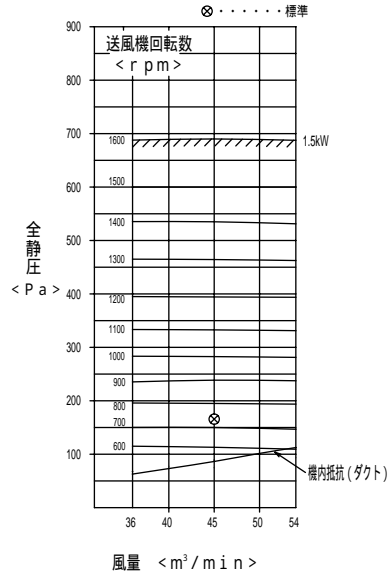


50Hz地区の場合、モータプーリ径(可変プーリ)を 93.9 (出荷時は 77.9) に調整した値を示します。

●PFAK-P265AW(M)-A-F形

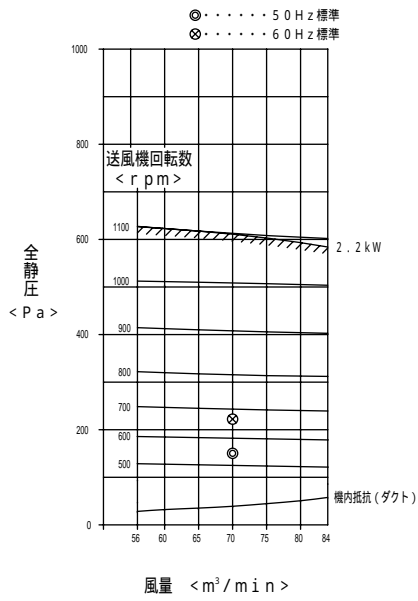


●PFAK-P335AW(M)-A-F形

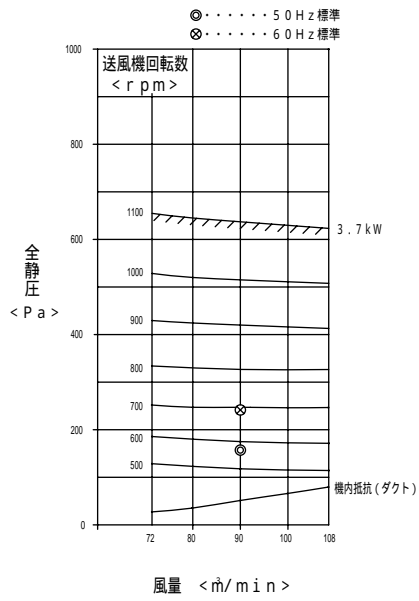


50Hz地区の場合、モータプーリ径(可変プーリ)を 140(出荷時は 116.7)に調整した値を示します。

●PFAK-P530AW(M)-A-F形



●PFAK-P670AW(M)-A-F形



5.耐震強度計算書

(1)室外ユニット

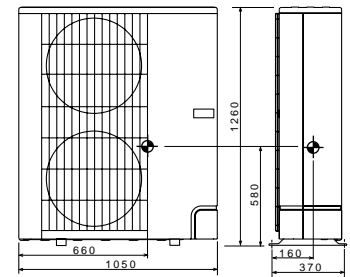
①PU(H)K-P140AW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 108$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 580$ mm = 0.580 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 370$ mm = 0.370 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 160$ mm = 0.160 m
($L_g = L/2$)

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1058.4$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 529.2$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 715.1$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 264.6$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 9.2$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 3.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
(但し $f_{ts} < f_t$)
 = 9.2 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa



(8) アンカーボルトの施工法

- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 120 mm = 0.120 m
- ボルトの埋込長さ = 70 mm = 0.070 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 3136$ N > $R_b = 715$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

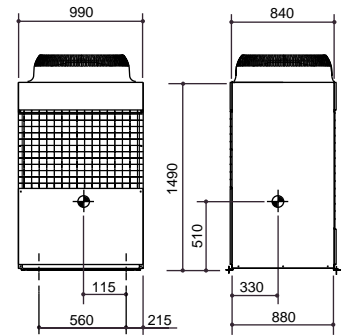
②PU(H)K-P224AW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 215$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 490$ mm = 0.490 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 115$ mm = 0.115 m
(L_g $L/2$)

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2107$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1053.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 813.6$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 526.8$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 10.4$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.8$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合
(但し $f_t < f_s$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
 $= 6.04$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ $= 100$ mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 814$ N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

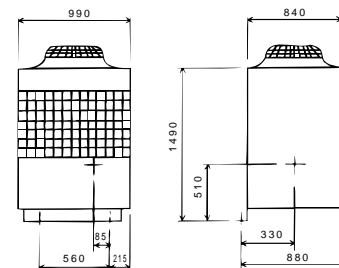
③PU(H)K-P280AW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 220$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 510$ mm = 0.510 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 85$ mm ($L_g / L = 0.152$) = 0.085 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2156.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1078.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 899.9$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 539.0$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 11.5$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.9$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し. $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 11.5$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ $= 100$ mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 900$ N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

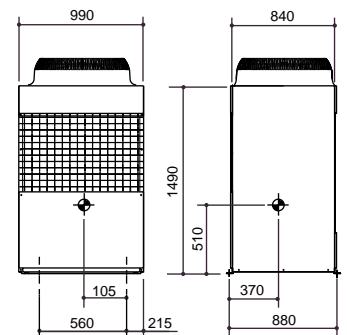
④PUK-P224UAW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 230$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 490$ mm = 0.490 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 105$ mm = 0.105 m
($L_g \quad L/2$)

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2254.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1127.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 880.5$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 563.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度



引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 11.3$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa

せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.2$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa

引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
(但し $f_{ts} < f_t$)
= 6.04 MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa

(8) アンカーボルトの施工法

- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ = 100 mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 881$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

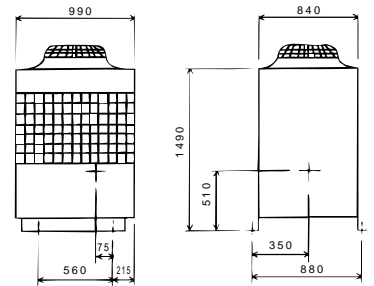
⑤ PUK-P280UAW-A

1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 235$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 10$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 78$ mm² = 78×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 510$ mm = 0.510 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 560$ mm = 0.560 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 75$ mm ($L_g = L/2$) = 0.075 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2303.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1151.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 971.6$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 575.8$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 12.5$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 11.5$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ $= 100$ mm = 0.100 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 972$ N



以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

(2)室内ユニット

①PFAK-P140AW(M)-A,PFTK-P125AW(M)-A

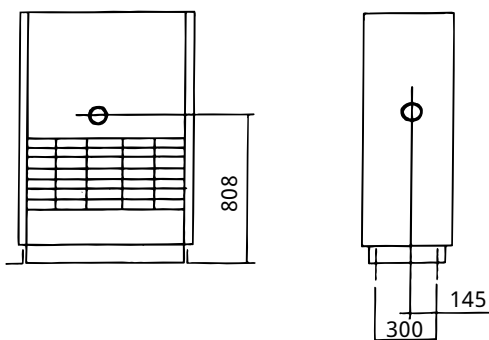
1. 仕様

(1) 機器質量 (運転質量)	W =	<input type="text" value="108"/>	kg
(2) アンカーボルト			
総本数	N =	<input type="text" value="4"/>	本
サイズ・形状	= M	<input type="text" value="8"/>	形
1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積)	A =	<input type="text" value="50"/>	mm ² = <input type="text" value="50 × 10<sup>-6</sup>"/> m ²
機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt =	<input type="text" value="2"/>	本
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg =	<input type="text" value="808"/>	mm = <input type="text" value="0.808"/> m
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L =	<input type="text" value="300"/>	mm = <input type="text" value="0.3"/> m
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離	Lg =	<input type="text" value="145"/>	mm (Lg / L/2) = <input type="text" value="0.145"/> m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

(1) 設計用水平震度	Kh =	<input type="text" value="1.0"/>	
(2) 設計用鉛直震度	Kv = Kh/2 =	<input type="text" value="0.5"/>	
(3) 設計用水平地震力	Fh = Kh · W · 9.8 =	<input type="text" value="1058.4"/>	N
(4) 設計用鉛直地震力	Fv = Kv · W · 9.8 =	<input type="text" value="529.2"/>	N
(5) アンカーボルトの引抜力	$R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t}$	<input type="text" value="1297.4"/>	N
(6) アンカーボルトのせん断力	$Q = \frac{F_h}{N}$	<input type="text" value="264.6"/>	N
(7) アンカーボルトに生じる応力度			
引張り応力度	$= \frac{R_b}{A}$	<input type="text" value="25.9"/>	MPa < ft = 176.4 MPa
せん断応力度	$= \frac{Q}{A}$	<input type="text" value="5.3"/>	MPa < fs = 132.3 MPa
引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し.fts ft)	$fts = 1.4ft - 1.6$	<input type="text" value="176.4"/>	MPa
	$=$	<input type="text" value="25.9"/>	MPa < fts = <input type="text" value="176.4"/> MPa
(8) アンカーボルトの施工法			
アンカーボルトの施工法	=	<input type="text" value="箱抜き式J形アンカー"/>	
コンクリート厚さ	=	<input type="text" value="150"/>	mm = <input type="text" value="0.15"/> m
ボルトの埋込長さ	=	<input type="text" value="102"/>	mm = <input type="text" value="0.102"/> m
許容引抜荷重	Ta =	<input type="text" value="4508"/>	N > Rb = <input type="text" value="1297.4"/> N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



②PFAK-P200AW(M)-A,PFTK-P200AW(M)-A

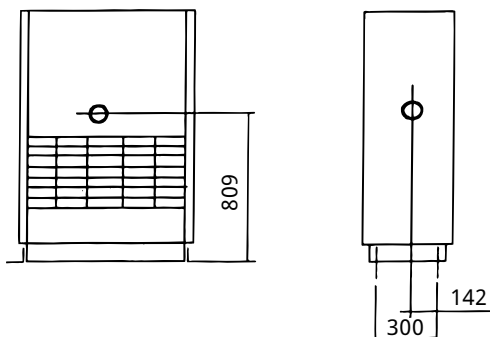
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 123$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 809$ mm = 0.809 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 142$ mm ($L_g / 2$) = 0.142 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1205.4$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 602.7$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1482.6$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 301.4$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 29.7$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 6.0$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 29.7$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.150 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1482.6$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



③PFAK-P280AW(M)-A,PFTK-P250AW(M)-A

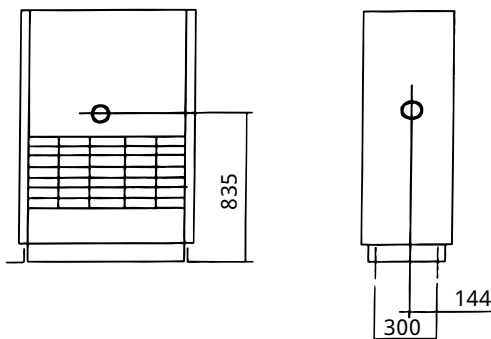
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 147$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 835$ mm = 0.835 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 144$ mm ($L_g / L = 0.48$) = 0.144 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1440.6$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 720.3$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1832.0$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 360.2$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 36.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.2$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t < f_s$) $f_t = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 36.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1832.0$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



④PFAK-P450AW(M)-A,PFTK-P400AW(M)-A

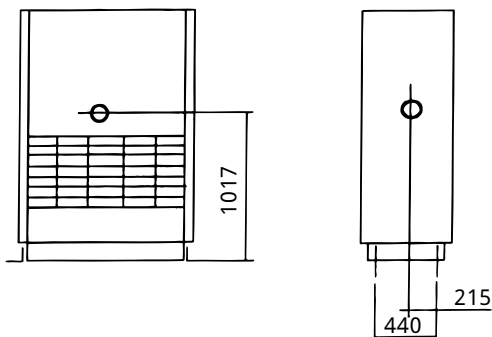
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 235$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1017$ mm = 1.017 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 215$ mm ($L_g / L = 0.489$) = 0.215 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2303.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1151.5$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2380.2$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 575.8$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 47.6$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 11.5$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_s < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 47.6$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2380.2$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



⑤PFAK-P560AW(M)-A,PFTK-P500AW(M)-A

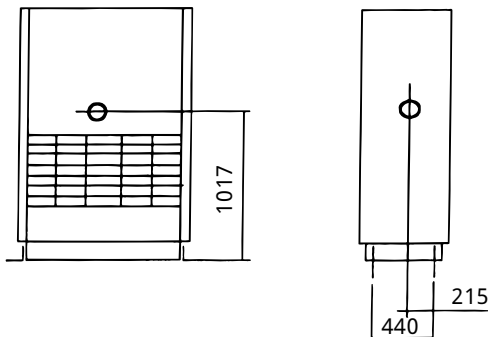
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 257$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1017$ mm = 1.017 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 215$ mm ($L_g / L = 0.49$) = 0.215 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2518.6$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1259.3$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2603.0$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 629.7$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 52.1$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 12.6$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 52.1$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2603.0$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



⑥PFAK-P167AW(M)-A-F

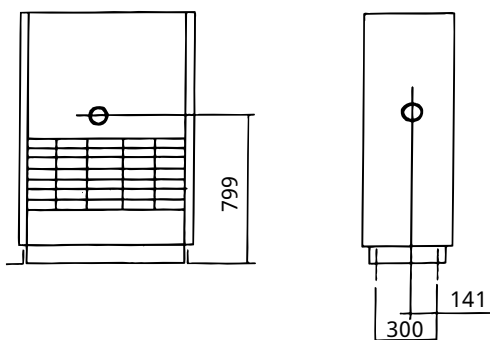
1. 仕様

- (1) 機器質量（運転質量） $W = 110$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積（呼径による断面積） $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 799$ mm = 0.799 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 141$ mm ($L_g / L = 0.47$) = 0.141 m

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1078.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 539.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1308.9$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 269.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 26.2$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 5.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6$ = 176.4 MPa
 （但し $f_{ts} < f_t$ ）
 $= 26.2$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 = 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ = 150 mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ = 102 mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1308.9$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



⑦PFAK-P265AW(M)-A-F

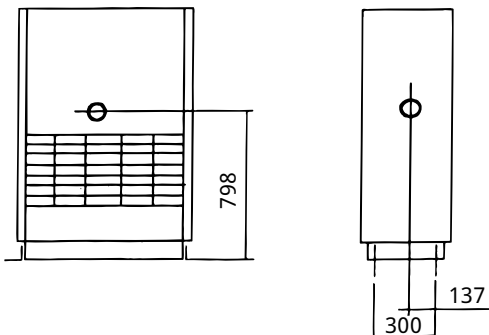
1. 仕様

(1) 機器質量 (運転質量)	W =	<input type="text" value="126"/>	kg
(2) アンカーボルト			
総本数	N =	<input type="text" value="4"/>	本
サイズ・形状	= M	<input type="text" value="8"/>	形
1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積)	A =	<input type="text" value="50"/>	mm ² = <input type="text" value="50 × 10<sup>-6</sup>"/> m ²
機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数	Nt =	<input type="text" value="2"/>	本
(3) 据付面より機器重心までの高さ	Hg =	<input type="text" value="798"/>	mm = <input type="text" value="0.798"/> m
(4) 検討する方向から見たボルトスパン	L =	<input type="text" value="300"/>	mm = <input type="text" value="0.3"/> m
(5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離	Lg =	<input type="text" value="137"/>	mm (Lg = L/2) = <input type="text" value="0.137"/> m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

(1) 設計用水平震度	Kh =	<input type="text" value="1.0"/>	
(2) 設計用鉛直震度	Kv = Kh/2 =	<input type="text" value="0.5"/>	
(3) 設計用水平地震力	Fh = Kh · W · 9.8 =	<input type="text" value="1234.8"/>	N
(4) 設計用鉛直地震力	Fv = Kv · W · 9.8 =	<input type="text" value="617.4"/>	N
(5) アンカーボルトの引抜力	$R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} =$	<input type="text" value="1501.3"/>	N
(6) アンカーボルトのせん断力	$Q = \frac{F_h}{N} =$	<input type="text" value="308.7"/>	N
(7) アンカーボルトに生じる応力度			
引張り応力度	$= \frac{R_b}{A} =$	<input type="text" value="30.0"/>	MPa < ft = 176.4 MPa
せん断応力度	$= \frac{Q}{A} =$	<input type="text" value="6.2"/>	MPa < fs = 132.3 MPa
引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し.fts < ft)	$fts = 1.4ft - 1.6 =$	<input type="text" value="176.4"/>	MPa
	$=$	<input type="text" value="30.0"/>	MPa < fts = <input type="text" value="176.4"/> MPa
(8) アンカーボルトの施工法			
アンカーボルトの施工法	=	<input type="text" value="箱抜き式J形アンカー"/>	
コンクリート厚さ	=	<input type="text" value="150"/>	mm = <input type="text" value="0.15"/> m
ボルトの埋込長さ	=	<input type="text" value="102"/>	mm = <input type="text" value="0.102"/> m
許容引抜荷重	Ta =	<input type="text" value="4508"/>	N > Rb = <input type="text" value="1501.3"/> N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



⑧PFAK-P335AW(M)-A-F

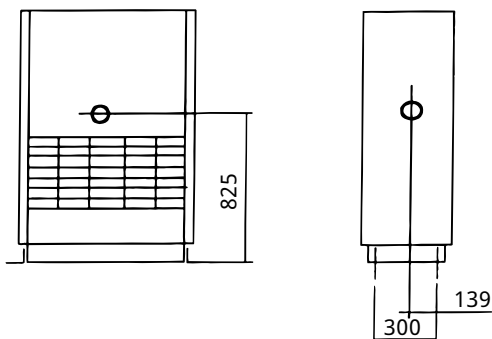
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 150$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 825$ mm = 0.825 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 300$ mm = 0.3 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 139$ mm ($L_g \ L/2$) = 0.139 m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 1470.0$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 735.0$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 1851.0$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 367.5$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 37.0$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 7.4$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_t > f_s$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6f_s = 176.4$ MPa
- $= 37.0$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式 J 形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 1.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 1851.0$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



⑨PFAK-P530AW(M)-A-F

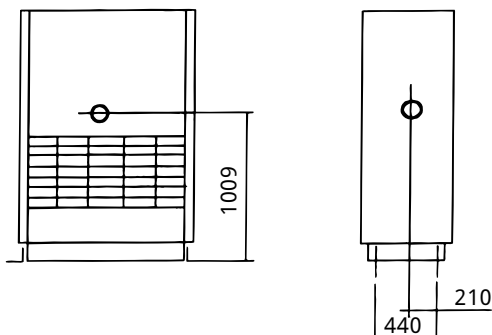
1. 仕様

- (1) 機器質量 (運転質量) $W = 239$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積 (呼径による断面積) $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1009$ mm = 1.009 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 210$ mm ($L_g / L/2 = 0.21$) m

2. 検討計算 (小数点以下2桁目を四捨五入して算出)

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h/2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2342.2$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1171.1$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2406.1$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 585.6$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 48.1$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 11.7$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合 (但し $f_{ts} < f_t$) $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6 = 176.4$ MPa
- $= 48.1$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2406.1$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています



⑩PFAK-P670AW(M)-A-F

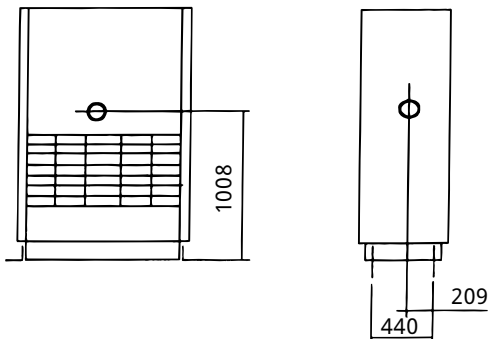
1. 仕様

- (1) 機器質量（運転質量） $W = 262$ kg
- (2) アンカーボルト
- 総本数 $N = 4$ 本
- サイズ・形状 $= M 8$ 形
- 1本当たりの軸断面積（呼径による断面積） $A = 50$ mm² = 50×10^{-6} m²
- 機器転倒を考えた場合の引張りを受ける片側のアンカーボルト総本数 $N_t = 2$ 本
- (3) 据付面より機器重心までの高さ $H_g = 1008$ mm = 1.008 m
- (4) 検討する方向から見たボルトスパン $L = 440$ mm = 0.44 m
- (5) 検討する方向から見たボルト中心から機器重心までの距離 $L_g = 209$ mm ($L_g / L = 209 / 440 = 0.475$)

2. 検討計算（小数点以下2桁目を四捨五入して算出）

- (1) 設計用水平震度 $K_h = 1.0$
- (2) 設計用鉛直震度 $K_v = K_h / 2 = 0.5$
- (3) 設計用水平地震力 $F_h = K_h \cdot W \cdot 9.8 = 2567.6$ N
- (4) 設計用鉛直地震力 $F_v = K_v \cdot W \cdot 9.8 = 1283.8$ N
- (5) アンカーボルトの引抜力 $R_b = \frac{F_h \cdot H_g - (W \cdot 9.8 - F_v) \cdot L_g}{L \cdot N_t} = 2636.2$ N
- (6) アンカーボルトのせん断力 $Q = \frac{F_h}{N} = 641.9$ N
- (7) アンカーボルトに生じる応力度
- 引張り応力度 $= \frac{R_b}{A} = 52.7$ MPa < $f_t = 176.4$ MPa
- せん断応力度 $= \frac{Q}{A} = 12.8$ MPa < $f_s = 132.3$ MPa
- 引張りとせん断を同時に受ける場合
 （但し $f_t < f_s$ ） $f_{ts} = 1.4f_t - 1.6f_s = 176.4$ MPa
 $= 52.7$ MPa < $f_{ts} = 176.4$ MPa
- (8) アンカーボルトの施工法
- アンカーボルトの施工法 $=$ 箱抜き式J形アンカー
- コンクリート厚さ $= 150$ mm = 0.15 m
- ボルトの埋込長さ $= 102$ mm = 0.102 m
- 許容引抜荷重 $T_a = 4508$ N > $R_b = 2636.2$ N

以上の検討計算書より、アンカーボルトは十分な強度を有しています

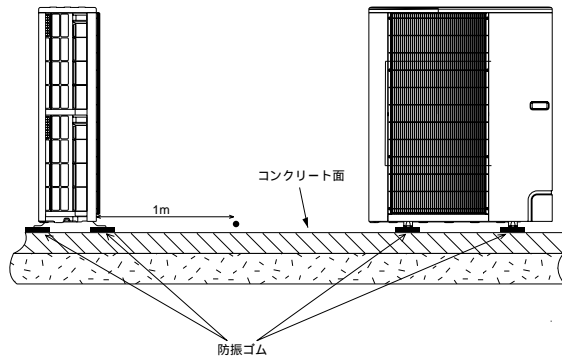


6. 振動レベル値

①PU(H)K-P140AW-A

1. 測定条件

- (1)測定周波数帯：1Hz～80Hz
- (2)測定位置：ユニット正面より1m
- (3)据付状態：コンクリート床面に防振ゴム（ブリジストン社製 IP-1003 55×55mm）を敷いた上からアンカーボルトにて固定



- (4)電源：三相200V 50Hz/60Hz
- (5)運転条件：外気温度32

2. 振動レベル値

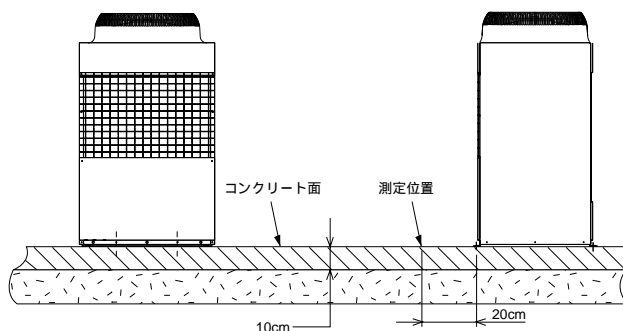
振動レベル値 40dB [A特性]以下

注.上記値は、暗振動補正を行ったものである。

②PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

1. 測定条件

- (1)測定周波数帯：1Hz～80Hz
- (2)測定位置：ユニット脚部より20cmの距離の路面
- (3)据付状態：コンクリート床面直置



- (4)電源：三相200V 50Hz/60Hz
- (5)運転条件：JIS条件（冷房・暖房）
- (6)測定機器：公害用振動レベル計 VM-1220C（JIS適合品）

2. 振動レベル値

振動レベル値 44/45dB [A特性]

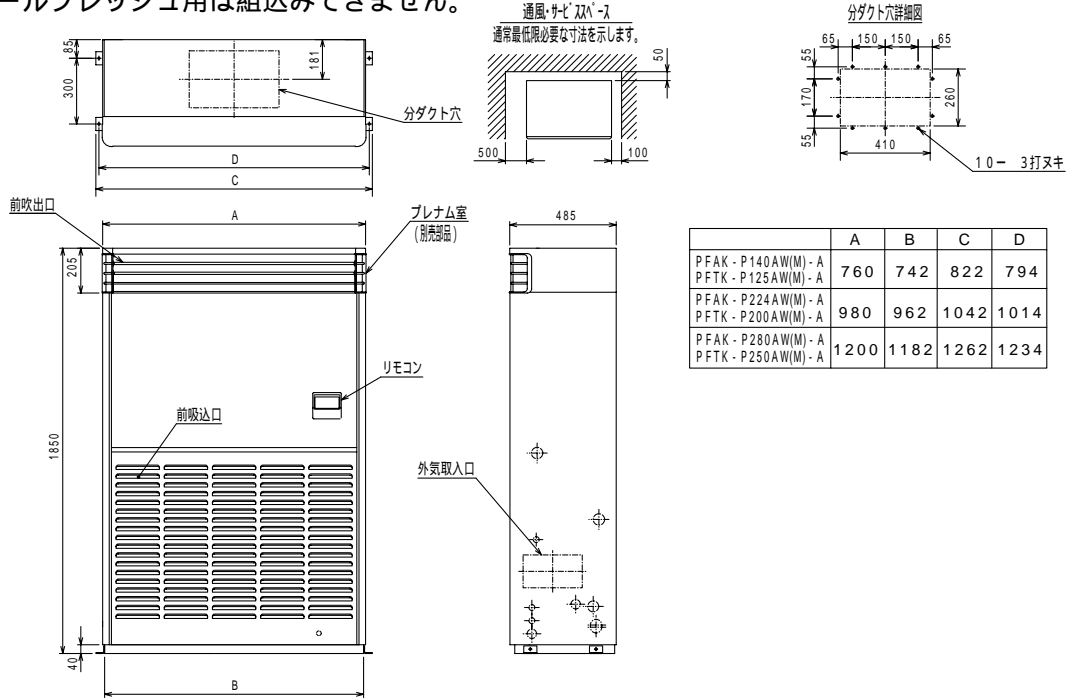
注.上記値は、暗振動補正を行ったものである。

7.別売部品

(1)別売部品外形図

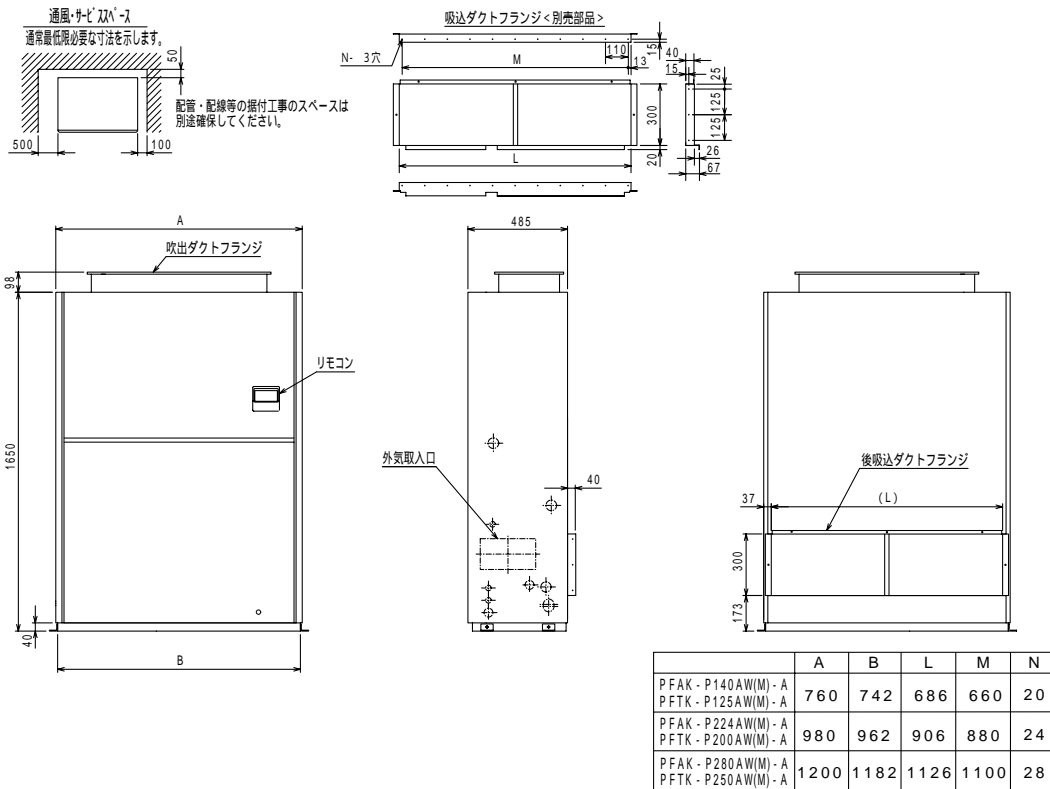
- ①PFAK-P140,224,280AW(M)-A,PFTK-P125,200,250AW(M)-A,PFAK-P167,265,335AW(M)-A-F
 ・プレナム組込外形図

オールフレッシュ用は組込みできません。



・後吸込ダクトフランジ組込外形図

オールフレッシュ用は標準仕様となります。



・中・高性能、HEPAフィルタ組込外形図
 オールフレッシュ用は組込みできません。

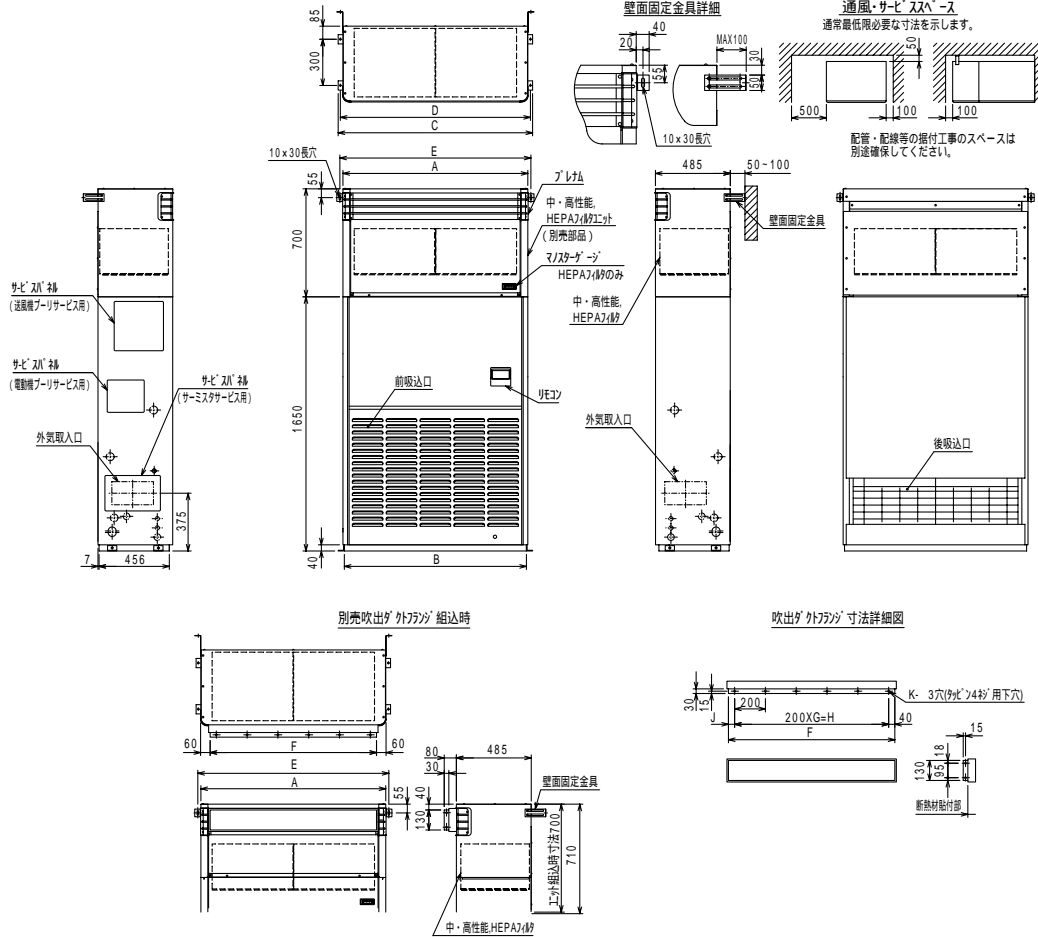
	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	760	742	822	794	800	640	3	600	20	12
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	980	962	1042	1014	1020	860	4	800	30	14
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1200	1182	1262	1234	1240	1080	5	1000	40	16

HEPAフィルタ

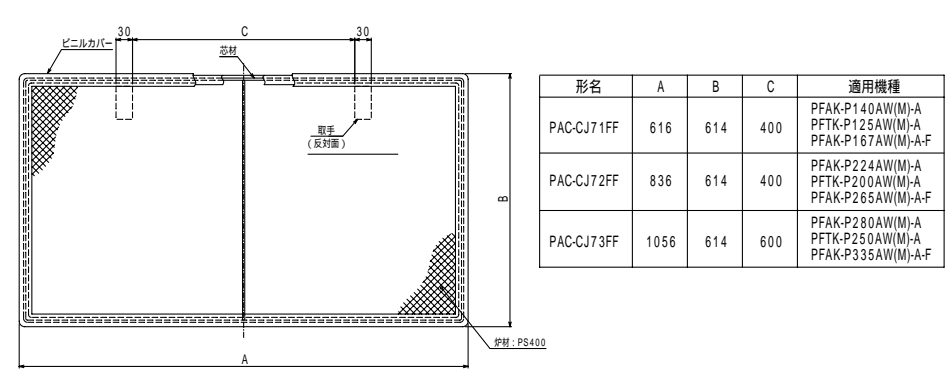
項目	形名	PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A
別売フィルタユニット形名		PAC-CF41CLB	PAC-CF42CLB	PAC-CF43CLB
別売フィルタユニット形名		7枚SY 8/1		
外形寸法		710<製品組込時700>		
高さ mm		710		
幅 mm		760		
奥行 mm		485		
エアフィルタ		D.O.P.<0.3μ>99.97以上		
集塵効率 %		99.97以上		
断熱材		グラスウール+ガラス繊維+発散防止コーティング		
製品質量<1/4取外時> kg		46<33>	56<40>	67<47>
エアフィルタ質量 kg		13.0	8.0×2	10.0×2
別売吹出ダクトフランジ形名		PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD

中・高性能フィルタ

項目	形名	PFAK-P140(V)AW(M)-A PFTK-P125(V)AW(M)-A	PFAK-P224(V)AW(M)-A PFTK-P200(V)AW(M)-A	PFAK-P280(V)AW(M)-A PFTK-P250(V)AW(M)-A
別売フィルタユニット形名		PAC-CF71TB	PAC-CF72TB	PAC-CF73TB
別売フィルタユニット形名		7枚SY 8/1		
外形寸法		710<製品組込時700>		
高さ mm		710		
幅 mm		980		
奥行 mm		485		
エアフィルタ		PAC-CF81AF	PAC-CF81AF	PAC-CF82AF
集塵効率 %		65	90	65
断熱材		グラスウール+ガラス繊維+発散防止コーティング		
製品質量<1/4取外時> kg		39<33>	49<40>	57<47>
エアフィルタ質量 kg		6.0	4.5×2	5.0×2
別売吹出ダクトフランジ形名		PAC-TS04FD	PAC-TS05FD	PAC-TS08FD

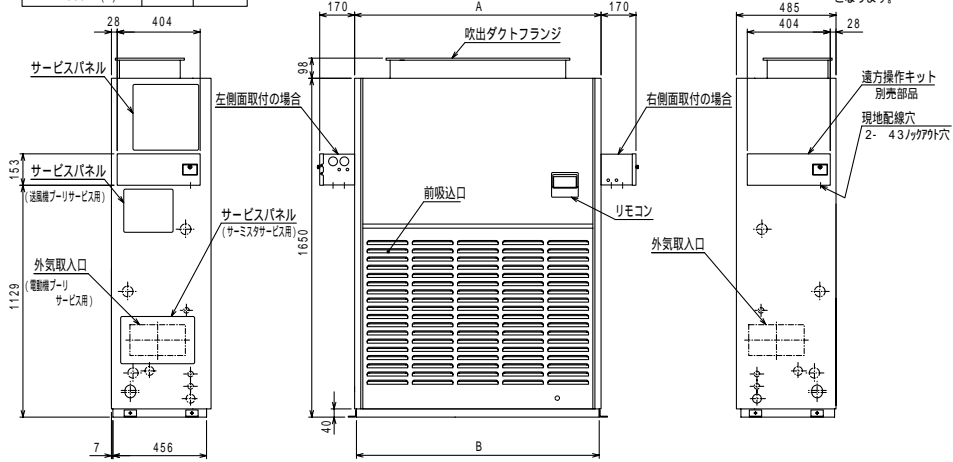


・フィルドロンフィルタ外形図

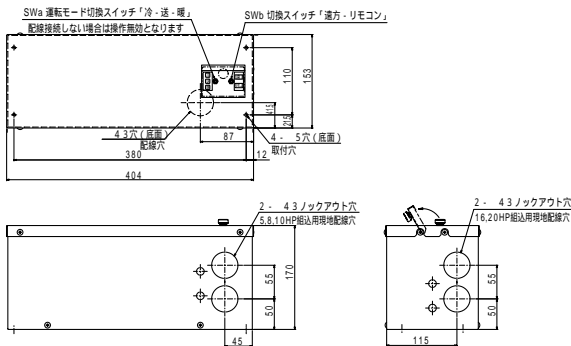


・遠方操作キット組込外形図

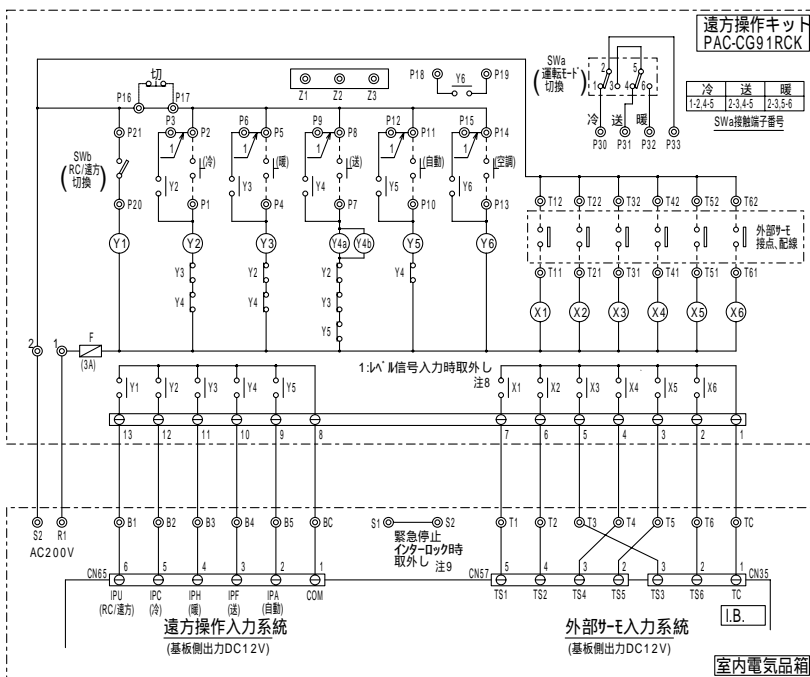
	A	B
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A PFAK-P167AW(M)-A-F	760	742
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A PFAK-P265AW(M)-A-F	980	962
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A PFAK-P335AW(M)-A-F	1200	



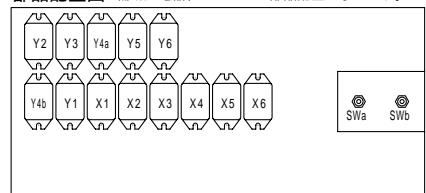
PAC-CG9 1RCK遠方操作キット外形図



・遠方操作キット電気配線図



部品配置図 補助継電器、スイッチの部品配置を示します。



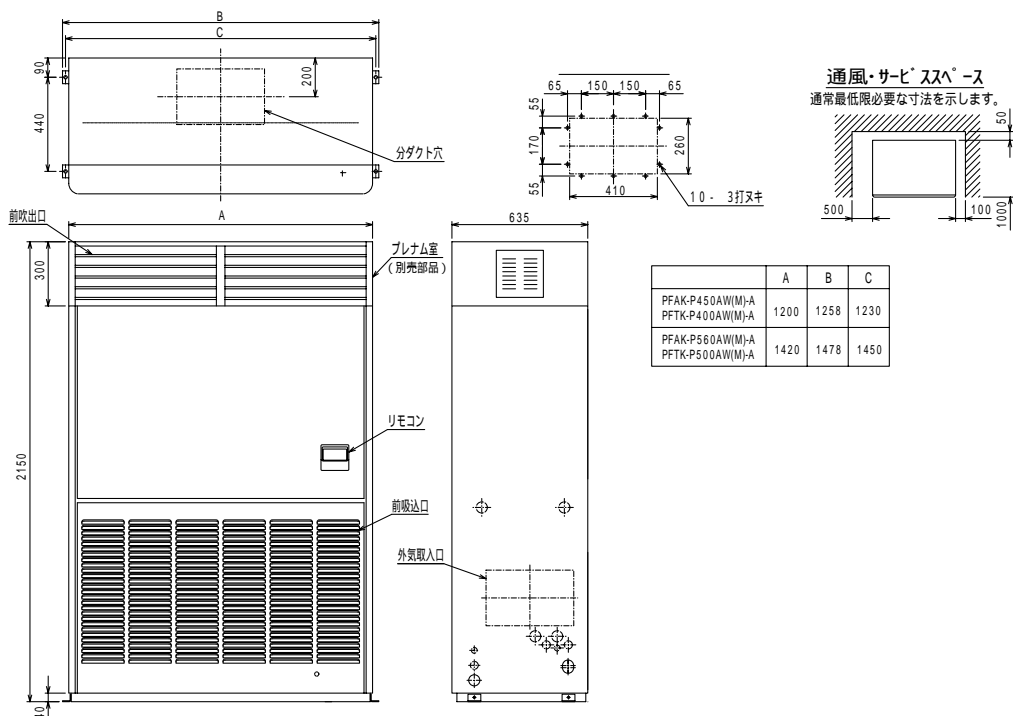
記号説明

記号	名称	
X1 - X6	補助継電器	遠方操作キット
Y1 - Y6	補助継電器	
SWa	スイッチ(噴射モード切換)	
SWb	スイッチ(RC/遠方切換)	
F	ヒューズ (3A)	
I.B.	室内制御基板	室内電気品箱
CN35	コネクタ(外部サモ)	
CN57	コネクタ(外部サモ)	
CN65	コネクタ(外部入力)	

1. 配線は内線規程に従って接続してください。
2. ---: 現地配線を示します。
3. 遠方操作キットと室内電気品箱を接続する配線は遠方操作キットに付属しています。
4. (冷)...冷房 (暖)...暖房 (送)...送風 (自動)...冷暖自動 (空調)...空調一括ON/OFF(冷暖送)切換を示します。
5. ◎印は端子台、⊙印はコネクタを示します。
6. SWa(運転モード切換)をご使用する場合は技術資料を参照し、配線接続してください。配線接続しない場合でも無効です。
7. 外部サモの接続要領は機種・現地のシステム等によって異なります。技術資料を参照し、配線接続してください。
8. 1の配線はレベル信号入力する場合、取外してください。
9. 緊急停止(S1-S2間)回路を使用した場合、運転停止します。運転を復帰させるには、復電後室内ユニットのリモコンにて運転リセットしてください。

②PFAK-P450,560AW(M)-A,PFTK-P400,500AW(M)-A,PFAK-P530,670AW(M)-A-F
 ・プレナム組込外形図

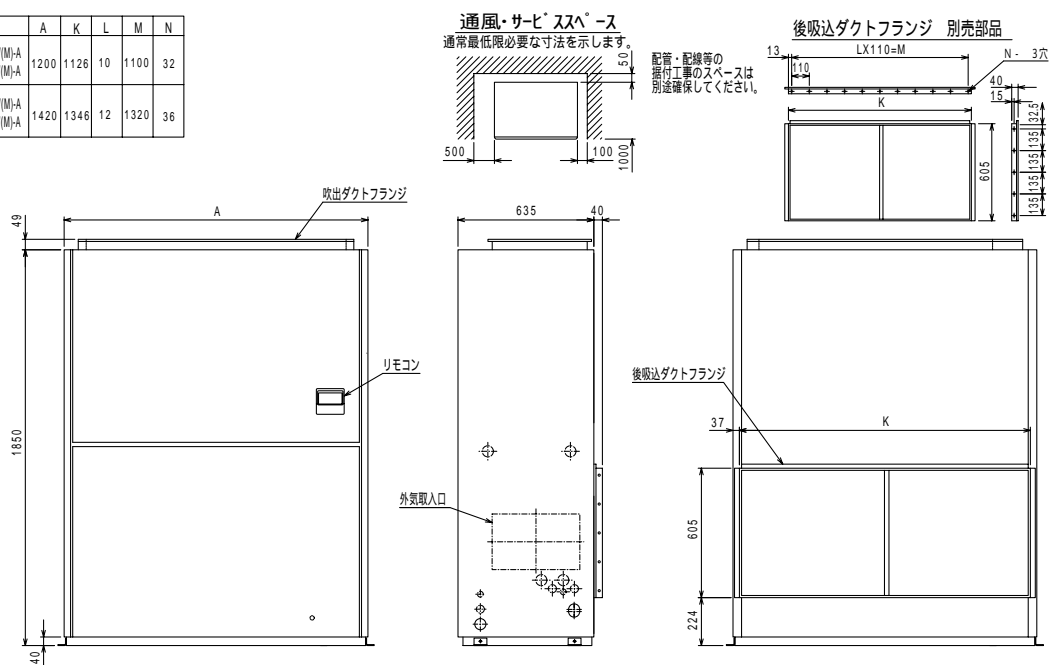
オールフレッシュ用は組込みできません。



・後吸込ダクトフランジ組込外形図

オールフレッシュ用は標準仕様となります。

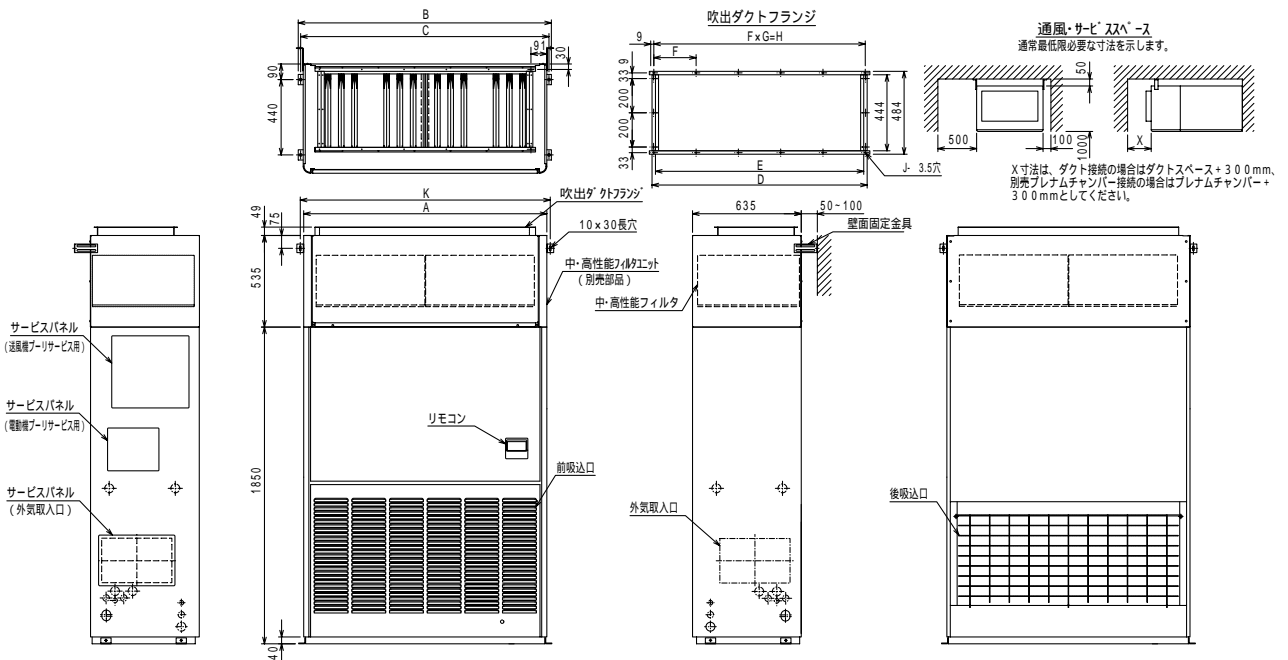
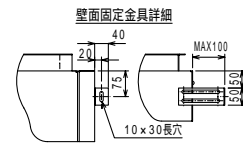
	A	K	L	M	N
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	1200	1126	10	1100	32
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	1420	1346	12	1320	36



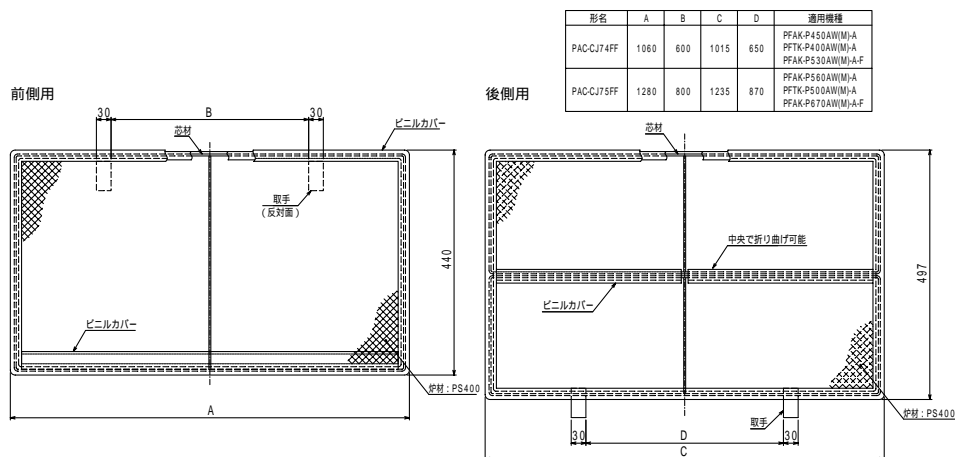
・中・高性能、フィルタ組込外形図
 オールフレッシュ用は組込みできません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	1200	1258	1230	1046	1006	257	4	1028	16	1240
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	1420	1478	1450	1255	1215	247	5	1235	18	1460

項目	形名	PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A
別売フィルタユニット形名		PAC-CF74TB	PAC-CF75TB
外表色		ツルSY 8/1	
高さ mm		594 < 製品組込時584 >	
幅 mm		1200	
奥行 mm		635	
IA711形		PAC-CF84AF	PAC-CF85AF
断熱材		NBS65	NBS90
断熱材		グラスウール+発散防止コーティング	
製品質量(1/10取外時) kg		56 < 44 >	70 < 52 >
IA711質量 kg		6.0 x 2	9.0 x 2



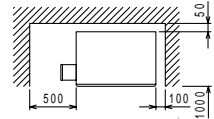
・フィレドンフィルタ外形図



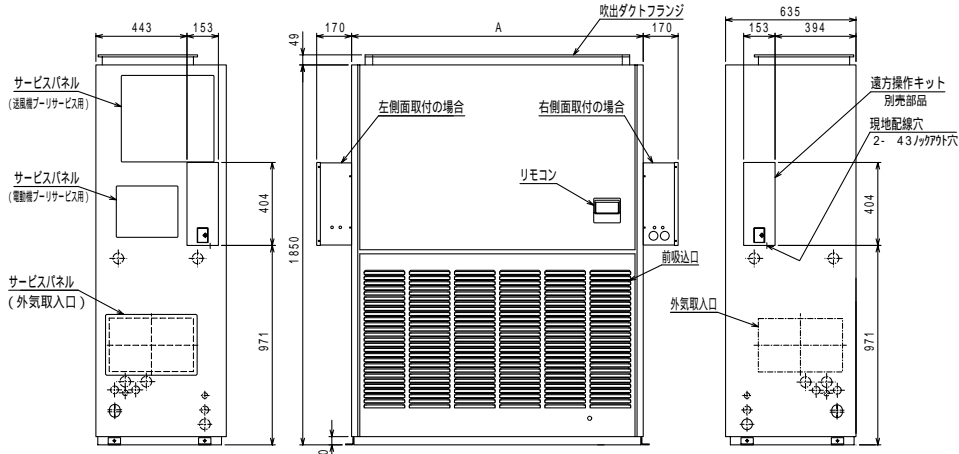
・遠方操作キット組込外形図

	A
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F	1200
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F	1420

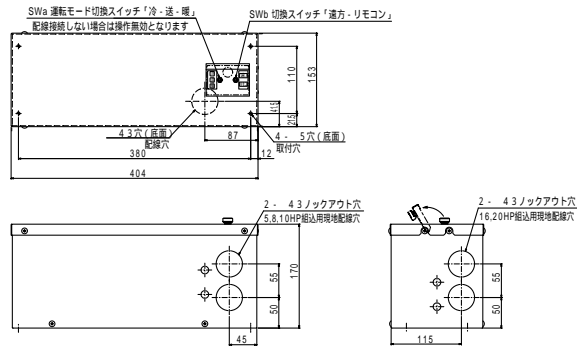
通風・サービススペース
通常最低限必要な寸法を示します。



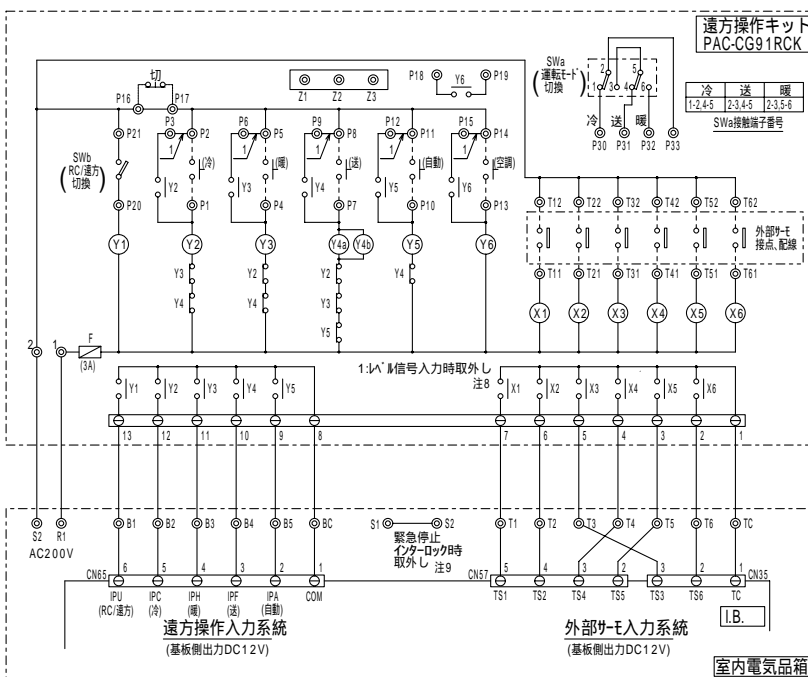
遠方操作キットを右側面に
取付ける場合は500mm必要
となります。



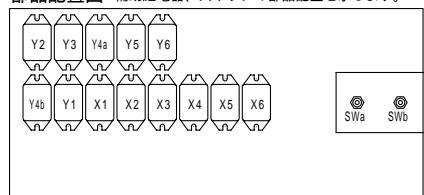
PAC-CG91RCK遠方操作キット外形図



・遠方操作キット電気配線図



部品配置図 補助継電器、スイッチの部品配置を示します。



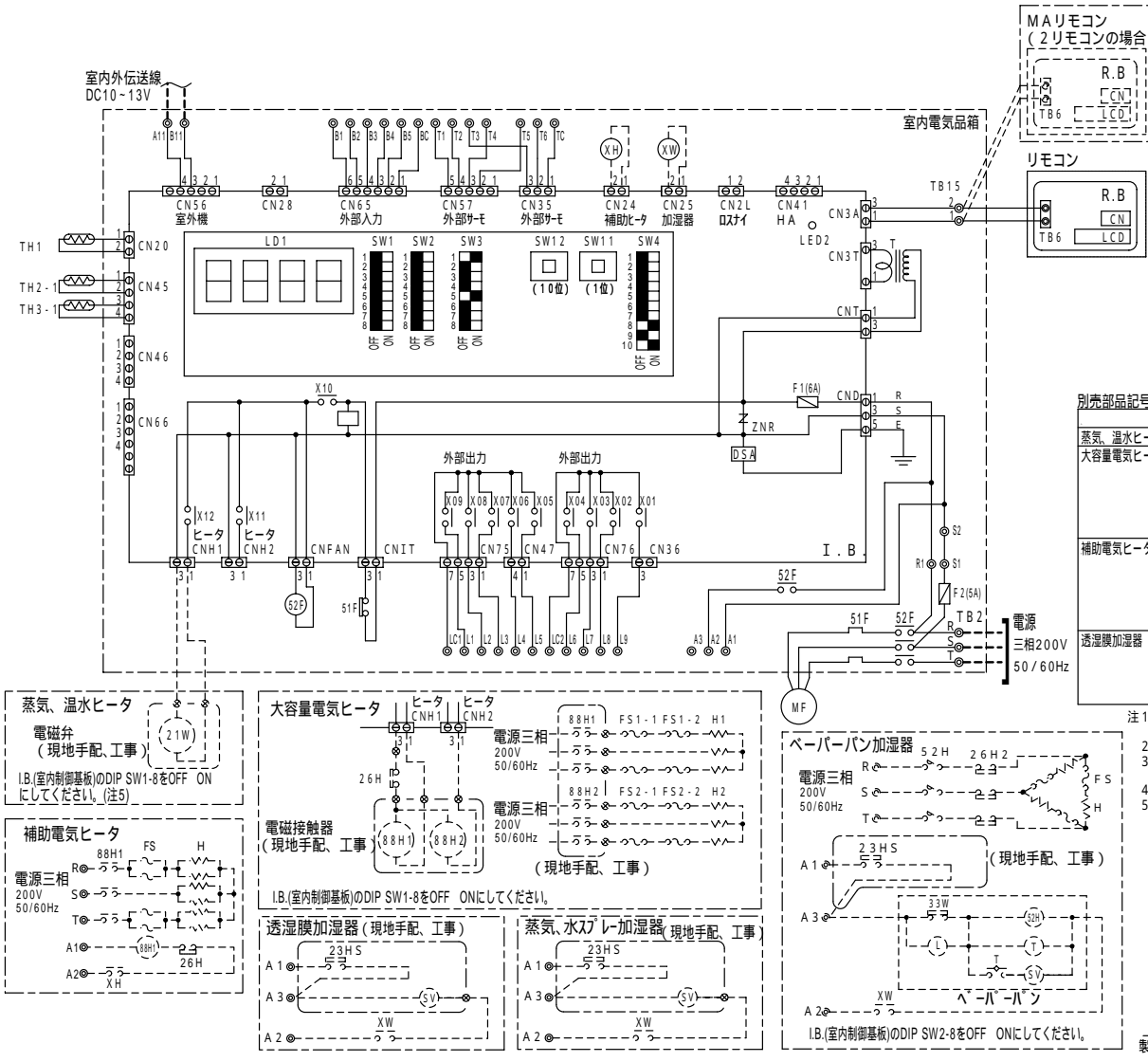
記号説明

記号	名称	所属
X1-X6	補助継電器	遠方操作キット
Y1-Y6	補助継電器	
SWa	スイッチ(明モード切換)	室内電気箱
SWb	スイッチ(RC/遠方切換)	
F	ヒューズ(3A)	
LB	室内制御基板	
CN35	コネクタ(外部リモ)	室内電気箱
CN57	コネクタ(外部リモ)	
CN65	コネクタ(外部入力)	

- 注1. 配線は内線図に従って接続してください。
 注2. ---: 現地配線を示します。
 注3. 遠方操作キットと室内電気箱を接続する配線は遠方操作キットに付属しています。
 注4. (冷)...冷房 (暖)...暖房 (送)...送風 (自動)...冷暖自動 (空調)...空調一括ON/OFF(冷暖送)切換を示します。
 注5. ⊙印は端子台、◎印はコネクタを示します。
 注6. SWa(運転モード切換)をご使用する場合は技術資料を参照し、配線接続してください。配線接続しないと操作しても無効です。
 注7. 外部リモの接続要領は機種・現地のシステム等によって異なります。技術資料を参照し、配線接続してください。
 注8. 1の配線はレベル信号入力する場合、取外してください。
 注9. 緊急停止(S1-S2間)回路を使用した場合、運転停止します。運転を復帰させるには、復電後室内ユニットのリモコンにて運転リセットしてください。

(2) 別売部品電気配線図
機種によって組込み可能な別売部品が異なります。P96の取付可能部品表を参照ください。

155



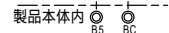
製品本体記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	TH1	サーミスタ (吸い込み空気温度)
51F	熱動過電流継電器	TH2-1	サーミスタ (No.1 熱交液管温度)
52F	補助継電器 (送風機用)		
TB2	電源端子台		
TB15	MAリモコン用端子台	TH3-1	サーミスタ (No.1 熱交二相管温度)
ZNR	バリスタ		
CN24	コネクタ (補助ヒータ)	SW1 (I.B.)	スイッチ (機種設定)
CN25	コネクタ (加湿器)	SW2 (I.B.)	スイッチ (自己診断)
CN41	コネクタ (HA)	SW3 (I.B.)	スイッチ (能力設定)
CNH1	コネクタ (暖房ヒータ1)	SW4 (I.B.)	スイッチ (機能切換)
CNH2	コネクタ (暖房ヒータ2)	SW11 (I.B.)	スイッチ (7/11設定用 1の位)
CNIT	コネクタ (51F)	SW12 (I.B.)	スイッチ (7/11設定用 10の位)
CNFAN	コネクタ (52F)	R.B	リモコン基板
CN2L	コネクタ (ロスナイ)	CN	コネクタ (別売: スケジュールタイマ)
T	トランス	TB6	端子台 (室内ユニット接続)
F1,F2	ヒューズ	LCD	液晶表示器
X01-X12	補助継電器 (室内基板内)	DSA	アレスタ
LD1	発光ダイオード (表示)		
LED2	発光ダイオード (リモコン給電)		

別売部品記号説明

記号	名称	備考	記号	名称	備考
蒸気・温水ヒータ	21W	電磁弁 現地手配	蒸気・水スプレー加湿器	23HS	湿度調節器 現地手配
大容量電気ヒータ	88H1, 88H2	電磁接触器 現地手配		SV	電磁弁 現地手配
	H1, H2	ヒータ 別売付属		XW	補助継電器 別売付属
	FS1-1, FS1-2	温度ヒューズ 別売付属	ペーパーパン加湿器	52H	電磁接触器 別売付属
	FS2-1, FS2-2	温度ヒューズ 別売付属		26H2	サーモカットアクト 別売付属
	26H	過昇防止サーモ 別売付属		FS	温度ヒューズ 別売付属
補助電気ヒータ	88H1	電磁接触器 別売付属		H	シーズヒータ 別売付属
	FS	温度ヒューズ 別売付属		23HS	湿度調節器 現地手配
	H	ヒータ 別売付属		T	タイマ 別売付属
	26H	過昇防止サーモ 別売付属		SV	電磁弁 別売付属
	XH	補助継電器 別売付属		L	断水ランプ 別売付属
透湿膜加湿器	23HS	湿度調節器 現地手配		33W	断水スイッチ 別売付属
	33P	フロートスイッチ 別売付属		XW	補助継電器 別売付属
	SV	電磁弁 別売付属	MAリモコン		製品本体記号説明 参照
	XW	補助継電器 別売付属			

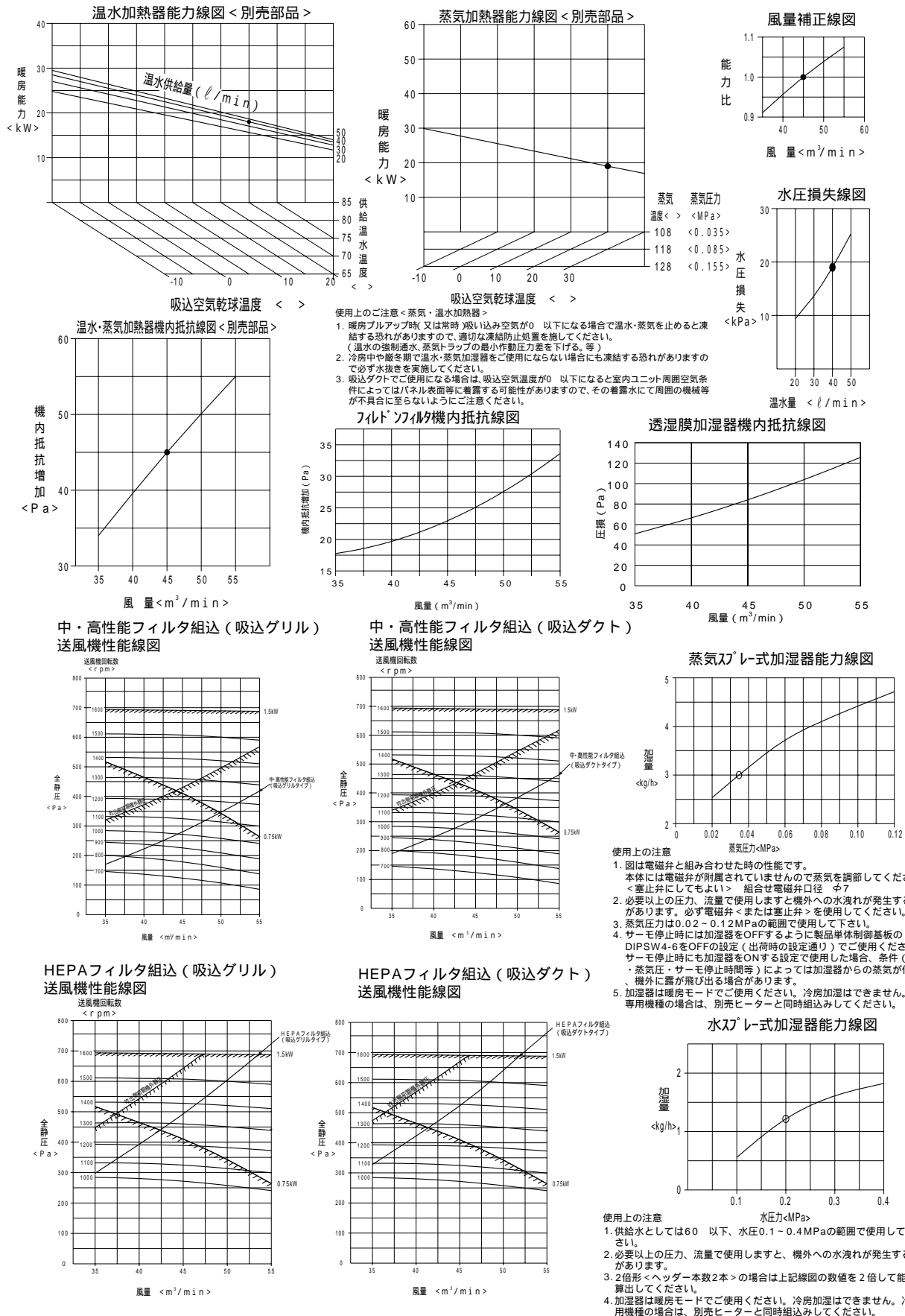
- 注1. 製品本体配線図はPFAK-P224形を示します。他の形名の場合、I.B. (室内制御基板)のスイッチ設定及びTH2, 3 (サーミスタ)の数が異なります。
- 注2. ⊗印は別売付属配線と現地配線との接続箇所を示します。(接続端子は別売に付属)
- 注3. 透湿膜、蒸気スプレー、水スプレー、ペーパーパン加湿器は23HS (湿度調節器)を使用しない場合、端子台のA1, A3を短絡してください。
- 注4. 電源には必ず漏電遮断器を設けてください。
- 注5. 蒸気・温水ヒータは、ヒートポンプ機種に組込んで、ヒートポンプ暖房または、蒸気・温水による暖房を切替えることが可能です。ヒートポンプ暖房と蒸気・温水暖房を同時に運転することはできません。下記要領に従って、SW設定、配線接続してください。この場合、本図中に示すDIP SW1-8はOFFのままご使用ください。但し、外部入力を用いた冷暖自動運転は不可となります。冷暖自動運転を行う場合は、リモコン操作にて運転してください。
- 1) DIP SW1-1・2・3・4を下記に設定してください。
DIP SW1-1...ON DIP SW1-2...ON
DIP SW1-3...OFF DIP SW1-4...OFF
- 2) 製品本体端子台B5、B8間にスイッチ (現地手配)を入れて配線接続してください。
- スイッチ (現地手配) ... ONで蒸気・温水暖房 (圧縮機OFF、電磁弁 (現地手配) ON)
OFFでヒートポンプ暖房 (圧縮機ON、電磁弁 (現地手配) OFF)
スイッチは、微小電流対応 (DC 12V 1mA相当) のものを使用してください。



(2)別売部品電気配線図

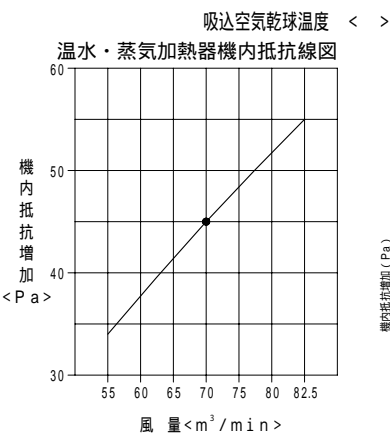
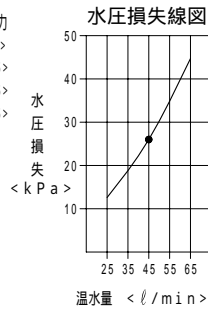
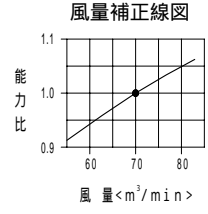
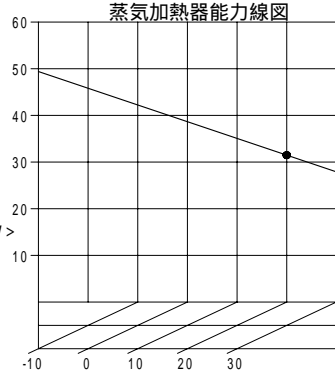
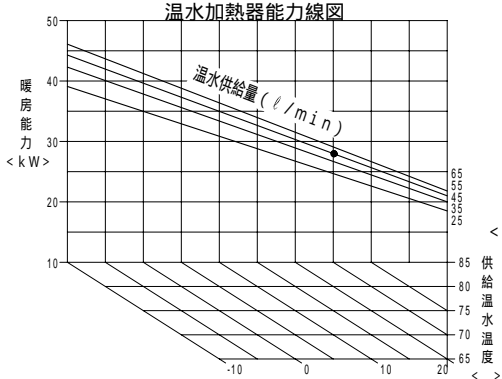
機種によって組み込み可能な別売部品があります。P96の取付可能部品表を参照ください。

●PFAK-P140AW(M)-A形,PFTK-P125AW(M)-A形

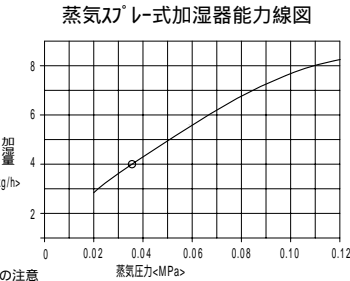
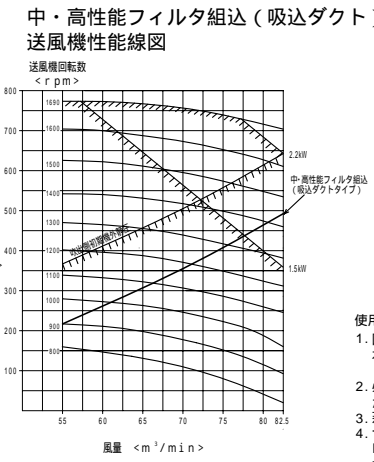
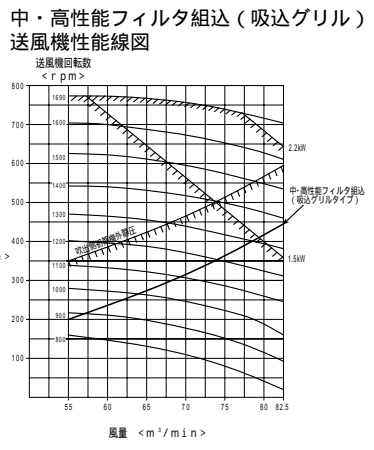
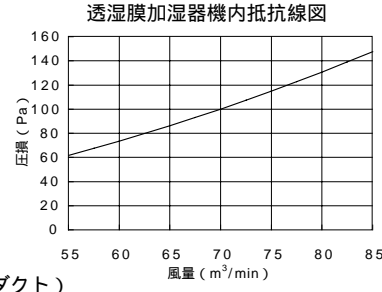
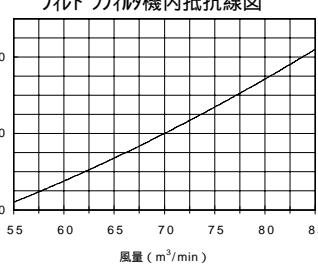


●PFAK-P224AW(M)-A形,PFTK-P200AW(M)-A形

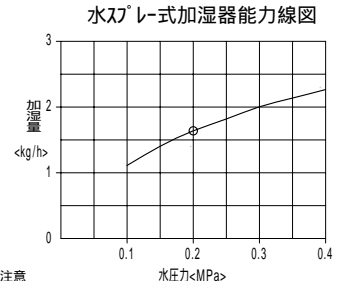
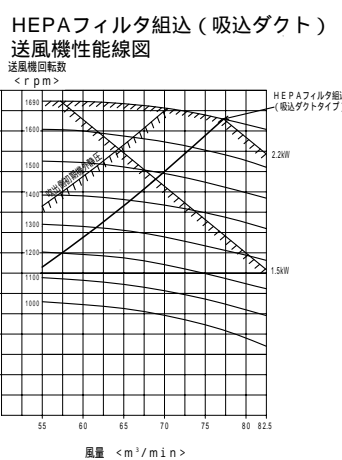
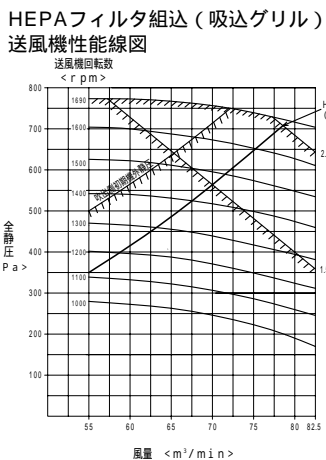
機種によって組み込み可能な別売部品があります。P96の取付可能部品表を参照ください。



- 使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>
- 暖房フルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる、等)
 - 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
 - 吸込ダクトで使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。



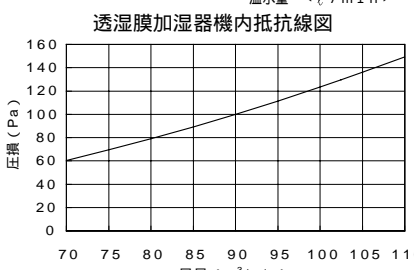
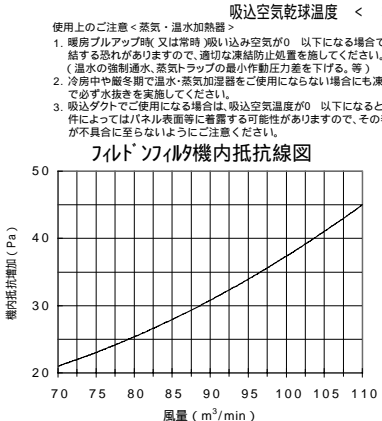
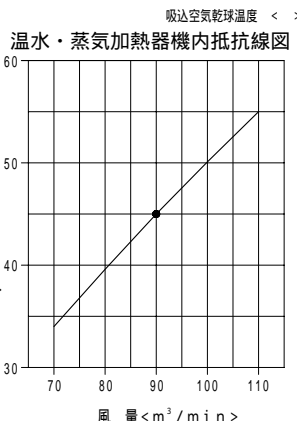
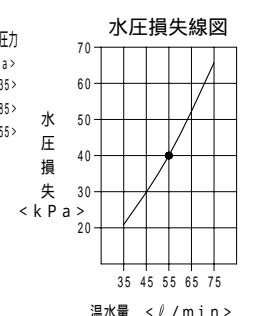
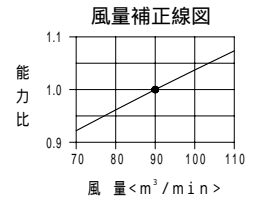
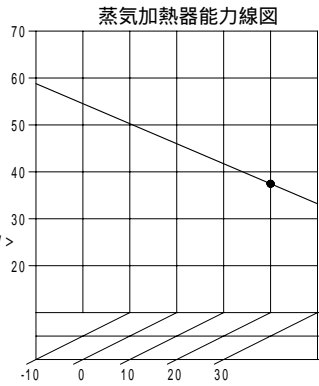
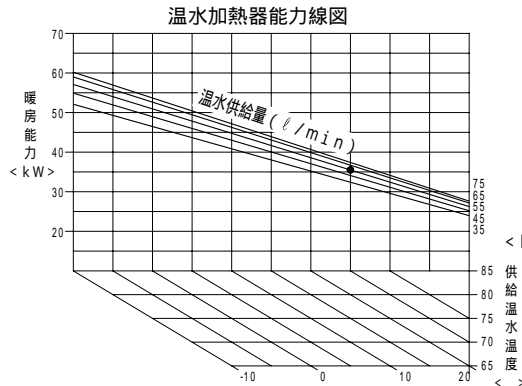
- 使用上の注意
- 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が付属されていませんので蒸気を調節してください。< 禁止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または禁止弁>を使用してください。
 - 蒸気圧力は0.02 - 0.12MPaの範囲で使用して下さい。
 - サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。



- 使用上の注意
- 供給水としては60 以下、水圧0.1 - 0.4MPaの範囲で使用してください。
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
 - 2倍形<ヘッド一本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
 - 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

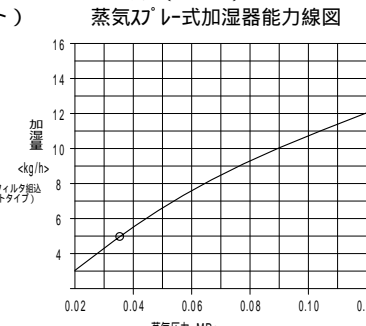
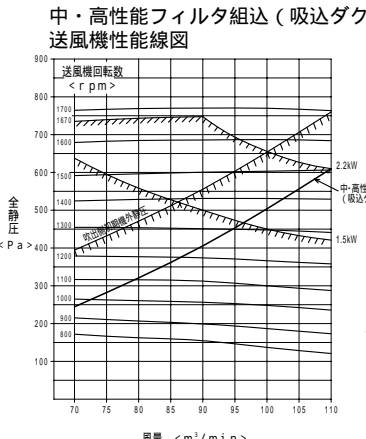
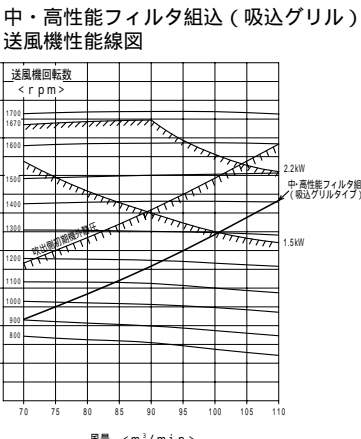
● PFAK-P280AW(M)-A, PFTK-P250AW(M)-A 形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P96の取付可能部品表を参照ください。



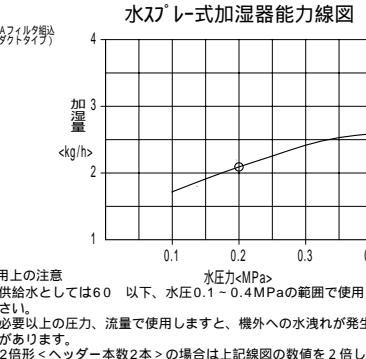
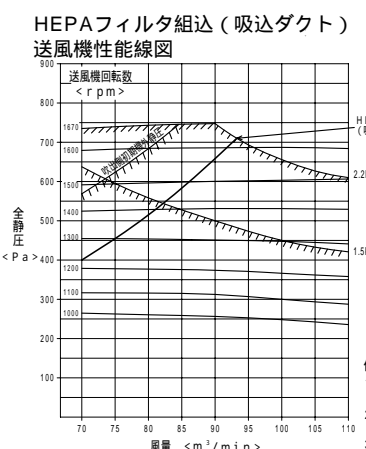
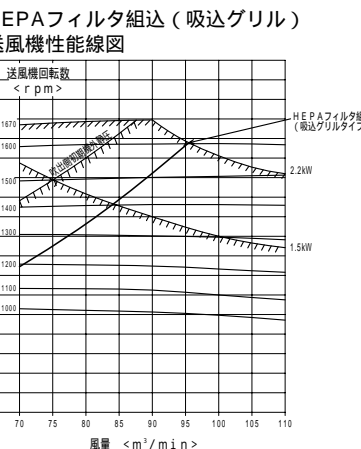
使用上の注意 < 蒸気・温水加熱器 >

- 暖房プルアップ時、又は長時間 無い込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制連水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる、等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に霜着する可能性がありますので、その霜着水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。



使用上の注意

- 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。 < 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 Φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

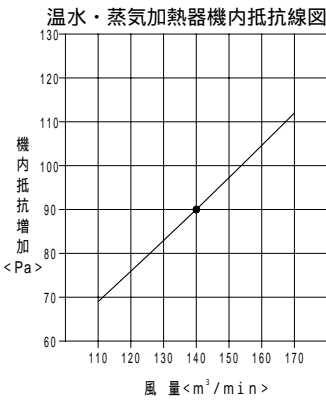
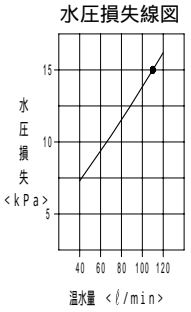
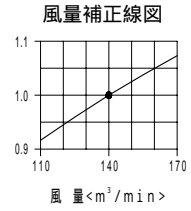
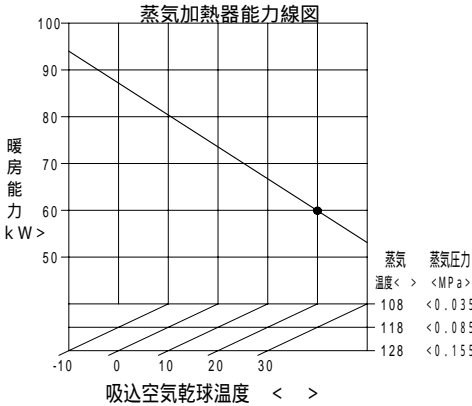
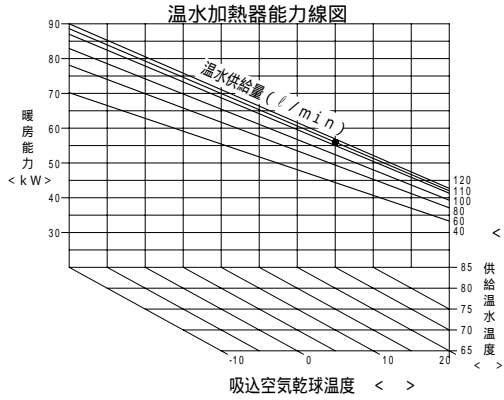


使用上の注意

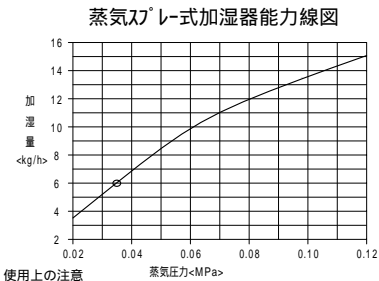
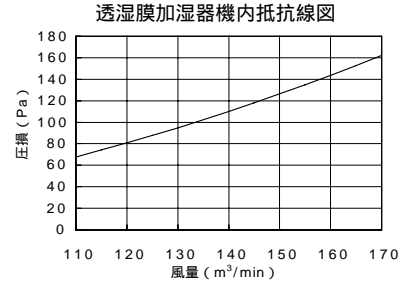
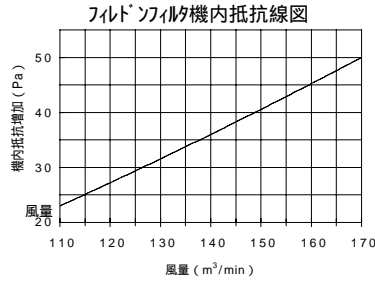
- 供給水としては60 以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

●PFAK-P450AW(M)-A,PFTK-P400AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P96の取付可能部品表を参照ください。

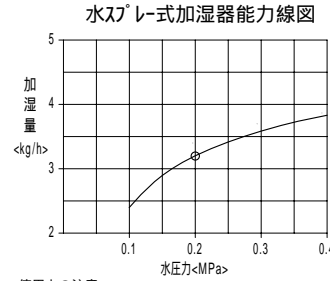


- 使用上の注意 < 蒸気・温水加熱器 >
- 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
 - 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
 - 吸込ダクトでご利用になる場合は、吸込空気温度が0 以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようにご注意ください。



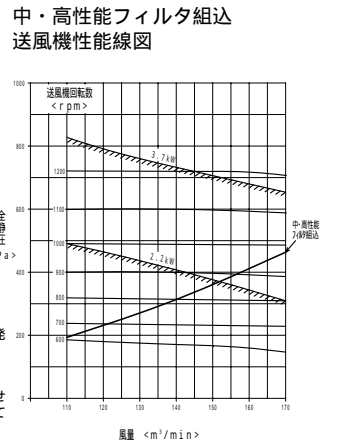
使用上の注意

- 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が付属されていませんので蒸気を調節してください。< 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
 - 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁 < または塞止弁 > を使用してください。
 - 蒸気圧力は0.02 - 0.12MPaの範囲で使用して下さい。
 - サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。
- サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に露が飛び出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。



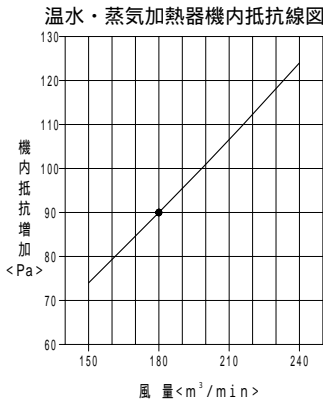
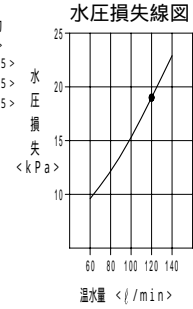
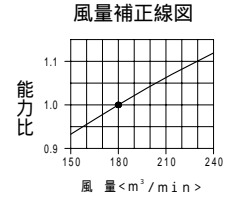
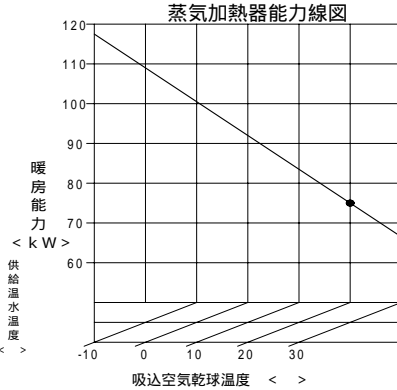
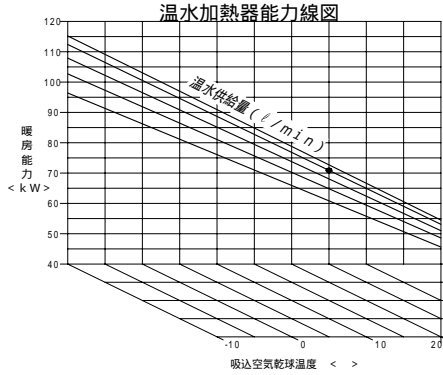
使用上の注意

- 供給水としては60 以下、水圧0.1 - 0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッダー本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。



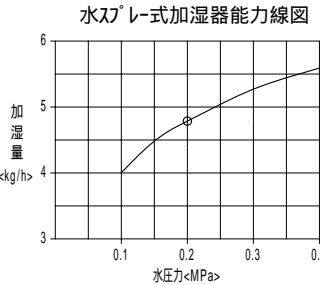
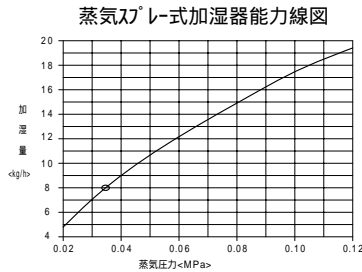
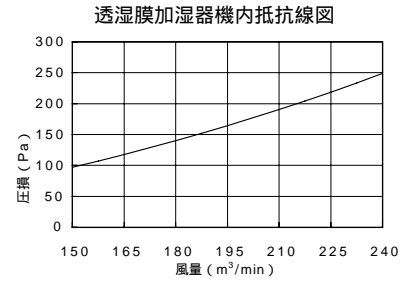
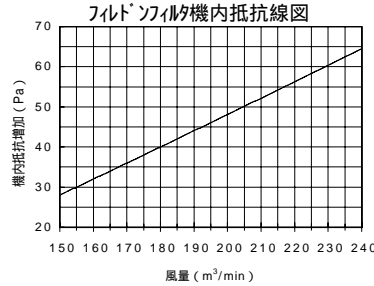
●PFAK-P560AW(M)-A,PFTK-P500AW(M)-A形

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P96の取付可能部品表を参照ください。

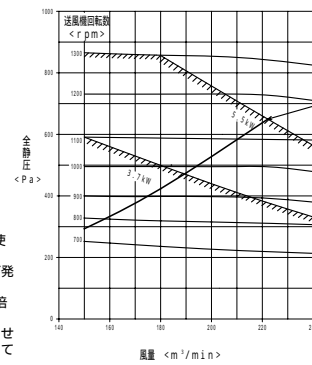


使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

- 暖房プルアップ時(又は常時)吸い込み空気が0℃以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる。等)
- 冷房中や厳冬期で温水・蒸気加湿器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
- 吸込ダクトでご使用になる場合は、吸込空気温度が0℃以下になると室内ユニット周囲空気条件によってはパネル表面等に着露する可能性がありますので、その着露水にて周囲の機械等が不具合に至らないようご注意ください。



中・高性能フィルタ組込送風機性能線図



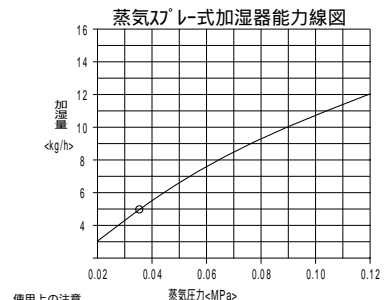
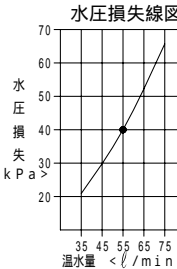
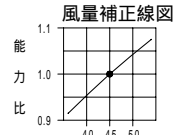
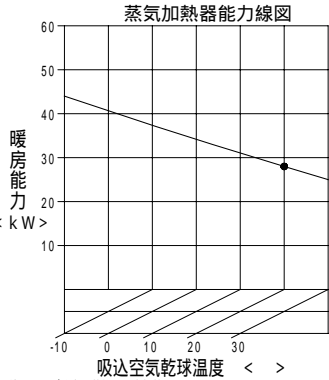
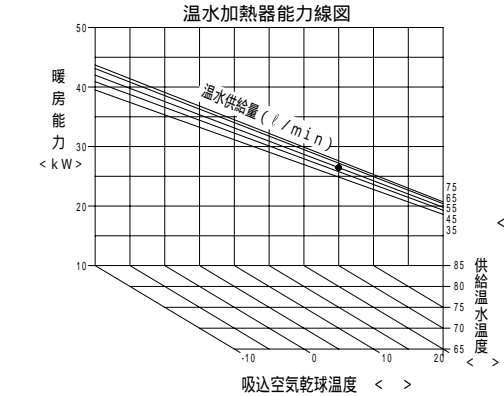
使用上の注意

- 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。<塞止弁にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 Φ7
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水洩れが発生することがあります。必ず電磁弁<または塞止弁>を使用してください。
- 蒸気圧力は0.02～0.12MPaの範囲で使用して下さい。
- サーモ停止時には加湿器をOFFするように製品単体制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

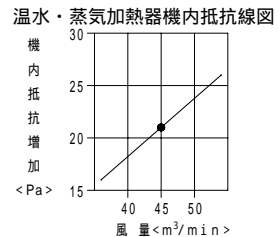
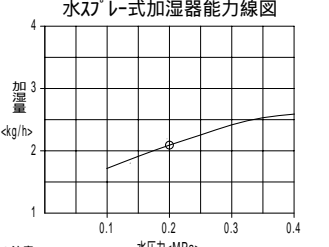
使用上の注意

- 供給水としては60℃以下、水圧0.1～0.4MPaの範囲で使用してください。
- 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水洩れが発生することがあります。
- 2倍形<ヘッド>本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
- 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

●PFAK-P335AW(M)-A-F形

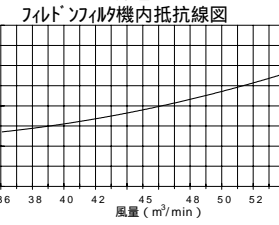


- 使用上のご注意 < 蒸気・温水加熱器 >
1. 暖房プルアップ時 (又は常時) 吸込み空気が 0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止措置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力を下げる、等)
 2. 冷房中や暖冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
 3. 吹き出し空気温度が 6.0 以下になるように温水量、蒸気圧力で調整してください。

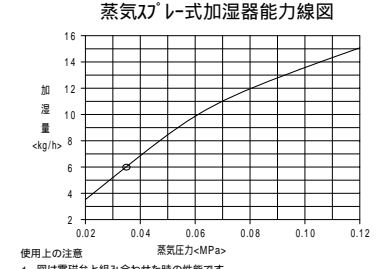
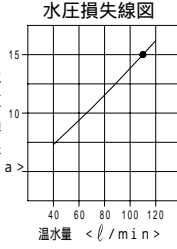
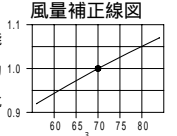
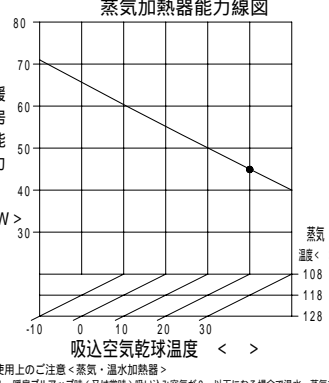
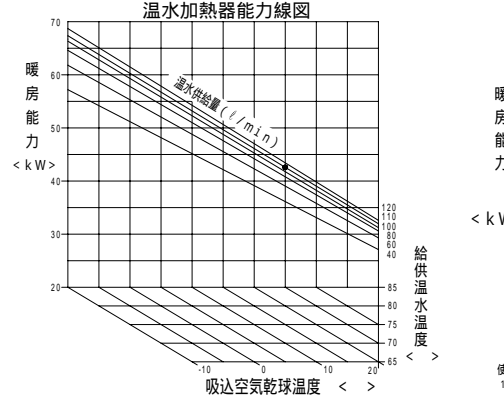


- 使用上の注意
1. 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。 < 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
 2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水流れが発生することがあります。必ず電磁弁 < または塞止弁 > を使用してください。
 3. 蒸気圧力は 0.02 ~ 0.12 MPa の範囲で使用して下さい。
 4. サーマーモ停止時には加湿器を OFF するように製品単体制御基板の DIPSW4-6 を OFF の設定 (出荷時の設定通り) でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器を ON する設定で使用した場合、条件 (風量・蒸気圧・サーモ停止時間等) によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
 5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

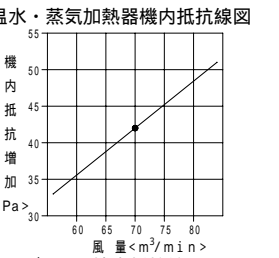
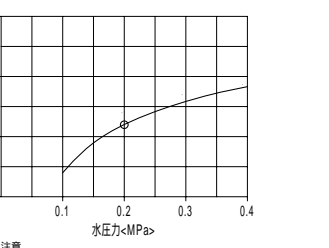
- 使用上の注意
1. 供給水としては 6.0 以下、水圧 0.1 ~ 0.4 MPa の範囲で使用してください。
 2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水流れが発生することがあります。
 3. 2倍形 < ヘッダー本数 2本 > の場合は上記線図の数値を 2 倍して能力を算出してください。
 4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。



●PFAK-P530AW(M)-A-F形

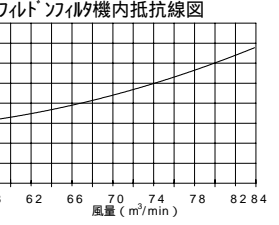


- 使用上のご注意 < 蒸気・温水加熱器 >
1. 暖房プルアップ時 (又は常時) 吸込み空気が 0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止措置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力を下げる、等)
 2. 冷房中や暖冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
 3. 吹き出し空気温度が 6.0 以下になるように温水量、蒸気圧力で調整してください。

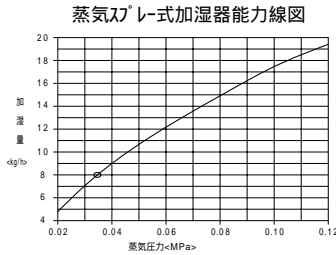
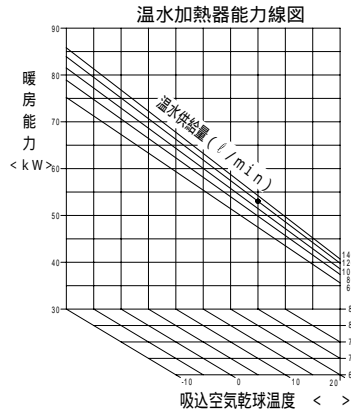


- 使用上の注意
1. 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気を調節してください。 < 塞止弁にしてもよい > 組合せ電磁弁口径 φ7
 2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水流れが発生することがあります。必ず電磁弁 < または塞止弁 > を使用してください。
 3. 蒸気圧力は 0.02 ~ 0.12 MPa の範囲で使用して下さい。
 4. サーマーモ停止時には加湿器を OFF するように製品単体制御基板の DIPSW4-6 を OFF の設定 (出荷時の設定通り) でご使用ください。サーモ停止時にも加湿器を ON する設定で使用した場合、条件 (風量・蒸気圧・サーモ停止時間等) によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
 5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

- 使用上の注意
1. 供給水としては 6.0 以下、水圧 0.1 ~ 0.4 MPa の範囲で使用してください。
 2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水流れが発生することがあります。
 3. 2倍形 < ヘッダー本数 2本 > の場合は上記線図の数値を 2 倍して能力を算出してください。
 4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。

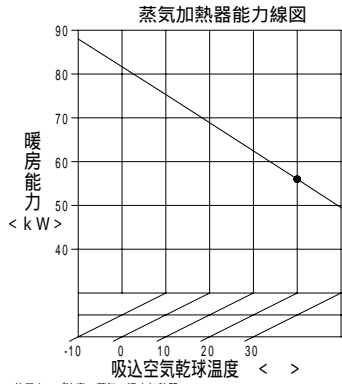


● PFAK-P670AW(M)-A-F形



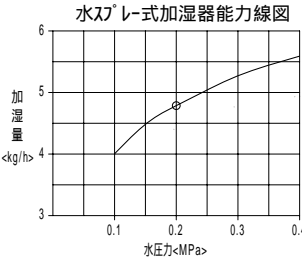
使用上の注意

1. 図は電磁弁と組み合わせた時の性能です。本体には電磁弁が附属されていませんので蒸気圧を調整してください。<停止にしてもよい> 組合せ電磁弁口径 寸7
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと機外への水流れが発生することがあります。必ず電磁弁<または差止弁>を使用してください。
3. 蒸気圧力は0.02~0.12MPaの範囲で使用して下さい。
4. サーマーモ停止時には加湿器をOFFするように製塩制御基板のDIPSW4-6をOFFの設定(出荷時の設定通り)でご使用ください。サーマーモ停止時にも加湿器をONする設定で使用した場合、条件(風量・蒸気圧・サーマーモ停止時間等)によっては加湿器からの蒸気が低下し、機外に霧が飛び出る場合があります。
5. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。



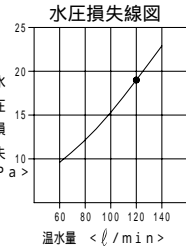
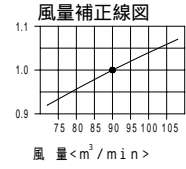
使用上のご注意<蒸気・温水加熱器>

1. 暖房プルアップ時(又は常時)吸込み空気が0 以下になる場合で温水・蒸気を止めると凍結する恐れがありますので、適切な凍結防止処置を施してください。(温水の強制通水、蒸気トラップの最小作動圧力差を下げる、等)
2. 冷房中や暖冬期で温水・蒸気加熱器をご使用にならない場合にも凍結する恐れがありますので必ず水抜きを実施してください。
3. 吹き出し空気温度が6.0 以下になるように温水量、蒸気圧力等で調整してください。

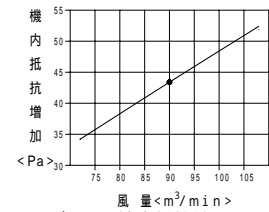


使用上の注意

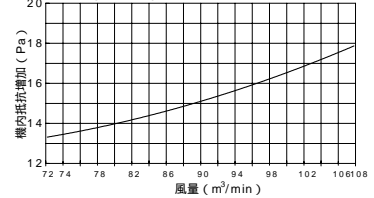
1. 供給水としては6.0 以下、水圧0.1~0.4MPaの範囲で使用してください。
2. 必要以上の圧力、流量で使用しますと、機外への水流れが発生することがあります。
3. 2倍形<ヘッド一本数2本>の場合は上記線図の数値を2倍して能力を算出してください。
4. 加湿器は暖房モードでご使用ください。冷房加湿はできません。冷房専用機種の場合は、別売ヒーターと同時組み込みしてください。



温水・蒸気加熱器機内抵抗線図



フィルドフィルタ機内抵抗線図



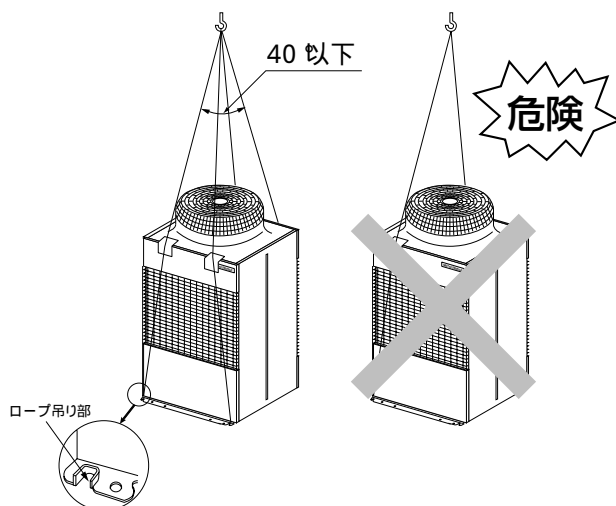
Ⅶ. 据付工事

1. 室外ユニットの据付

(1) 製品の吊下げ方法

- 製品を吊下げて搬入する場合はロープをユニットの下に通し、前後各2ヶ所の吊り部を使用してください。
- ロープは必ず4ヶ所吊りとし、ユニットに衝撃を与えないようにしてください。
- ロープ掛けの角度は下図のように40°以下にしてください。
- ロープは7m以上のものを2本使用してください。

① PU(H)K-P224・P280(U)AW-A



⚠ 注意

製品の運搬には、十分注意してください。

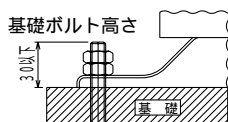
- ・20kg以上の製品の運搬は、1人でしないでください。
- ・製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段には使用しないでください。
- ・熱交換器のフィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないように注意してください。
- ・包装用のポリブクロで子どもが遊ばないように、破いてから廃棄してください。窒息事故などの原因となります。
- ・室外ユニットの搬入を行う場合は、ユニットベースの指定位置に吊下げてください。また、適宜、室外ユニットが横ずれしないよう固定し、確実に4点支持で実施してください。3点支持以下で運搬・吊下げしますと不安定となり、落下の原因となります。

(2) 据付け

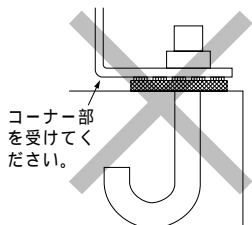
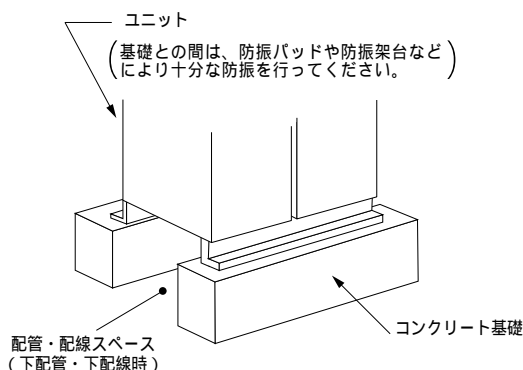
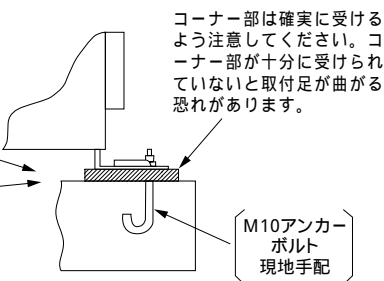
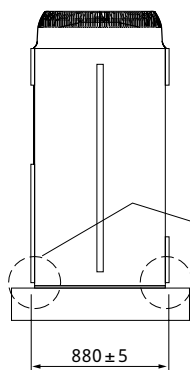
- ユニットが地震や突風などで倒れないように、下図のようにボルトで強固に固定してください。
- ユニットの基礎は、コンクリートまたはアングル等の強固な基礎としてください。
- 据付条件によっては、振動が据付部から伝搬し、床や壁面から、騒音や振動が発生する場合がありますので、十分な防震工事(防震パッド、防震架台など)を行ってください。

①PU(H)K-P140AW-A

M10の基礎ボルトでユニットの据付足を4ヶ所強固に固定してください。
(基礎ボルト 座金 ナットは現地手配です。)



②PU(H)K-P224・280(U)AW-A



警告

据付けは、重量に十分耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合には、ユニット落下によりけがの原因になります。

警告

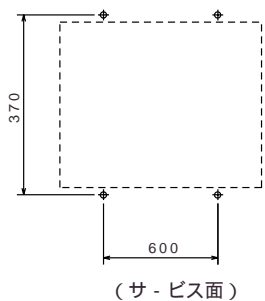
台風等の強風、地震に備え、所定の据付工事を行ってください。
据付工事に不備があると、転倒等による事故の原因になります。

基礎施工に際しましては床面強度、ドレン水処理<運転時にはドレン水が機外に流出します>、配管、配線の経路に十分留意してください。

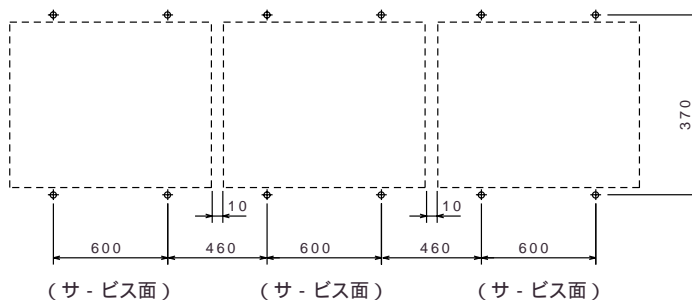
(3) アンカーボルト位置

①PU(H)K-P140AW-A

●単独設置



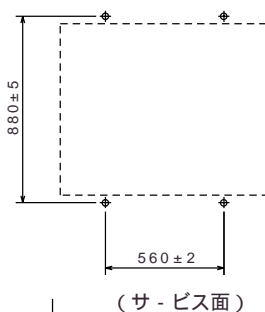
●集中設置例



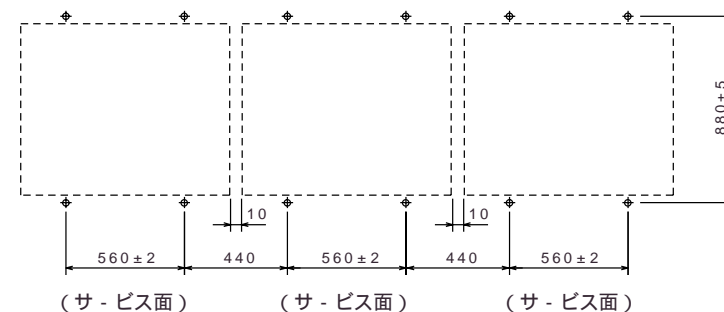
集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。

②PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

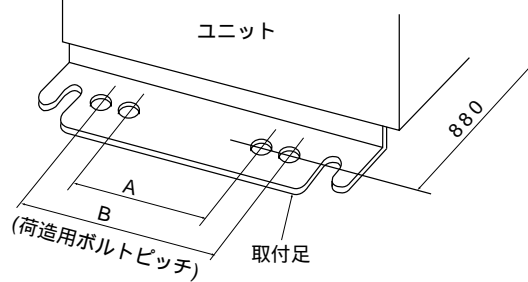
●単独設置



●集中設置例



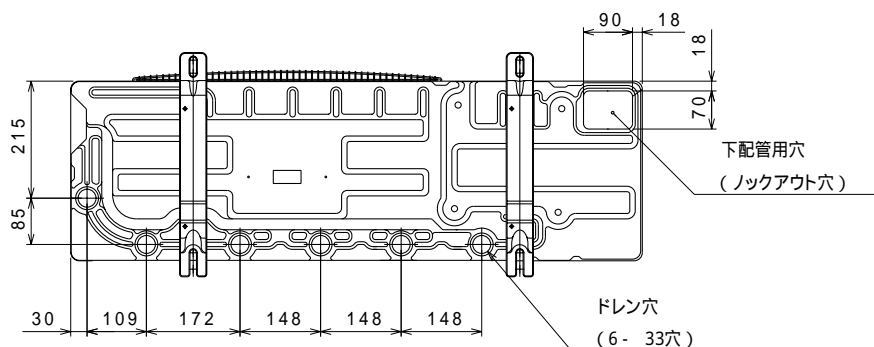
集中設置時、ユニット間には10mmのすきまを設けてください。



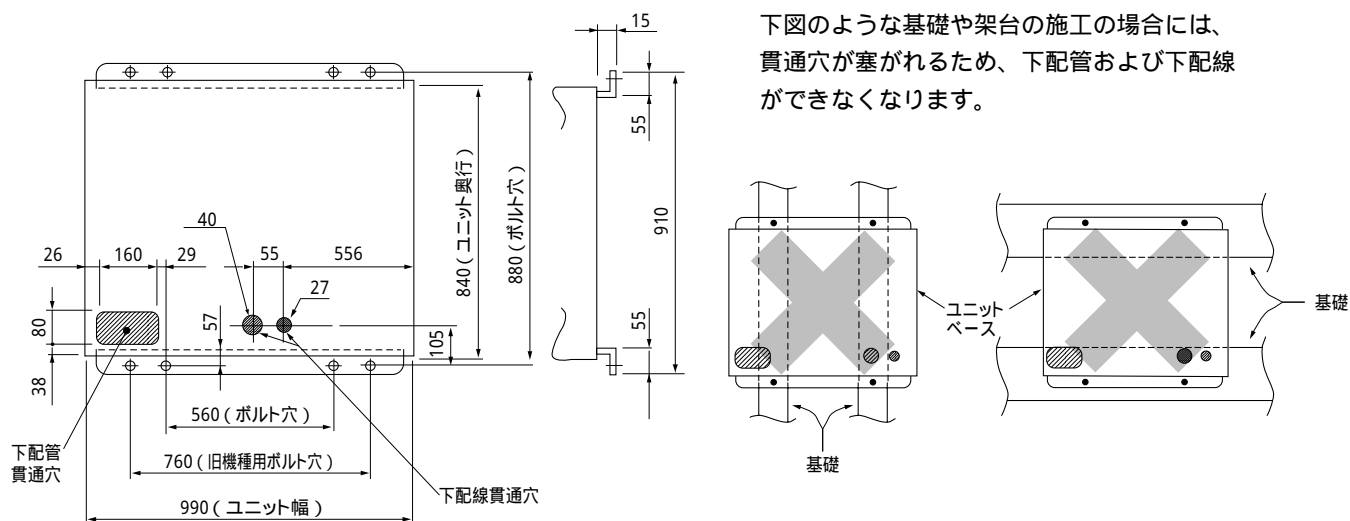
(4) 下配管・下配線時の注意

下配管または下配線を行う場合は、ベースの貫通穴を塞がないように基礎や架台の施工には注意してください。また、下配管する時にはユニットの底下に配管が通るように100mm以上の高さの基礎を設けてください。

① PU(H)K-P140AW-A



② PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

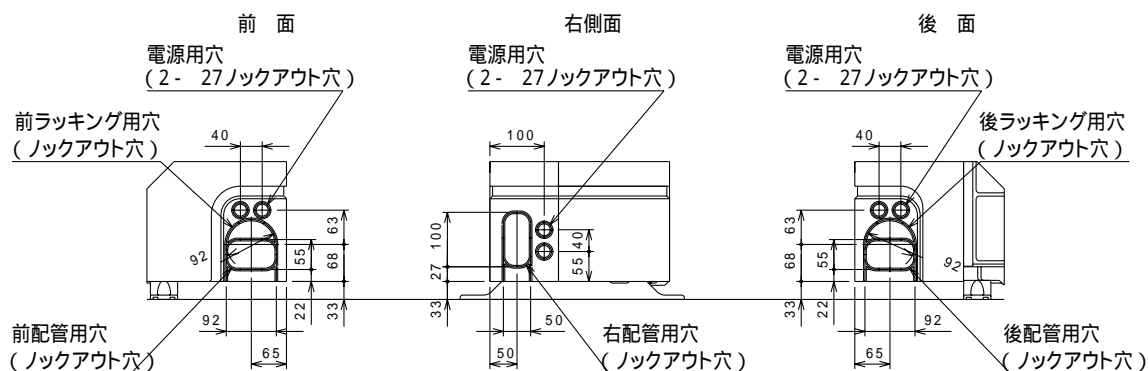


(5)冷媒配管取出し方向

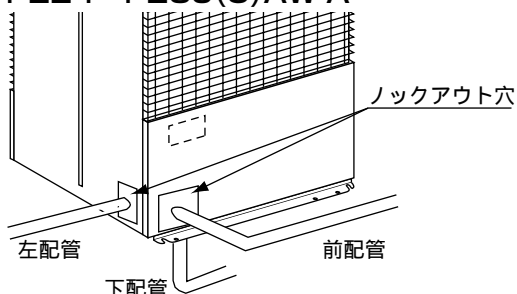
室外ユニットの冷媒配管取出し方向は、下図のように下配管、前配管、右配管（P140形）、左配管（P224，P280形）の3通りが可能です。後配管を行う場合は、別売の「後配管キット」を使用してください。

但し、集中設置、連続設置時等、ユニット右側または左側に他のユニットが連結された場合、そのユニットの右配管または左配管はできません。

①PU(H)K-P140AW-A



②PU(H)K-P224・P280(U)AW-A



注：下配管する場合は、本体の底下に配管が通るように高さ100mm以上の基礎を設けてください。

2.雪・季節風に対する注意

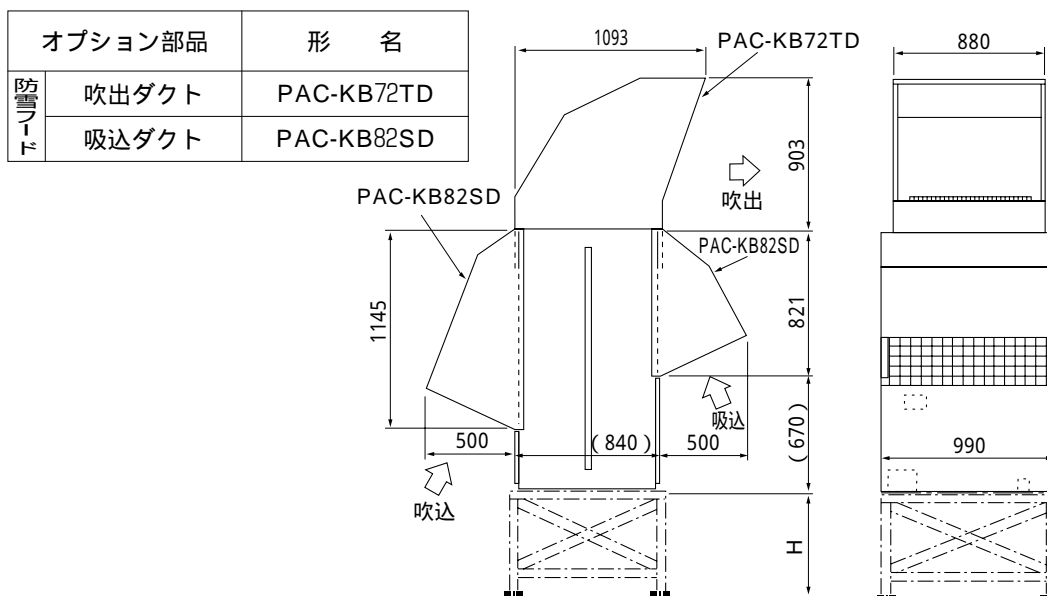
寒冷地域や積雪の予想される地域で、冬季にユニットを正常に運転するためには、十分な防風、防雪対策が必要です。その他の地域でも、季節風や降雪の影響による異常運転を防止するために、ユニットの設置に際して十分な配慮をお願いいたします。また、外気10以下で冷房運転を実施する場合、ユニットに直接風・雨・雪が当たる時は、ユニットの安定した運転を得るために、ユニットに吹出ダクト、吸込ダクトを取付けるようにしてください。

(1) 寒冷地域・積雪地域での暴風・防雪対策

下図に防雪フード組込図を示しますので参考にしてください。

防雪フード組込図

①PU(H)K-P224・P280(U)AW-A



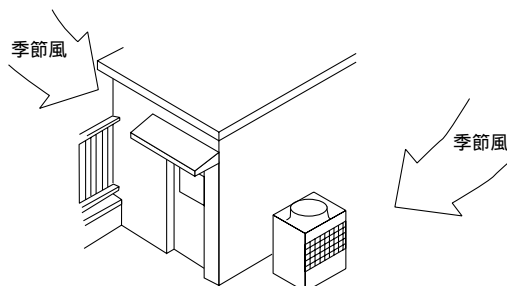
(注)

- (1)防雪架台の高さ< H >は、予想される積雪量の2倍程度としてください。また、架台はアングル鋼材等で組立て、風雪の素通りする構造とし、架台の幅はユニットの寸法より大きくならないよう決定してください。大きくするとその上に積雪します。
- (2)本図を参考として現地にて架台の製作、施工を実施してください。
 材質：亜鉛メッキ鋼板 1.2T
 塗装：ポリエステル粉体全面塗装
 色：マンセル 5Y8/1(本体同色)
- (3)寒冷地域での使用で、外気が氷点下以下の暖房運転を連続的に長期間使用する場合には、ユニットベースへのヒータ取付等を適宜行ない、ベース上の氷結を防止するようにしてください。

(2) 季節風対策

下記例を参考にして据付場所の実情に応じた適当な措置を施してください。

(注)ユニット設置時季節風が吹出口、吸込口の正面から当たらないように配慮してください。



(3) 雪に対する注意

積雪の予想される地域では、十分な防雪対策（雪よけ屋根等の設置）が必要です。ユニットの設置に際しては十分な配慮をお願いします。（槽の積雪について考慮した構造にしていますが、環境条件（雪質等）及び設置状況により、ユニットへの負担は変わります。従って、ユニットの故障防止及び安全のため積雪が0.5mを越える場合は早めに雪おろししてください。また、屋根から雪が落ちる場所への設置は避けてください。

3.室内ユニットの据付

⚠ 注意

ユニットは水平に据付ける。

- 傾いていると、水漏れや故障の原因になります。必ず水準器等で水平を確認してください。

⚠ 注意

梱包材の処理は確実に行う。

- 梱包材にはクギ等の金属あるいは木片等を使用していますので、放置しますとさし傷等の原因になります。
- 梱包用のポリ袋で子供が遊ばないように、破いてから廃却してください。窒息事故の原因になります。

⚠ 注意

製品の運搬には十分注意する。

- 20kg以上の製品の運搬は、一人では行わないでください。
- 製品によってはPPバンドによる梱包を行っていますが、危険ですので運搬の手段に使用しないでください。
- 熱交換器フィン表面で切傷する場合がありますので、素手で触れないでください。
- 室外ユニット等吊りボルトによる搬入を行う場合は、確実に4点支持で実施してください。3点支持等で運搬・吊り下げすると不安定になり、落下等の原因になります。

(1) ユニットの取付け

- 室内ユニットは、据付場所まで梱包のまま搬入してください。
- 現地手配のアンカーボルトを前項のサービススペースとの位置関係に留意して強固に設置してください。

アンカーボルトサイズ： 8 (M8ネジ)

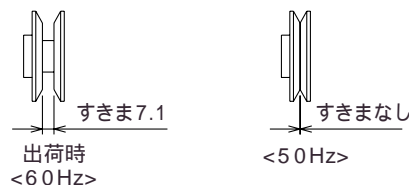
- 室内ユニットは必ず水平に据付けてください。傾斜して据付けますと、本体の重心が中央にあたるため倒れるおそれがあります。また、ドレン漏れ等の事故に至る場合がありますので、必ず水平に据付けてください。

⚠ 警告

本体が必ず水平になるように、据付けてください。

電動機プーリの調整 ※P125～335形の場合のみ

標準機外静圧の場合、電動機プーリ（可変プーリ）は60Hz地区用にセットしています。50Hz地区で使用する場合は、電動機プーリを右記寸法に調節してください。（調節方法は次ページを参照ください。）



ダクト接続時のお願い

- ダクトの接続には、ユニットとダクトの間にキャンパスダクトを入れてください。
- ダクトの部品には不燃材料を使用してください。
- ダクトおよびフランジには十分な断熱・防音を行ってください。
- アルミ製フレキシブルダクト等の軽い材料のご使用はダクト振動により騒音が出る場合がありますので、避けてください。
- 吸込ダクト接続する場合には、冷媒配管・ドレン配管のパネル貫通部をシール材（現地手配）にてシールしてください。

別売プレナムチャンバ使用時（オールフレッシュ用は取付けできません）

本機は、ダクトタイプの機種であり別売プレナムチャンバ使用時は、プーリの変更、調節が必要です。

- 別売プレナムチャンバの接続は、別売部品に付属の説明書に従い据付けてください。

本体前面の前上パネル取外し時のご注意

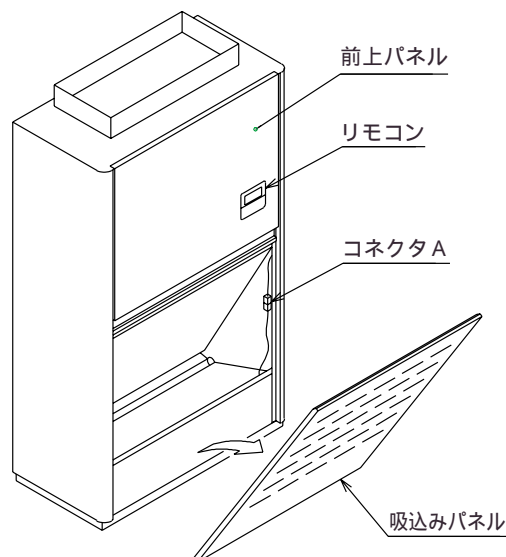
プーリおよびベルトの調整や交換、別売部品の組込み等で、前上パネル（リモコン埋め込みパネル）を取外す時は、パネルを取外す前に、リモコンへの配線を外す必要があります。

必ず、下記手順にて実施してください。

- (1) 本体下側の吸い込みパネルを手前に引いて外してください。
- (2) 右図に示すリモコン配線のコネクタAを抜いてください。

このコネクタは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すと、リモコン配線を破損する恐れがあります。

- (3) 前上パネルの固体ネジ2本を外して、パネル下側を手前に開き、リモコン配線（コネクタA）を上引き出してください。
- (4) 前上パネルを上を持ち上げて取外してください。
外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクタを挟まないように注意してください。



(2) プーリおよびベルトについてのお願い

●可変プーリの調節方法（※P125~335形のみ）

下記の調節方法に従って可変プーリのPC を調節してください。

プーリ本体とスライドピースを固定している止めネジをゆるめます。

スライドピースを左側にまわし、プーリ本体との隙間を0mmにしてください。

表1にて希望のPC に最も近いPC にスライドピースのまわし回転数を合わせます。

止めネジによりプーリ本体とスライドピースを固定します。（締付トルク：13.5N・m）

止めネジはプーリ本体のネジのない部分のV溝に挿入して固定します。

止めネジのはずれ防止のためネジロック（現地手配）をネジに塗布してください。（ネジロック：ThreeBond 1401C 相当品）

試運転を行いプーリのゆるみなど問題のないことを確認してください。なお、試運転終了後にスライドピースの止めネジにゆるみがないことを確認してください。

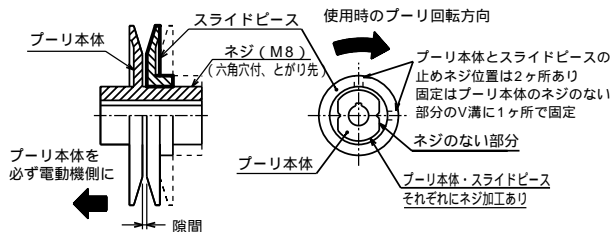
注、希望回転数が送風機性能線図の使用範囲内であることを確認してください。（使用範囲外では送風機の過電流継電器が作動します。）

注意

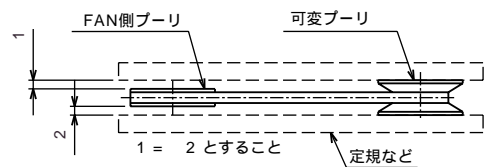
注1. プーリ本体が必ず電動機側になるように使用してください。
（スライドピースを電動機側にして使用しないでください。）図1参照

2. 可変プーリの調節の行った後は、必ず平行度（芯出し）の調節を行ってください。
（可変プーリはV溝の隙間が可変するため平行度（芯出し）の調節は図2のように定規等を当てて左右の隙間が同じになるようにしてください。）

3. 表1の隙間は参考値ですので、可変プーリのPC はスライドピースのまわし回転数であわせてください。



(図1) 可変プーリ



(図2) 可変プーリ使用時の平行度の調節

(表1) 可変プーリPC 一覧表

スライドピースのまわし回転数	0	1/4	1/2	3/4	1	1・1/4	1・1/2	1・3/4	2	2・1/4	2・1/2	2・3/4	3	3・1/4	3・1/2	3・3/4	4	4・1/4	4・1/2	4・3/4
隙間 (mm)	(0)	(0.4)	(0.8)	(1.1)	(1.5)	(1.9)	(2.3)	(2.6)	(3.0)	(3.4)	(3.8)	(4.1)	(4.5)	(4.9)	(5.3)	(5.6)	(6.0)	(6.4)	(6.8)	(7.1)
0.75kWモータ用可変プーリPC	100.0	98.8	97.5	96.3	95.1	93.9	92.6	91.4	90.2	89.0	87.7	86.5	85.3	84.1	82.8	81.6	80.4	79.1	77.9	76.7
1.5kWモータ用可変プーリPC	140.0	138.8	137.5	136.3	135.1	133.9	132.6	131.4	130.2	129.0	127.7	126.5	125.3	124.1	122.8	121.6	120.4	119.1	117.9	116.7
2.2kWモータ用可変プーリPC	150.0	148.8	147.5	146.3	145.1	143.9	142.6	141.4	140.2	139.0	137.7	136.5	135.3	134.1	132.8	131.6	130.4	129.1	127.9	126.7

●プーリの平行度・ベルト張りについて

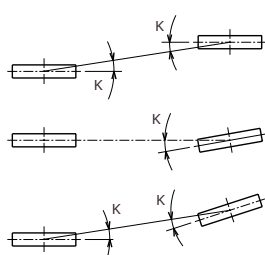
(1) ファンプーリと電動機プーリの平行度は、図3・表2の内容を満足するようにセットしてください。

(2) ベルトの一本当りの張力はたわみ量Lの値を右式にて計算し、 $L=0.016 \times C$ C:プーリの軸間距離(mm) その時のたわみ荷重Wが表3の範囲内になるようにセットしてください。

(3) ベルトがプーリになじんだ後（運転後24~28時間以後）ベルトの緩みがないか確認し、緩みがある場合には(2)項の適正張りに調整するようにしてください。また、新しいベルトの場合は、たわみ荷重Wの最大値の約1.3倍程度に調整するようにしてください。

(4) (3)項の初期のび調整の後、2000時間ごとに張り再調整を行ってください。

[ベルトは初期のび（約1%）を含め、ベルト周長が2%のびた時点が寿命です。（運転時間で約8000時間）]



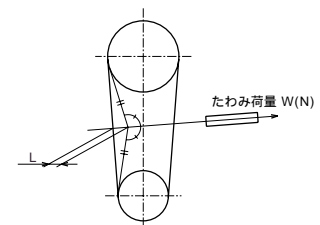
(図3) プーリの平行度

(表2) プーリ同士の平行度

プーリ	平行度	K (分)	備考
鑄鉄製プーリ		10以下	1m当り3mmのずれに相当

(表3) Vベルトのたわみ荷重

Vベルトの種類	たわみ荷重W(N)		備考
	モータプーリ径(mm)		
A形	65~80	11~14	P125-P167形標準の場合
	81~90	13~17	
	91~105	16~20	
	106~	19~24	P200-P335形標準の場合
B形		22~29	P400-P670形標準の場合



(図4) ベルトの張力

4.冷媒配管工事

配管の接続方法は、室内ユニットはフレアまたはロウ付接続、室外ユニットのガス管はフランジ接続、液管はフレア接続になっています。また、分岐部はロウ付接続です。

⚠警告

火気使用中に冷媒ガス(R407C)を漏らさないように注意してください。冷媒ガスがガスコンロ等の火に触れると分解して、有毒ガスを発生させガス中毒の原因になります。溶接作業は密閉された部屋で実施しないでください。また冷媒配管工事完了後、ガス漏れ検査を実施してください。

(1)注意事項

冷媒配管は下記材料をお使いください。

- 材 質：冷媒配管はJIS H3300「銅及び銅合金断目無管」のC1220のリン脱酸銅を使用してください。また、管の内外面は美麗であり、使用上有害なイオウ、酸化物、ゴミ、切粉、油脂、水分等（コンタミネーション）の付着がないものを使用してください。
- サイズ：3ページをご覧ください。

市販の銅管にはゴミが入っている場合がありますので、乾燥した不活性ガスにて吹き飛ばしてください。配管加工、または配管工事中に配管の中にゴミや水分を入れないでください。

曲げ箇所は、できるだけ少なくし、曲げ半径は、できるだけ大きくしてください。

指定冷媒配管が分岐管の径と異なる場合、異径接手を使用して径をあわせて使用してください。

冷媒配管制限（許容長さ、高低差、配管径）は必ず守ってください。故障や冷暖房不良の原因となります。

ロウ材は、JIS指定品の良質なものを使用してください。

冷媒は、液冷媒にて封入してください。

冷媒によるエアパージは絶対に行わないでください。必ず真空ポンプによる真空引きを行なってください。

配管の断熱を正しく行ってください。不十分な場合、冷暖房不良や露タレ等によって思わぬトラブルが発生する事があります。（182ページをご覧ください）

冷媒配管の接続は室外ユニットのボールバルブを全閉（工場出荷時仕様）のままとし、室内・室外ユニットと冷媒配管を全て接続して、冷媒洩れ試験、真空引き作業が終了するまで操作しないでください。

配管接続の際は、必ず無酸化ロウ付を行ってください。無酸化ロウ付を行わないと、圧縮機の破損につながる恐れがあります。

（配管接続及びバルブ操作の詳細は175ページをご覧ください）

雨天時に室外ユニットの配管接続作業はしないでください。

(2)冷媒追加充填量の算出方法

- 冷媒のオーバーチャージをしないよう十分に注意してください。オーバーチャージは圧縮機故障の原因になります。
- 冷媒は工場出荷時、室外ユニットに下表の値を封入していますが、延長配管分及び室内ユニット分は含まれていませんので、現地にて追加充填してください。(P140形は30mまで冷媒追加チャージ不要です。)

室外機形名	PU(H)K-P140AW-A	PU(H)K-P224AW-A	PU(H)K-P280AW-A	PU(H)K-P224UAW-A	PU(H)K-P280UAW-A
工場出荷時封入冷媒量	4.6kg	6.0kg	6.5kg	7.0kg	7.5kg

①PU(H)K-P140AW-A形

機 種	許容配管長	冷媒追加チャージ量 (kg)			
		31m～35m以下	36m～40m以下	41m～45m以下	46m～50m以下
PUHK-P140	50m以下	0.3kg	0.6kg	0.9kg	1.2kg
PUK-P140	50m以下	0.3kg	0.3kg	0.6g	0.6kg

②PU(H)K-P224・280(U)AW-A形

計算式

追加充填量は、延長配管の液管サイズとその長さ(単位:m)で算出します。

- ・延長配管長50(m)までの場合

$$\text{追加充填量 (kg)} = 0.05 \times L + K$$

L:液管 12.7の延長配管長(m)

K:室内ユニット1回路分0.5(kg)

- ・延長配管長50～100(m)までの場合

$$\text{追加充填量 (kg)} = 0.11 \times (L - 50) + K + P$$

L:液管 12.7の延長配管長(m)

K:室内ユニット1回路分0.5(kg)

P:延長配管長50(m)分2.5(kg)

(3)配管接続、バルブ操作のご注意 室外ユニット

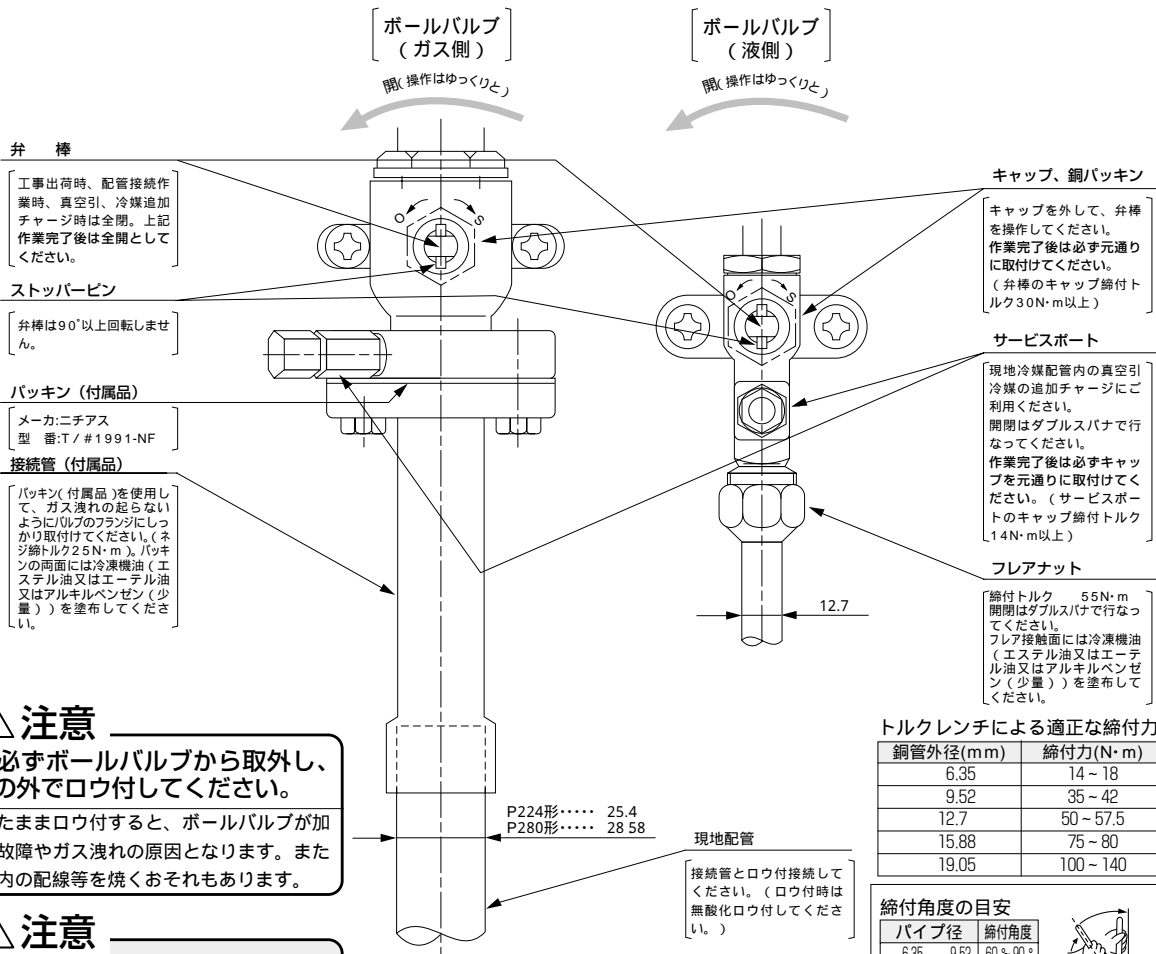
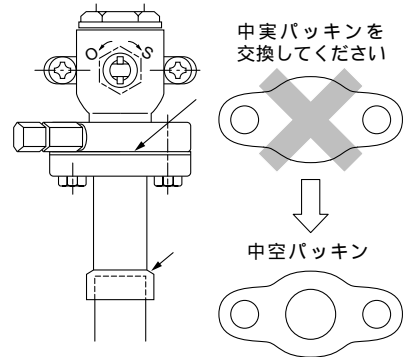
- 配管接続、バルブ操作は下図にしたがって確実に行ってください。
- ガス側接続管は組付けて出荷しています。(右図参照)

フランジ付接続管へのロウ付の際には、フランジ付接続管をボールバルブから取り外し、ユニットの外部にてロウ付してください。フランジ付き接続管を取り外している間、ボールバルブ内へのゴミの侵入を防止するため、チュウイフダの裏面に貼り付けているシールを剥がして、ボールバルブのフランジ面に貼付けてください。出荷時には、フランジ間にガス漏れ防止のため中実のパッキンを入れて冷媒回路を遮断しています。

このままの状態では運転できませんので、配管接続に際しては必ず付属の中実パッキンと交換してください。

中空パッキン取付けに際しては、フランジのシート面、及びパッキンにゴミ等の付着がないように拭き取ってください。パッキンの両面には冷凍機油(エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン〔少量〕)を塗布してください。

- 真空引き、冷媒チャージ後は必ず、ハンドルを全開状態にしてください。バルブを閉めたまま運転しますと冷媒回路高圧側または低圧側が異常圧力となり、圧縮機、四方弁等の損傷を招きます。
- 計算式により、追加冷媒量を決定し、配管接続作業完了後にサービスポートから追加チャージを行ってください。
- 作業完了後、サービスポート及びキャップはガス漏れの起らないようしっかり締付けてください。



⚠ 注意

接続管は必ずボールバルブから取外し、ユニットの外でロウ付してください。

- 取りつけたままロウ付すると、ボールバルブが加熱されて故障やガス洩れの原因となります。またユニット内の配線等を焼くおそれもあります。

⚠ 注意

フレア・フランジ接続部に塗布する冷凍機油は、エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン(少量)を使用してください。

- 鉛油が多量に混入すると、冷凍機油劣化の原因となります。

キャップ、銅パッキン
キャップを外して、弁棒を操作してください。作業完了後は必ず元通りに取付けてください。(弁棒のキャップ締付トルク30N・m以上)

サービスポート
現地冷媒配管内の真空引冷媒の追加チャージにご利用ください。開閉はダブルスパナで行なってください。作業完了後は必ずキャップを元通りに取付けてください。(サービスポートのキャップ締付トルク14N・m以上)

フレアナット
締付トルク 55N・m
開閉はダブルスパナで行なってください。フレア接触面には冷凍機油(エステル油又はエーテル油又はアルキルベンゼン〔少量〕)を塗布してください。

トルクレンチによる適正な締付力

銅管外径(mm)	締付力(N・m)
6.35	14~18
9.52	35~42
12.7	50~57.5
15.88	75~80
19.05	100~140

締付角度の目安

パイプ径	締付角度
6.35	60°~90°
12.7	30°~60°
19.05	20°~35°



トルクレンチが無い場合、次の方法を目安にします。フレアナットをスパナで締付けて行くと締付トルクが急に増すときがあるのでそこで一度とめてそれから更に上表の角度だけ回転させます。

冷媒配管・ドレン配管仕様

冷媒配管・ドレン配管とも露タレを防止するため、十分な防露断熱工事を施工してください。
市販の冷媒配管を使用の場合には、液管・ガス管ともに必ず市販の断熱材（耐熱温度100 以上・厚さ、下表による）を巻いてください。室内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材（発泡ポリエチレン比重0.03・厚さ、下表による）を巻いてください。

断熱材の厚さは、配管サイズにより選定してください。

配管サイズ	断熱材の厚さ
6.4mm～25.4mm	10mm以上
28.6mm～38.1mm	15mm以上

最上階又は高温多湿の条件下で使用する場合は、上記の厚さ以上にする必要があります。
客先指定の仕様がある場合は、それに従ってください。

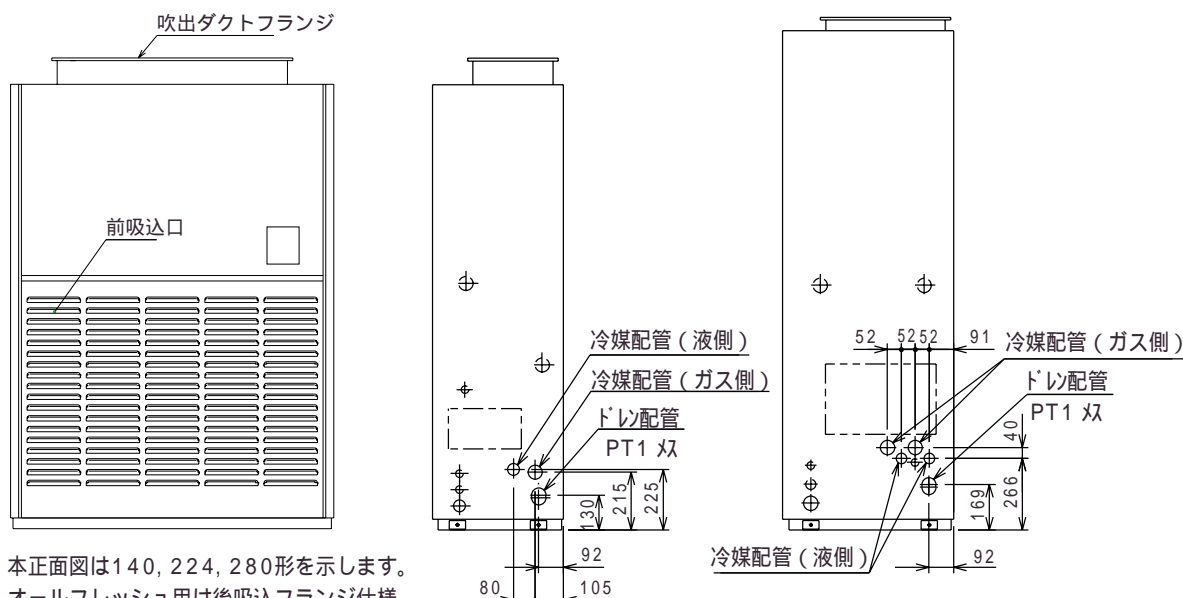
1.冷媒配管・ドレン配管サイズ

項目	形名	P140形 P125形 (中温用) P167形 (オールフレッシュ用)	P224形 P200形 (中温用) P265形 (オールフレッシュ用)	P280形 P250形 (中温用) P335形 (オールフレッシュ用)	P450形 P400形 (中温用) P530形 (オールフレッシュ用)	P560形 P500形 (中温用) P670形 (オールフレッシュ用)
	冷媒配管	液管	9.52	12.7	12.7	12.7×2
	ガス管	19.05	25.4	28.6	25.4×2	28.6×2
ドレン配管		1Bオネジ接続 34 鋼管, VP25			1 1/4Bオネジ接続 42.7 鋼管, VP30	

塩ビ管接続の場合、接続用ソケットは現地手配願います。

2.冷媒配管・ドレン配管位置

(単位 mm)



1. 本正面図は140, 224, 280形を示します。
2. オールフレッシュ用は後吸込フランジ仕様となりますので前吸込口はありません。

140, 224, 280形	450, 560形
125, 200, 250形 (中温用)	400, 500形 (中温用)
167, 265, 335形 (オールフレッシュ用)	530, 670形 (オールフレッシュ用)

- 1 配管接続は、左・右可能です。(左右同じ位置です。)
但し、450, 560形、400, 500形 (中温用)、
530, 670形 (オールフレッシュ用) の場合、
別売加湿器 (透湿膜除く) を組込んで
右配管にする場合は、別売の右配管部品が必要です。

冷媒配管・ドレン配管の接続

1. 冷媒配管工事

本工事を実施する場合は、必ず室外ユニットの据付工事説明書と照らし合わせて行ってください。

- このエアコンは、室外ユニットからの冷媒配管を各室内ユニットに接続する方式になっています。
- 配管長さ、許容高低差等の制限は、室外ユニットの説明書を参照してください。

冷媒配管注意事項

- ロウ付は必ず無酸化ロウ付を行い、配管内に異物、水分が混入しないようにしてください。
- ロウ付作業は必ずフィルターを取外して行ってください。

警告

据付けや移設の場合は、冷凍サイクル内に指定冷媒（R407C）以外のものを混入させないでください。空気を混入すると、冷凍サイクル内が異常高圧になり、破裂等の原因になります。

P140・224・280形 P125・200・250形(中温用) P167・265・335形(オールフレッシュ用)

付属の配管を用いて下記要領にてロウ付接続してください。

- (1) 本体下側の吸込パネルを外し、フィルターを取外してください。
- (2) 左側面のサービスパネルを取外してください。(ネジ6本)
- (3) <右配管取り出しの場合> 右側の冷媒配管用ノックアウト穴を打ち抜いてください。
<左配管取り出しの場合> 左側の冷媒配管用ノックアウト穴を打ち抜いてください。
- (4) 図1・図2に示すように付属配管、現地配管をサービス点検口及び、前面からロウ付接続を行ってください。
- (5) 図2に示すようにパイプカバーを取付けてください。
- (6) サービスパネル、フィルタ、吸込パネルを元通り取付けてください。

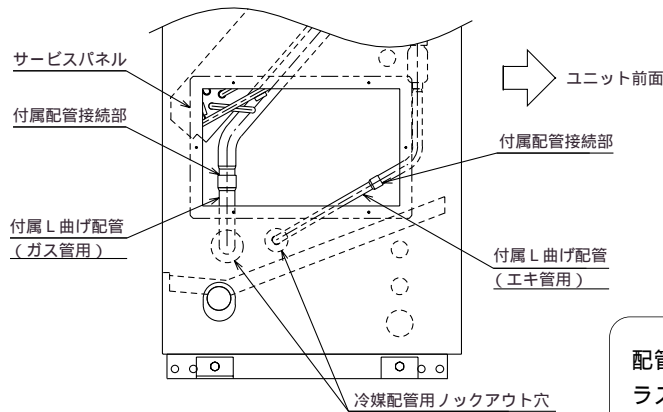


図1
(左側面図)

注意

配管ロウ付時、周囲の部材（ゴム、グラスウール、配線など）にトーチの炎を当てないようにご注意ください。

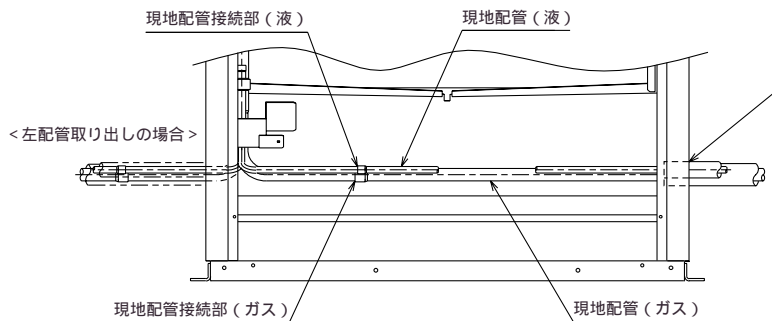


図2
(正面図)

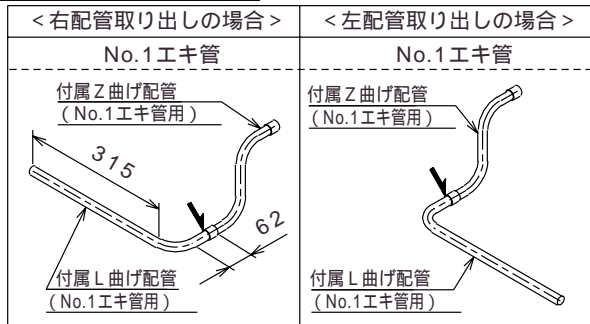
- ・サイドパネル貫通穴とパイプカバー（現地手配）は、隙間がないようにコーキングしてください。
- ・液管、ガス管のパイプカバーは、サイドパネルの内側に50mm以上入れてください。
- ・現地配管パイプカバーの中に、配管の結露水が浸入しないように、コーキング等の水切り処置をしてください。

左配管取り出しの場合も同様

P450・560形 P400・500(中温用) P530・670(オールフレッシュ用)

付属の配管を用いて下記要領にてロウ付接続してください。

- (1) 本体下側の吸込みパネルを外し、フィルターを取外してください。
- (2) 左側面のサービスパネルを取外してください。
(ネジ10本)
- (3) <右配管取り出しの場合> 右側の冷媒配管用ノックアウト穴を打ち抜いてください。
<左配管取り出しの場合> 左側の冷媒配管用ノックアウト穴を打ち抜いてください。
- (4) 図3に示すように付属NO.1エキ管をロウ付接続してください。
- (5) 図1・図2に示すように付属配管、現地配管をサービス点検口及び、前面からロウ付接続を行ってください。
注1. 右配管取り出しする場合、ロウ付順序は下記の通り実施してください。
現地配管接続部(図2) 付属配管接続部(図1)
注2. 現地配管接続部ロウ付時、周囲の部材にトーチの炎を当てないようにご注意ください。
- (6) 図2に示すようにパイプカバーを取付けてください。
- (7) サービスパネル、フィルタ、吸込みパネルを元通り取付けてください。

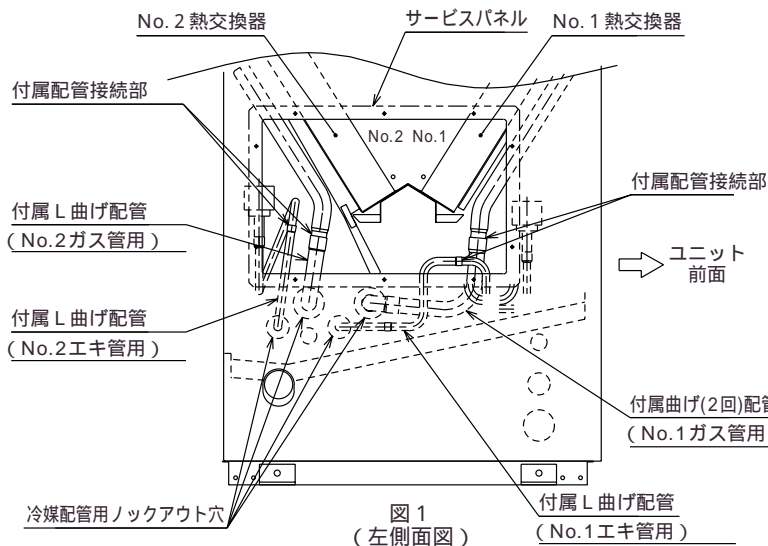


1. 印はロウ付け箇所を示します。
2. 図中寸法はNo.2エキ配管と見分けるための直管部寸法を示します。

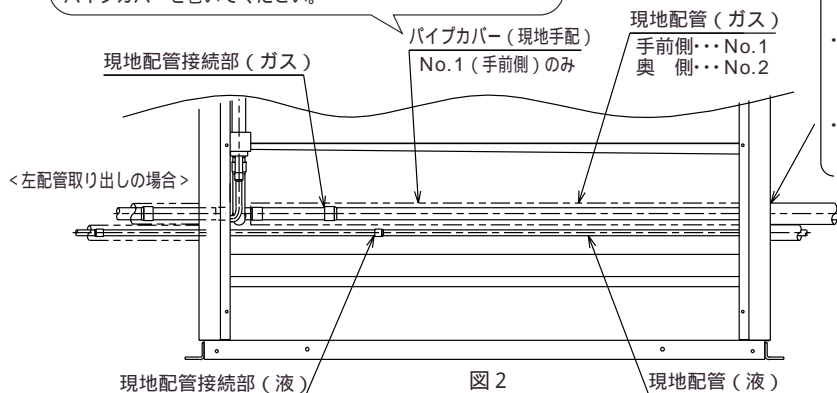
図3

注意

- ・No.1回路とNo.2回路を間違わないように接続し、室外機との対応付けを確実に行ってください。
- ・配管ロウ付時、周囲の部材(ゴム、ガラスウール、配線など)にトーチの炎を当てないようにご注意ください。



左配管取り出し時のNo.1ガス管は、前面からの後ろフィルタ脱着時に手が触れる恐れがあるため、本体内直管部の奥までパイプカバーを巻いてください。



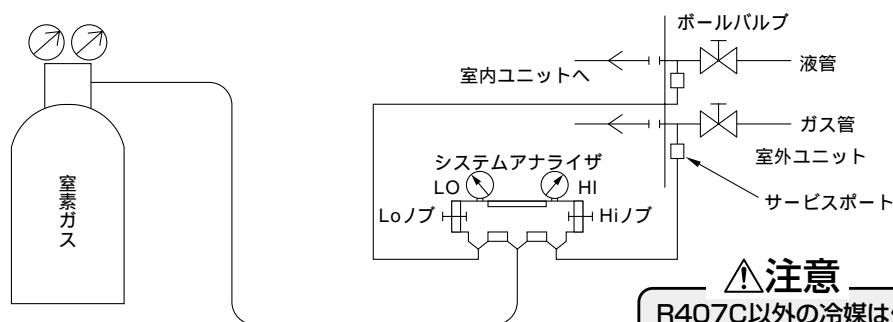
- ・サイドパネル貫通穴とパイプカバー(現地手配)は隙間がないようにコーキングしてください。
- ・液管、ガス管のパイプカバーはサイドパネルの内側に50mm以上入れてください。
(右配管時のNO.1ガス管は除く)
- ・現地配管パイプカバーの中に配管の結露水が浸水しないようにコーキング等の水切り処置をしてください。
左配管取り出しの場合も同様

(4) 気密試験・真空引き・冷媒充填

気密試験と真空引きについては、配管接続完了後に実施してください。

●気密試験

気密試験は下図のように、室外ユニットのボールバルブを閉じたまま、室外ユニットのボールバルブについているサービスポートから接続配管と室内ユニットに加圧して行ないます。(必ず、液管・ガス管の両方のサービスポートより加圧してください。)



⚠注意

R407C以外の冷媒は使用しないでください。

- R407C以外 (R22等) を使用すると、塩素により冷凍機油劣化等の原因になります。

気密試験の方法は、冷凍機油劣化への影響が大きいので下記の制約事項を必ず遵守してください。また、非共沸混合冷媒 (R407C等) はガス漏れにより組成変化が生じ、性能に影響しますので、気密試験は慎重に実施してください。

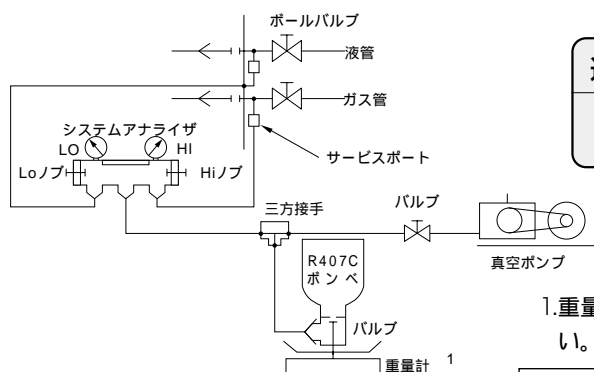
気密試験の手順	制約事項
<p>1. 窒素ガス加圧の場合</p> <p>(1) 窒素ガスにて設計圧力(3.3MPa)に加圧後、1日程度放置し、圧力が低下していなければ良好です。 但し、圧力が低下している場合、漏れ箇所は不明なので次の泡式で行なってもよい。</p> <p>(2) 上記加圧後、フレア接続部・ロウ付部・フランジ部等漏れが予想されるすべての箇所に泡剤(キューボフレックスなど)をスプレーし、泡の発生を目視確認する。</p> <p>(3) 気密試験後、泡剤をよく拭きとる。</p>	<p>× 加圧ガスに可燃ガスや空気 (酸素) を使用すると爆発の危険があります。</p>
<p>2. 冷媒ガスと窒素ガスで加圧の場合</p> <p>(1) ボンベより R407C を液で封入し、ガス圧力で約0.2MPa程度に加圧後、窒素ガスにて設計圧力(3.3MPa)に加圧する。 但し、一気に加圧しないで、途中加圧を停止し、圧力低下のないことを確認する。</p> <p>(2) R407C 対応の電気式リークディテクタでフレア接続部・ロウ付部・フランジ部等漏れが予想されるすべての箇所のガス漏洩を検査する。</p> <p>(3) 泡式のガス漏洩検査と併用しても良い。</p>	<p>× 機器に表示されている冷媒以外は、使用不可です。</p> <p>× ボンベよりガスで封入するとボンベ内冷媒の組成が変化します。</p> <p>× 圧力計・チャージングホース等の部品は R407C 専用のものを使用してください。</p> <p>× R22用電気式リークディテクタでは、漏洩検知できません。</p> <p>× 炎色式(ハライドトーチ)は使用不可です。(検出不可能)</p>

●真空引き

真空引きは、下図のように、室外ユニットのボールバルブを閉じたまま、室外ユニットのボールバルブについているサービスポートから接続配管と室内ユニット共真空ポンプにて実施してください。(必ず、液管・ガス管の両方のサービスポートから行なってください。)

真空度が650Pa[abs]に到達後、1時間以上真空引きをしてください。その後、真空ポンプを止めて1時間放置し、真空度が上昇していないことを確認してください。(真空度の上昇幅が130Paより大きい場合は、水分が混入している可能性がありますので、乾燥窒素ガスを0.05MPaまで加圧して、再度真空引きを実施してください。)最後に、液管から液冷媒にて封入してください。また、運転時に冷媒が適正量になるようガス管から冷媒量調整をしてください。

冷媒によるエアパーズは、絶対に行なわないでください。



⚠注意

逆流防止器付真空ポンプを使用してください。

- 冷媒回路内に真空ポンプ油が逆流し、機器の冷凍油劣化等の原因になります。

1.重量計は精度の高いもの(0.1kgまで測定可能なもの)を使用してください。

2.真空ポンプは逆流防止器付のものを使用してください。
(推奨真空度計 ROBINAIR 14010 Thermistor Vacuum Gauge.)
また、真空ポンプは、5分運転後で65Pa[abs]以下のものを使用してください。

(注)・冷媒は必ず適正量を追加してください。(冷媒追加量については174ページをご覧ください。)また、必ず液冷媒にて封入してください。

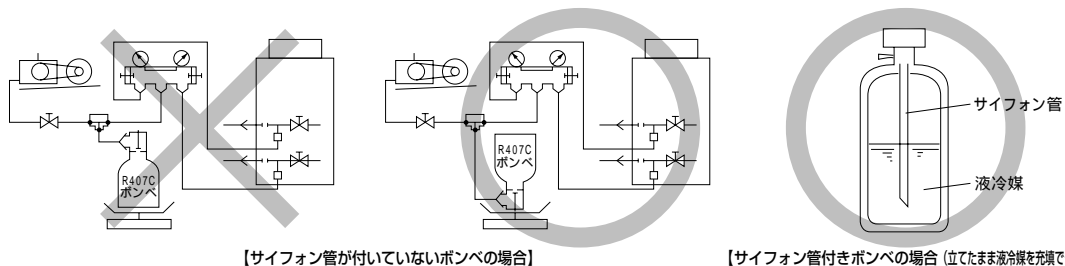
冷媒は多くても少なくてもトラブルの原因になります。

- ・ゲージマニホールド、チャージングホース等の部品は機器に表示されている冷媒専用のものを使用してください。

●冷媒充填

機器に使用しています冷媒は、非共沸混合冷媒のため充填に関しては液の状態で行なう必要があります。よって、ポンベより機器に冷媒充填するときに、サイフォン管が付いていないポンベの場合は下図のようにポンベを逆さにして充填します。なお、右下図のようなサイフォン管付きポンベの場合は、立てたまま液冷媒を充填することができますので、ポンベの仕様には注意してください。

万一、ガスの状態で冷媒充填した場合、機器は新しい冷媒に入替え、冷媒の残ったポンベは使用しないでください。



【サイフォン管が付いていないポンベの場合】

【サイフォン管付きポンベの場合 (立てたまま液冷媒を充填できる)】

⚠ 警告

据付けや移設の場合は、機器に表示されている冷媒(R407C)以外の異なった冷媒を入れないでください。

- 異なった冷媒や空気が混入すると、冷凍サイクルが異常となり、破裂等の原因になります。

⚠ 注意

チャージングシリンダを使用しないでください。

- チャージングシリンダを使用すると冷媒の組成が変化し、能力不足等の原因になります。

⚠ 注意

工具類の管理は従来以上に注意してください。

- 冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。

⚠ 注意

従来の冷媒に使用している下記に示す工具類は使用しないでください。

(ゲージマニホールド・チャージホース・ガス洩れ検知器・逆流防止器・冷媒チャージ用口金・真空度計・冷媒回収装置)

- 従来の冷媒・冷凍機油が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 水分が混入しますと、冷凍機油劣化の原因になります。
- 冷媒中に塩素を含まないため、従来の冷媒用ガス洩れ検知器では反応しません。

●冷媒漏れ時の対応

●冷媒漏洩時の追加充填

恒久対策 冷媒漏洩時は、ユニット内の冷媒を回収し、規定量の冷媒を充填するようお願いします。

- ・ユニット内に冷媒が残ったまま追加充填をしますと能力の低下、圧力の異常上昇等が起こる可能性がありますので、絶対に行わないでください。

応急対応 冷媒不足が原因によるトラブル時、すぐに恒久対策ができない場合には、とりあえず冷媒の追加チャージを行ってください。その後、できるだけ早急に**恒久対策**を実施してください。

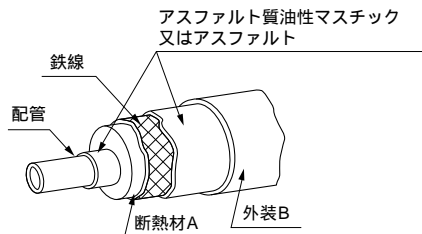
●既設配管対応

本ユニットは、既設配管を流用することはできません。

既設の配管内部には、従来の冷凍機油や冷媒中の塩素が多量に含まれ、これらの物質が新しい機器の冷凍機油劣化等の原因になります。

(5)冷媒配管の断熱

冷媒配管の断熱は、必ず液管とガス管とを別々に十分な厚さの耐熱ポリエチレンフォームで、室内ユニットと断熱材及び断熱材間の継目に隙間のない様に行ってください。
断熱工事が不完全だと露タレ等が発生することがありますので、特に天井裏内の断熱工事は注意が必要です。



断熱材 A	グラスファイバー + 鉄線	
	接着剤 + 耐熱ポリエチレンフォーム + 圧着テープ	
外装 B	屋 内	ビニルテープ
	床下露出	防水麻布 + ブロンズアスファルト
	屋 外	防水麻布 + アエン鉄板 + 油性ペイント

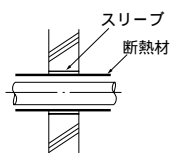
(注) 被覆材にポリエチレンカバーを使用する場合は、アスファルトルーフィングは不要です。

悪い例	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス管と液管を同時に断熱してはならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●接続部も十分断熱すること。
	<ul style="list-style-type: none"> ●良い例 	

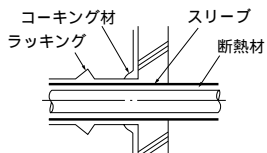
(注) 電線の断熱処理は、行わないでください。

貫通部

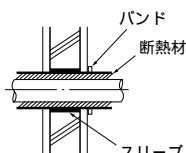
○内壁 (いんぺい)



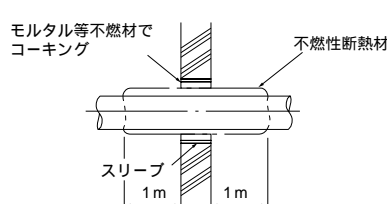
○外壁



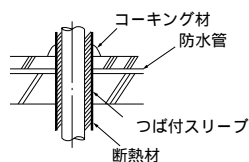
○外壁 (露出)



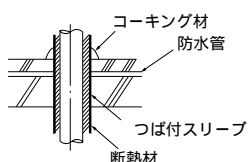
○防火区画、界壁等における貫通部



○床 (防水)



○屋上パイプシャフト



モルタルにてすき間を充填する場合は、貫通部を鋼板にて被覆し断熱材がへこまないようにしてください。またその部分は不燃性断熱材を使用し、被覆材も不燃性(ビニルテープ巻きはダメ)を使用してください。

●現地配管の断熱材は、下表の規格を満足していることを確認してください。

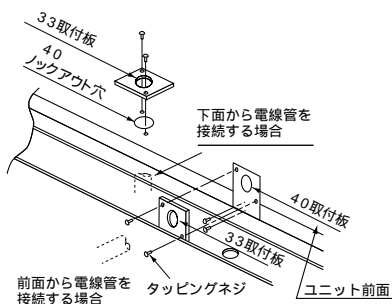
	配管サイズ	
	6.35 ~ 25.4mm	28.58 ~ 38.1mm
厚さ	10mm以上	15mm以上
耐熱温度	100℃以上	

最上階など高温多湿の条件下で使用する場合は、左表以上の厚さが必要となる場合があります。客先指定の仕様がある場合は、左表の規格を満足する範囲でそれに従ってください。

■電線管取付板の使用方法

①PU(H)K-P224・P280(U)AW-A

電線管取付板（33、40）が付属しています。使用する電線管の外径から取付板を選択し右図のように取付けてください。



5. ドレン配管工事（室内ユニット）

ドレン配管は室外側（排水側）が下り勾配（1/100以上）となるようにしてください。

ドレン配管の横引きは20m（高低差は含みません）以下にしてください。また、ドレン配管が長い場合には途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。エア抜き管は絶対につけないでください。ドレンが吹出場合があります。

塩ビ管を使用する場合、必ず塩ビ系接着剤にて漏れのないように確実に接続してください。

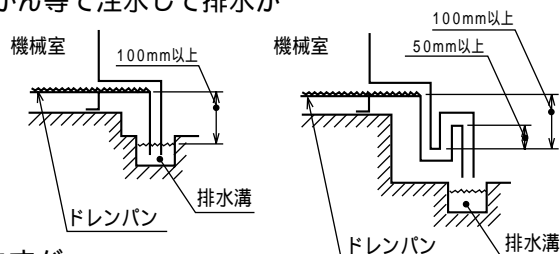
ドレン配管から空気の吸込を防止するため、下図のようなドレントラップを必ず設けてください。

集合配管は、本体ドレン出口より10cm位低い位置に集合配管がくるようにし、かつ集合配管は、VP35以上のもので下り勾配が1/100以上になるように施工してください。

ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。

ドレン配管の出口は臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。

ドレン排水テストをしてください。ドレンパンにやかん等で注水して排水が確実に行われることを確認してください。



この機種のドレンパンは出荷時は水平となっていますが、本体側のネジの固定位置を変更して傾斜を設けることが可能です。

傾斜を設ける場合は、下記要領にて作業を行ってください。

必ずユニット据付前に作業してください。

ガードを取外してください。（ネジ3本）

傾斜させたい側のネジを取外してください。（ネジ1本）

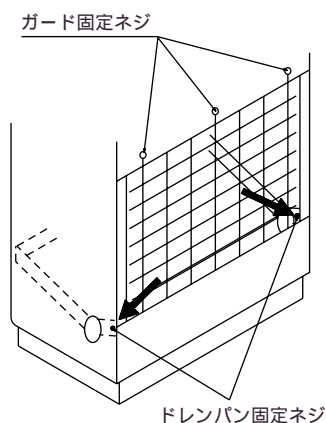
ネジを外した側を下方へ移動させてください。（約10mm移動します）

取外したネジを取付けてください。

ガードを元どおりに取付けてください。

注1.ドレンパンを傾斜させますと、ユニット本体に接続するドレン管も傾斜します。（約0.5°）

2.オールフレッシュ用の場合、ガード取外し作業は不要です。



⚠ 注意

ドレン配管は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると水漏れし、家財等を濡らす原因になることがあります。

作業時は必ず保護具を着用してください。ケガ等の原因になることがあります。

6.電気工事

(1)制御箱及び配線接続位置

■室外ユニット

①PU(H)K-P140AW-A

端子盤の電源側(左側)に電源配線を接続してください。
 (逆相、または欠相の場合、室外基板上的LED1とLED2の点滅表示で判定できますので、電気品箱のシートの説明書を参照してください。)

1)配線工事

配線の取入れ方向

前・後・右・下の4方向から取入れできます。

(前面または右面、後面から取入れの場合は、電源穴)
 (ノックアウト)をご利用ください。)

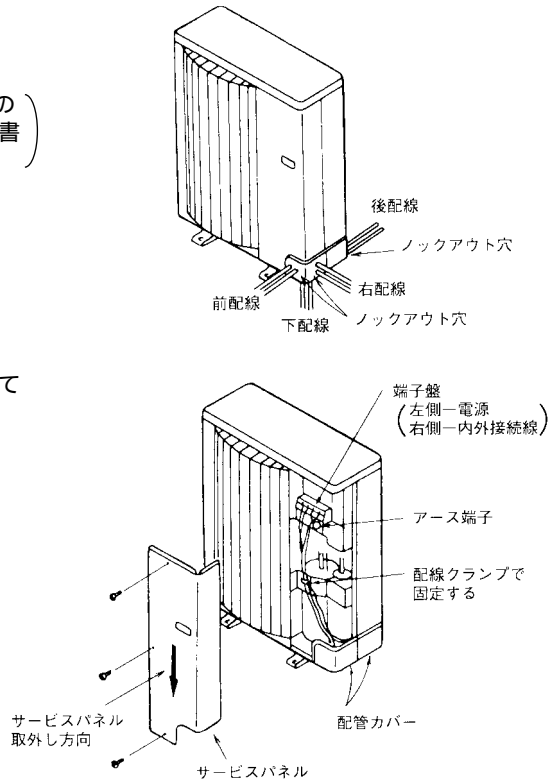
サービスパネル(ネジ3本)を取外してください。

配線は図のように行ない、ネジの緩みのないよう接続してください。

(配線はクランプで確実に固定してください。)

必ずD種(第3種)接地工事を行ってください。

<アース仕様> 接地抵抗100 以下
 アース線の太さ P140形・・・ 2.0mm以上



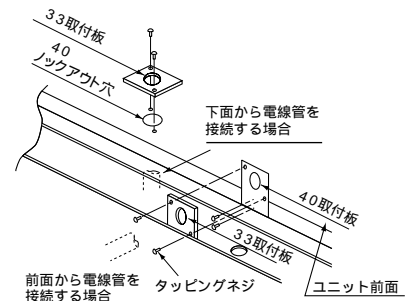
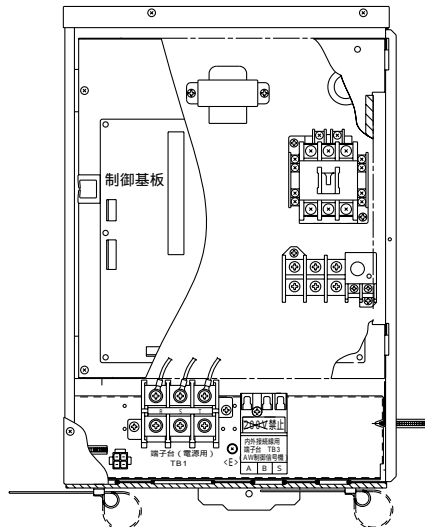
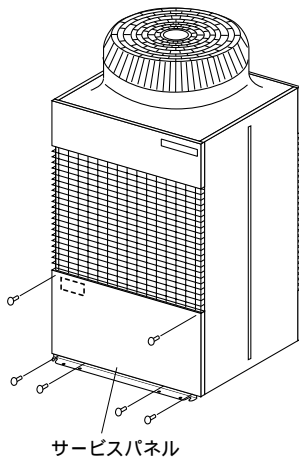
②PUK-P224・P280(U)AW-A

①室外ユニット

- (a) サービスパネルは、上部及び下部のネジ計6本を外し、手前に引くと、外せます。(下図参照)
- (b) 制御箱カバーは、正面の止めネジ(2本)を外し、取り外してください。室内外伝送線は、伝送用端子台(TB3)に、シールド線使用の場合、シールドアースは、TB3(S)へ接続してください。

②電線管取付板の使用方法

電線管取付板(33、40)が付属しています。使用する電線管の外径から取付板を選択し下図のように取付けてください。



■室内ユニット

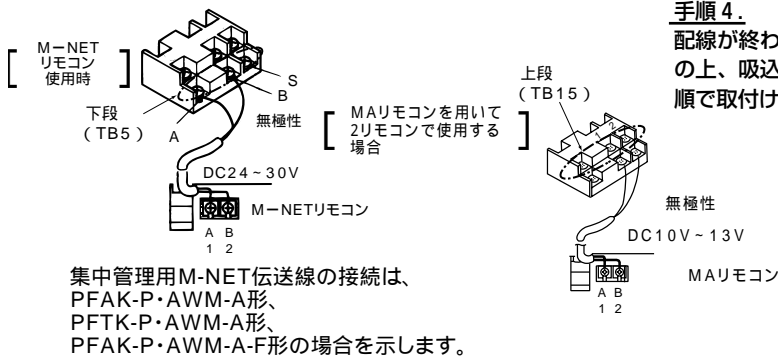
P140, P125形（中温用）、P167形（オールフレッシュ用）は、手順が異なりますのでご注意ください。

⚠ 注意

現地側電気配線をクランプで確実に固定してください。

⚠ 注意

電源配線は、張力がかからないように配線工事をしてください。断線したり、発熱・火災の原因になります。



手順1.

A部穴2ヶ所のネジを外し、制御箱上段側を手前に倒してください。

<P140, P125形（中温用）、P167形（オールフレッシュ用）のみ>

手順2.

本体下側の吸込パネルを外し、制御ボックスのカバーを外してください。

手順3.

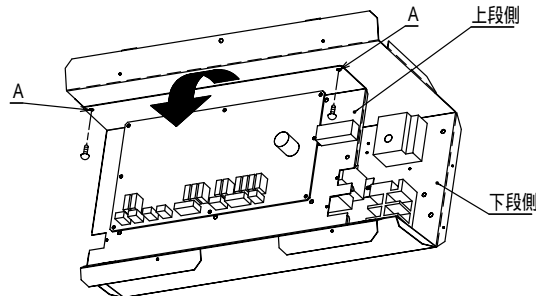
図のように、電源配線、室外伝送線配線及びリモコン配線（2リモコンの場合）を行ってください。制御ボックスの取外しは不要です。

手順4.

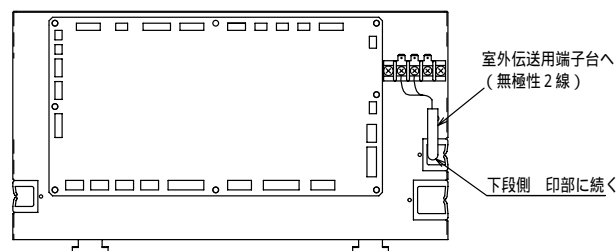
配線が終わりましたら、ゆるみ・誤りのないことを再度確認の上、吸込パネル及び制御ボックスカバーを取外しとは逆の手順で取付けてください。

本体左側面から配線を取り入れる場合、配線は制御箱の裏面を通し、下図の位置から制御箱内に接続してください。このとき、三相電源配線と伝送線配線（室内外伝送線、MAリモコン線、集中管理用M-NET伝送線）の経路を必ず分けた経路としてください。

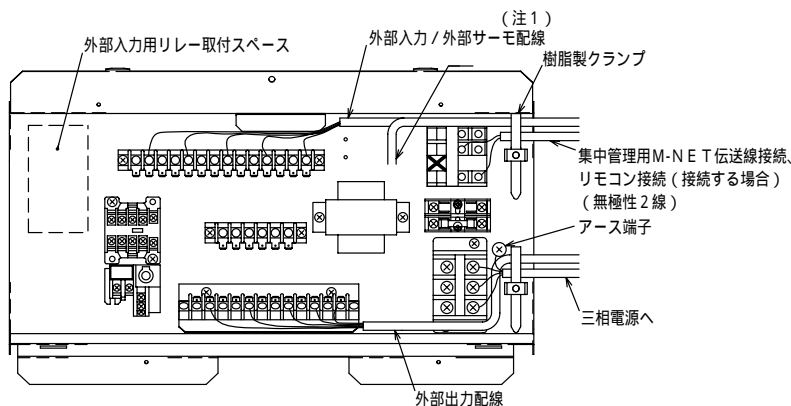
P140形, P125形（中温用）, P167形（オールフレッシュ用）



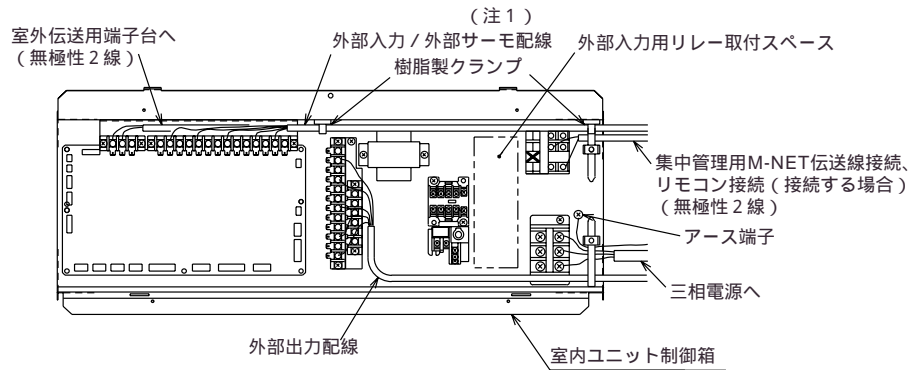
室内ユニット制御箱上段側



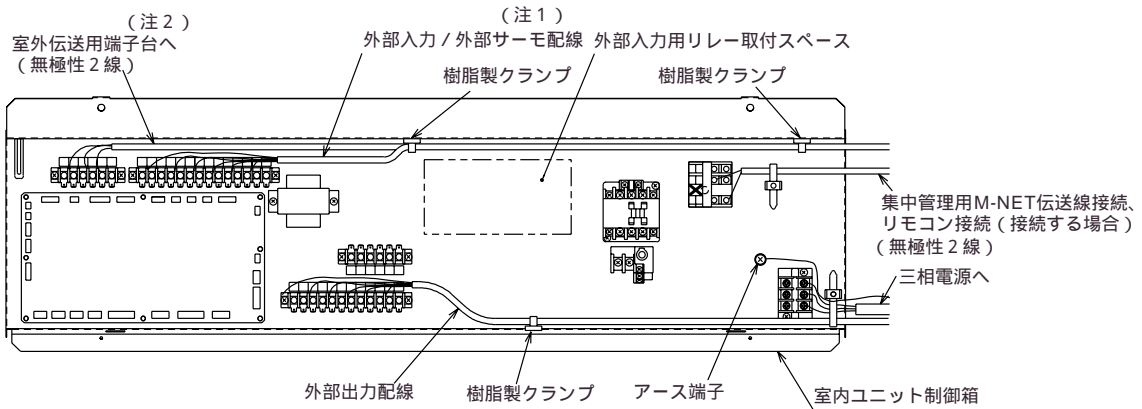
室内ユニット制御箱下段側



P224・280形, P200・250形 (中温用), P265・335形 (オールフレッシュ用)



P450・560形, P400・500形 (中温用), P530・670形 (オールフレッシュ用)



- 注1 . 外部入力用リレーを200V電源で本体制御箱に取付ける場合
低電圧配線の経路とは必ず分けた経路としてください。
- 注2 . 室内外伝送線の端子台は必ずA11、B11をNo.1回路側室外機、
A12、B12をNo.2回路側室外機に接続してください。
- 注3 . 低電圧配線と電源線(200V)は必ず別の電線管を通してください。

(2) リモコン・室内外伝送線の接続

①室内外伝送線

室外ユニット(OC)の室内外伝送線用端子台(TB3)のA、B端子と室内ユニット(IC)の室内外伝送線用端子台のA、B端子を渡り配線します。

(無極性2線)...(下表参照)

伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近接している場合は、シールド線の使用を推奨します。(-3-(1)参照)

No.1室外ユニット	A11,B11
No.2室外ユニット	A12,B12

②MAリモコン配線 2リモコンまたはグループ運転しない場合は不要です。

[2リモコン運転の場合]

2リモコンとする場合は、ICの端子台(TB15)の1、2端子とMAリモコン(別売)の端子台を接続します。

接続したMAリモコン(別売)の主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。

(設定方法は、下記およびMAリモコンの据付説明書を参照ください。)

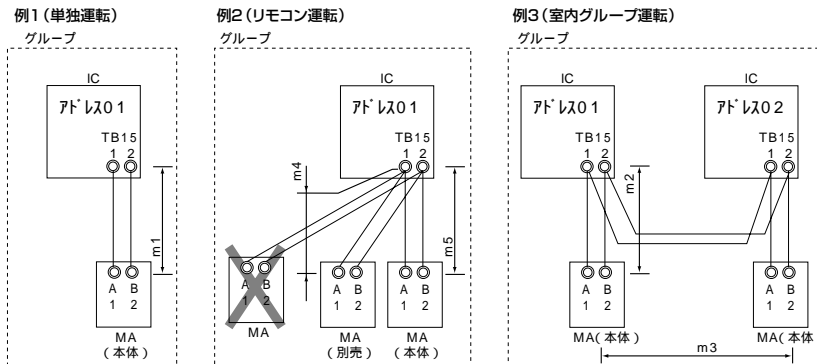
[室内グループ運転の場合] 異冷媒グループ運転の場合は、必ず一方のMAリモコンを「従リモコン」設定にしてください。

ICをグループ運転をする場合は、両方のICの端子台(TB15)の1、2端子同士を接続します。(無極性2線)

一方の室内ユニットのリモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。

(設定方法は、下記を参照ください。)

同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットのアドレスを01~50の若い番号に設定してください。



<許容長>

MAリモコン配線

総延長(0.3~1.25mm²)

m1 200m

m2 + m3 200m

m4 + m5 200m

<禁止事項>

同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。

同一グループの室内ユニットを同一アドレスに設定できません。

③M-NETリモコン配線※PFAK-P・AWM-A形、PFTK-P・AWM-A形、PFAK-P・AWM-A-F形の場合

室内ユニット（IC）の集中管理用M-NETリモコン伝送端子台（TB5）のA，B端子をそれぞれM-NETリモコン（RC）の端子台に接続します（無極性2線）。

【2リモコン運転の場合】

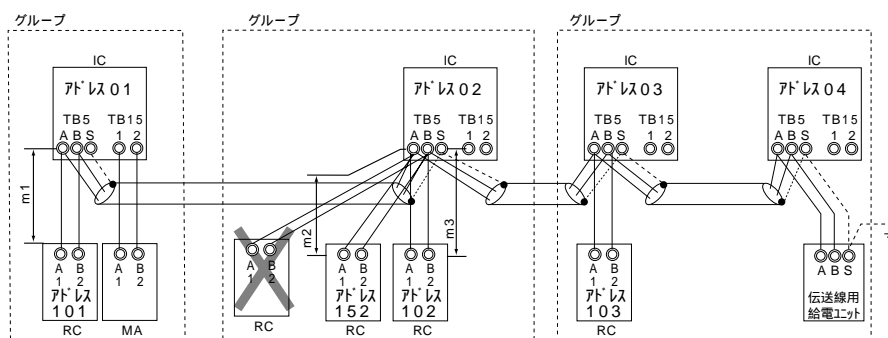
2リモコンとする場合は、ICの端子台（TB5）のA，B端子と2つのRCの端子台をそれぞれ接続します。

接続したM-NETリモコンは「Ⅲ.6.(3)アドレス設定」に従ってアドレスを設定してください。

【室内グループ運転の場合】

ICをグループ運転をする場合は、同一グループとするICの親機ICの端子台（TB5）のA，B端子とRCの端子台を接続します（無極性2線）。

※機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、同一グループ内の一番機能が大きい室内ユニットを親機としてください。



<許容長>

M-NETリモコン配線

総延長（0.5～0.75mm²）

m1 10m

m2 + m3 10m

注. 但し、10mを超える場合は、配線径を1.25mm²とし、

<集中管理用M-NET伝送線>の内数としてください。

<禁止事項>

同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。

【システム接続】

制御配線は、システム構成により異なります。配線工事の前に必ず「Ⅲ-4.システム接続例」をご覧ください。

④MAリモコン用「主リモコン」「従リモコン」の設定方法

(M-NETリモコンによる「主従」設定方法は、「VII.6.(3)アドレス設定」を参照ください。)

室内ユニット2台を1グループで運転する場合、または2リモコン運転を行う場合には、一方を「従リモコン」に設定する必要があります。1グループに接続できるリモコンは最大2個までです。

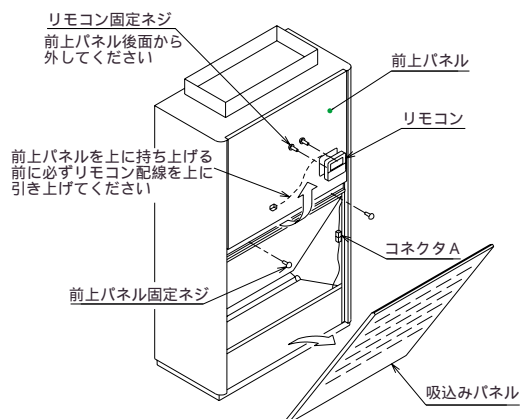
(工場出荷時は「主リモコン」に設定しています。)

下記に従って設定してください。

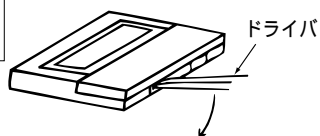
MAリモコン(別売)の据付説明書も参照願います。

1.本体前面の前上パネルを取外してください。

- (1) 本体下側の吸込みパネルを手前に引いて外してください。
- (2) 右図に示すリモコン配線のコネクタAを抜いてください。
このコネクタは、必ず抜いてください。抜かずに前上パネルを外すとリモコン配線を破損する恐れがあります。
- (3) 前上パネルの固定ネジ2本を外して、パネル下側を手前に開き、リモコン配線(コネクタA)を上を引き出してください。
- (4) 前上パネルを上を持ち上げて取外してください。
外したパネルを地面などに下ろす場合、地面との間に配線やコネクタを挟まないように注意してください。



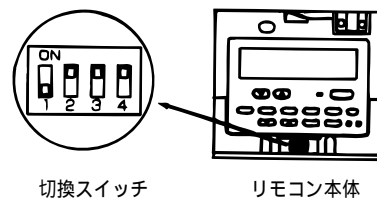
2.前上パネル後面からネジ本を外し、リモコンをパネルから外してください。



3.リモコン本体のカバーを外してください。

マイナスドライバーを爪部にはめ込み、矢印方向に動かします。

4.リモコンのディップスイッチ1番をON→OFF(主→従)に変更してください。



5.逆の手順でリモコン、前上パネルなどを元通りに取付けてください。

⑤ワイヤレスリモコン（別売）をご使用になる場合 ※ワイヤレスリモコン（PAR-FL39M）、受光アダプター（PAR-FA31M）

受光アダプター（スイッチボックス）の据付位置は、下図事項を必ず守ってください。
（受光アダプター（別売）の据付説明書を参照願います。）

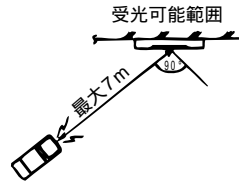
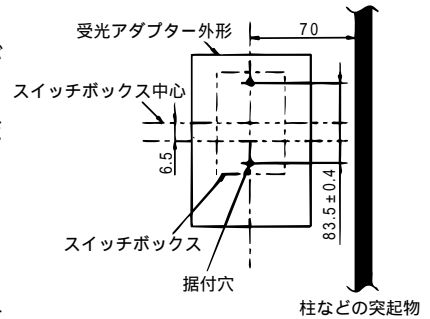
壁、天井、スイッチボックスのいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保してください。（間隔が十分でないと、取付けられない場合があります。）

本機をスイッチボックスに取付けた場合、右図のように据付時の中心が下方に6.5mmずれますのでご注意ください。

スイッチボックスに取付ける場合、下記の部品は現地にて調達してください。

- ・1個用スイッチボックス (JIS C8336)
- ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ロックナット、ブッシング (JIS C8330)

壁面または天井面でのワイヤレスリモコンから受光が可能な位置に取付けてください。（下図参照）



どの位置からでも受光アダプターが見える場所に設置してください。
室内ユニット以外の受信可能な場所に設置してください。
配線埋込みの場合、リモコン線を通すための穴加工が取付部に必要です。

お願い

蛍光灯（特にインバータータイプ）の近くに受光アダプターを設置すると、ワイヤレスリモコンからの信号を受信できない場合がありますので、受光アダプターの設置時、蛍光灯の買換え時には注意してください。

(3) アドレス設定 (必ず元電源を切った状態で操作してください。)

1. グループ運転しない場合は、アドレス設定は不要です。(PFAK-P・AWM-A形を除く)

出荷時のアドレス設定“01”のままご使用ください。

グループ運転とは、1つのリモコン(2リモコン含む)で、複数台の室内ユニットを運転する場合をいいます。

2. グループ運転する場合は、下表に従ってアドレス設定してください。(PFAK-P・AWM-A形を含む)

ユニット又はコントローラ		記号	アドレス設定範囲	設定方法	工場出荷時の アドレス設定
室内ユニット	親機・子機 1	IC	01~50	同一グループ内の親機にしたい室内ユニットを最も若いアドレスにし、 同一グループ内の室内ユニットのアドレスを連番に設定してください。2	01
MAリモコン		MA	アドレス設定不要です。(但し、2リモコン運転する場合は主従切換スイッチ設定が必要です。)		主
室外ユニット		OC	アドレス設定不要です。		無し
M-NET リモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+100に設定してください。	101
	従リモコン	RC	151~200	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+150に設定してください。	
システム コントローラ	グループリモコン	GR, SC	201~250	管理したい最小グループNo.+“200”に設定してください。	201
	システムリモコン	GR, SC	201~250	左記アドレス範囲で任意	
	集中コントローラ	TR, SC	0,201~250	左記アドレス範囲で任意 但し、上位SC設定で使用する場合、あるいは、K制御ユニットを管理したい場合は “0”に設定してください。	000
	マルチパネル コントローラ	AN, SC	0,201~250	管理したい最小グループNo.+“200”に設定してください。 (0のときは201と同じ) 但し、K制御ユニットを管理したい場合は“0”に設定してください。	201
	LMアダプター	SC	201~250	左記アドレス範囲で任意	247

1. 同一グループ内の一番機能が多い室内ユニットを親機としてください。

2. アドレスを設定しないでグループ運転した場合、全室内ユニットファンが同時運転します。また、全室外ユニットの圧縮機も同時運転しますので、グループ運転する場合は必ずアドレス設定してください。

アドレス設定をしないでグループ運転した場合、同時運転のため始動電流が大きくなり、主ブレーカの作動や電源電圧の降下の原因となります。

3. アドレス(SW12、11)の設定は、下記例のように10の位(SW12)と1の位(SW11)の組合せになります。

(例) アドレス“03”は、10の位(SW12)：“0”、1の位(SW11)：“3”

アドレス“25”は、10の位(SW12)：“2”、1の位(SW11)：“5”

4. アドレス設定した場合は、製品名板にアドレスNo.記入欄がありますので油性マジック等で必ず記入してください。

(4) ディップスイッチによる機能選択

制御基板上のディップスイッチにより各機能の切換を行います。(ディップスイッチ : ON、x : OFF)

スイッチ	極	機能	標準出荷時設定	ON	OFF															
SW 1	1	-	1																	
	2																			
	3																			
	4																			
	5	運転操作設定	OFF	遠方操作	リモコン操作															
	6	サーモ検知設定	OFF	外部サーモスイッチ	サーミスタ															
	7	-	-	-	-															
	8	暖房用ヒータ組み込み 1	OFF	有り	無し															
SW 2	1	-	OFF																	
	2		OFF																	
	3		OFF																	
	4		OFF																	
	5		OFF																	
	6		OFF																	
	7		OFF																	
	8	パワースタット加湿器	OFF	有り	無し															
SW 3	1	-	-																	
	2																			
	3																			
	4																			
	5																			
	6																			
	7	順次起動遅延時間	OFF	10秒	3秒															
	8	応急運転	OFF	開始	通常															
SW 4	1	停電自動復帰	OFF	有り	無し															
	2	室温検知位置	OFF	リモコン	ボディサーモ															
	3	ロスナイ接続	OFF	<table border="1"> <tr> <td>ロスナイ接続</td> <td>無し</td> <td>有り(外気無し)</td> <td>有り(外気有り)</td> <td>機能無し</td> </tr> <tr> <td>SW4-3</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SW4-4</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		ロスナイ接続	無し	有り(外気無し)	有り(外気有り)	機能無し	SW4-3	x		x		SW4-4	x	x		
	ロスナイ接続		無し	有り(外気無し)	有り(外気有り)	機能無し														
	SW4-3	x		x																
	SW4-4	x	x																	
	4	OFF																		
	5	凍結防止温度	OFF	2 (PFAK(-F)) -4 (PFTK)	1 (PFAK(-F)) -5 (PFTK)															
	6	加湿器制御	OFF	常時	定常															
	7	フィルターサイン	OFF	<table border="1"> <tr> <td>フィルターサイン</td> <td>100 hr</td> <td>1250 hr</td> <td>無し</td> <td>2500 hr</td> </tr> <tr> <td>SW4-7</td> <td>x</td> <td></td> <td>x</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SW4-8</td> <td>x</td> <td>x</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		フィルターサイン	100 hr	1250 hr	無し	2500 hr	SW4-7	x		x		SW4-8	x	x		
フィルターサイン	100 hr		1250 hr	無し	2500 hr															
SW4-7	x		x																	
SW4-8	x	x																		
8	ON																			
9	暖房時4Kアップ	OFF	有効	無効																
10	暖房サーモOFF時風量	ON	ON	OFF																

1 補助ヒータの組み込み時は設定不要です。

(5) リモコン内蔵センサーによる室温検知

- リモコン内蔵センサーをご使用の場合…SW 4 - 2 をONにセットしてください。

リモコンの機種により、リモートセンサーが内蔵されていない場合は、本体内蔵センサーにて室温検知するようにしてください。

- オールフレッシュ用 (PFAK-P・AW(M)-A-F形) の場合

室内温度調節のため、下表に示す または の内容を実施してください。

	内 容	SWの設定の変更
	温度調節器23WA(現地手配)を接続する。	DIPSW 1 - 6をONにセットしてください。
	リモコン(別売部品)を接続し、室内に設置してそのリモコン内蔵センサーを使用する。	DIPSW 4 - 2をONにセットしてください。 本体取付のリモコンを“従”、室内に設置するリモコンを“主”に設定してください。詳しくは前頁の「主リモコン」「従リモコン」の設定方法”及びリモコンの取付説明書を参照ください。

(6) 外部接続回路の配線

外部操作入力(PFAK-P・AW-A, PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-F共通)

現地の外部信号による運転操作を選択した場合は、入力信号の種類に応じて下表の入力端子に外部操作入力配線を接続してください。各入力端子の内容は次の通りです。

端子番号	基板上の表示	基板上の表示	動作
B1	RC/遠方	RC (リモコン) と遠方入力 (外部入力) との切換	ONでRC (リモコン) 操作
B2	IPC	冷房運転のON/OFF	ONで冷房ON
B3	IPH	暖房運転のON/OFF	ONで暖房ON
B4	IPF	送風運転のON/OFF	ONで送風 (52F) ON
B5	IPA	自動運転 (冷暖自動) のON/OFF	ONで自動運転ON
BC	COM	B1 ~ B5端子のコモン端子	DC12V供給

信号種別	入力項目	配線接続要領(微小電流接点)	微小接点継電器を使用時の接続回路図
レベル信号	送風 冷房 暖房	<p>(リモコン/遠方) 冷房 暖房 送風</p> <p>B1 (RC/遠方) B2 (IPC) B3 (IPH) B4 (IPF) B5 (IPA) BC (COM)</p>	<p>現地電源または (リモコン/遠方) 冷房 暖房 送風 ユニット電源(R1,S1)</p> <p>*各操作入力(Y2-Y4)は同時ONとならないこと。</p>
	送風 冷房 暖房 (冷暖切替)	<p>(リモコン/遠方) 空調 送風</p> <p>B1 (RC/遠方) B2 (IPC) B3 (IPH) B4 (IPF) B5 (IPA) BC (COM)</p>	<p>現地電源または (リモコン/遠方) ユニット電源(R1,S1)</p> <p>*各操作入力(Y2-Y4)は同時ONとならないこと。</p>
	送風 冷暖自動	<p>(リモコン/遠方) 送風 自動</p> <p>B1 (RC/遠方) B2 (IPC) B3 (IPH) B4 (IPF) B5 (IPA) BC (COM)</p>	<p>現地電源または (リモコン/遠方) 送風 自動 ユニット電源(R1,S1)</p> <p>*各操作入力(Y4,5)は同時ONとならないこと。</p>
パルス信号		別売部品 『遠方操作キットPAC-CG91RCK』組込	

注・外部操作入力の接続・操作について、下記の点にご注意ください。

入力接点に関して

- 外部入力は無電圧のレベル入力とし、微小電流用接点を使用してください。レベル信号入力がOFFとなった時点で、運転停止します。
- 微小電流用接点以外のものを接続した場合、接点の劣化によって信号が伝達されずにユニットが運転しないあるいは停止しないことがあります。
- COM (コモン) 端子には必ず配線してください。接続されない場合、DC12V電源が供給されず、入力信号を認識することができないため、ユニットが運転できません。

信号入力時間に関して

- 運転入力は、異なった運転指令信号を同時に5秒以上入れないでください。5秒以上入力信号が重複しますと、ユニットは運転停止します。例えば、IPC (冷房) とIPF (送風) を同時にONさせないでください。

信号入力の選択について

- 外部操作入力は、レベル信号入力により動作を保持しますので、パルス入力信号は別途レベル信号に保持させる必要があります。
- パルス信号入力は、別売部品の遠方操作キット(PAC-CG91RCK)をご使用ください。

外部サーモ入力接続

(i) PFAK-P・AW-Aの場合

現地の外部サーモによる温度調節を選択した場合は、下表の所定のサーモ接続用端子にサーモ入力配線を接続してください。
サーモステップと容量制御の関係は、下表のようになりますので参照してください。

運転種別	冷媒回路数	サーモステップ数	配線接続要領(微小電流接点)	外部サーモの動作	微小電流用接点継電器を使用時の接続回路図
冷房運転 暖房運転 (個別切換)	1冷媒回路	1(or2)ステップサーモ	<p>高段側 低段側(補助ヒータ用)</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON(No.1) 高段側</p> <p>高段側 <input type="checkbox"/> (No.1) ON OFF</p> <p>低段側 <input type="checkbox"/> (補助ヒータ) ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p> <p>高段側 低段側</p> <p>X1 X2</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p>
		2(or3)ステップサーモ	<p>高段側 低段側 最低段側(補助ヒータ用)</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON(No.2) 高段側</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON(No.1) 低段側</p> <p>高段側 <input type="checkbox"/> (No.1) ON OFF</p> <p>低段側 <input type="checkbox"/> (No.2) ON OFF</p> <p>最低段側 <input type="checkbox"/> (補助ヒータ) ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p> <p>高段側 低段側 最低段側</p> <p>X1 X2 X3</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p>
自動運転	1冷媒回路	2ステップサーモ	<p>高段側 低段側</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>暖房 送風 冷房</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON 高段側</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON 低段側</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p> <p>高段側 低段側</p> <p>X1 X2</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p>
		4ステップサーモ	<p>高段側 中1段側 中2段側 低段側</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p> <p>(サーモ接点はOFF動作を示します。(温度が上昇してON))</p>	<p>暖房 100% 暖房 50% 送風 冷房 50% 冷房 100%</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON 高段側</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON 中1段側</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON 中2段側</p> <p>OFF <input type="checkbox"/> ON 低段側</p>	<p>現地電源またはユニット電源(R1,S1)</p> <p>高段側 中1段側 中2段側 低段側</p> <p>X1 X2 X3 X4</p> <p>T1 T2 T3 T4 T5 T6 TC (TS1) (TS2) (TS3) (TS4) (TS5) (TS6)</p>

注：外部サーモ入力接続について、下記の点にご注意ください。

- 外部サーモ入力は、無電圧のレベル入力とし、微小電流用接点を使用してください。
微小電流用接続以外のものを接続した場合、接点の劣化によって信号が伝達されずにユニットが運転しない、あるいは停止しないことがあります。
- 冷房・暖房運転は、上表の外部サーモの動作順序に従って圧縮機(室内ユニット内)動作します。
高段・低段サーモ入力の順序が入れ替わると、システムエラーとなり、異常停止(異常コード5110)または、容量制御ができなくなりますので特に注意してください。
- 配線の接続忘れ、あるいは誤接続時の動作(症状)と確認方法は、三菱電機設備用パッケージエアコン2001年度版サービスハンドブック13ページの自己診断処置表を参照してください。

外部サーモ入力接続時の運転動作補足

外部サーモ入力時（室内機制御基板上のDipSW1-6 ON時）は、外部サーモ入力ポート（CN57, CN35）のレベル接点入力のON/OFF検知によって、各運転モードにおける室外機（圧縮機）ON/OFF動作を行います。

外部サーモ入力時は、ボディサーモ（サーミスタ）は吸込空気サーモ判定を行いません。

（ただし、機種毎に冷房運転の吸込下限温度及び暖房運転の吸込上限温度はボディサーモ（サーミスタ）で検知を行っていますので、限界温度を超えた場合は外部サーモからの接点入力があっても圧縮機を停止させます。）

- (1) 各運転モード・入力ポートの割付と運転出力の関係（冷房運転、暖房運転（自動運転を除く））
1回路接続（PFAK-P224,280AW(M)-A）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力		
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット		No1室外ユニット
								送風機	補助ヒータ	圧縮機
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	—	—	OFF	—	—	ON	OFF	ON
	サーモOFF	OFF	—	—	ON	—	—	ON	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	—	OFF	OFF	—	ON	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	—	ON	OFF	—	ON	OFF	ON
	低段 (補助ヒータ有)	OFF	OFF	—	ON	ON	—	ON	ON	ON

2回路接続（PFAK-P450,560AW(M)-A）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力			
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット		No1室外ユニット	No2室外ユニット
								送風機	補助ヒータ	圧縮機	圧縮機
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF
冷房運転	高段	ON	ON	—	OFF	OFF	—	ON	OFF	ON	ON
	低段	OFF	ON	—	ON	OFF	—	ON	OFF	ON	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	—	ON	ON	—	ON	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	—	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	低段	OFF	OFF	—	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON
	最低段 (補助ヒータ有)	OFF	OFF	—	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON

冷房時は、端子入力T1、T2でサーモ判定をし、暖房時は、端子入力T4、T5、T6でサーモ判定しています。外部サーモの接続は、T1とT4、T2とT5、T3とT6を逆接点とすることで、冷房・暖房運転で設定変更せずにご利用になれます。

- 注．2回路接続時の動作パターンとして、例えば冷房運転時の室外機（圧縮機）動作は下表のようになります。すなわち、高段側と低段側の信号順序が逆になれば、配線誤接続と判断してシステム異常となります。

T1	T2	動作
OFF	OFF	圧縮機 OFF
OFF	ON	圧縮機 1台 ON
ON	ON	圧縮機 2台 ON
(ON)	(OFF)	システム異常(異常コード 5110)

(2) 各運転モード・入力ポートの割付と運転出力の関係（自動運転）

1 回路接続（PFAK-P140・224・280AW(M)-A）

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力		
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット	No1室外ユニット	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	送風機	補助ヒータ	圧縮機
自動	ON	ON	OFF	—	—	—	冷房運転	ON	OFF	ON
	OFF	ON	ON	—	—	—	送風運転	ON	OFF	OFF
	OFF	OFF	ON	—	—	—	暖房運転	ON	ON	ON
	OFF	OFF	ON	—	—	—	システム異常 {異常コード} {5110}	OFF	OFF	OFF

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする。

2 回路接続（PFAK-P450・560AW(M)-A）

運転モード	端子入力						運転モード	運転出力			
	T1	T2	T3	T4	T5	T6		室内ユニット	No1室外ユニット	No2室外ユニット	
停止	サーモ入力に関係せず						停止	送風機	補助ヒータ	圧縮機	圧縮機
自動	ON	ON	ON	ON	OFF	—	冷房運転	ON	OFF	ON	ON
	OFF	ON	ON	ON	ON	—		ON	OFF	ON	OFF
	OFF	OFF	ON	ON	ON	—	送風運転	ON	OFF	OFF	OFF
	OFF	OFF	OFF	ON	ON	—	暖房運転	ON	ON	ON	OFF
	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	—		ON	ON	ON	ON
	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	システム異常 {異常コード} {5110}	OFF	OFF	OFF	OFF

・上記パターン以外が連続し5秒以上継続時、異常(5110表示)とする。解除は停止もしくは電源リセットとする

(ii)PFTK-P・AW-A, PFAK-P・AW-A-Fの場合

現地の外部サーモによる温度調節を選択した場合は、下表の所定のサーモ接続用端子にサーモ入力配線を接続してください。
サーモステップと容量制御の関係は、下表のようになりますので参照してください。

運転種別	冷媒回路数	サーモステップ数	配線接続要領(微小電流接点)	外部サーモの動作	微小電流用接点継電器を使用時の接続回路図
冷房運転 暖房運転 (個別切換)	1冷媒回路		<p>冷房高段側 冷房低段側 (暖房高段側 暖房低段側)</p> <p>T1 T2 TC</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇すると、T2 T1の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ2) 高段側</p> <p>OFF ON(ステップ1) 低段側</p> <p>高段側 ON(ヒーター1) OFF</p> <p>低段側 ON(ヒーター2) OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1,S1)</p> <p>X1 X2 T1 T2 TC</p>
	2冷媒回路		<p>冷房高段2側 冷房高段1側 冷房低段2側 冷房低段1側 (暖房高段2側 暖房高段1側 暖房低段2側 暖房低段1側)</p> <p>T1 T2 T3 T4 TC</p> <p>サーモ接点はOFF動作時を示します。 吸込温度が上昇するとT4 T3 T2 T1の順にON。</p>	<p>「冷房運転」</p> <p>OFF ON(ステップ4) 高段2側</p> <p>OFF ON(ステップ3) 高段1側</p> <p>OFF ON(ステップ2) 低段2側</p> <p>OFF ON(ステップ1) 低段1側</p> <p>高段2側 (ヒーター1)ON OFF</p> <p>高段1側 (ヒーター1)ON OFF</p> <p>低段2側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>低段1側 (ヒーター2)ON OFF</p> <p>「暖房運転」</p>	<p>現地電源または ユニット電源(R1,S1)</p> <p>X1 X2 X3 X4 T1 T2 T3 T4 TC</p>

冷房運転時のステップ数と容量制御(アクチュエーター動作)の関係

ステップ数	No.1室外機		No.2室外機		容量(%)
	圧縮機	バイパス電磁弁	圧縮機	バイパス電磁弁	
ステップ4	ON	OFF	ON	OFF	100
ステップ3	ON	OFF	ON	ON	75
ステップ2	ON	OFF	OFF	OFF	50
ステップ1	ON	ON	OFF	OFF	25
ステップ0	OFF	OFF	OFF	OFF	0

注・外部サーモ入力接続について、下記の点にご注意ください。

- 外部サーモ入力は、無電圧のレベル入力とし、微小電流用接点を使用してください。
微小電流用接続以外のものを接続した場合、接点の劣化によって信号が伝達されずにユニットが運転しない、あるいは停止しないことがあります。
- 冷房運転は、上表の外部サーモの動作順序に従って圧縮機、バイパス電磁弁(室内ユニット内蔵)が動作します。
暖房運転は、上表の外部サーモの動作順序に従って大容量ヒータ(室内ユニット別売部品)が動作します。
高段・低段サーモ入力の順序が入れ替わると、システムエラーとなり、異常停止(異常コード5110)または、容量制御ができなくなりますので特に注意してください。
- 配線の接続忘れ、あるいは誤接続時の動作(症状)と確認方法は、「三菱電機産業用パッケージエアコン 2002年度版サービスハンドブック」13ページの自己診断処置表を参照してください。

外部サーモ入力接続時の運転動作補足

外部サーモ入力時（室内機制御基板上的のDipSW1-6 ON時）は、外部サーモ入力ポート（CN57、CN35）のレベル接点入力のON/OFF検知によって、各運転モードにおける室外機（圧縮機）ON/OFF動作を行います。

外部サーモ入力時は、ボディサーモ（サーミスタ）は吸込空気サーモ判定を行いません。

（ただし、機種毎に冷房運転の吸込下限温度及び暖房運転の吸込上限温度はボディサーモ（サーミスタ）で検知を行っていますので、限界温度を超えた場合は外部サーモからの接点入力があっても圧縮機を停止させます。）暖房に関する別売の暖房用ヒータを組込んだ場合を示します。

(1) 各運転モード・入力ポートの割付と運転出力の関係（冷房運転、暖房運転（自動運転を除く））

1 回路接続（PFTK-P125・200・250AW(M)-A、PFAK-P167・265・335AW(M)-A-F）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力				
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット			No1室外ユニット	
								送風機	ヒータ1	ヒータ2	圧縮機	バイパス電磁弁
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ2	ON	ON	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF
	ステップ1	OFF	ON	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	ON	ON
	サーモOFF	OFF	OFF	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	—	—	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	—	—	—	—	ON	ON	OFF	OFF	OFF
	低段	OFF	OFF	—	—	—	—	ON	ON	ON	OFF	OFF

2 回路接続（PFTK-P400・500AW(M)-A、PFTK-P530・670AW(M)-A-F）

運転モード	サーモステージ	端子入力						運転出力						
		T1	T2	T3	T4	T5	T6	室内ユニット			No1室外ユニット		No2室外ユニット	
								送風機	ヒータ1	ヒータ2	圧縮機	バイパス電磁弁	圧縮機	バイパス電磁弁
停止	—	サーモ入力に関係せず						OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
送風運転	—	サーモ入力に関係せず						ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
冷房運転	ステップ4	ON	ON	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
	ステップ3	OFF	ON	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON
	ステップ2	OFF	OFF	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
	ステップ1	OFF	OFF	OFF	ON	—	—	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
	サーモOFF	OFF	OFF	OFF	OFF	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
暖房運転	サーモOFF	ON	ON	ON	ON	—	—	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
	高段	OFF	ON	ON	ON	—	—	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
		OFF	OFF	ON	ON	—	—	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	
	低段	OFF	OFF	OFF	ON	—	—	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	
		OFF	OFF	OFF	OFF	—	—	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	

冷房時は、端子入力T1、T2、T3、T4のON入力でサーモ判定をし、暖房時は、端子入力T1、T2、T3、T4のOFF入力でサーモ判定しています。

外部サーモの接続は、T1、T2、T3、T4をB接点接続とすることで、冷房・暖房運転で設定変更せずにご使用になれます。

注．1 回路接続時の動作パターンとして、例えば冷房運転時の室外機（圧縮機）動作は下表のようになります。

すなわち、高段側と低段側の信号順序が逆になれば、配線誤接続と判断してシステム異常となります。

T1	T2	動作
OFF	OFF	圧縮機1台OFF + ガスバイパス電磁弁OFF
ON	OFF	システム異常(5110)
OFF	ON	圧縮機1台ON + ガスバイパス電磁弁ON
ON	ON	圧縮機1台ON + ガスバイパス電磁弁OFF

外部接点出力

外部接点出力端子は、室内ユニットの電気品箱内に設置しています。

運転表示や現地機器とのインターロック等、出力信号を外部に取り出す場合は、下表の端子への接続要領を参考に配線接続してください。

出力項目	配線接続要領	備考
<p>遠方運転表示</p>		<p>各接点は無電圧接点 印加電圧は AC200V、2.5A以下</p> <p>L1:冷房 (サーモOFF時もON出力)</p> <p>L2:送風 (室内ファン52F ON)</p> <p>L3:サーモON</p> <p>L4:暖房 (サーモOFF、霜取中もON出力)</p> <p>L5:霜取</p>
<p>遠方一括異常表示</p>		<p>各接点は無電圧接点 印加電圧は AC200V、2.5A以下</p> <p>L6:一括異常 (室内ユニット異常又は室外ユニット異常時ON出力)</p>
<p>室外ユニット異常表示</p>		<p>各接点は無電圧接点 印加電圧は AC200V、2.5A以下</p> <p>L7:室外ユニットNo.1異常</p> <p>L8:室外ユニットNo.2異常</p>

注.外部接点出力の接続について、下記の点にご注意ください。

各出力接点は、無電圧接点です。継電器接続時等の接点への印加電圧は、AC200V,2.5A以下としてください。

表中の接続端子は、室内ユニット電気品箱内の端子台番号です。

L1～L8はリレーを示します。(現地手配)

7.試運転

(1)試運転時のチェックポイント

試運転操作は、室内ユニット・室外ユニットのどちらからでも行えますが、室内ユニットが2回路以上接続される容量制御可能な室内ユニットの場合、配管テレコ、配線テレコを検出するために、室外ユニットから試運転を行い、当該冷媒回路での試運転時間は30分以上行って下さい。その後、その他冷媒回路での試運転を実施してください。

電源投入は必ず室外ユニット側を先に投入し、その後室内ユニット側を投入してください。

室内ユニットの電源を先に投入すると、リモコンに異常(6844)が出る場合があります。

その場合は室内ユニットの電源を切り、室外ユニット 室内ユニットの順で電源を入れてください。それでも直らない場合は伝送線の接続ミス、断線等を確認してください。

確認項目

室内・室外ユニット据付・配管・配線作業終了後、冷媒漏れ・電源・制御線のゆるみ・極性間違いがないか今一度確認してください。

電源用端子(R、S、T)と大地間を500Vメガ - で計って1.0M 以上であることを確認してください。1.0M 未満の場合は運転しないでください。 内外接続線用端子(A、B)には絶対にメガーをかけないでください。故障の原因になります。

室外ユニットが異常でないこと。(室外ユニットが異常の場合、基板上のLED2(デジタル表示)で判定できます)

ボールバルブが液、ガス側とも全開であること。

三相電源の相順を確認します。逆相の場合、圧縮機やファンが逆回転もしくは停止したり、異常音が発生する場合があります。

試運転の最低12時間以上前にクランクケースヒータに通電してください。(通電時間が短いと圧縮機故障の原因になります)

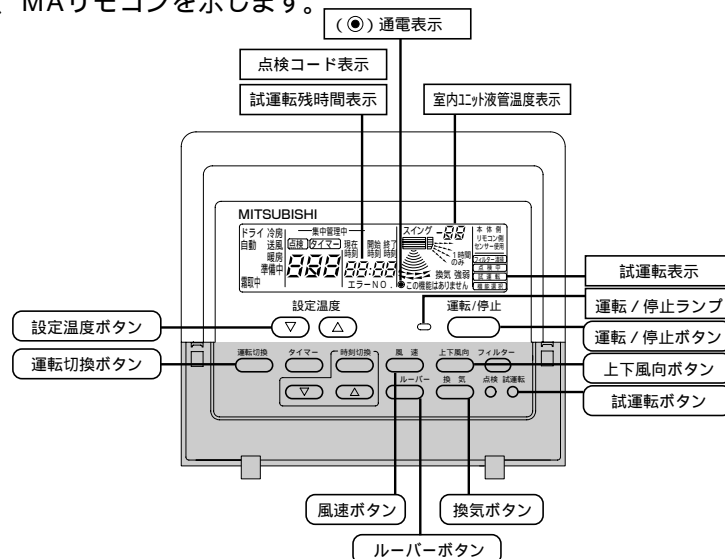
以上のことを確認後、下記の要領により試運転を行ってください。

(2) 試運転操作

室内ユニットからの試運転操作

- 室内・室外ユニット据付、配管、配線作業終了後、冷媒漏れ、電源、伝送線のゆるみ、極性間違いがないか今一度確認してください。
- 電源端子台と大地間をDC500Vメガーで計って1.0M 以上であることを確認します。1.0M 未満の場合は運転しないでください。
MAリモコン用・伝送線用端子台の絶縁抵抗測定は絶対にしないでください。

イラストは、MAリモコンを示します。



操 作 手 順	
12時間以上前に、元電源を入れる	
三相電源の相順を確認してください。 逆相の場合、送風機が逆回転し異常の原因となります。	
試運転	ボタンを2度押す → 試運転の液晶表示
運転切換	ボタンを押す → 風が吹き出すことを確認
運転切換	ボタンを押して冷房（または暖房）運転に切り換える → 冷風（または温風）が吹き出すことを確認
室外ユニットファンの運転を確認	
運転/停止	ボタンを押して試運転解除する → 停止
確認後は、必ず元電源を切ってください	

リモコンに点検コードが表示された場合、または正常に作動しない場合は、室外ユニット側の据付工事説明書、または技術資料を参照願います。

試運転は2時間の切タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。

試運転中、時刻表示部には試運転残時間を表示します。

試運転中、室内ユニットの液管温度をリモコンの室温表示部に表示します。

風向ボタンを押した時、機種により“この機能はありません”の表示がリモコンに表示されますが故障ではありません。

外部入力接続されている場合、外部入力信号にて運転操作を行って、試運転確認を実施してください。

室外ユニットからの試運転操作・・・基板上のディップスイッチSW4にて試運転開始、終了および運転開始モード(冷房・暖房¹⁾)の設定を行います。

SW4-2にて運転モード(冷房・暖房)を設定してください。(SW4-2 OFFで冷房、ONで暖房)

SW4-1をONすることでSW4-2の運転モードに従い、試運転が開始されます。

SW4-1をOFFすることで試運転を終了します。

【お願い】 試運転中はSW4-2にて運転モードを変えることはできません。

(試運転モードを変える時はSW4-1にて一旦停止し、運転モードを変えた後、再度SW4-1で試運転を行います)

【注意事項】 試運転操作で行った冷媒回路のみ試運転を実施します。

その他冷媒回路で試運転を行いたい場合は、同様にSW設定にて試運転ができます。但し、運転モードは統一してください。

室外ユニットより試運転を行った場合、リモコンには何も表示しません。

(「停止」表示のまま)

試運転は、2時間の切タイマーが作動し、2時間後自動的に停止します。

1 PUK-P140・224・280(U)AW-Aは冷房専用機種のため、暖房運転はできません。

(3) 試運転不具合時の対応

異常停止時、リモコン表示部に4桁の点検表示が表れますので、不具合要因の点検をお願いいたします。

(1) 室内ユニット

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
0403	シリアル通信異常	6606	送受信エラー（伝送プロセッサとの通信異常）
1110	配管温度異常	6607	送受信エラー（ACK無しエラー）
1503	凍結保護作動異常	6608	送受信エラー（応答フレーム無しエラー）
1504	過昇保護作動異常	6840	室内-室外受信異常
4109	過電流遮断	6841	室内-室外同期回復異常
5101	吸込センサー異常	6842	室内-室外H/W異常
5102	配管/二相管センサー異常	6843	室内-室外スタービット検出異常
5110	外部サーモ接続異常	6844	立上げ時間オーバー
6600	ユニットアドレス二重設定	7101	合計能力コード不一致異常
6601	極性未設定異常	7111	リモコンセンサ異常
6602	送信エラー（伝送プロセッサハードウェア異常）	7130	定速・インバータ室外ユニット接続混在異常
6603	送信エラー（伝送路BUSY）	7131	ヒートポンプ・冷専室外ユニット接続混在異常

(2) 室外ユニット

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
1102 (U2)	吐出温度異常	4118 (F7)	逆相検知回路異常
1108 (U2)	インナーサーモ作動異常	5104 (U3)	吐出管センサ異常
1302 (UE)	高圧圧力異常	5105 (U4)	配管センサ異常
1352 (UL)	低圧圧力異常	5107 (U4)	二相管センサ異常
1509 (U1)	高圧圧力異常（ボールバルブ閉）	5300 (UH)	電流センサ異常
4100 (UF)	圧縮機過電流異常	6840 (E8)	室内-室外受信異常
4101 (U6)	圧縮機過電流遮断異常	6842 (E9)	室内-室外H/W異常
4102 (F2)	欠相異常	6843 (E8)	室内-室外スタービット検出異常
4103 (F1)	逆相異常	6846 (EC)	立上げ時間オーバー
4115 (F8)	電源同期信号異常		

(3) M-NETリモコン

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
6101	“不能” 応答受信	6606	送受信エラー（伝送プロセッサとの通信異常）
6600	ユニットアドレス二重設定	6607	送受信エラー（ACK無しエラー）
6602	送信エラー（伝送プロセッサハードウェア異常）	6608	送受信エラー（応答フレーム無しエラー）
6603	送信エラー（伝送路BUSY）		

(4) MAリモコン

点検表示	不具合内容	点検表示	不具合内容
6831	MA通信受信異常（受信なし）	6833	MA通信受信異常（H/W異常）
6832	MA通信送信異常（スタービット検出異常）	6834	MA通信送信異常（同期回復異常）

室内ユニット基板上のSW2-1～7を操作することによりセグメントが点灯し、各ユニットの運転状態*1及び点検コードの内容を知ることができます。

(室内ユニット情報)

SW2設定		項目	表示内容	
12	34567		十の位	一の位
00	00000	運転モード/リレー出力	O : 停止 C : 冷房 H : 暖房 d : 霜取り 1 : 52F	⇒ リレー出力 = 1 * 52F (例) 冷房運転にて52FがONの場合...C1 異常時は、異常コード及び異常号機(*1)を交互に表示する
	01001	異常コード履歴1(最新)	異常コード(ex.1110,1302)と異常号機(*1)を交互に表示します。	
	11001	異常コード履歴2(最新の1つ前)		

*1.異常号機の表示方法
号機は右記表に対応します。

SW2設定		号機設定	冷媒系	号機No.
1	2			
0	0	室内ユニット共通		0
		室内ユニット1号機		0 - 1
		室内ユニット2号機		0 - 2
		室内ユニット3号機		0 - 3
		室外ユニット1号機	-	1
		室外ユニット2号機	-	2
		室外ユニット3号機	-	3
1	0	室外ユニット1号機	-	1
0	1	室外ユニット2号機	-	2
1	1	室外ユニット3号機	-	3

(室外ユニット情報)

SW2設定		項目	表示内容	
12	34567		十の位	一の位
10	00000	運転モード/リレー出力	O : 停止 C : 冷房 H : 暖房 d : 霜取り 1 : SV2 2 : 21S4 4 : 52C 8 : SV1 (P140は除く)	⇒ リレー出力 = 1 * SV2 + 21S4 + 4 * 52C + 8 * SV1 (例) 冷房運転にて52FとSV2がONの場合...C5 異常時は、異常コード及び異常号機(*1)を交互に表示する
	11001	異常コード履歴1(最新)	異常コード(ex.4101,1302)と異常号機(*1)を交互に表示します。	
	00111	異常コード履歴2(最新の1つ前)		

*2.SW2-1, 2-2の設定による
室外ユニット情報の号機は、
右記表に対応します。

SW2-1	SW2-2	ユニット情報の号機No.
1	0	室外ユニット1号機
0	1	室外ユニット2号機
1	1	室外ユニット3号機

サービスをお申しつけの前に、次の点をお調べください。

おかしいな Q 変だな？ 故障かな？	A 答えします	! 説明します
動かない！ リモコンの運転表示が点灯しない。	電源開閉器を入れてください。 リモコンの表示部に、電源の“◎”が点灯します。	電源が入っていませんとリモコンの表示部に電源の表示“◎”が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示が出ている。	“集中管理中”を解除してください。 表示が出ていませんか？ お確かめください。	“集中管理中”の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。
再運転のために、運転・停止ボタンを押したが運転がすぐに始まらない。	再運転をした場合は、約3分間お待ちください。	マイコンの指示でエアコンを保護しています。
リモコンの表示部にエラーコードが点灯している。	リモコンの表示部にエラーコードが表示されていませんか？ お確かめください。	“自己診断機能”が作動してエアコンを保護しています。 サービスを申し付けください。
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	リモコンで入タイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を開始します。
	遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	遠方コントロールが接続されている場合、外部発停信号で運転の指示をすると自動的に運転を開始します。
	集中管理室で運転を操作した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を開始します。
	停電していて電源が復帰した。 運転・停止ボタンを押して停止してください。	運転中に停電になったとき、電源が復帰すると自動的に運転を開始する電源発停の機能に設定されていた。 * 電源発停の機能を作動させない場合は、販売店・工事店またはサービスにご連絡ください。
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	リモコンでタイマー運転にしていた。 運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。	リモコンで切タイマー運転を設定すると、自動的に指定された時刻に運転を停止します。
	遠方コントロールで運転を指示した。 運転を指示したところへ確認・連絡ください。	遠方コントロールが接続されている場合、外部発停信号で運転/停止の指示をすると自動的に運転を停止します。
	集中管理室で運転を操作した。 停止を指示したところへ確認・連絡ください。	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯しているときは、集中管理室からの指示で運転を停止します。
停止ボタンを押したのに停止しない。	暖房運転中に停止ボタンを押されると、約1分間室内ファンが運転継続することがあります。 ペーパーバン加湿器を組込んだ場合、約3分間室内ファンが運転継続することがあります。	エアコン内部の余熱排除を行っています。 ペーパーバン余熱による水蒸気発生防止を行っています。

おかしいな Q 変だな？ 故障かな？	A お答えします	! 説明します
室内ユニットから白い霧状の水蒸気が出る。	そのままお使いください。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が出る場合があります。
室外ユニットから水・水蒸気が出る。	そのままお使いください。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき、滴下するためです。 暖房時には熱交換器についた水が滴下するためです。 * これらの水をまとめて別に排水する場合、別売部品“集中排水キット”をご利用ください。
よく冷えない。 よく暖まらない。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。	設定温度が適切でない。
	フィルターの清掃をしてください。	フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下したため。
	室外ユニットの周囲空間を広く開けてください。	室外ユニットの吹出し口・吸込み口がふさがれている。
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	そのまま約 10 分程お待ちください。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。
水の流れるような音がる。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒が流れる音です。
時々“ブシュッ”と音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	エアコン内部の冷媒の流れが切換わる時の音です。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	異常ではありません。 そのままお使いください。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。
リモコンのタイマー運転がセットできない。	スケジュールタイマーで行ってください。	スケジュールタイマーが接続されていませんか？この場合はスケジュールタイマーでセットとなります。
リモコンに“H0”の表示が出る。	そのままお待ちください。	初期自動点検（最大 10 分）を行っているためです。
リモコンに故障記号が表示される。 * 故障記号：13～24 ページ参照	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。 * 自分では絶対に修理しないでください。
	“6844”の場合は室内ユニットの電源を切り、室外ユニット 室内ユニットの順で電源を入れてください。	
ワイヤレスリモコンの表示が出ない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。	乾電池が消耗しています。 * 新しい乾電池でも表示のでない場合は、乾電池の入れ方（+、-）を再度確認ください。
ワイヤレスリモコンの受光部の運転表示灯が点滅する。	エアコンの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。	自己診断機能を搭載しています。

(4) 次の現象は故障（異常）ではありません。

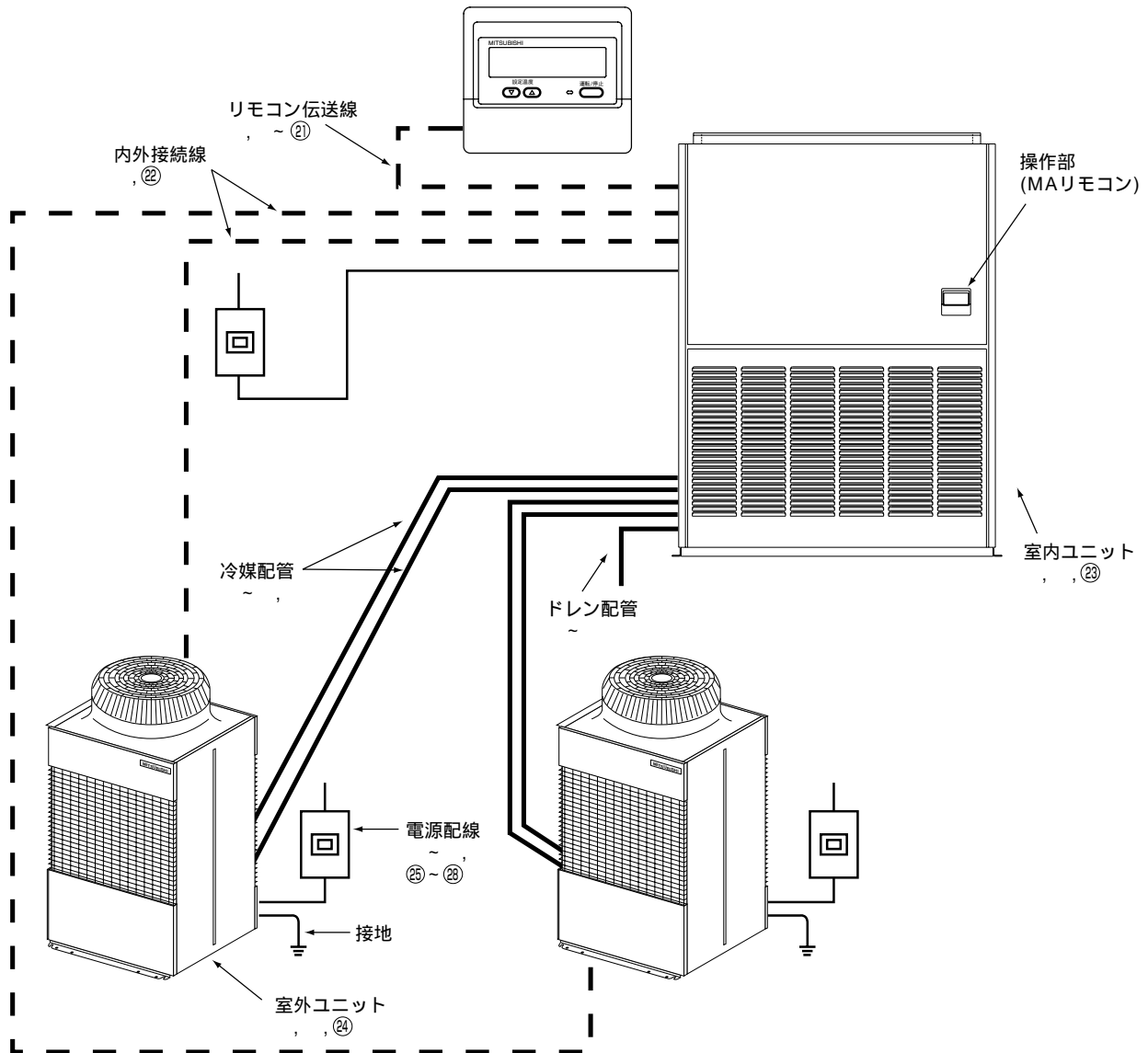
現象	リモコン表示	原因
リモコンに"HO"の表示がでる。	HO	初期自動運転(最大10分)を行っています。
運転SWをONにしても室外ユニットが運転しない。	通常表示	サーモ停止しています。
暖房運転中ファンが停止する。	通常表示	室外ユニットが除霜運転になった場合室内ファンは停止します。
運転停止してもファンが停止しない。	消 灯	補助電気ヒータ " ON " 時は、停止後 1 分間余熱排除としてファンを運転します。(暖房時)

8.関連資料

(1)施工・システムセットのチェックポイント

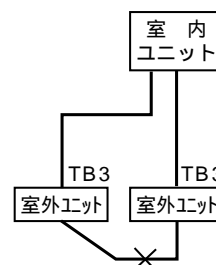
据付け後は、必ず確認してください。

(図はPFHK-P560AW-A形のシステム例を示しています。)



内外接続線 ②

<誤配線例>



区分	部位	不良現象	チェック項目	掲載
据付・配管		冷えない・暖まらない・異常停止	室内ユニット、室外ユニットの組み合わせはよいですか？	1
		水漏れ	室内ユニットは、水平に取付けられていますか？	—
		冷えない・暖まらない・異常停止	冷媒量は正しいですか？	174
		”	冷媒配管長さは、制限内に納められていますか？	3
		”	冷媒配管径は正しいですか？	3
		”	冷媒配管接続部の冷媒漏れはありませんか？	—
		”	室外ユニットの吹出し口付近に障害物はありませんか？	—
		冷媒配管結露による露たれ	冷媒配管の断熱は正しく行われていますか？	—
		ドレン水オーバーフロー	ドレン配管の勾配は正しくとられていますか？	—
		ドレン配管結露による露たれ	ドレン配管の断熱は正しく行われていますか？	—
	熱交換器腐食による冷媒ガス漏れ	ドレン配管の先端をイオウ系ガスの発生する下水溝などに入れていませんか？	—	
電源工事		運転しない	接続不良はありませんか？	5
		ブレーカの誤動作	ブレーカ容量は適正ですか？	4, 5
		漏電時の発火、感電	漏電遮断器は取付けられていますか？	4, 5
		誤動作・感電	D種（第3種）接地工事が確実に行われていますか？	4, 5
		異常停止・運転しない・異常発熱	配線の端子盤接続は、確実に行われていますか？	184-186
制御配線工事		運転しない (リモコン：6831, 6832, 6833, 6834)	リモコン伝送線の端子盤接続は確実に行われていますか？	187,188
		運転しない (リモコン：6840, 6841, 6842, 6843, 6844, 6846)	・内外接続線径は、規程のものを使っていますか？ ・内外接続線の端子盤接続は確実に行われていますか？	6
		多心ケーブルの使用により、異常停止	リモコン伝送線には、2心ケーブルを使っていますか？	6
		運転しない (リモコン：表示なし)	リモコン伝送線の端子板接続は、確実に行われていますか？	187,188
	⑳	異常停止、運転しない、誤動作 (リモコンへの露付)	リモコン線工事に電線管を使用した場合、パテによる防水処理をしてありますか？	—
各種設定	㉒	運転しないユニットが発生	内外接続線は、室内ユニットと全ての室外ユニットに個別配線されていますか？	—
	<グループ運転時>			
	㉓	・全室内ユニットのFANが同時起動する ・全室外ユニットの圧縮機が同時起動する	室内ユニットのアドレスは、正しく設定されていますか？（工場出荷時設定は「01」です。）	—
運転前・試運転	㉔	異常停止 (リモコン：1302又は1352又は1509)	室外ユニットのボールバルブは「開」になっていますか？	—
	㉕	運転しない (リモコン：6846)	室外ユニットの電源を入れた後、室内ユニットの電源を入れていますか？	—
	㉖	異常停止・圧縮機故障	運転12時間前に電源が投入されていますか？	—
	㉗	風量が少ない	電源配線が逆相になっていませんか？	—
	㉘	異常停止	電源配線が逆相になっていませんか？	—
	㉙	室外ファンが回らない、異常音がする、あるいは、逆転する。	電源配線が逆相になっていませんか？	—

(2)室内ユニットの分割搬入

PFAK-P450,560AW(M)-A形
 PFTK-P400,500AW(M)-A形
 PFAK-P530,670AW(M)-A-F形) 室内ユニットの分割要領

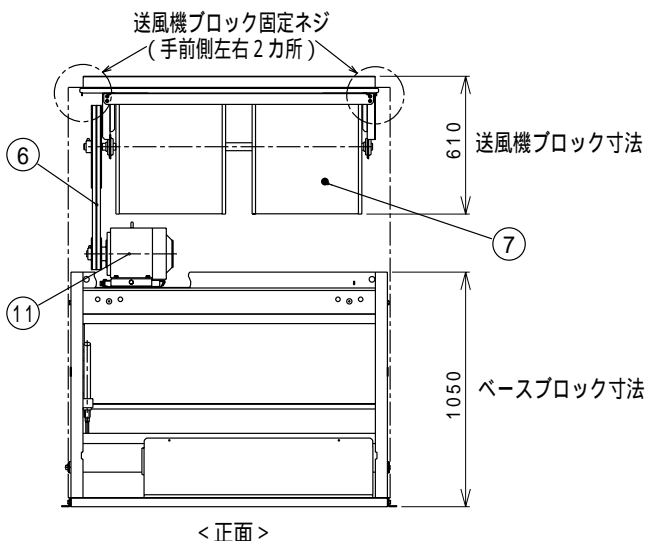
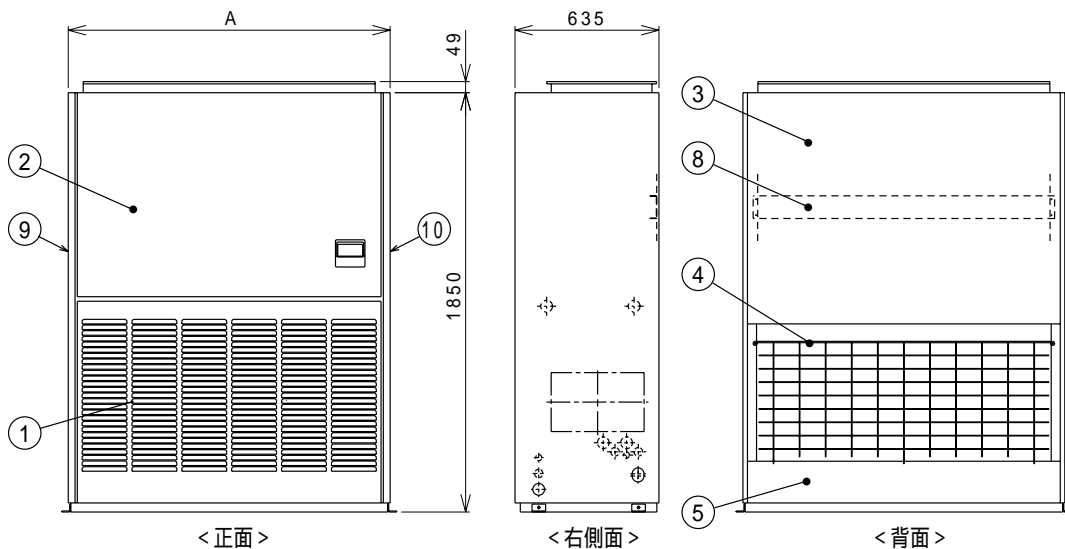
室内ユニットは、ベースブロック、送風機ブロック、その他の部品に分割することが可能です。
 分割の際は、ユニットを水平な場所に設置後実施してください。
 分割後のベースブロックの寸法は本図 印寸法になります。

ベースブロック質量

	質量(kg)
P400,P450,P530	100
P500,P560,P670	110

1. 分割は下図を参照し、下記手順にて実施ください。

- 外装パネル ~ を順に取外してください。
- モータ の固定ボルトを緩め、モータをスライドさせてVベルト を取外してください。
- 図に示す位置の送風機ブロック固定ネジを外して、送風機ブロック を手前に引き出し、取外してください。
送風機ブロックの質量はP400,P450,P530形：70kg、P500,P560,P670形：80kgありますのでご注意ください。
- ハリ を取外してください。
- 左右サイドパネル を取外してください。
- モータ を取外してください。



	A
P400,P450,P530	1200
P500,P560,P670	1420

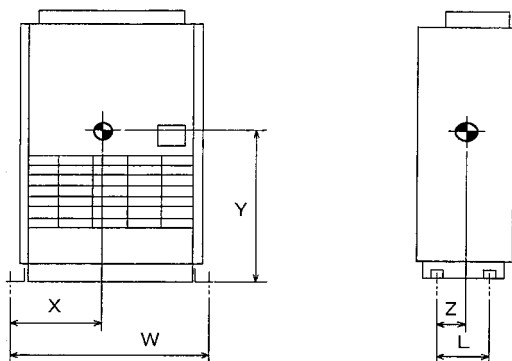
以上で分割完了です。搬入時に破損・キズが付かないように注意してください。

- 再組立は、分割時と逆の手順で実施してください。
外した止メネジ、ボルトは、締め忘れ、締め不足のないように実施ください。
- 試運転時の確認
試運転後、異常音、ビビリ音、水漏れの発生がないか確認ください。

(3) ファン用ベアリング一覧表

対象機種	PFAK-P140・P224・P280AW(M)-A PFTK-P125・P200・P250AW(M)-A PFAK-P167・P265・P335AW(M)-A-F	PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F
仕様	ユニット用玉軸受 <SBB204PIS5光洋精工>内径： 20	ユニット用玉軸受 <SBB205PIS5光洋精工>内径： 25
形状・寸法		
対象機種	PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A	
仕様	ユニット用玉軸受 <SBB206PIS5光洋精工>内径： 30	
形状・寸法		

(4) 重心位置

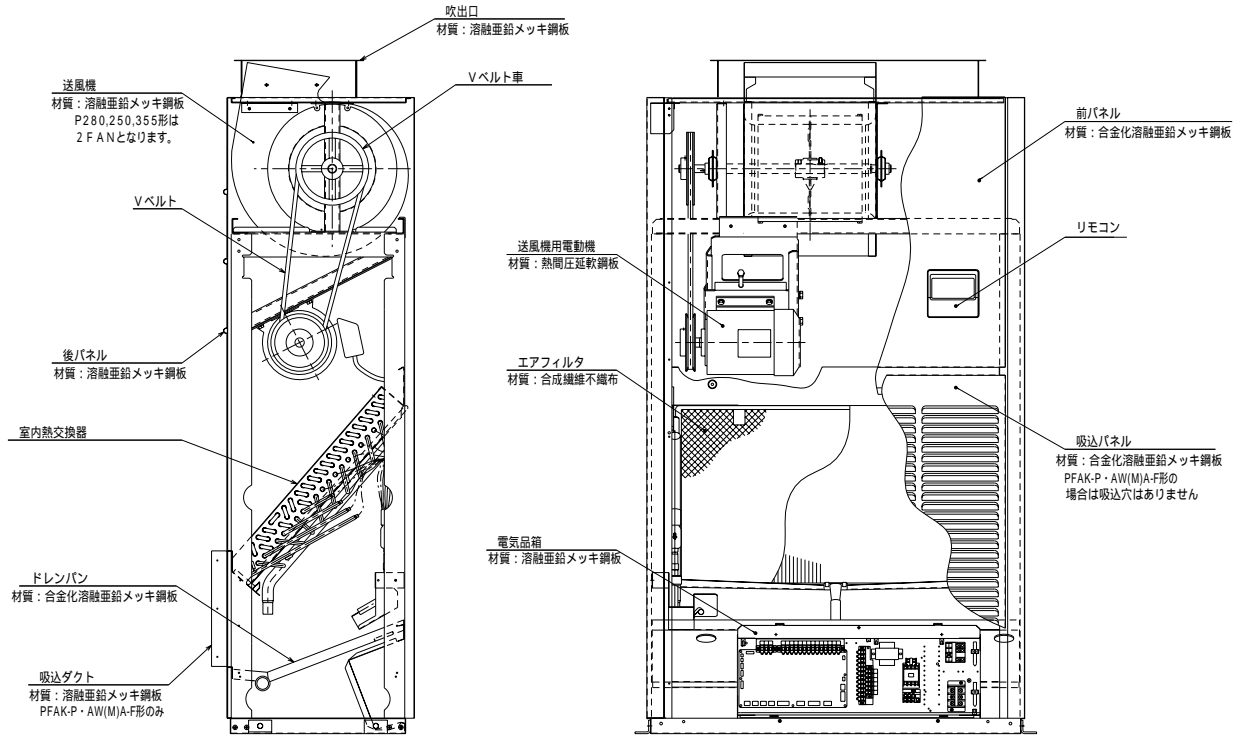


室外ユニットの重心位置は、
-5.耐震強度計算を
参照ください。

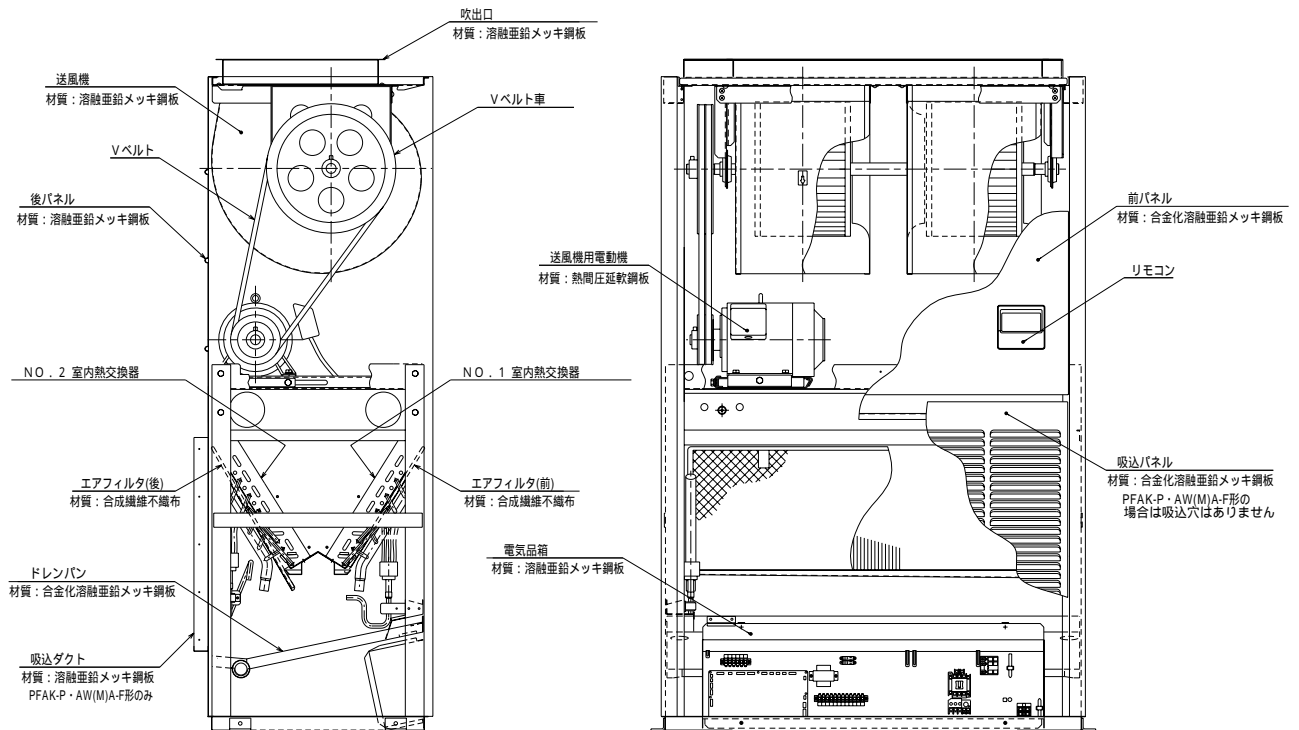
機種	W	L	X	Y	Z
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A	794	300	388	808	155
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A	1014	300	467	809	158
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A	1234	300	573	835	156
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A	1230	440	567	1017	225
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A	1450	440	647	1017	225
PFAK-P167AW(M)-A-F	794	300	388	799	159
PFAK-P265AW(M)-A-F	1014	300	467	798	163
PFAK-P335AW(M)-A-F	1234	300	573	825	161
PFAK-P530AW(M)-A-F	1230	440	567	1009	230
PFAK-P670AW(M)-A-F	1450	440	647	1008	231

(5)内部構造図

- PFAK-P140,224,280AW(M)-A形
PFTK-P125,200,250AW(M)-A形
PFAK-P167,265,355AW(M)-A-F形



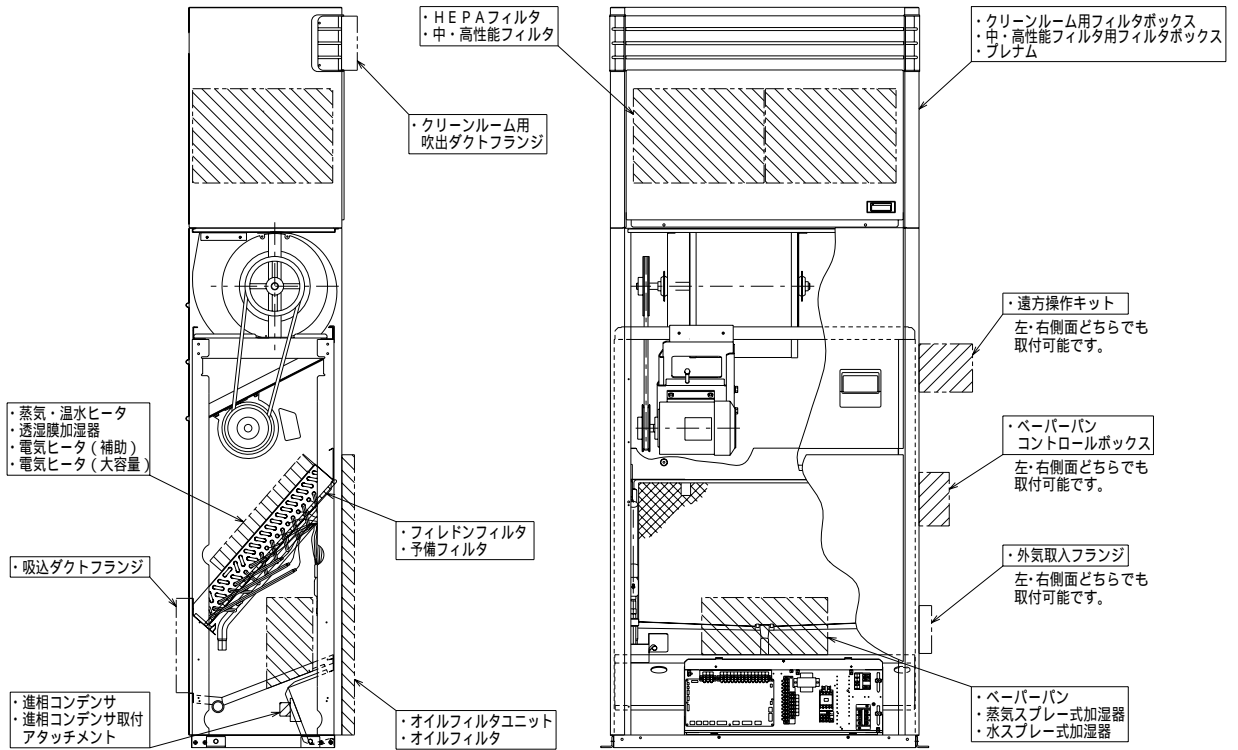
- PFAK-P450,560AW(M)-A形
PFTK-P400,500AW(M)-A形
PFAK-P530,670AW(M)-A-F形



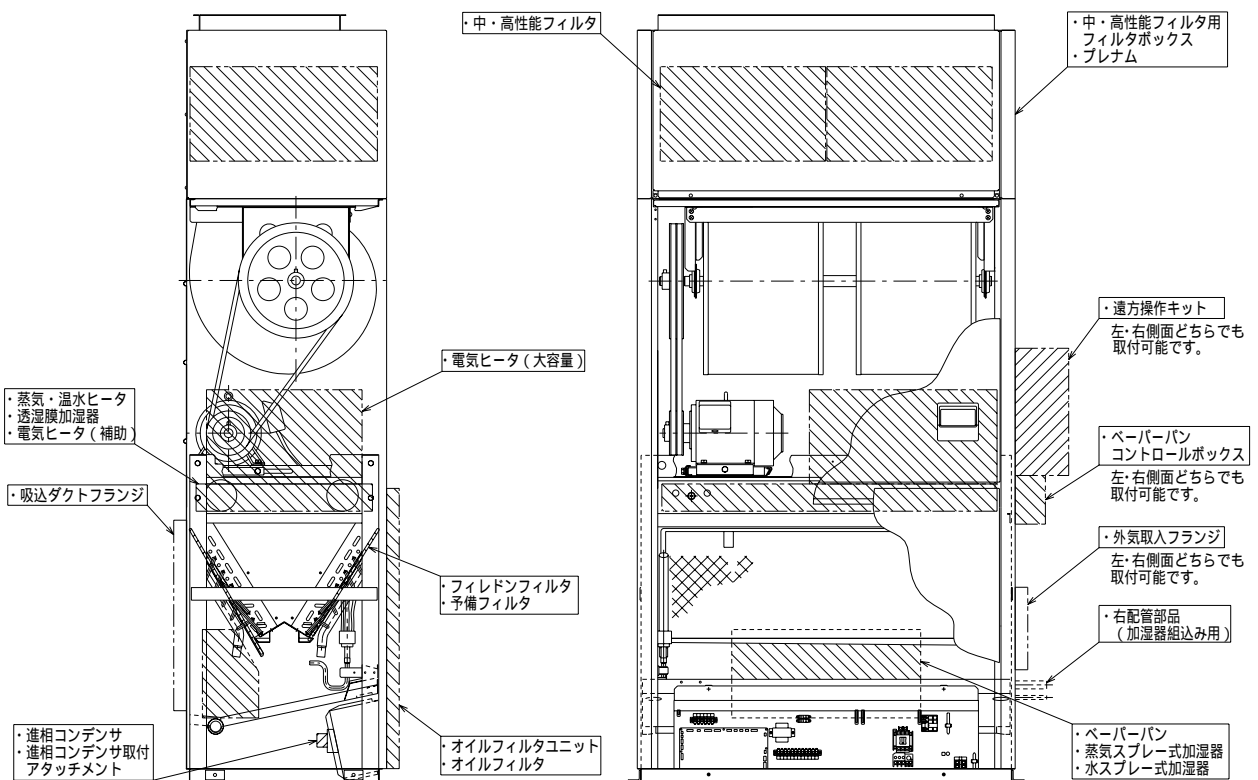
(6)別売部品組み込み配置図

機種によって組み込み可能な別売部品があります。P96の取付可能部品表を参照ください。

- PFAK-P140,224,280AW(M)-A形
PFTK-P125,200,250AW(M)-A形
PFAK-P167,265,355AW(M)-A-F形



- PFAK-P450,560AW(M)-A形
PFTK-P400,500AW(M)-A形
PFAK-P530,670AW(M)-A-F形



(7) 電磁接触器余剰接点数

● 室内ユニット

	余剰接点 送風機用 < 52F >
PFAK-P140AW(M)-A PFTK-P125AW(M)-A PFAK-P167AW(M)-A-F	なし
PFAK-P224AW(M)-A PFTK-P200AW(M)-A PFAK-P265AW(M)-A-F	なし
PFAK-P280AW(M)-A PFTK-P250AW(M)-A PFAK-P335AW(M)-A-F	なし
PFAK-P450AW(M)-A PFTK-P400AW(M)-A PFAK-P530AW(M)-A-F	なし
PFAK-P560AW(M)-A PFTK-P500AW(M)-A PFAK-P670AW(M)-A-F	1b

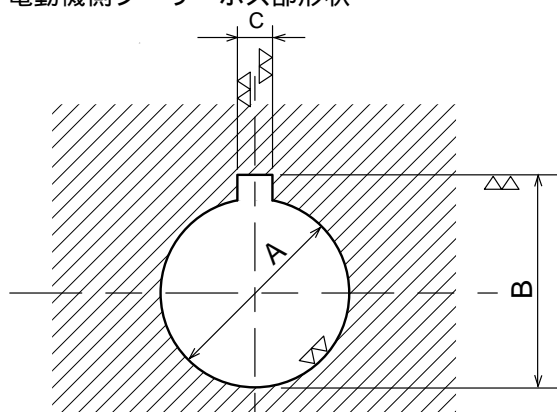
全形名ともA接点を1つ持ってますが、室内ユニット制御箱内端子台に、A接点取出し(未使用)をしています。

● 室外ユニット

	余剰接点 圧縮機用 < 52C >
PU(H)K-P140AW-A	2a2b
PU(H)K-P224(U)AW-A	2a2b
PU(H)K-P280(U)AW-A	2a2b

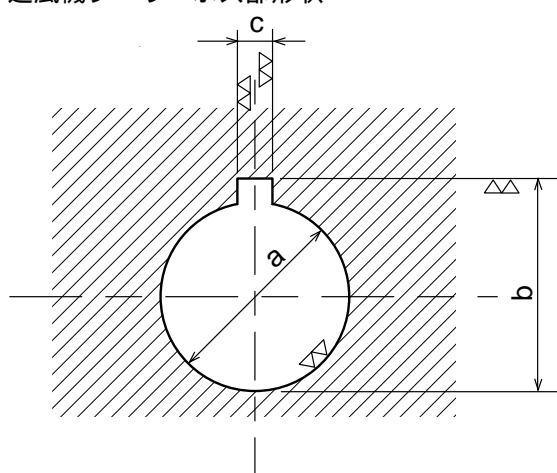
(8) プーリボス部形状

● 電動機側プーリ ボス部形状



電動機容量	寸法 A	寸法 B	寸法 C
0.75kW	19 ^{+0.028} / _{+0.007}	21.8 ^{+0.1} / ₀	6 ±0.0150
1.5kW	24 ^{+0.028} / _{+0.007}	27.3 ^{+0.2} / ₀	8 ±0.0180
2.2kW	28 ^{+0.028} / _{+0.007}	31.3 ^{+0.2} / ₀	8 ±0.0180
3.7kW	28 ^{+0.028} / _{+0.007}	31.3 ^{+0.2} / ₀	8 ±0.0180
5.5kW	38 ^{+0.034} / _{+0.009}	41.3 ^{+0.2} / ₀	10 ±0.0180
7.5kW	38 ^{+0.034} / _{+0.009}	41.3 ^{+0.2} / ₀	10 ±0.0180
11kW	42 ^{+0.041} / _{+0.025}	45.3 ⁰ / _{-0.12}	12 ±0.0215

● 送風機プーリ ボス部形状



軸径(mm)	寸法 a	寸法 b	寸法 c
20	20 ^{+0.028} / _{+0.007}	23.5 ^{+0.1} / ₀	7 ^{+0.028} / _{+0.013}
24	24 ^{+0.028} / _{+0.007}	27.5 ⁰ / _{-0.100}	7 ^{+0.076} / _{+0.040}
28	28 ^{+0.028} / _{+0.007}	31.5 ⁰ / _{-0.100}	7 ^{+0.076} / _{+0.040}
32	32 ^{+0.034} / _{+0.009}	36 ^{+0.2} / ₀	10 ^{+0.028} / _{+0.013}

(9) 恒温恒湿回路例

改造については、現地責任でお願いします。
破線部分が現地改造になります。

外部サーモ使用時は、電源投入前に
DipSW1-6をONに変更してください。

ヒータは必ずFANと連動させてください。
(51F作動時に強制的にFANをOFFしますので
ヒータのみONにならないようにしてください。
また、51F作動時はマイコン制御により3分間
FANをOFFにしています。
BOX内端子台A2、L2よりFANに連動したレベル
信号を取り出すことが可能です。(2.5A以下)

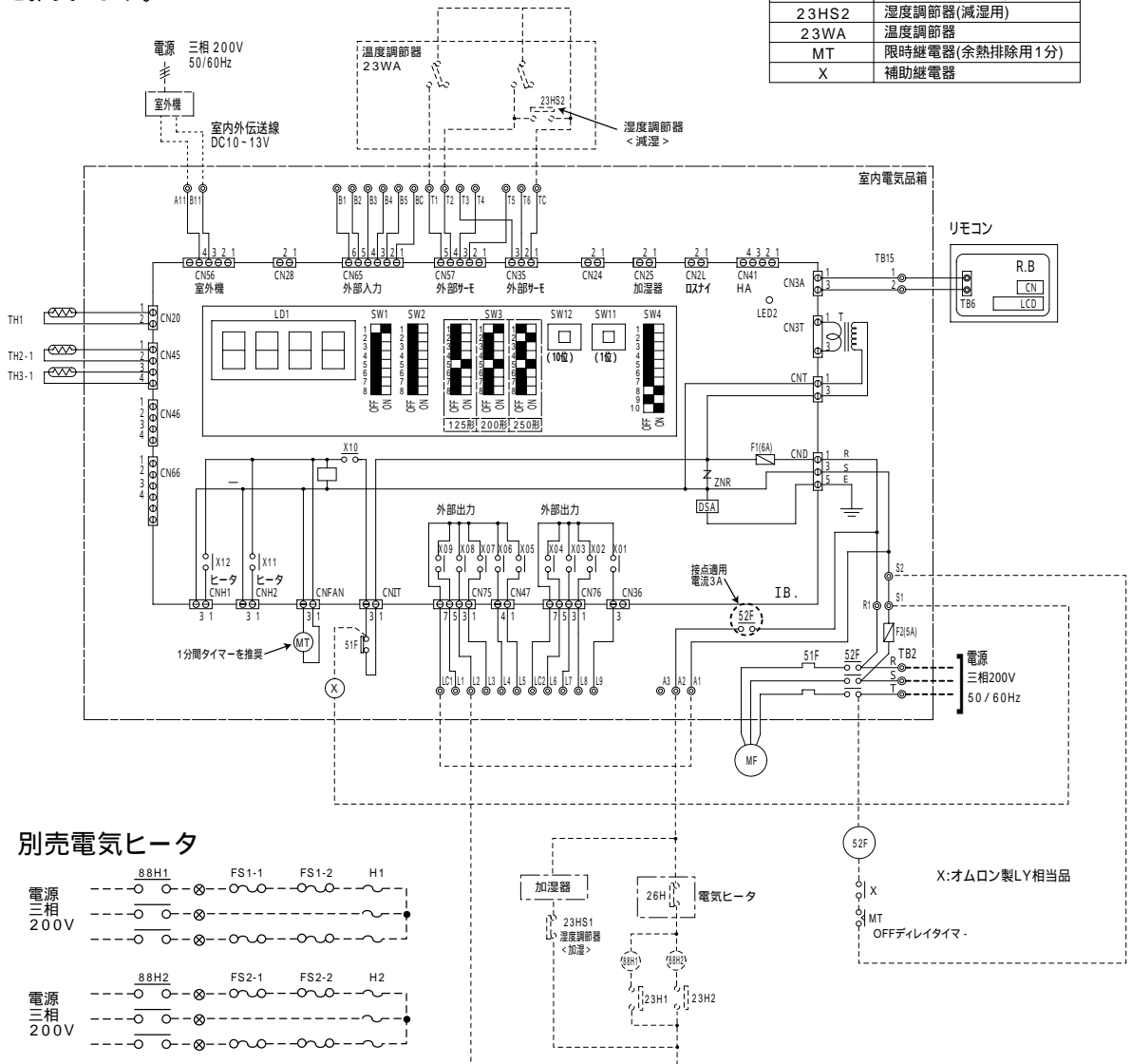
製品本体記号説明

記号	名称	記号	名称
MF	送風機用電動機	X01 - X12	補助継電器(室内基板内)
51F	熱動過電流継電器	LD1	発光ダイオード(表示)
52F	補助継電器(送風機用)	LED2	発光ダイオード(リモコン給電)
TB2	電源端子台	TH1	サーミスタ(吸込み空気温度)
TB15	MAリモコン用端子台	TH2-1	サーミスタ(No.1熱交換管温度)
I.B	室内制御基板	TH3-1	サーミスタ(No.1熱交二相管温度)
ZNR	バリスタ	SW1(L.B)	スイッチ(機種設定)
CN24	コネクタ(補助ヒータ)	SW2(L.B)	スイッチ(自己診断)
CN25	コネクタ(加湿器)	SW3(L.B)	スイッチ(能力設定)
CN41	コネクタ(HA)	SW4(L.B)	スイッチ(機能切替)
CNH1	コネクタ(暖房ヒータ1)	SW11(L.B)	スイッチ(アドレス設定用1の位)
CNH2	コネクタ(暖房ヒータ2)	SW12(L.B)	スイッチ(アドレス設定用10の位)
CNIT	コネクタ(51F)	R.B	リモコン基板
CNFAN	コネクタ(52F)	CN	コネクタ(別売:スケジュールタイマ)
CN2L	コネクタ(ロスナイ)	TB6	端子台(室内ユニット接続)
T	トランス	LCD	液晶表示器
F1,F2	ヒューズ	DSA	アレスタ

別売加湿器を組込んだ場合、ユニット1次側の組込となるため、1次側で加湿 熱交換器で除湿となるため加湿がのりません。
そのためユニット外へ別置で対応していただくことを推奨します。

使用部品記号説明

記号	名称
26H	過昇防止サーモ
88H1,88H2	電磁接触器(ヒータ用)
23H1,23H2	湿度調節器
23HS1	湿度調節器(加湿用)
23HS2	湿度調節器(減湿用)
23WA	湿度調節器
MT	限時継電器(余熱排除用1分)
X	補助継電器



別売電気ヒータ

